

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(d) 電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水                  運転停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、消火ポンプによりNo.2淡水タンク水を原子炉へ注水する手順を整備する。                  使用には、重大事故等対処に悪影響を与える火災が発生していないことを確認して使用する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                  恒設代替低圧注水ポンプの故障等により、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、原子炉へ注水するために必要なNo.2淡水タンク水位が確保されており、かつ重大事故等対処に悪影響を与える火災の発生がなく、消火用として消火ポンプの必要がない場合。</p> <p>ii. 操作手順                  1.4.2.1(1)b.(c)と同様。</p>	<p>ii. 操作手順                  代替循環冷却系による原子炉圧力容器への注水については、「1.4.2.1(1)a.(d)代替循環冷却系による原子炉圧力容器への注水」の操作手順と同様である。手順の対応フローを第1.4-5図及び第1.4-6図に示す。</p> <p>iii. 操作の成立性                  上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから代替循環冷却系による原子炉圧力容器への注水開始まで15分以内で可能である。</p> <p>(d) ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水</p> <p>i. 手順着手の判断基準                  発電用原子炉停止中に非常用炉心冷却系、低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）及び代替循環冷却系による原子炉圧力容器への注水ができず、原子炉圧力容器内の水位が維持できない場合において、ろ過水ポンプが使用可能な場合*。                  ※：設備に異常がなく、電源及び水源（ろ過水タンク）が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順                  ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水については、「1.4.2.1(1)a.(e)ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水」の操作手順と同様である。手順の対応フローを第1.4-5図及び第1.4-6図に示す。</p> <p>iii. 操作の成立性                  上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してからろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水開始まで20分以内で可能である。</p>	<p>(d) 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水                  発電用原子炉停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、消火ポンプによりろ過水タンク水を原子炉容器へ注水する。</p> <p>使用に際しては、重大事故等対処に悪影響を与える火災が発生していないことを確認して使用する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                  代替格納容器スプレイポンプの故障等により、原子炉容器への注水を代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量等にて確認できない場合に、原子炉容器へ注水するために必要なろ過水タンクの水位が確保されており、かつ重大事故等対処に悪影響を与える火災の発生がなく、消火用として消火ポンプの必要がない場合。</p> <p>ii. 操作手順                  電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水については、1.4.2.1(1)b.(c)「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性                  上記の操作は、運転員（中央制御室）1名及び運転員（現場）2名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから消火ポンプによる原子炉容器への注水開始まで40分以内で可能である。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(e) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</p> <p>運転停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬式代替低圧注水ポンプにより海水を原子炉へ注水する手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                      恒設代替低圧注水ポンプの故障等により原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合。</p> <p>ii. 操作手順                      1.4.2.1(1)b.(d)と同様。</p>	<p>【比較のため、比較表 p1.4-148 より再掲】</p> <p>(b) 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水</p> <p>i. 手順着手の判断基準                      発電用原子炉停止中に非常用炉心冷却系による原子炉圧力容器への注水ができず、原子炉圧力容器内の水位を維持できない場合において、低圧代替注水系（可搬型）が使用可能な場合*。</p> <p>※：設備に異常がなく、電源、燃料及び水源（淡水貯水槽（No.1）又は淡水貯水槽（No.2））が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順                      低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水については、「1.4.2.1(1) a.(c) 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水」の操作手順と同様である。手順の対応フローを第1.4-5図及び第1.4-6図に示す。</p> <p>iii. 操作の成立性                      上記の操作は、作業開始を判断してから低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水開始までの必要な要員数及び所要時間は以下のとおり。</p> <p>【原子炉・格納容器下部注水接続口（北）又は原子炉・格納容器下部注水接続口（東）を使用する場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運転員（中央制御室）1名及び重大事故等対応要員9名にて作業を実施した場合、385分以内で可能である。</li> </ul> <p>【原子炉・格納容器下部注水接続口（建屋内）を使用する場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び重大事故等対応要員9名にて作業を実施した場合、385分以内で可能である。</li> </ul> <p>【格納容器スプレィ接続口（建屋内）を使用する場合（故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムによる影響がある場合）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び重大事故等対応要員10名にて作業を実施した場合、385分以内で可能である。</li> </ul> <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。大容量送水ポンプ（タイプI）からのホースの接続は、汎用の結合金具であり、</p>	<p>(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により海水を原子炉容器へ注水する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                      代替格納容器スプレィポンプの故障等により、原子炉容器への注水を代替格納容器スプレィポンプ出口積算流量等にて確認できない場合。</p> <p>ii. 操作手順                      海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水については、1.4.2.1(1) b.(d)「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性                      上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び災害対策要員6名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水開始まで200分以内で可能である。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（大飯理由⑤）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>十分な作業スペースを確保していることから、容易に実施可能である。</p> <p>また、車両付属の作業用照明及び可搬型照明（ヘッドライト及び懐中電灯）を用いることで、夜間における作業性についても確保している。</p> <p style="text-align: right;">（添付資料 1.4.3）</p>	<p>(f) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により代替給水ピットから原子炉容器へ注水する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>代替格納容器スプレイポンプの故障等により、原子炉容器への注水を代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量等にて確認できない場合において、海水取水箇所へのアクセスに時間を要する又は原水槽が使用できないと判断し、代替給水ピットの水位が確保され、使用できることを確認した場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水については、1.4.2.1(1) b. (e) 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び災害対策要員6名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水開始まで145分以内で可能である。</p> <p>(g) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により原水槽から原子炉容器へ注水する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>代替格納容器スプレイポンプの故障等により、原子炉容器への注水を代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量等にて確認できない場合において、海水の取水ができないと判断し、原水槽の水位が確保され、使用できることを確</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>c. 再循環運転</p> <p>(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転</p> <p>運転停止中に、余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、炉心注水又は代替炉心注水により燃料取替用水ピット水等を原子炉へ注水後、高圧注入ポンプによる高圧再循環運転により原子炉へ注水する手順を整備する。</p> <p>格納容器圧力及び温度が上昇した場合は、格納容器スプレイポンプを用いた格納容器スプレイ又は格納容器再循環ユニットによる格納容器自然対流冷却による格納容器冷却に期待する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中に余熱除去ポンプの故障等により、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、高圧再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>高圧注入ポンプによる高圧再循環運転手順の概要は以下のとおり。概略系統を第1.4.14図に示す。</p> <p>① 当直課長は、手順着手の判断基準に基づき運転員等に高圧注入ポンプによる高圧再循環運転による原子炉への注水準備と系統構成を指示する。</p> <p>② 運転員等は、中央制御室で高圧注入ポンプによる高圧再循環運転の系統構成を実施する。</p> <p>③ 当直課長は、運転員等に高圧注入ポンプによる高圧再循環運転による原子炉の冷却が可能となれば、開始を</p>		<p>認した場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水については、1.4.2.1(i) b. (f)「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び災害対策要員6名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水開始まで200分以内で可能である。</p> <p>c. 再循環運転</p> <p>(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転</p> <p>発電用原子炉停止中に、余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、炉心注水又は代替炉心注水により燃料取替用水ピット水等を原子炉容器へ注水後、高圧注入ポンプにより格納容器再循環サンプ水を原子炉容器へ注水し、あわせてC、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却により原子炉格納容器内の冷却を行う。また、格納容器内自然対流冷却を使用できない場合は、格納容器スプレイポンプによる格納容器スプレイ再循環運転を行い原子炉格納容器内の冷却を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中に余熱除去ポンプの故障等により、原子炉容器への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合に、高圧再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>高圧注入ポンプによる高圧再循環運転手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.4.17図に、タイムチャートを第1.4.18図に示す。</p> <p>① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき運転員に高圧注入ポンプによる高圧再循環運転準備と系統構成を指示する。</p> <p>② 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で高圧注入ポンプによる高圧再循環運転の系統構成を実施し、発電課長（当直）に報告する。</p> <p>③ 発電課長（当直）は、運転員に高圧注入ポンプによる高圧再循環運転により発電用原子炉の冷却が可能とな</p>	<p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>・いずれの記載も高圧注入ポンプによる再循環運転時において、原子炉格納容器内の冷却を格納容器スプレイポンプによる再循環運転又は格納容器内自然冷却にて実施することに相違なし。</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>指示する。</p> <p>④ 運転員等は、中央制御室で高圧注入ポンプを起動し、原子炉へ注水されていることを高圧注入流量で確認する。</p> <p>⑤ 運転員等は、中央制御室で1次冷却材温度等の指示により、原子炉が冷却状態にあることを継続して確認する。</p> <p>iii. 操作の成立性                  高圧注入ポンプによる高圧再循環運転は、中央制御室で可能である。</p> <p>d. 代替再循環運転                  (a) A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転                  運転停止中に、余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、炉心注水又は代替炉心注水により燃料取替用水ピット水等を原子炉へ注水後、A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転により原子炉へ注水する手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                  運転停止中に余熱除去ポンプの故障等により、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、代替再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順                  1.4.2.1(1)d.(a)と同様。</p> <p>e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）                  (a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</p>	<p>【比較のため、比較表p1.4-76より再掲】</p> <p>iii. 操作の成立性                  上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから低圧代替注水系（常設（復水移送ポンプ）による原子炉圧力容器への注水開始まで15分以内で可能である。</p>	<p>れば、開始を指示する。</p> <p>④ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で高圧注入ポンプを起動し、原子炉容器へ注水されていることを高圧注入流量等で確認し、発電課長（当直）に報告する。</p> <p>⑤ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で1次冷却材温度等の指示値により、発電用原子炉が冷却状態にあることを継続して確認する。</p> <p>iii. 操作の成立性                  上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから高圧注入ポンプによる高圧再循環運転開始まで15分以内で可能である。</p> <p>d. 代替再循環運転                  (a) B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転                  発電用原子炉停止中に、余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、炉心注水又は代替炉心注水により燃料取替用水ピット水等を原子炉容器へ注水後、B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転により原子炉容器へ注水する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                  発電用原子炉停止中に高圧注入ポンプの故障等により、原子炉容器への注水を高圧注入流量等にて確認できない場合に、代替再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順                  B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転については、1.4.2.1(1)d.(a)「B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性                  上記の操作は、運転員（中央制御室）1名及び運転員（現場）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してからB-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水開始まで15分以内で可能である。</p> <p>e. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）                  (a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</p>	<p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】運用の相違（相違理由②）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>運転停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプにより復水ピット水を蒸気発生器へ注水する手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中に余熱除去ポンプの故障等により、余熱除去設備の崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、1次冷却系に開口部がなく、蒸気発生器へ注水するために必要な復水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>電動補助給水ポンプ及びタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水は、中央制御室での遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する。</p> <p>(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水</p> <p>運転停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、常用設備である電動主給水ポンプにより蒸気発生器へ注水する手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>電動補助給水ポンプ及びタービン動補助給水ポンプの故障等により、蒸気発生器への注水が補助給水流量等で確認できない場合に、外部電源により常用母線が受電され、2次冷却系の設備が運転中であり、蒸気発生器へ注水するために必要な脱気器タンク水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水は、中央制御室での遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する。</p>		<p>発電用原子炉停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプにより補助給水ピット水を蒸気発生器へ注水する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中に余熱除去ポンプの故障等により、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉容器への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合に、1次冷却系に開口部がなく、蒸気発生器へ注水するために必要な補助給水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>電動補助給水ポンプ及びタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水操作は、中央制御室からの遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する。概要図を第1.4.33図に示す。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水開始まで5分以内で可能である。</p> <p>(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、常用設備である電動主給水ポンプにより蒸気発生器へ注水する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>電動補助給水ポンプ及びタービン動補助給水ポンプの故障等により、蒸気発生器への注水を補助給水流量等で確認できない場合に、外部電源により常用母線が受電され、2次冷却系の設備が運転中であり、蒸気発生器へ注水するために必要な脱気器タンク水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水は、中央制御室からの遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する。概要図を第1.4.34図に示す。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水開始まで5分以内で可能である。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違                  【大飯】記載方針の相違                  ・大飯3/4号炉も第1.4.35図に当該手段の概略系統を整理している。                  【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違                  【大飯】記載方針の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(c) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水                  運転停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）により復水ピット水を蒸気発生器へ注水する手順を整備する。                  なお、淡水又は海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                  電動主給水ポンプの故障等により蒸気発生器への注水を蒸気発生器水張り流量等で確認できない場合に、蒸気発生器へ注水するために必要な復水ピット水位が確保されている場合。</p>		<p>(c) SG 直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水                  発電用原子炉停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、補助給水ピット水を SG 直接給水用高圧ポンプにより蒸気発生器へ注水する。                  なお、淡水又は海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                  電動主給水ポンプの故障等により、蒸気発生器への注水を主給水ライン流量等にて確認できない場合に、蒸気発生器へ注水するために必要な補助給水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順                  SG 直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水については、「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b.「SG 直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性                  上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び災害対策要員1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから SG 直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水開始まで60分以内で可能である。</p> <p>(d) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水                  発電用原子炉停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により海水を蒸気発生器へ注水する。                  なお、海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                  電動補助給水ポンプ及びタービン動補助給水ポンプの故障等により、蒸気発生器への注水を補助給水流量等で確認できない場合。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>・泊3号炉の可搬型大型送水ポンプ車は準備に時間を要することから、補助給水ポンプの故障等により蒸気発生器への注水ができない場合に準備を開始する。（川内1/2号炉及び玄海3/4号炉と同様。）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>ii. 操作手順</p> <p>操作手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b. 「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。</p>		<p>ii. 操作手順</p> <p>海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水については、「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c. 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び災害対策要員6名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水開始まで230分以内で可能である。</p> <p>(e) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により代替給水ピットから蒸気発生器へ注水する。</p> <p>なお、淡水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器器内水の不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>電動補助給水ポンプ及びタービン動補助給水ポンプの故障等により、蒸気発生器への注水を補助給水流量等で確認できない場合において、海水取水箇所へのアクセスに時間を要する又は原水槽が使用できないと判断し、代替給水ピットの水位が確保され、使用できることを確認した場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水については、「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d. 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び災害対策要員6名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水開始まで180分以内で可能である。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p>



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>f. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）</p> <p>(a) 主蒸気逃がし弁による蒸気放出                      運転停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、中央制御室にて主蒸気逃がし弁を開操作して蒸気発生器2次側による炉心冷却を行う手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                      運転停止中に余熱除去ポンプの故障等により、余熱除去設備の崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、蒸気発生器への注水が確保されたことを補助給水流量等により確認できた場合。</p>		<p>(f) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水                      発電用原子炉停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により原水槽から蒸気発生器へ注水する。                      なお、淡水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                      電動補助給水ポンプ及びタービン動補助給水ポンプの故障等により、蒸気発生器への注水を補助給水流量等で確認できない場合において、海水の取水ができないと判断し、原水槽の水位が確保され、使用できることを確認した場合。</p> <p>ii. 操作手順                      原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水については、「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性                      上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び災害対策要員6名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水開始まで205分以内で可能である。</p> <p>f. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）                      (a) 主蒸気逃がし弁による蒸気放出                      発電用原子炉停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、中央制御室にて主蒸気逃がし弁を開操作して蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                      発電用原子炉停止中に余熱除去ポンプの故障等により、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉容器への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合に、蒸気発生器への注水が確保されたことを補助給水流量等により確認できた場合。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>ii. 操作手順                      主蒸気逃がし弁の開操作は、中央制御室からの遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する。</p> <p>(b) タービンバイパス弁による蒸気放出                      運転停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、常用設備であるタービンバイパス弁を中央制御室にて開操作し、蒸気発生器から蒸気放出を行う手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                      主蒸気逃がし弁による蒸気放出が主蒸気圧力等にて確認できない場合に、外部電源により常用母線が受電され、2次冷却系の設備が運転中であり復水器真空度が維持されている場合。</p> <p>ii. 操作手順                      タービンバイパス弁の開操作は、中央制御室からの遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する。</p> <p>g. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード                      主蒸気逃がし弁による原子炉の冷却効果がなくなり、低温停止へ移行する場合、蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードを行う手順を整備する。                      蒸気発生器2次側フィードアンドブリードは、ポンプ車により海水を蒸気発生器へ注水し、主蒸気ドレンラインを経由し、蒸気発生器ブローダウンタンクに排出させ、適時放射性物質濃度等を確認し排出する。                      なお、海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p>	<p>ii. 操作手順                      主蒸気逃がし弁の開操作は、中央制御室からの遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する。</p> <p>iii. 操作の成立性                      上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから主蒸気逃がし弁による蒸気放出開始まで1分以内で可能である。</p> <p>(b) タービンバイパス弁による蒸気放出                      発電用原子炉停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、常用設備であるタービンバイパス弁を中央制御室にて開操作し、蒸気発生器から蒸気放出を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                      主蒸気逃がし弁による蒸気放出が主蒸気ライン圧力等にて確認できない場合に、外部電源により常用母線が受電され、2次冷却系の設備が運転中であり復水器の真空が維持されている場合。</p> <p>ii. 操作手順                      タービンバイパス弁の開操作は、中央制御室からの遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する。</p> <p>iii. 操作の成立性                      上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してからタービンバイパス弁による蒸気放出開始まで5分以内で可能である。</p> <p>g. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却                      主蒸気逃がし弁による発電用原子炉の冷却効果がなくなり、低温停止へ移行する場合、蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却を行う。                      蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードは、可搬型大型送水ポンプ車により海水を蒸気発生器へ注水し、主蒸気ドレンラインを経由し、温水ピットに排出させ、適時水質を確認し排出する。                      なお、海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p>	<p>ii. 操作手順                      主蒸気逃がし弁の開操作は、中央制御室からの遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する。概要図を第1.4.35図に示す。</p> <p>iii. 操作の成立性                      上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから主蒸気逃がし弁による蒸気放出開始まで1分以内で可能である。</p> <p>(b) タービンバイパス弁による蒸気放出                      発電用原子炉停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、常用設備であるタービンバイパス弁を中央制御室にて開操作し、蒸気発生器から蒸気放出を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                      主蒸気逃がし弁による蒸気放出が主蒸気ライン圧力等にて確認できない場合に、外部電源により常用母線が受電され、2次冷却系の設備が運転中であり復水器の真空が維持されている場合。</p> <p>ii. 操作手順                      タービンバイパス弁の開操作は、中央制御室からの遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する。概要図を第1.4.36図に示す。</p> <p>iii. 操作の成立性                      上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してからタービンバイパス弁による蒸気放出開始まで5分以内で可能である。</p> <p>g. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却                      主蒸気逃がし弁による発電用原子炉の冷却効果がなくなり、低温停止へ移行する場合、蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却を行う。                      蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードは、可搬型大型送水ポンプ車により海水を蒸気発生器へ注水し、主蒸気ドレンラインを経由し、温水ピットに排出させ、適時水質を確認し排出する。                      なお、海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違                      ・大飯3/4号炉も第1.4.35図に当該手段の概略系統を整理している。                      【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（記載の明確化）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）                      【大飯】設備の相違（相違理由④）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(a) 手順着手の判断基準                      運転停止中に余熱除去ポンプの故障等により、余熱除去設備の崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、低温停止に移行する場合。</p> <p>(b) 操作手順                      操作手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。</p> <p>h. その他の手順項目にて考慮する手順                      燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の復水ピットからの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(3)「燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替」及び1.13.2.2(9)「復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。                      燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の1次系純水タンク及びほう酸タンクの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(1)「燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの水源切替」にて整備する。                      空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(1)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(1)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。</p> <p>電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）及び送水車への燃料補給に関する手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.4(1)「電源車（可搬式代</p>		<p>i. 手順着手の判断基準                      発電用原子炉停止中に余熱除去ポンプの故障等により、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉容器への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合に、低温停止に移行する場合。</p> <p>ii. 操作手順                      蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却については、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性                      上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び災害対策要員6名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード開始まで445分以内で可能である。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違（記載の明確化）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載箇所の相違（女川実績の反映）                      ・泊は1.4.2.5にて同等の内容を整理。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>替低圧注水ポンプ用)、大容量ポンプへの燃料補給」及び1.6.2.4(2)「送水車への燃料補給」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p> <p><b>i. 優先順位</b></p> <p>運転停止中に余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合の冷却手段の優先順位を以下に示す。</p> <p>運転停止中に崩壊熱除去機能が喪失した場合は、格納容器からの作業員の退避指示を行い、格納容器の隔離を行う。</p> <p>格納容器隔離弁閉操作後に、1次冷却系に開口部がない場合は、蒸気発生器2次側による炉心冷却を優先する。</p> <p>蒸気発生器2次側による炉心冷却として、蒸気発生器への注水は、電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプを用い、これらの補助給水ポンプが使用できない場合は、脱気器タンクを水源とした電動主給水ポンプ又は復水ピットを水源とした蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ(電動)による蒸気発生器への注水を行う。蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ(電動)は使用準備に時間を要することから電動主給水ポンプを優先して使用する。</p> <p>蒸気放出については、主蒸気逃がし弁を用い、主蒸気逃がし弁が使用できない場合は、タービンバイパス弁を使用する。</p> <p>主蒸気逃がし弁による原子炉の冷却効果がなくなり低温停止に移行する場合は、蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードを行う。</p>	<p>b. 重大事故等時の対応手段の選択</p> <p>重大事故等時の対応手段の選択方法は以下のとおり。対応手段の選択フローチャートを第1.4-42図に示す。</p> <p>外部電源、代替交流電源設備等により交流電源が確保できた場合、復水貯蔵タンクが使用可能であれば低圧代替注水系(常設)(復水移送ポンプ)により原子炉圧力容器へ注水する。</p> <p>復水貯蔵タンクが使用できない場合、代替循環冷却系、ろ過水ポンプ又は低圧代替注水系(可搬型)により原子炉圧力容器へ注水する。</p> <p>なお、低圧代替注水系(常設)(復水移送ポンプ)による原子炉圧力容器への注水を実施する際の注入配管の選択は、注水流量が多いものを優先して使用する。優先順位は以下のとおり。</p> <p>優先①：残留熱除去系(A) 注入配管                  優先②：残留熱除去系(B) 注入配管</p>	<p>h. 重大事故等時の対応手段の選択</p> <p>重大事故等時の対応手段の選択方法は以下のとおり。対応手段の選択フローチャートを第1.4.44図に示す。</p> <p>発電用原子炉停止中に余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合の冷却手段の優先順位を以下に示す。</p> <p>発電用原子炉停止中に崩壊熱除去機能が喪失した場合は、原子炉格納容器からの作業員の退避指示を行い、原子炉格納容器の隔離を行う。</p> <p>原子炉格納容器隔離弁閉操作後に、1次冷却系に開口部がない場合は、蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却を優先する。</p> <p>蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却として、蒸気放出は主蒸気逃がし弁を用い、主蒸気逃がし弁が使用できない場合は、タービンバイパス弁を使用する。蒸気発生器への注水には、電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプを用い、これらの補助給水ポンプが使用できない場合は、操作の容易性から脱気器タンクを水源とした電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水を行う。電動主給水ポンプが使用できない場合は補助給水ピットを水源としたSG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水を行う。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車は使用準備に時間を要することから、電動補助給水ポンプ及びタービン動補助給水ポンプが使用できない場合に準備を開始し、準備が整った際に他の注水手段がなければ蒸気発生器に注水を行う。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水のための水源は、水源の切替えによる注水の中断が発生しない海水を優先して使用し、海水取水箇所へのアクセスに時間を要する場合には、準備時間が最も短い代替給水ピットを使用する。海水の取水ができない場合は、保有水量が大きい原水槽を使用する。原水槽への補給は、2次系純水タンク又はろ過水タンクから移送することにより行う。ただし、ろ過水タンクは、重大事故等対処に悪影響を与える火災の発生がない場合に使用する。</p> <p>主蒸気逃がし弁による発電用原子炉の冷却効果がなくなり低温停止に移行する場合は、蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却を行う。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)                  【大飯】記載箇所の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由④)                  ・泊3号炉は、補助給水ポンプの代替手段のうち、常設設備は電動主給水ポンプとSG直接給水用高圧ポンプがあり、中央制御室からの操作で注水可能な電動主給水ポンプを優先する。</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由④)                  ・泊3号炉の可搬型大型送水ポンプ車は、淡水又は海水の注水が可能なため、水源の優先順位を整理している。</p> <p>【大飯】記載表現の相違(記載の明確化)</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>蒸気発生器2次側による炉心冷却ができない場合は、原子炉への注水による冷却を行う。まず、中央制御室で操作可能であり早期に運転が可能となる充てんポンプ、その次に準備時間の短い高圧注入ポンプによる原子炉への注水を行う。充てんポンプ及び高圧注入ポンプが使用できない場合は、燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水を行う。燃料取替用水ピットからの重力注水ができない場合は、蓄圧タンクによる炉心注水を行う。</p> <p>上記により原子炉への注水ができない場合は、A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水を行い、それができない場合は、恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水を行う。</p> <p>なお、A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）と恒設代替低圧注水ポンプの優先順位は、準備時間が短いA格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）を優先する。これらの手段が使用できない場合は、消火ポンプにより代替炉心注水を行う。ただし、構内で火災が発生した場合においては、消火活動に優先して使用する。</p> <p>消火ポンプによる代替炉心注水ができない場合は、海水を水源とした可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水を行う。</p> <p>可搬式代替低圧注水ポンプは重大事故等対処設備であるが、使用準備に時間を要することから、恒設代替低圧注水ポンプによる原子炉への注水手段を失った場合に準備を開始し、準備が整った際に他の注水手段がなければ代替炉心注水を行う。</p>		<p>蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却ができない場合は、原子炉容器への注水による冷却を行う。まず、充てんポンプによる原子炉容器への注水を行う。充てんポンプが使用できない場合は、高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水を行う。高圧注入ポンプが使用できない場合は、中央制御室のみで実施可能である燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水を行うとともに、B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水を行う。それができない場合は、代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水を行う。</p> <p>なお、B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水と代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水の優先順位は、準備時間が短いB-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水を優先する。これらの手段が使用できない場合は、消火ポンプにより原子炉容器への注水を行う。ただし、構内で火災が発生した場合においては、消火活動に優先して使用する。</p> <p>消火ポンプによる原子炉容器への注水ができない場合は、淡水又は海水を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水を行う。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車は重大事故等対処設備であるが、使用準備に時間を要することから、代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水手段を失った場合に準備を開始し、準備が整った際に他の注水手段がなければ代替炉心注水を行う。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水のための水源は、水源の切替えによる注水の中断が発生しない海水を優先して使用し、海水取水箇所へのアクセスに時間を要する場合には、準備時間が最も短い代替給水ピットを使用する。海水の取水ができない場合は、保有水量が大きい原水槽を使用する。原水槽への補給は、2次系純水タンク又はろ過水タンクから移送することにより行う。ただし、ろ過水タンクは、重大事故等対処に悪影響を与える火災の発生がない場合に使用する。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違                  ・泊3号炉も充てんポンプによる炉心注水は中央制御室から操作可能。</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑦）                  【大飯】運用の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由③）                  ・泊3号炉の可搬型大型送水ポンプ車は、淡水又は海水の注水が可能のため、水源の優先順位を整理している。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>炉心注水又は代替炉心注水により燃料取替用水ピット水等を原子炉へ注水後、格納容器再循環サンプに水源を切り替えて、高圧注入ポンプによる高圧再循環運転により原子炉を冷却する。</p> <p>高圧注入ポンプによる高圧再循環運転だけでも十分な冷却効果はあるが、余熱除去ポンプによる冷却効果を補うため、あわせてA格納容器スプレイポンプ（RHR S-C S S連絡ライン使用）による代替再循環運転により原子炉を冷却する。</p> <p>以上の対応手順のフローチャートを第 1.4.41 図に示す。</p>	<p>c. 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱</p> <p>(a) 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱</p> <p>残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）による崩壊熱除去機能が喪失した場合、非常用交流電源設備又は常設代替交流電源設備が使用可能であれば原子炉冷却材浄化系ポンプを起動して発電用原子炉からの除熱を実施する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱ができない場合において、原子炉冷却材浄化系が使用可能な場合*。</p> <p>※：設備に異常がなく、電源及び補機冷却水が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱手順の概要は以下のとおり。概要図を第 1.4-35 図に、タイムチャートを第 1.4-36 図に示す。</p> <p>①発電課長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱準備開始を指示する。</p> <p>②運転員（中央制御室）A は、原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱に必要なポンプ、電動弁及び監視計器の電源、補機冷却水並びに電源容量が確保されていることを状態表示にて確認する。</p> <p>③運転員（中央制御室）A は、原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器出口温度の温度設定が49℃であることを確認する。</p> <p>④運転員（中央制御室）A は、CUW 入口ライン元弁及びCUW ボトムドレンライン元弁が全開であることを確認する。</p> <p>⑤運転員（中央制御室）A は、系統構成としてCUW 入口ライン第一隔離弁及びCUW 入口ライン第二隔離弁の全開操作並びにCUW ろ過脱塩装置バイパス弁の開操作を実施する。</p>	<p>炉心注水又は代替炉心注水により燃料取替用水ピット水等を原子炉容器へ注水後、格納容器再循環サンプに水源を切り替えて、高圧注入ポンプを用いた高圧再循環運転により原子炉容器への注水操作を行う。高圧注入ポンプが使用できない場合は、B-格納容器スプレイポンプ及びB-格納容器スプレイ冷却器を用いた代替再循環運転により原子炉容器への注水操作を行う。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】運用の相違（相違理由②）</p> <p>【大飯】記載箇所の相違（女川実績の反映）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>⑥運転員（中央制御室）Aは、発電課長に原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱準備が完了したことを報告する。</p> <p>⑦発電課長は、運転員に原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱開始を指示する。</p> <p>⑧運転員（中央制御室）Aは、CUWポンプ（A）パージライン止め弁の全開操作を実施する。</p> <p>⑨運転員（中央制御室）Aは、原子炉冷却材浄化系ポンプ（A）を起動し、速やかにCUWろ過脱塩装置バイパス弁の調整開操作を実施し、原子炉冷却材浄化系入口流量指示値の上昇を確認する。</p> <p>⑩運転員（中央制御室）Aは、CUWポンプ（B）パージライン止め弁の全開操作を実施する。</p> <p>⑪運転員（中央制御室）Aは、原子炉冷却材浄化系ポンプ（B）を起動し、CUWろ過脱塩装置バイパス弁の調整開操作を実施する。</p> <p>⑫運転員（中央制御室）Aは、原子炉冷却材浄化系ポンプ（A）及び原子炉冷却材浄化系ポンプ（B）の起動が完了したことを発電課長に報告する。</p> <p>⑬運転員（中央制御室）Aは、原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱が開始されたことを原子炉冷却材浄化系再生熱交換器入口温度指示値の上昇が緩和することにより確認し、発電課長に報告する。</p> <p>iii. 操作の成立性                      上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱開始まで35分以内で可能である。</p> <p>d. 重大事故等時の対応手段の選択                      重大事故等時の対応手段の選択方法は以下のとおり。対応手段の選択フローチャートを第1.4-42図に示す。                      残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）による崩壊熱除去機能が喪失した場合、非常用交流電源設備又は常設代替交流電源設備が使用可能であれば原子炉冷却材浄化系により発電用原子炉からの除熱を実施する。</p>		

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(2) サポート系機能喪失時の手順等</p> <p>a. 代替炉心注水</p> <p>(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水                      運転停止中のミッドループ運転中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、燃料取替用水ピットからの重力注水により燃料取替用水ピット水を原子炉へ注水する手順を整備する。</p> <p>なお、燃料取替用水ピットの重力注水は燃料取替用水ピットの水頭圧を利用するため、燃料取替用水ピットの水位が低下した場合には、重力注水を停止する。</p> <p>(添付資料 1.4.19)</p> <p>i. 手順着手の判断基準                      運転停止中のミッドループ運転中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時、余熱除去設備の崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、燃料取替用水ピットの水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順                      燃料取替用水ピットからの重力注水の原子炉への注水手順の概要は以下のとおり。概略系統を第 1.4.40 図に、タイムチャートを第 1.4.42 図に示す。</p> <p>① 当直課長は、手順着手の判断基準に基づき運転員等に燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉への注水の準備を指示する。</p>	<p>(2) サポート系故障時の対応手順                      【比較のため、川内1/2号炉技術的能力 1.4まとめ資料 1.4.2.3(2)より引用】</p> <p>運転停止中のミッドループ運転期間中において、全交流動力電源喪失+原子炉補機冷却機能喪失事象が発生した場合の炉心注入手段については、常設電動注入ポンプによる炉心注入のほか、蓄圧タンクによる炉心注入（その後に続く常設電動注入ポンプによる炉心注入）が考えられるが、作業者の安全に配慮する必要があることから、蓄圧タンクの炉心注入は実施しない。</p> <p>(添付資料 1.4.20)</p> <p>比較のため、玄海3/4号炉技術的能力1.4まとめ資料 1.4.2.3(2)a.(a)より引用（下線部が泊と同様）】</p> <p>運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、燃料取替用水タンク（ピット）からの重力注入による代替炉心注入を行う。</p> <p>燃料取替用水タンク（ピット）水の水頭圧を利用して炉心へ注水する手順を整備する。</p> <p>ただし、全交流動力電源喪失時には現場での手動操作となり、流量調整等の制御が困難であることから、原子炉格納容器内作業員の安全確保のため退避させ、原子炉格納容器エアロック閉止後に実施する。</p> <p>なお、燃料取替用水タンク（ピット）の重力注入は燃料取替用水タンク（ピット）の水頭圧を利用するため、燃料取替用水タンク（ピット）の水位が低下した場合には、重力注入を停止する。</p>	<p>(2) サポート系故障時の対応手順</p> <p>a. 代替炉心注水</p> <p>(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水                      発電用原子炉停止中のミッドループ運転中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、燃料取替用水ピットからの重力注水により燃料取替用水ピット水を原子炉容器へ注水する。ただし、全交流動力電源喪失時には現場での手動操作となり、流量調整等の制御が困難であることから、原子炉格納容器内作業員を安全確保のため退避させ、格納容器エアロック閉止後に実施する。</p> <p>なお、燃料取替用水ピットの重力注水は燃料取替用水ピットの水頭圧を利用するため、燃料取替用水ピットの水位が低下した場合は、重力注水を停止する。</p> <p>(添付資料 1.4.21)</p> <p>i. 手順着手の判断基準                      発電用原子炉停止中のミッドループ運転中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉容器への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合に、燃料取替用水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順                      燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水手順の概要は以下のとおり。概要図を第 1.4.39 図に、タイムチャートを第 1.4.40 図に示す。</p> <p>① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水準備を指示する。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑦）                      ・代替格納容器スプレイポンプによる代替炉心注水の次に燃料取替用水ピットの水頭圧による注水を実施し、これに並行して、B-充てんポンプ(自己冷却)による原子炉容器への注水準備も開始する。</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)                      【大飯】記載方針の相違                      ・作業員の安全確保に関する記載は伊方及び玄海と同様。</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p>



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>② 運転員等は、中央制御室で燃料取替用水ピットからの重力注水に必要な系統構成と他の系統と連絡する弁の閉を確認する。</p> <p>③ 当直課長は、運転員等に原子炉への注水が可能となれば、原子炉への注水開始を指示する。</p> <p>④ 運転員等は、現場で余熱除去ポンプRWSピット及び再循環サンプ側入口弁を手動で開操作し、燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉への注水を開始する。注水開始後、中央制御室で燃料取替用水ピット水位、1次冷却系統水位<sup>*10</sup>及び加圧器水位により、原子炉への注水が確保されたことを確認する。</p> <p>⑤ 運転員等は、中央制御室で1次冷却材温度により、原子炉が継続して冷却状態であることを確認する。</p> <p>※10：全交流動力電源が喪失した場合は、常用系の蓄電池により約30分の監視が可能。また、空冷式非常発電装置により電源喪失から30分後には電源が回復するため、30分以降も継続監視が可能である。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の対応は中央制御室にて1ユニット当たり運転員等1名、現場にて1ユニット当たり運転員等1名により作業を実施し、所要時間は約25分と想定する。</p> <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、可搬型照明、通信設備等を整備する。作業環境の周囲温度は通常運転状態と同程度である。</p> <p>(添付資料 1.4.20)</p> <p>(b) 蓄圧タンクによる代替炉心注水</p> <p>運転停止中のミッドループ運転中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備である余熱除去ポンプの機能喪失により崩壊熱除去機能が喪失した場合、蓄圧タンクにより原子炉へ注水する手順を整備する。</p> <p>蓄圧タンクによる代替炉心注水についてはタンク内圧</p>		<p>② 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で燃料取替用水ピットからの重力注水に必要な系統構成と他の系統と連絡する弁の閉を確認し、発電課長（当直）に報告する。</p> <p>③ 発電課長（当直）は、運転員に原子炉容器への注水が可能となれば、原子炉容器への注水開始を指示する。</p> <p>④ 運転員（現場）B及びCは、現場で余熱除去ポンプRWSP側入口弁及び余熱除去ポンプRWSP/再循環サンプ側入口弁を手動で開操作し、燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水を開始したことを発電課長（当直）に報告する。</p> <p>⑤ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で低圧注入流量、燃料取替用水ピット水位、1次冷却系統ループ水位<sup>*7</sup>及び加圧器水位により原子炉容器への注水が確保されたことを確認し、発電課長（当直）に報告する。</p> <p>⑥ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で1次冷却材温度により発電用原子炉が継続して冷却状態であることを確認する。</p> <p>※7 全交流動力電源が喪失した場合は、常用系の蓄電池により約30分の監視が可能。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名及び運転員（現場）2名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水開始まで25分以内で可能である。</p> <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。室温は通常運転時と同程度である。</p> <p>(添付資料 1.4.22)</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>・泊はフロントライン系故障時の操作と同様に、伊方及び玄海の同手順に記載がある「低圧注入流量」も記載（玄海：余熱除去流量、伊方：余熱除去ループ流量）。大飯も監視計器一覧に「余熱除去流量計」の記載があるため、実質相違なし。</p> <p>【大飯】記載方針の相違</p> <p>・泊は「1次冷却系統ループ水位」の監視設備への供給電源は、代替非常発電機による給電時の切離し対象負荷として、技術的能力1.14にて整理していることから、常用系の蓄電池が枯渇し当該計器が使用できなくなった後は他のパラメータにて確認する。自主対策設備の監視計器であり、使用できない場合の代替パラメータを技術的能力1.15にて整理している点は泊と同様。</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑦）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>力を利用するため蓄圧タンク水位が低下して圧力が下がった場合には、原子炉への注水を停止する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                      燃料取替用水ピットの重力注水により、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、原子炉へ注水するために必要な蓄圧タンク水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順                      1.4.2.3(1)a.(c)と同様。                      (添付資料 1.4.21)</p> <p>(c) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</p> <p>運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、恒設代替低圧注水ポンプにより燃料取替用水ピット水を原子炉へ注水する手順を整備する。                      恒設代替低圧注水ポンプの水源として燃料取替用水ピットが使用できない場合は、復水ピットを使用する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                      運転停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時、余熱除去設備の崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ピット等の水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順                      1.4.2.1(1)b.(b)と同様。</p> <p>(d) A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による代替炉心注水                      運転停止中に原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、A余熱除去ポンプ（空調用冷水）により燃料取替用水ピット水を原子炉へ注水する手順を整備する。</p>		<p>(b) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水                      発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、代替格納容器スプレイポンプにより燃料取替用水ピット水を原子炉容器へ注水する。                      代替格納容器スプレイポンプの水源として燃料取替用水ピットが使用できない場合は、補助給水ピットを使用する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                      発電用原子炉停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉容器への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合に、原子炉容器へ注水するために必要な燃料取替用水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順                      代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水については、1.4.2.1(1)b.(b)「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性                      上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び災害対策要員1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水開始まで35分以内で可能である。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑥）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>i. 手順着手の判断基準                      運転停止中に原子炉補機冷却機能喪失時、恒設代替低圧注水ポンプの故障等により、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順                      1.4.2.1(2)a. (b)と同様。</p> <p>(e) B充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水</p> <p>運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、B充てんポンプ（自己冷却）により燃料取替用水ピット水を原子炉へ注水する手順を整備する。</p> <p>B充てんポンプの水源として燃料取替用水ピットが使用できない場合は、復水ピットを使用する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                      運転停止中に全交流動力電源が喪失時、恒設代替低圧注水ポンプの故障等により、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ピット等の水位が確保されている場合。</p> <p>運転停止中に原子炉補機冷却機能喪失時は、A余熱除去ポンプ（空調用冷水）の機能喪失により、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ピット等の水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順                      1.4.2.1(2)a. (c)と同様。</p>		<p>(c) B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、B-充てんポンプ（自己冷却）により燃料取替用水ピット水を原子炉容器へ注水する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                      発電用原子炉停止中に代替格納容器スプレイポンプの故障等により、原子炉容器への注水を代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量等にて確認できない場合に、原子炉容器へ注水するために必要な燃料取替用水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順                      B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水については、1.4.2.1(2)a. (b)「B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性                      上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び災害対策要員1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してからB-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水開始まで40分以内で可能である。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由①）</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由①）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(f) <b>A格納容器スプレイポンプ</b>（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による<b>代替炉心注水</b>                  運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、<b>A格納容器スプレイポンプ</b>（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）により燃料取替用水ピット水を原子炉へ注水する<b>手順を整備する</b>。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                  運転停止中に<b>全交流動力電源喪失時</b>、<b>B充てんポンプ</b>（自己冷却）の故障等により原子炉への注水を<b>充てん水流量</b>等にて確認できない場合に、原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順                  1.4.2.1(2)a.(d)と同様。</p> <p>(g) <b>ディーゼル消火ポンプ又は電動消火ポンプ</b>による<b>代替炉心注水</b>                  運転停止中において、全交流動力電源喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、常用設備である<b>ディーゼル消火ポンプ</b>により<b>No.2淡水タンク</b>水を原子炉へ注水する<b>手順を整備する</b>。                  また、<b>運転停止中</b>において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合、常用設備である<b>電動消火ポンプ</b>又は<b>ディーゼル消火ポンプ</b>により<b>No.2淡水タンク</b>水を原子炉へ注水する<b>手順を整備する</b>。                  使用には、<b>重大事故等</b>対処に悪影響を与える火災が発生していないことを確認して使用する。</p>		<p>(d) <b>B格納容器スプレイポンプ</b>（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による<b>原子炉容器への注水</b>                  発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、<b>B格納容器スプレイポンプ</b>（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）により燃料取替用水ピット水を原子炉容器へ注水する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                  発電用原子炉停止中に<b>B充てんポンプ</b>の故障等により原子炉容器への注水を<b>充てん流量</b>等にて確認できない場合に、原子炉容器へ注水するために必要な燃料取替用水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順  <b>B格納容器スプレイポンプ</b>（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水については、1.4.2.1(2)a.(c)「<b>B格納容器スプレイポンプ</b>（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性                  上記の操作は、<b>運転員</b>（中央制御室）1名及び<b>運転員</b>（現場）2名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから<b>B格納容器スプレイポンプ</b>（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水開始まで50分以内で可能である。</p> <p>(e) <b>ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動機駆動消火ポンプ</b>による<b>原子炉容器への注水</b>                  発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、常用設備である<b>ディーゼル駆動消火ポンプ</b>により<b>ろ過水タンク</b>水を原子炉容器へ注水する。                  また、<b>発電用原子炉停止中</b>において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合、常用設備である<b>電動機駆動消火ポンプ</b>又は<b>ディーゼル駆動消火ポンプ</b>により<b>ろ過水タンク</b>水を原子炉容器へ注水する。                  使用に際しては、<b>重大事故等</b>対処に悪影響を与える火災が発生していないことを確認して使用する。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>i. 手順着手の判断基準                      A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHR S-C S S連絡ライン使用）の故障等により、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、原子炉へ注水するために必要なNo. 2淡水タンク水位が確保されており、かつ重大事故等対処に悪影響を与える火災の発生がなく、消火用として消火ポンプの必要がない場合。</p> <p>ii. 操作手順                      1.4.2.1(1)b. (c)と同様。</p> <p>(h) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水                      運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬式代替低圧注水ポンプにより海水を原子炉へ注水する手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                      A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHR S-C S S連絡ライン使用）の故障等により、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合。</p> <p>ii. 操作手順                      1.4.2.1(1)b. (d)と同様。</p>		<p>i. 手順着手の判断基準                      B格納容器スプレイポンプの故障等により原子炉容器への注水をB格納容器スプレイ流量等にて確認できない場合に、原子炉容器へ注水するために必要な過水タンク水位が確保されており、かつ重大事故等対処に悪影響を与える火災の発生がなく、消火用として消火ポンプの必要がない場合。</p> <p>ii. 操作手順                      ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動機駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水については、1.4.2.1(1)b. (c)の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性                      上記の操作は、運転員（中央制御室）1名及び運転員（現場）2名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから消火ポンプによる原子炉容器への注水開始まで40分以内で可能である。</p> <p>(f) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水                      発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により海水を原子炉容器へ注水する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                      B格納容器スプレイポンプの故障等により、原子炉容器への注水をB格納容器スプレイ流量等にて確認できない場合。</p> <p>ii. 操作手順                      海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水について、1.4.2.1(1)b. (d)「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性                      上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び災害対策要員6名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水開始まで200分以内で可能である。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由②）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>(g) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により代替給水ピットから原子炉容器へ注水する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>B-格納容器スプレイポンプの故障等により、原子炉容器への注水をB-格納容器スプレイ流量等にて確認できない場合において、海水取水箇所へのアクセスに時間を要する又は原水槽が使用できないと判断し、代替給水ピットの水位が確保され、使用できることを確認した場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水については、1.4.2.1(1) b. (e)「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び災害対策要員6名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水開始まで145分以内で可能である。</p> <p>(h) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により原水槽から原子炉容器へ注水する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>B-格納容器スプレイポンプの故障等により、原子炉容器への注水をB-格納容器スプレイ流量等にて確認できない場合において、海水の取水ができないと判断し、原水槽の水位が確保され、使用できることを確認した場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水については、1.4.2.1(1) b. (f)「原水槽</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>b. 代替再循環運転</p> <p>(a) 運転停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合</p> <p>i. B高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</p> <p>運転停止中において、全交流動力電源喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、B高圧注入ポンプ（海水冷却）を用いた高圧代替再循環運転による原子炉への注水を行い、あわせて大容量ポンプを用いた格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却により格納容器を冷却する手順を整備する。</p> <p>(i) 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中に全交流動力電源喪失が発生した場合に、大容量ポンプにより代替補機冷却による冷却水が確保され、高圧代替再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている場合。</p> <p>(ii) 操作手順</p> <p>1.4.2.1(2)b.(a)i.と同様。</p>		<p>を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び災害対策要員6名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水開始まで200分以内で可能である。</p> <p>b. 代替再循環運転</p> <p>(a) 発電用原子炉停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合</p> <p>i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</p> <p>発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転により原子炉容器への注水を行い、あわせて可搬型大型送水ポンプ車を用いたC、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却により原子炉格納容器内を冷却する。</p> <p>(i) 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中に全交流動力電源喪失が発生した場合に、可搬型大型送水ポンプ車による代替補機冷却により冷却水が確保され、高圧代替再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプ水位が確保されている場合。</p> <p>(ii) 操作手順</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転については、1.4.2.1(2)b.(a)i.「可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。</p> <p>(iii) 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転開始まで15分以内で可能である。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合</p> <p>i. A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転</p> <p>運転停止中において、再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合、A余熱除去ポンプ（空調用冷水）を用いた低圧代替再循環運転による原子炉への注水を行い、あわせて大容量ポンプを用いた格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却により格納容器内を冷却する手順を整備する。</p> <p>(i) 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中に原子炉補機冷却機能喪失を原子炉補機冷却水供給母管流量等にて確認した場合に、空調用冷水系が運転中で、低圧代替再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている場合。</p> <p>(ii) 操作手順</p> <p>1.4.2.1(2)b.(b) i.と同様。</p> <p>ii. B高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</p> <p>運転停止中において、再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合、B高圧注入ポンプ（海水冷却）を用いた高圧代替再循環運転による原子炉への注水を行い、あわせて大容量ポンプを用いた格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却により格納容器内を冷却する手順を整備する。</p> <p>(i) 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中に原子炉補機冷却機能喪失時の対応であるA余熱除去ポンプ（空調用冷水）低圧代替再循環運転による炉心への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、大容量ポンプにより代替補機冷却による冷却水が確保され、高圧代替再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている場合。</p> <p>(ii) 操作手順</p> <p>1.4.2.1(2)b.(a) i.と同様。</p>		<p>(b) 発電用原子炉停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合</p> <p>i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</p> <p>発電用原子炉停止中において、原子炉補機冷却機能が喪失し余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転により原子炉容器への注水を行い、あわせて、可搬型大型送水ポンプ車を用いたC、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却により原子炉格納容器内を冷却する。</p> <p>(i) 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中に原子炉補機冷却機能喪失を原子炉補機冷却水供給母管流量等にて確認した場合に、可搬型大型送水ポンプ車による代替補機冷却により冷却水が確保され、高圧代替再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプ水位が確保されている場合。</p> <p>(ii) 操作手順</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転については、1.4.2.1(2)b.(a) i.「可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p>



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>c. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）</p> <p>(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水                  運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプにより復水ピット水を蒸気発生器へ注水する手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                  運転停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、1次冷却系に開口部がなく、蒸気発生器へ注水するために必要な復水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順                  1.4.2.2(1)a.(a)と同様。</p>	<p>（iii）操作の成立性                  上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-1高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転開始まで15分以内で可能である。</p> <p>c. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）</p> <p>(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水                  発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプにより補助給水ピット水を蒸気発生器へ注水する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                  発電用原子炉停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉容器への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合に、1次冷却系に開口部がなく、蒸気発生器へ注水するために必要な補助給水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順                  タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水については、1.4.2.2(1)a.(a)「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性                  上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してからタービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水開始まで5分以内で可能である。</p> <p>(b) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水                  発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、SG直接給水用高圧ポンプにより補助給水ピット水を蒸気発生器へ注水する。                  なお、淡水又は海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p>	<p>(iii) 操作の成立性                  上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-1高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転開始まで15分以内で可能である。</p> <p>c. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）</p> <p>(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水                  発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプにより補助給水ピット水を蒸気発生器へ注水する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                  発電用原子炉停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉容器への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合に、1次冷却系に開口部がなく、蒸気発生器へ注水するために必要な補助給水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順                  タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水については、1.4.2.2(1)a.(a)「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性                  上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してからタービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水開始まで5分以内で可能である。</p> <p>(b) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水                  発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、SG直接給水用高圧ポンプにより補助給水ピット水を蒸気発生器へ注水する。                  なお、淡水又は海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(b) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水</p> <p>運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）により蒸気発生器へ注水する手順を整備する。</p> <p>なお、淡水又は海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中にタービン動補助給水ポンプ及び電動補助給水ポンプの故障等により蒸気発生器への注水が補助給水流量等により確認できない場合に、蒸気発生器へ注水するために必要な復水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>操作手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。</p>		<p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中にタービン動補助給水ポンプ及び電動補助給水ポンプの故障等により蒸気発生器への注水されていることを補助給水流量等にて確認できない場合に、蒸気発生器へ注水するために必要な補助給水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>SG 直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水については、「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b.「SG 直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び災害対策要員1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから SG 直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水開始まで60分以内で可能である。</p> <p>(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により海水を蒸気発生器へ注水する。</p> <p>なお、海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中にタービン動補助給水ポンプ及び電動補助給水ポンプの故障等により蒸気発生器への注水を補助給水流量等で確認できない場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水については、「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び災害対策要員6名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水開始まで230分以内で可能である。</p> <p>(d) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により代替給水ピットから蒸気発生器へ注水する。</p> <p>なお、淡水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブロアダウンラインにより排水を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中にタービン動補助給水ポンプ及び電動補助給水ポンプの故障等により蒸気発生器への注水を補助給水流量等で確認できない場合において、海水取水箇所へのアクセスに時間を要する又は原水槽が使用できないと判断し、代替給水ピットの水位が確保され、使用できることを確認した場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水については、「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) d. 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び災害対策要員6名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水開始まで180分以内で可能である。</p> <p>(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により原水槽から蒸気発生器へ注水する。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>d. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）</p> <p>(a) 主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による蒸気放出                  運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、現場にて手動により主蒸気逃がし弁を開操作して蒸気発生器2次側による炉心冷却を行う<b>手順を整備する。</b></p> <p>i. 手順着手の判断基準                  運転停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を<b>余熱除去流量</b>等にて確認できない場合に、蒸気発生器への注水を補助給水流量等により確保されたことを確認できた場合。</p> <p>ii. 操作手順                  操作手順は「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち1.3.2.2(2)a. 「主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による主蒸気逃がし弁の機能回復」にて</p>		<p>なお、淡水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                  発電用原子炉停止中にタービン動補助給水ポンプ及び電動補助給水ポンプの故障等により蒸気発生器への注水を補助給水流量等で確認できない場合において、海水の取水ができないと判断し、原水槽の水位が確保され、使用できることを確認した場合。</p> <p>ii. 操作手順                  原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水については「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e. 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性                  上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び災害対策要員6名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから<b>原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水開始まで205分以内</b>で可能である。</p> <p>d. 蒸気発生器2次側からの除熱による<b>発電用原子炉</b>の冷却（蒸気放出）                  (a) 主蒸気逃がし弁の現場手動操作による蒸気放出                  発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、現場にて手動により主蒸気逃がし弁を開操作して蒸気発生器2次側からの除熱による<b>発電用原子炉</b>の冷却を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                  発電用原子炉停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉容器への注水を<b>低圧注入流量</b>等にて確認できない場合に、蒸気発生器への注水を補助給水流量等により確保されたことを確認できた場合。</p> <p>ii. 操作手順                  主蒸気逃がし弁の現場手動操作による蒸気放出については、「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(1)b. 「現場手動操作による主</p>	<p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>整備する。</p> <p>e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード</p> <p>運転停止中において、主蒸気逃がし弁による原子炉の冷却効果がなくなり、低温停止へ移行する場合、蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードを行う手順を整備する。</p> <p>蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードは、ポンプ車により海水を蒸気発生器へ注水し、主蒸気ドレンラインを経由し、蒸気発生器ブローダウンタンクに排出させ、適時放射線物質濃度等を確認し排出する。</p> <p>なお、海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>(a) 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、低温停止に移行する場合。</p> <p>(b) 操作手順</p> <p>操作手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。</p>		<p>蒸気逃がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び災害対策要員2名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから主蒸気逃がし弁による蒸気発生器からの蒸気放出開始まで20分以内で可能である。</p> <p>e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却</p> <p>発電用原子炉停止中において、主蒸気逃がし弁による発電用原子炉の冷却効果がなくなり、低温停止へ移行する場合、蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却を行う。</p> <p>蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードは、可搬型大型送水ポンプ車により海水を蒸気発生器へ注水し、主蒸気ドレンラインを経由し、温水ピットに排出させ、適時水質を確認し排出する。</p> <p>なお、海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>(a) 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉容器への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合に、低温停止に移行する場合。</p> <p>(b) 操作手順</p> <p>蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却については、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。</p> <p>(c) 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び災害対策要員6名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード開始まで445分以内で可能である。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（記載の明確化）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、比較表 p1.4-192 より再掲】                      空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(1)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。</p>	<p>a. 復旧                      (a) 残留熱除去系電源復旧後の発電用原子炉からの除熱</p> <p>全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）の故障により、残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱ができない場合は、常設代替交流電源設備により残留熱除去系の電源を復旧し、原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）又は原子炉補機代替冷却水系により冷却水を確保することで、残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）にて発電用原子炉からの除熱を実施する。</p> <p>なお、常設代替交流電源設備に関する手順等は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。</p> <p>また、原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）及び原子炉補機代替冷却水系に関する手順については「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                      常設代替交流電源設備により非常用高圧母線 2C 系及び 2D 系の受電が完了し、残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）が使用可能な状態<sup>※</sup>に復旧された場合。</p> <p>※：設備に異常がなく、電源及び補機冷却水が確保されており、原子炉水位指示値が原子炉水位低（レベル3）以上で維持され、かつ原子炉圧力指示値が規定値以下の状態。</p> <p>ii. 操作手順                      残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）電源復旧後の発電用原子炉からの除熱手順の概要は以下のとおり（残留熱除去系（B）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱手順も同様）。概要図を第 1.4-37 図に、タイムチャートを第 1.4-38 図に示す。                      ①発電課長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱準備開始を指示する。                      ②運転員（中央制御室）A は、残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）の起動に必要なポンプ、電動弁及び監視計器の電源並びに補機冷却水が確保されていること、原子炉水位指示値が原子炉水位低（レベル3）以上で維持されていること、原子炉圧力指示値が原子炉停止時冷却モードインターロック解除の設定値以下であることを状態表示にて確認する。</p>	<p>f. 復旧                      (a) B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水</p> <p>全交流動力電源喪失により、B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水ができない場合は、常設代替交流電源設備によりB-充てんポンプの電源を復旧することで、B-充てんポンプにて原子炉容器へ注水する。</p> <p>なお、常設代替交流電源設備に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                      常設代替交流電源設備により非常用高圧母線の受電が完了し、原子炉容器へ注水するために必要な燃料取替用水ピットの水位が確保され、B-充てんポンプが使用可能な状態に復旧された場合。</p> <p>ii. 操作手順                      B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水については、「1.4.2.1(2) a. (b) B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</p>	<p>【大飯】記載箇所の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）                      【女川】記載表現の相違</p> <p>【女川】記載表現の相違                      ・泊は、条文間及び条文内での整合を図るため、使用可能な状態を具体的に記載している。</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>③運転員（中央制御室）Aは、系統構成として、RHR ポンプ（A）S/C 吸込弁、RHR ポンプ（A） ミニマムフロー弁及び原子炉再循環ポンプ（A） 吐出弁の全開操作並びにRHRA 系停止時冷却吸込第一隔離弁、RHRA 系停止時冷却吸込第二隔離弁、RHR ポンプ（A） 停止時冷却吸込弁の全開操作を実施する。</p> <p>④運転員（中央制御室）Aは、RHR ポンプ（A） ミニマムフロー弁自動開防止措置を実施し、残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード） 運転の準備完了を発電課長に報告する。</p> <p>⑤発電課長は、運転員に残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード） による発電用原子炉からの除熱開始を指示する。</p> <p>⑥運転員（中央制御室）Aは、残留熱除去系ポンプ（A）の起動操作を実施し、残留熱除去系ポンプ（A）の出口圧力が上昇したことを残留熱除去系ポンプ出口圧力にて確認後、RHR A 系停止時冷却注入隔離弁を開操作し、発電用原子炉からの除熱を開始する。</p> <p>⑦運転員（中央制御室）Aは、発電用原子炉からの除熱が開始されたことを残留熱除去系ポンプ出口流量指示値の上昇及び残留熱除去系熱交換器入口温度指示値の低下により確認し、発電課長に報告する。</p> <p>⑧運転員（中央制御室）Aは、RHR 熱交換器（A） 出口弁を調整開し、発電用原子炉からの除熱量を調整する。</p> <p>iii. 操作の成立性                      上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱開始まで30分以内で可能である。</p>	<p>iii. 操作の成立性                      上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び災害対策要員1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してからB-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水開始まで40分以内で可能である。</p> <p>(b) 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転                      全交流動力電源喪失により、A-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転による原子炉容器への注水ができない場合は、常設代替交流電源設備によりA-高圧注入ポンプの電源を復旧することで、可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転にて原子炉容器へ注水する。</p> <p>なお、常設代替交流電源設備に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。</p>	<p>【大飯】記載箇所の相違（女川実績の反映）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>i. 手順着手の判断基準                      常設代替交流電源設備により非常用高圧母線の受電が完了し、可搬型大型送水ポンプ車による代替補機冷却により冷却水が確保され、高圧代替再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されており、A-高圧注入ポンプが使用可能な状態に復旧された場合。</p> <p>ii. 操作手順                      可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転については、1.4.2.1(2) b. (a) i. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性                      上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転開始まで15分以内で可能である。</p> <p>(c) 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水                      全交流動力電源喪失により、電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水ができない場合は、常設代替交流電源設備により電動補助給水ポンプの電源を復旧することで、電動補助給水ポンプにて補助給水ピット水を蒸気発生器へ注水する。                      なお、常設代替交流電源設備に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準                      常設代替交流電源設備により非常用高圧母線の受電が完了し、蒸気発生器へ注水するために必要な補助給水ピットの水位が確保され、電動補助給水ポンプが使用可能な状態に復旧された場合。</p> <p>ii. 操作手順                      電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水については、1.4.2.2(1) a. (a) 「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性                      上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水開始まで5分以内で可能であ</p>	<p>【大飯】記載箇所の相違（女川実績の反映）</p>



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>f. その他の手順項目にて考慮する手順</p> <p>空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(1)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(1)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。</p> <p>燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の復水ピットからの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(3)「燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替」及び1.13.2.2(9)「復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。</p> <p>電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプ及び送水車への燃料補給に関する手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.4(1)「電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプへの燃料補給」及び1.6.2.4(2)「送水車への燃料補給」にて整備する。</p> <p>大容量ポンプを用いた格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却に関する手順については「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.2(1)a.「大容量ポンプを用いたA、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p> <p>g. 優先順位</p> <p>運転停止中にサポート系の機能喪失により崩壊熱除去機能が喪失した場合の冷却手段の優先順位を以下に示す。</p> <p>運転停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合は、空冷式非常用発電装置からの受電準備を行うとともに、格納容器からの作業員の退避指示を行い、格納容器の隔離を行う。格納容器隔離弁閉操作後に、1次冷却系に開口部がない場合は、蒸気発生器2次側による炉心冷却を優先する。</p>	<p>b. 重大事故等時の対応手段の選択</p> <p>重大事故等時の対応手段の選択方法は以下のとおり。対応手段の選択フローチャートを第1.4-42図に示す。</p> <p>常設代替交流電源設備により交流電源が確保できた場合、原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）の運転が可能であれば残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）により発電用原子炉からの除熱を実施する。原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）の運転ができない場合、原子炉補機代替冷却水系を設置し、残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）により発電用原子炉からの除熱を実施するが、原子炉補機代替冷却水系の設置に時間を要することから、低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）等による原子炉圧力容器への注水を並行して実施する。</p>	<p>る。</p> <p>g. 重大事故等時の対応手段の選択</p> <p>重大事故等時の対応手段の選択方法は以下のとおり。対応手段の選択フローチャートを第1.4.44図に示す。</p> <p>発電用原子炉停止中にサポート系の故障により崩壊熱除去機能が喪失した場合の冷却手段の優先順位を以下に示す。</p> <p>発電用原子炉停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合は、常設代替交流電源設備からの受電準備を行うとともに、原子炉格納容器からの作業員の退避指示を行い、原子炉格納容器の隔離を行う。原子炉格納容器隔離弁閉操作後に、1次冷却系に開口部がない場合は、蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却を優先する。</p>	<p>【大飯】記載箇所の相違（女川実績の反映）                  ・泊は1.4.2.5にて同等の内容を整理。</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）                  【大飯】記載箇所の相違（女川実績の反映）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>蒸気発生器2次側による炉心冷却手段として、蒸気発生器への注水については、タービン動補助給水ポンプを使用する。空冷式非常用発電装置からの受電後は必要により電動補助給水ポンプを使用する。これらの補助給水ポンプが使用できない場合は、蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水を行う。</p> <p>蒸気発生器への注水が確保されれば、現場にて手動により主蒸気逃がし弁を開操作し、蒸気発生器2次側による炉心冷却を行う。</p> <p>主蒸気逃がし弁による原子炉の冷却効果がなくなり低温停止に移行する場合は、蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードを行う。</p> <p>蒸気発生器2次側による炉心冷却ができない場合は、原子炉への注水による原子炉の冷却を行う。まず、燃料取替用水ピットの重力注水による代替炉心注水を行う。燃料取替用水ピット（重力注水）は多様性拡張設備であるが、電源回復しない場合でも注水が可能であるため優先して使用する。</p>	<p>【比較のため、玄海3/4号炉技術的能力1.4まとめ資料1.4.2.3(2)g.より引用（下線部が泊と同様）】</p> <p>蒸気発生器による冷却ができない場合は、炉心への注水操作を実施する。まず、燃料取替用水タンク（ピット）による重力注入による代替炉心注水を行う。燃料取替用水タンク（ピット）による重力注入は多様性拡張設備であるが、電源回復しない場合でも注水が可能であるため優先して使用する。ただし、全交流動力電源喪失時においては現場での手動操作となり、流量調整等の制御が困難であることから、安全確保のため原子炉格納容器内作業員を退避させ、原子炉格納容器エアロックを閉止した後に実施する。</p>	<p>蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却手段として、蒸気発生器への注水については、タービン動補助給水ポンプを使用する。常設代替交流電源設備からの受電後は必要により電動補助給水ポンプを使用する。これらの補助給水ポンプが使用できない場合は、SG直接給水用高圧ポンプを使用する。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車は使用準備に時間を要することから、タービン動補助給水ポンプ及び電動補助給水ポンプが使用できない場合に準備を開始し、準備が整った際に他の注水手段がなければ蒸気発生器に注水を行う。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水のための水源は、水源の切替えによる注水の中断が発生しない海水を優先して使用し、海水取水箇所へのアクセスに時間を要する場合には、準備時間が最も短い代替給水ピットを使用する。海水の取水ができない場合は、保有水量が大きい原水槽を使用する。原水槽への補給は、2次系純水タンク又はろ過水タンクから移送することにより行う。ただし、ろ過水タンクは、重大事故等対処に悪影響を与える火災の発生がない場合に使用する。</p> <p>蒸気発生器への注水が確保されれば、現場にて手動により主蒸気逃がし弁を開操作し、蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却を行う。</p> <p>主蒸気逃がし弁による発電用原子炉の冷却効果がなくなり低温停止に移行する場合は、蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却を行う。</p> <p>蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却ができない場合は、原子炉容器への注水による発電用原子炉の冷却を行う。まず、燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水を行う。燃料取替用水ピットによる重力注水は自主対策設備であるが、電源回復しない場合でも注水が可能であるため優先して使用する。ただし、全交流動力電源喪失時においては現場での手動操作となり、流量調整等の制御が困難であることから、安全確保のため原子炉格納容器内作業員を退避させ、格納容器エアロックを閉止した後に実施する。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）                  ・泊3号炉の可搬型大型送水ポンプ車は、淡水又は海水の注水が可能なため、水源の優先順位を整理している。</p> <p>【大飯】記載表現の相違（記載の明確化）</p> <p>【大飯】記載方針の相違                  ・作業員の安全確保に関する記載は伊方及び玄海と同様。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>空冷式非常用発電装置から受電後は、蓄圧タンクによる代替炉心注水に加え、継続的に炉心に注水するために恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水を行う。恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水ができない場合は、高揚程であるB充てんポンプ（自己冷却）を使用する。B充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水ができない場合は、A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水を行う。</p> <p>A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水ができない場合は、消火ポンプによる代替炉心注水を行う。ただし、構内で火災が発生した場合においては、消火活動に優先して使用する。消火ポンプによる代替炉心注水ができない場合は、海水を水源とした可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水を行う。可搬式代替低圧注水ポンプは重大事故等対処設備であるが、使用準備に時間を要することから、A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉への注水手段を失った場合に準備を開始し、多様な拡張設備を含む他の注水手段がなければ原子炉への注水を行う。</p> <p>また、原子炉補機冷却機能喪失時は上記手段に加えて空調用冷水を使用したA余熱除去ポンプ及び電動消火ポンプによる原子炉への注水手段がある。A余熱除去ポンプ（空調用冷水）は恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水ができない場合に使用する。電動消火ポンプは原子炉補機冷却機能喪失時でも使用可能なためA格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水ができない場合に使用する。</p>	<p>【比較のため、玄海3/4号炉技術的能力1.4まとめ資料1.4.2.3(2)g.より引用（下線部が泊と同様）】</p> <p>大容量空冷式発電機から受電後は、常設電動注入ポンプ、B充てんポンプ（自己冷却）、B格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSSタイライン使用）による代替炉心注水を行う。各操作の優先順位は、現場での系統構成が容易な常設電動注入ポンプによる代替炉心注水を優先する。常設電動注入ポンプによる代替炉心注水ができない場合は、B充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水を行い、それができない場合は、B格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSSタイライン使用）による代替炉心注水を行う。</p>	<p>常設代替交流電源設備から受電後は、継続的に原子炉容器に注水するために代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水を行う。代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水ができない場合は、高揚程であるB-充てんポンプを使用する。B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水ができない場合は、B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水を行う。</p> <p>B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水ができない場合は、消火ポンプによる原子炉容器への注水を行う。ただし、構内で火災が発生した場合においては、消火活動に優先して使用する。消火ポンプによる原子炉容器への注水ができない場合は、淡水又は海水を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水を行う。可搬型大型送水ポンプ車は重大事故等対処設備であるが、使用準備に時間を要することから、B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水手段を失った場合に準備を開始し、準備が整った際に他の注水手段がなければ原子炉容器への注水を行う。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水のための水源は、水源の切替えによる注水の中断が発生しない海水を優先して使用し、海水取水箇所へのアクセスに時間を要する場合には、準備時間が最も短い代替給水ピットを使用する。海水の取水ができない場合は、保有水量が大きい原水槽を使用する。原水槽への補給は、2次系純水タンク又はろ過水タンクから移送することにより行う。ただし、ろ過水タンクは、重大事故等対処に悪影響を与える火災の発生がない場合に使用する。</p> <p>また、原子炉補機冷却機能喪失時は上記手段に加えて電動機駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水手段がある。電動機駆動消火ポンプは原子炉補機冷却機能喪失時でも使用可能なためB-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水ができない場合に使用する。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由⑦）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由③）                  ・泊3号炉の可搬型大型送水ポンプ車は、淡水又は海水の注水が可能のため、水源の優先順位を整理している。</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑥）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>代替炉心注水により燃料取替用水ピット水等を原子炉へ注水後、大容量ポンプによる補機冷却水が確保できれば格納容器再循環サンプに水源を切り替えて、B高圧注入ポンプ（海水冷却）を用いた高圧代替再循環運転により原子炉への注水を行い、あわせて大容量ポンプからの海水を格納容器再循環ユニットの冷却系へ通水することにより格納容器内を冷却する。</p> <p>運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合は、代替炉心注水により燃料取替用水ピット水等を原子炉へ注水後、格納容器再循環サンプに水源を切り替えて、準備時間の短いA余熱除去ポンプ（空調用冷水）を用いた低圧代替再循環運転による原子炉への注水を行い、あわせて大容量ポンプからの海水を格納容器再循環ユニットの冷却系へ通水することにより格納容器内を冷却する。</p> <p>A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転ができない場合は、B高圧注入ポンプ（海水冷却）を用いた高圧代替再循環運転により原子炉へ注水を行う。</p> <p>以上の対応手順のフローチャートを第 1.4.43 図に示す。</p>		<p>代替炉心注水により燃料取替用水ピット水等を原子炉容器へ注水後、可搬型大型送水ポンプ車による補機冷却水が確保できれば格納容器再循環サンプに水源を切り替えて、可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転により原子炉容器へ注水を行い、あわせて可搬型大型送水ポンプ車からの海水を格納容器再循環ユニットの冷却系へ通水することにより原子炉格納容器内を冷却する。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大飯】記載箇所の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(3) 原子炉格納容器内の作業員を退避させる手順等</p> <p>運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合又は1次冷却材が流出した場合に、燃料取替用水ピットの保有水を充てんポンプ等にて原子炉へ注水して開放中の加圧器安全弁から格納容器内へ蒸散させることにより原子炉を冷却する。この場合は、格納容器内の雰囲気悪化から格納容器内の作業員を守るために作業員を退避させる。</p> <p>また、運転停止中に1次冷却系の希釈事象が発生し、中性子源領域中性子束が上昇した場合は、格納容器内の作業員を守るために作業員を退避させる。</p> <p>なお、運転停止中のミッドループ運転期間外の作業員の退避については、原子炉容器に燃料を装荷した状態で、かつ1次冷却系に開口部がある期間は運転停止中のミッドループ運転中と同じ管理を行う。</p> <p style="text-align: right;">(添付資料 1.4.22)</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時、余熱除去設備の崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合又は格納容器サンプの水位等にて1次冷却材の流出を確認した場合。</p> <p>運転停止中に1次冷却系の希釈事象が発生し、中性子源領域中性子束の上昇により停止時SR中性子束高退避警報作動警報が発信した場合又は停止時SR中性子束高退避警報作動警報が発信するおそれがある場合。</p> <p>b. 操作手順</p> <p>格納容器内の作業員を退避させる手順の概要は以下のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 当直課長は、手順着手の判断基準に基づき運転員等に格納容器内の作業員に対し退避を促すよう指示する。</li> <li>② 運転員等は、中央制御室でエバケーションアラーム又はベージング装置により格納容器内の作業員へ退避を指示する。</li> <li>③ 出入監視員は、現場で格納容器内入退域を管理する装置により、全作業員が退避していることを確認する。</li> <li>④ 各作業の作業責任者（又は代理人）は、現場で作業員の点呼を行い、全作業員が退避していることを確認す</li> </ol>		<p>(3) 原子炉格納容器内の作業員を退避させる手順等</p> <p>発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合又は1次冷却材が流出した場合に、燃料取替用水ピットの保有水を充てんポンプ等にて原子炉容器へ注水して開放中の加圧器安全弁から原子炉格納容器内へ蒸散させることにより発電用原子炉を冷却する。この場合は、原子炉格納容器内の雰囲気悪化から原子炉格納容器内の作業員を守るために作業員を退避させる。</p> <p>また、発電用原子炉停止中に1次冷却系の希釈事象が発生し、中性子源領域中性子束が上昇した場合は、原子炉格納容器内の作業員を守るために作業員を退避させる。</p> <p>なお、発電用原子炉停止中のミッドループ運転期間外の作業員の退避については、原子炉容器に燃料を装荷した状態で、かつ1次冷却系に開口部がある期間は発電用原子炉停止中のミッドループ運転中と同じ管理を行う。</p> <p style="text-align: right;">(添付資料 1.4.24)</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉容器への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合又は格納容器サンプの水位等にて1次冷却材の流出を確認した場合。</p> <p>発電用原子炉停止中に1次冷却系の希釈事象が発生し、中性子源領域中性子束の上昇によりSR炉停止時中性子束高警報が発信した場合、又はSR炉停止時中性子束高警報が発信するおそれがある場合。</p> <p>b. 操作手順</p> <p>原子炉格納容器内の作業員を退避させる手順の概要は以下のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に原子炉格納容器内の作業員に対し退避を促すよう指示する。</li> <li>② 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で格納容器内退避警報又は所内通話設備により原子炉格納容器内の作業員へ退避を指示する。</li> <li>③ 格納容器出入管理員は、現場で原子炉格納容器入口付近のC/V入域退出管理簿を確認し、全作業員の退避を確認する。</li> </ol>	<p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊3号炉は社内規程類にて定めるC/V入域退出管理簿により入退域を管理。</li> <li>・大飯3/4号炉と入退域の管理が異なるが、作業員の退避を確認することに相違</li> </ul>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>る。</p> <p>⑤ 作業責任者（又は代理人）は、現場で出入監視員に点呼結果を連絡し、出入監視員は全作業員が退避していることを再確認する。</p> <p>⑥ 出入監視員は、現場で格納容器エアロックを閉止する。</p> <p>c. 操作の成立性                      上記の対応は中央制御室にて1ユニット当たり運転員等1名、現場にて1ユニット当たり出入監視員1名により作業を実施し、所要時間は約30分と想定する。</p> <p>円滑に作業ができるように、移動経路を確保し、可搬型照明、通信設備等を整備する。作業環境の周囲温度は通常運転状態と同程度である。                      （添付資料 1.4.22）</p>		<p>④ 格納容器出入管理員は、現場で格納容器エアロックを閉止する。</p> <p>⑤ 運転員（現場）Bは、現場で格納容器エアロックが閉止されたことを確認する。</p> <p>c. 操作の成立性                      上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び格納容器出入管理員1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから格納容器エアロックを閉止まで40分以内で可能である。</p> <p>円滑に作業ができるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。室温は通常運転時と同程度である。                      （添付資料 1.4.24）</p>	<p>なし。</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>1.4.2.3 重大事故等対処設備（設計基準拡張）による対応手順</p> <p>(1) 残留熱除去系（低圧注水モード）による原子炉圧力容器への注水                      残留熱除去系（低圧注水モード）が健全な場合は、自動起動（原子炉水位低（レベル1）又はドライウェル圧力高）による作動又は中央制御室からの手動操作により残留熱除去系（低圧注水モード）を起動し、サプレッションチェンバを水源とした原子炉圧力容器への注水を実施する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準                      復水給水系、原子炉隔離時冷却系及び高圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水ができず、原子炉圧力容器内の水位を原子炉水位低（レベル3）以上に維持できない場合。</p> <p>b. 操作手順                      残留熱除去系（A）（低圧注水モード）による原子炉圧力容器への注水手順の概要は以下のとおり（残留熱除去系（B）（低圧注水モード）又は残留熱除去系（C）（低圧注水モード）による原子炉圧力容器への注水手順も同様）。概要図を第1.4-39図に示す。</p>	<p>1.4.2.4 重大事故等対処設備（設計基準拡張）による対応手順</p> <p>(1) 高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水                      高圧注入ポンプが健全な場合は、自動起動信号（原子炉圧力低と加圧器水位低の一致、原子炉圧力異常低又は原子炉格納容器圧力高）による作動又は中央制御室からの手動操作により高圧注入ポンプを起動し、燃料取替用水ピットを水源とした原子炉容器への注水を実施する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準                      高圧注入ポンプの自動起動信号（原子炉圧力低と加圧器水位低の一致、原子炉圧力異常低又は原子炉格納容器圧力高）が発信した場合。</p> <p>b. 操作手順                      高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水については、1.4.2.3(1) a. (b)「高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>c. 操作の成立性                      上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p> <p>(2) 余熱除去ポンプによる原子炉容器への注水                      余熱除去ポンプが健全な場合は、自動起動信号（原子炉圧力低と加圧器水位低の一致、原子炉圧力異常低又は原子炉格納容器圧力高）による作動又は中央制御室からの手動操作により余熱除去ポンプを起動し、燃料取替用水ピットを水源とした原子炉容器への注水を実施する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準                      余熱除去ポンプの自動起動信号（原子炉圧力低と加圧器水位低の一致、原子炉圧力異常低又は原子炉格納容器圧力高）が発信した場合。</p> <p>b. 操作手順                      余熱除去ポンプによる原子炉容器への注水手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.4.41図に示す。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映)                      ・重大事故等対処設備（設計基準拡張）による手順新規追加</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>①発電課長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に残留熱除去系(A)(低圧注水モード)による原子炉圧力容器への注水準備開始を指示する。</p> <p>②運転員(中央制御室)Aは、中央制御室からの手動起動操作又は自動起動信号(原子炉水位低(レベル1)又はドライウエル圧力高)により残留熱除去系ポンプ(A)が起動し、残留熱除去系ポンプ出口圧力指示値が規定値以上となったことを確認後、発電課長に残留熱除去系(A)(低圧注水モード)による原子炉圧力容器への注水準備完了を報告する。</p> <p>③発電課長は、原子炉圧力容器内の圧力が残留熱除去系ポンプ(A)の出口圧力以下であることを確認後、運転員に残留熱除去系(A)(低圧注水モード)による原子炉圧力容器への注水開始を指示する。</p> <p>④運転員(中央制御室)Aは、中央制御室からの手動操作又は自動起動信号(原子炉水位低(レベル1)及び注入隔離弁差圧低又はドライウエル圧力高及び注入隔離弁差圧低)によりRHR A系LPCI注入隔離弁が全開となったことを確認する。</p> <p>⑤運転員(中央制御室)Aは、原子炉圧力容器への注水が開始されたことを残留熱除去系ポンプ出口流量指示値の上昇及び原子炉水位指示値の上昇により確認し、発電課長に報告するとともに原子炉圧力容器内の水位を原子炉水位低(レベル3)から原子炉水位高(レベル8)の間で維持する。</p> <p>※ 原子炉圧力容器内の水位が維持され原子炉圧力容器への注水が不要となる間、原子炉格納容器内にスプレイする場合は、RHR A系LPCI注入隔離弁を全開後、RHR A系格納容器スプレイ隔離弁、RHR A系格納容器スプレイ流量調整弁及びRHR A系S/Cスプレイ隔離弁を全開してスプレイを実施する。</p> <p>c. 操作の成立性                      上記の操作は、運転員(中央制御室)1名にて操作を実施する。操作スイッチによる中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p> <p>(2) 低圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水                      低圧炉心スプレイ系が健全な場合は、自動起動(原子炉水位低(レベル1)又はドライウエル圧力高)による作動又は中央制御室からの手動操作により低圧炉心スプレイ系を起動し、サブプレッションチェンバを水源とした原子炉圧力容器への注水を実施する。</p>	<p>① 発電課長(当直)は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に余熱除去ポンプによる原子炉容器への注水開始を指示する。</p> <p>② 運転員(中央制御室)Aは、中央制御室からの手動起動操作又は自動起動信号により余熱除去ポンプが起動したことを確認し、発電課長(当直)に報告する。</p> <p>③ 運転員(中央制御室)Aは、中央制御室で低圧注入流量等により原子炉容器への注水が実施できていることを確認するとともに1次冷却材温度等により発電用原子炉の冷却状態及び余熱除去ポンプの運転状態に異常がないことを継続して確認する。また、冷却状態が維持できない場合は、溢水させフィールドアンドブリード運転とする。</p> <p>c. 操作の成立性                      上記の操作は、運転員(中央制御室)1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p> <p>(3) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転                      高圧注入ポンプが健全な場合は、高圧注入ポンプによる高圧再循環運転を行い、格納容器再循環サンプル水を原子炉容器へ注水する。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映)                      ・重大事故等対処設備(設計基準拡張)による手順新規追加</p>



泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>a. 手順着手の判断基準                      復水給水系、原子炉隔離時冷却系及び高圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水ができず、原子炉圧力容器内の水位を原子炉水位低（レベル3）以上に維持できない場合。</p> <p>b. 操作手順                      低圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水手順の概要は以下のとおり。                      概要図を第1.4-40図に示す。</p> <p>①発電課長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に低圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水準備開始を指示する。</p> <p>②運転員（中央制御室）Aは、中央制御室からの手動起動操作又は自動起動信号（原子炉水位低（レベル1）又はドライウエル圧力高）により低圧炉心スプレイ系ポンプが起動し、低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力指示値が規定値以上となったことを確認後、発電課長に低圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水準備完了を報告する。</p> <p>③発電課長は、原子炉圧力容器内の圧力が低圧炉心スプレイ系ポンプの出口圧力以下であることを確認後、運転員に低圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水開始を指示する。</p> <p>④運転員（中央制御室）Aは、中央制御室からの手動操作又は自動起動信号（原子炉水位低（レベル1）及び注入隔離弁差圧低又はドライウエル圧力高及び注入隔離弁差圧低）によりLPCS注入隔離弁が全開となったことを確認する。</p> <p>⑤運転員（中央制御室）Aは、原子炉圧力容器への注水が開始されたことを低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量指示値の上昇及び原子炉水位指示値の上昇により確認し、発電課長に報告するとともに原子炉圧力容器内の水位を原子炉水位低（レベル3）から原子炉水位高（レベル8）の間で維持する。</p> <p>c. 操作の成立性                      上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作スイッチによる中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p>	<p>a. 手順着手の判断基準                      高圧再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている場合。</p> <p>b. 操作手順                      高圧注入ポンプによる高圧再循環運転については、1.4.2.1(1)c.(a)「高圧注入ポンプによる高圧再循環運転」の操作手順と同様である。</p> <p>c. 操作の成立性                      上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）                      ・重大事故等対処設備（設計基準拡張）による手順新規追加</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(3) 残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱</p> <p>残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）が健全な場合は、中央制御室からの手動操作により残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）を起動し、発電用原子炉からの除熱を実施する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>原子炉水位指示値が原子炉水位低（レベル3）以上で維持され、かつ原子炉圧力指示値が規定値以下の場合。</p>	<p>(4) 余熱除去ポンプによる低圧再循環運転</p> <p>余熱除去ポンプが健全な場合は、余熱除去ポンプによる低圧再循環運転を行い、格納容器再循環サンプル水を原子炉容器へ注水する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>低圧再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプルの水位が確保されている場合。</p> <p>b. 操作手順</p> <p>余熱除去ポンプによる低圧再循環運転手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.4.42図に示す。</p> <p>① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に余熱除去ポンプによる低圧再循環運転開始を指示する。</p> <p>② 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で系統構成を行い、余熱除去ポンプによる低圧再循環運転を開始する。</p> <p>③ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で余熱除去ポンプにより原子炉容器へ注水されていることを低圧注入流量等で確認し、発電課長（当直）に報告する。</p> <p>④ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で1次冷却材温度等により、発電用原子炉が冷却状態にあることを継続して確認する。</p> <p>c. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p> <p>(5) 余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱</p> <p>余熱除去ポンプが健全な場合は、中央制御室からの手動操作により余熱除去ポンプを起動し、発電用原子炉からの除熱を実施する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>1次冷却材温度 177℃未満及び1次冷却材圧力 2.7MPa[gage]以下の場合。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重大事故等対処設備（設計基準拡張）による手順新規追加</li> </ul>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>b. 操作手順</p> <p>残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱手順の概要は以下のとおり（残留熱除去系（B）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱手順も同様）。概要図を第1.4-41図に示す。</p> <p>①発電課長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱準備開始を指示する。</p> <p>②運転員（中央制御室）Aは、原子炉水位指示値が原子炉水位低（レベル3）以上で維持されていること、原子炉圧力指示値が原子炉停止時冷却モードインターロック解除の設定値以下であることを確認する。</p> <p>③運転員（中央制御室）Aは、系統構成として、RHRポンプ（A）S/C吸込弁、RHRポンプ（A）ミニマムフロー弁及び原子炉再循環ポンプ（A）吐出弁の全開操作並びにRHR A系停止時冷却吸込第一隔離弁、RHR A系停止時冷却吸込第二隔離弁及びRHRポンプ（A）停止時冷却吸込弁の全開操作を実施する。</p> <p>④運転員（中央制御室）Aは、RHRポンプ（A）ミニマムフロー弁自動開防止措置を実施し、残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）運転の準備完了を発電課長に報告する。</p> <p>⑤発電課長は、運転員に残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱開始を指示する。</p> <p>⑥運転員（中央制御室）Aは、残留熱除去系ポンプ（A）の起動操作を実施し、残留熱除去系ポンプ（A）出口圧力指示値が上昇したことを残留熱除去系ポンプ出口圧力にて確認後、RHR A系停止時冷却注入隔離弁を開操作し、発電用原子炉からの除熱を開始する。</p> <p>⑦運転員（中央制御室）Aは、発電用原子炉からの除熱が開始されたことを残留熱除去系ポンプ出口流量指示値の上昇及び残留熱除去系熱交換器入口温度指示値の低下により確認し、発電課長に報告する。</p> <p>⑧運転員（中央制御室）Aは、RHR熱交換器（A）出口弁を調整開し、発電用原子炉からの除熱量を調整する。</p> <p>c. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作スイッチによる中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p>	<p>b. 操作手順</p> <p>余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.4.43図に示す。</p> <p>① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱準備開始を指示する。</p> <p>② 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で1次冷却材温度177℃未満及び1次冷却材圧力2.7MPa[gage]以下であることを確認する。</p> <p>③ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で系統構成を実施し、余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱準備完了を発電課長（当直）に報告する。</p> <p>④ 発電課長（当直）は、運転員に余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱開始を指示する。</p> <p>⑤ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で余熱除去ポンプの起動操作を実施し、1次冷却材温度等により発電用原子炉からの除熱が開始されたことを確認し、発電課長（当直）に報告する。</p> <p>⑥ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で1次冷却材温度等により発電用原子炉が冷却状態にあることを継続して確認する。</p> <p>c. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）          ・重大事故等対処設備（設計基準拡張）による手順新規追加</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.4.2.4 復旧に係る手順等</p> <p>全交流動力電源が喪失した場合は、代替電源を設計基準対処設備に給電し、起動及び十分な期間の運転を継続させる。また、燃料取替用水ピットの枯渇、破損のおそれがある場合は、代替水源により水を供給する。</p> <p>空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(1)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(1)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。また、燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の補給手順等は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(3)「燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替」及び1.13.2.2(9)「復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。</p> <p>余熱除去ポンプの機能喪失により余熱除去設備が使用できない場合は、余熱除去設備の復旧を継続して実施する。低温停止に移行する場合に、余熱除去設備が復旧していない場合は、1.4.2.2(1)c.「蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」により低温停止に移行する。</p> <p>全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合は、1.4.2.1(2)「サポート系機能喪失時の手順等」で示した手順で対応する。また、運転停止中に全交流動力電源喪失が発生した場合は、1.4.2.3(2)「サポート系機能喪失時の手順等」で示した手順で対応する。</p>			<p>【大飯】記載箇所の相違(女川実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊の復旧に係る手順は、1.4.1.1、1.4.1.2及び1.4.1.3の復旧にて整理している。</li> <li>・代替電源に関する手順、常設代替交流電源設備への燃料補給手順及び燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の補給手順については、1.4.2.5で網羅している。</li> </ul> <p>【大飯】記載箇所の相違(女川実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊は1.4.2.5「その他の手順項目について考慮する手順」で整理している。</li> </ul>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、比較表p1.4-99より再掲】</p> <p>e. その他の手順項目にて考慮する手順                      燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の復水ピットからの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要となる水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(3)「燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替」及び1.13.2.2(9)「復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。                      燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の1次系純水タンク及びほう酸タンクからの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要となる水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(1)「燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの水源切替」及び1.13.2.2(5)「1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。</p> <p>電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）及び送水車への燃料補給に関する手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.4(1)「電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプへの燃料補給」及び1.6.2.4(2)「送水車への燃料補給」にて整備する。</p> <p>1次冷却材喪失事象の発生に伴い、炉心損傷の兆候が見られた場合の格納容器下部への注水については「1.8 原子炉格納容器下部の熔融炉心を冷却するための手順等」のうち、1.8.2.1(1)a.(a)「格納容器スプレイポンプによる格納容器スプレイ」及び1.8.2.1(1)b.「代替格納容器スプレイ」にて整備する。</p> <p>格納容器内の冷却については「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(1)a.(a)「A、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」又は1.6.2.1(1)b.「代替格納容器スプレイ」にて整備する。</p>	<p>1.4.2.4 その他の手順項目について考慮する手順                      原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）及び原子炉補機代替冷却水系による補機冷却水確保手順は、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。</p> <p>復水貯蔵タンク、淡水貯水槽（No.1）及び淡水貯水槽（No.2）への水の補給手順並びに水源から接続口までの大容量送水ポンプ（タイプI）による送水手順については、「1.13 重大事故等の収束に必要となる水の供給手順等」にて整備する。</p> <p>復水移送ポンプ、直流駆動低圧注水系ポンプ、ろ過水ポンプ、残留熱除去系ポンプ、低圧炉心スプレイ系ポンプ、代替循環冷却ポンプ、原子炉冷却材浄化系ポンプ、電動弁及び監視計器への電源供給手順並びにガスタービン発電機、電源車及び大容量送水ポンプ（タイプI）への燃料補給手順については、「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。</p>	<p>1.4.2.5 その他の手順項目について考慮する手順                      燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の補給手順は、「1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等」のうち、1.13.2.2「水源へ水を補給するための対応手順」及び1.13.2.3「水源を切り替えるための対応手順」にて整備する。</p> <p>補助給水ピットの枯渇又は破損時の対応手順等は、「1.13 重大事故時に必要となる水の供給手順等」のうち、1.13.2.2「水源へ水を補給するための対応手順」及び1.13.2.3「水源を切り替えるための対応手順」にて整備する。</p> <p>1次冷却材喪失事象の発生に伴い、炉心損傷の兆候が見られた場合の原子炉格納容器下部への注水については、「1.8 原子炉格納容器下部の熔融炉心を冷却するための手順等」のうち、1.8.2.1(1)a.「原子炉格納容器下部への注水」にて整備する。</p> <p>原子炉格納容器内の冷却については、「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(1)a.(a)「C、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」及び1.6.2.1(1)b.「代替格納容器スプレイ」にて整備する。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車を用いた格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却については、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.2(1)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いたC、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。</p>	<p>【大飯】記載箇所の相違（女川審査の反映）                      【大飯】記載方針の相違                      ・大飯は個別手順のリンク先を記載しているが、泊は燃料取替用水ピットへの供給手順等の手順全般をリンクさせる記載としている。</p> <p>【大飯】記載箇所の相違（女川審査の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載箇所の相違                      ・参照先の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(1)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(1)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p> <p>【比較のため、比較表 p1.4-193 より再掲】</p> <p>余熱除去ポンプの機能喪失により余熱除去設備が使用できない場合は、余熱除去設備の復旧を継続して実施する。低温停止に移行する場合に、余熱除去設備が復旧していない場合は、1.4.2.2(1)c.「蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」により低温停止に移行する。</p> <p>全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合は、1.4.2.1(2)「サポート系機能喪失時の手順等」で示した手順で対応する。また、運転停止中に全交流動力電源喪失が発生した場合は、1.4.2.3(2)「サポート系機能喪失時の手順等」で示した手順で対応する。</p>		<p>常設代替交流電源設備の代替電源に関する手順は、「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(1)「代替交流電源設備による給電」にて整備する。また、代替非常用発電機及び可搬型大型送水ポンプ車への燃料補給の手順は、「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4「燃料の補給の手順」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は、「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p> <p>余熱除去ポンプの機能喪失により余熱除去設備が使用できない場合は、余熱除去設備の復旧を継続して実施する。低温停止に移行する場合に、余熱除去設備が復旧していない場合は、1.4.2.2(1)c.「蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」により低温停止に移行する。</p> <p>全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合は、1.4.2.1(2)「サポート系故障時の対応手順」で対応する。また、発電用原子炉停止中に全交流動力電源喪失が発生した場合は、1.4.2.3(2)「サポート系故障時の手順等」で対応する。</p>	<p>【大飯】記載箇所の相違</p> <p>【大飯】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大飯は設備によって重油又は軽油を使用することから、補給する燃料を明確にしている。</li> <li>・泊は重大事故等時に使用する設備の燃料はすべて軽油のため識別不要であるが、燃料補給の手順を整備する技術的能力1.14にて燃料が軽油であることを記載している。</li> </ul> <p>【大飯】記載箇所の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、比較表p1.4-113より再掲】</p> <p>d. その他の手順項目にて考慮する手順</p> <p>1次冷却材喪失事象の発生に伴い、炉心損傷の兆候が見られる場合の格納容器下部への注水については「1.8 原子炉格納容器下部の熔融炉心を冷却するための手順等」のうち、1.8.2.1(1)a.(a)「格納容器スプレイポンプによる格納容器スプレイ」及び1.8.2.1(1)b.「代替格納容器スプレイ」にて整備する。</p> <p>格納容器内の冷却については「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(2)b.(a)「大容量ポンプを用いたA、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」又は1.6.2.1(2)a.「代替格納容器スプレイ」にて整備する。</p> <p>空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(1)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(1)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。</p> <p>燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の復水ピットからの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(3)「燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替」及び1.13.2.2(9)「復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。</p> <p>電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプ及び送水車への給油に関する手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.4(1)「電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプへの燃料補給」及び1.6.2.4(2)「送水車への燃料補給」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p>			<p>【大飯】記載箇所の相違（女川実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大飯の 1.4.2.1(2)d. で整理している手順項目は泊の 1.4.2.5 で網羅している。</li> </ul>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、比較表 p1.4-140 より再掲】</p> <p>(3) その他の手順項目にて考慮する手順                      空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(1)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(1)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。</p> <p>復水ピットが枯渇又は破損時の補給手順等は「1.13 重大事故等の収束に必要となる水の供給手順等」のうち、1.13.2.1「蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）のための代替手段及び復水ピットへの供給に係る手順等」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p> <p>【比較のため、比較表 p1.4-160 より再掲】</p> <p>h. その他の手順項目にて考慮する手順                      燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の復水ピットからの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要となる水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(3)「燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替」及び1.13.2.2(9)「復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。</p> <p>燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の1次系純水タンク及びほう酸タンクの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要となる水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(1)「燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの水源切替」にて整備する。</p> <p>空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(1)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(1)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。</p> <p>電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）及び送水車への燃料補給に関する手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.4(1)「電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプへの燃料補給」及び1.6.2.4(2)「送水車への燃料補給」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p>			<p>【大飯】記載箇所の相違(女川実績の反映)                      ・大飯の 1.4.2.2(3)で整理している手順項目は泊の 1.4.2.5 で網羅している。</p> <p>【大飯】記載箇所の相違(女川実績の反映)                      ・大飯の 1.4.2.3(1)h. で整理している手順項目は泊の 1.4.2.5 で網羅している。</p>



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、比較表p1.4-182より再掲】</p> <p>f. その他の手順項目にて考慮する手順</p> <p>空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(i)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(1)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。</p> <p>燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の復水ピットからの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(3)「燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替」及び1.13.2.2(9)「復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。</p> <p>電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプ及び送水車への燃料補給に関する手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.4(1)「電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプへの燃料補給」及び1.6.2.4(2)「送水車への燃料補給」にて整備する。</p> <p>大容量ポンプを用いた格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却に関する手順については「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.2(1)a.「大容量ポンプを用いたA、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p>			<p>【大飯】記載箇所の相違(女川実績の反映)</p> <p>・大飯の 1.4.2.3(2)f. で整理している手順項目は泊の 1.4.2.5 で網羅している。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1.4-1表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順  
 対応手段、対処設備、手順書一覧（1/9）  
 （重大事故等対処設備（設計基準拡張））

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順書
重大事故等対処設備（設計基準拡張）	残留熱除去系高圧水モードによる発電用原子炉の冷却	残留熱除去系ポンプ サブプレッションチェンバ 残留熱除去系 熱交換器・配管・弁・ストレーナ ※5 原子炉圧力容器 原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却高圧水を含む。） ※3 非常用取水設備 ※3 非常用交流電源設備 ※2	重大事故等対処設備 （設計基準拡張）	非常時操作手順書（微断ベース） 「水位確保」等 非常時操作手順書（設備別） 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」
		低圧中心スプレイ系による発電用原子炉の冷却	重大事故等対処設備 （設計基準拡張）	非常時操作手順書（微断ベース） 「水位確保」等 非常時操作手順書（設備別） 「低圧中心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」
		残留熱除去系高圧水モードによる発電用原子炉の冷却	重大事故等対処設備 （設計基準拡張）	非常時操作手順書（微断ベース） 「減圧冷却」等 非常時操作手順書（設備別） 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」

※1：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。  
 ※2：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。  
 ※3：手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。  
 ※4：1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等【解説】(b)項を満足するための代替淡水源（増量）  
 ※5：残留熱除去系（低圧注水モード）は熱交換機能に備わっており、熱交換器は流路としてのみ用いる。

第1.4.1表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順  
 対応手段、対処設備、手順書一覧（1/22）  
 （重大事故等対処設備（設計基準拡張））

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備分類※1	整備する手順書	手順書の分類	
重大事故等対処設備（設計基準拡張）	残留熱除去系高圧水モードによる発電用原子炉の冷却	残留熱除去系ポンプ サブプレッションチェンバ 残留熱除去系 熱交換器・配管・弁・ストレーナ ※5 原子炉圧力容器 原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却高圧水を含む。） ※3 非常用取水設備 ※3 非常用交流電源設備 ※2	高圧注水ポンプ ほう難注入タンク 熱交換器高圧水モード 非常時中心冷却設備 配管・弁 原子炉補機冷却設備 非常用取水設備 1次冷却設備 原子炉受容 非常用交流電源設備※1	重大事故等対処設備 （設計基準拡張）	非常時操作手順書 （設計基準拡張）	設備及び設計基準事故 収束に関する運転手順書	
			内筒管線電機式高圧電源設備※1	重大事故等対処設備 （設計基準拡張）	重大事故等対処設備 （設計基準拡張）	設備及び設計基準事故 収束に関する運転手順書	
	低圧中心スプレイ系による発電用原子炉の冷却	低圧中心スプレイ系ポンプ サブプレッションチェンバ 低圧中心スプレイ系 配管・弁・ストレーナ・スパーンジャ 原子炉圧力容器 原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却高圧水を含む。） ※3 非常用取水設備 ※3 非常用交流電源設備 ※2	高圧注水ポンプ ほう難注入タンク 熱交換器高圧水モード 非常時中心冷却設備 配管・弁 原子炉補機冷却設備 非常用取水設備 1次冷却設備 原子炉受容 非常用交流電源設備※1	重大事故等対処設備 （設計基準拡張）	重大事故等対処設備 （設計基準拡張）	非常時操作手順書 （設計基準拡張）	設備及び設計基準事故 収束に関する運転手順書
			高圧注水ポンプ ほう難注入タンク 熱交換器高圧水モード 安全注入ポンプ再循環サブシステム 非常時中心冷却設備 配管・弁 原子炉補機冷却設備 非常用取水設備 1次冷却設備 原子炉受容 非常用交流電源設備※1	重大事故等対処設備 （設計基準拡張）	重大事故等対処設備 （設計基準拡張）	非常時操作手順書 （設計基準拡張）	設備及び設計基準事故 収束に関する運転手順書
	残留熱除去系高圧水モードによる発電用原子炉の冷却	残留熱除去系ポンプ 原子炉圧力容器 残留熱除去系熱交換器 残留熱除去系 配管・弁 原子炉再循環系 配管・弁・ジェットポンプ 原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却高圧水を含む。） ※3 非常用取水設備 ※3 非常用交流電源設備 ※2	高圧注水ポンプ ほう難注入タンク 熱交換器高圧水モード 安全注入ポンプ再循環サブシステム 非常時中心冷却設備 配管・弁 原子炉補機冷却設備 非常用取水設備 1次冷却設備 原子炉受容 非常用交流電源設備※1	重大事故等対処設備 （設計基準拡張）	重大事故等対処設備 （設計基準拡張）	非常時操作手順書 （設計基準拡張）	設備及び設計基準事故 収束に関する運転手順書
			高圧注水ポンプ ほう難注入タンク 熱交換器高圧水モード 安全注入ポンプ再循環サブシステム 非常時中心冷却設備 配管・弁 原子炉補機冷却設備 非常用取水設備 1次冷却設備 原子炉受容 非常用交流電源設備※1	重大事故等対処設備 （設計基準拡張）	重大事故等対処設備 （設計基準拡張）	非常時操作手順書 （設計基準拡張）	設備及び設計基準事故 収束に関する運転手順書

※1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。  
 ※2：重大事故等処理において用いる設備の分類  
 ※3：当該表文に適合する重大事故等対処設備 ※4：当該表に適合する重大事故等対処設備 ※5：目的物質として整備する重大事故等対処設備

泊3号炉との比較対象なし

【大飯】  
 記載方針の相違  
 （女川審査実績の  
 反映）  
 ・泊は設計基準事  
 故対処設備による  
 対応手段を整  
 理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由
<p>第1.4.1表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備を整備する手順                  (運転中の1次冷却材喪失事故が発生している場合におけるフロントライン系機能喪失時)</p>						
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順書	手順書の分類	
	対応手段	対処設備	手順書	手順書の分類		
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順書	手順書の分類	
	対応手段	対処設備	手順書	手順書の分類		
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順書	手順書の分類	
	対応手段	対処設備	手順書	手順書の分類		

対応手段、対処設備、手順書一覧 (2/22)

(1次冷却材喪失事故が発生している場合のフロントライン系故障時)

【大飯】  
 記載方針の相違  
 (女川審査実績の反映)  
 ・泊は管路及び給電に使用する設備を記載  
 ・泊は設計基準事故対処設備による対応手段を整理

対応手段、対処設備、手順書一覧 (2/9)  
 (発電用原子炉運転中のフロントライン系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順書
フロントライン系故障	残留熱除去系 (低圧注水モード)	低圧代注注水ポンプによる発電用原子炉の冷却	直流水移送注水系ポンプ 復水貯蔵タンク ※1 精給水系 配管・弁 直流水移送注水系 配管・弁 高圧中心スプレイ系 配管・弁 燃料プール精給水系 弁 原子炉圧力容器 常設代替交流電源設備 ※2 可能型代替交流電源設備 ※2 非常用交流電源設備 ※2	非常時操作手順書 (微減ベース) 「水位確保」等 非常時操作手順書 (設備別) 「復水移送ポンプによる原子炉注水」
	低圧代注注水ポンプ	直流水移送注水系ポンプ 復水貯蔵タンク ※1 精給水系 配管 直流水移送注水系 配管・弁 高圧中心スプレイ系 配管・弁・スパージャ 燃料プール精給水系 弁 原子炉圧力容器 常設代替交流電源設備 ※2 市内発電用直流水移送電源設備 ※2 常設代替交流電源設備 ※2 可能型代替交流電源設備 ※2	非常時操作手順書 (微減ベース) 「水位確保」等 非常時操作手順書 (設備別) 「直流水移送注水系ポンプによる原子炉注水」	

※1：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。  
 ※2：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。  
 ※3：手順は「1.6 最終ヒートシンクへ熱を転送するための手順等」にて整備する。  
 ※4：「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【特記】(b)項を満足するための代換注水 (閉鎖)  
 ※5：残留熱除去系 (低圧注水モード) は熱交換機に期待しておらず、熱交換器は管路としてのみ用いる。

※1：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。  
 ※2：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。  
 ※3：重大事故等対策において用いる5段階の分類  
 ※4：可読本文に適合する重大事故等対処設備 b：37条に適合する重大事故等対処設備

※1：大飯発電所 重大事故等発生時に必要となる水の供給に関する手順  
 ※2：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。  
 ※3：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。  
 ※4：可換代替注水ポンプにより中心注水する場合に冷水を注水する。  
 ※5：空冷式非常用発電機設置の燃料供給に関する手順。手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。  
 ※6：常設代替注水ポンプの燃料供給に関する手順。手順は「1.6 最終ヒートシンクへ熱を転送するための手順等」にて整備する。  
 ※7：送電機の燃料供給に使用する発電用原子炉の冷却。手順は「1.6 最終ヒートシンクへ熱を転送するための手順等」にて整備する。  
 ※8：ディーゼル発電機等により給電する。  
 ※9：A、D格納容器内循環ユニットで格納容器冷却を行う。手順は「1.7 原子炉格納容器の過圧保護を防止するための手順等」にて整備する。  
 ※10：重大事故等対策において用いる5段階の分類  
 ※11：可読本文に適合する重大事故等対処設備 b：37条に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉

【比較のため、第1.4.1表を再掲】

第1.4.1表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順（運転中の1次冷却材喪失事象が発生している場合におけるフロントライン系機能喪失時）

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備分類	整備する手順等	手順の分類
1 冷却材圧力バウナダリ低圧時に発生している場合	余熱除去ポンプ又は燃料冷却ポンプ	代管の中心注水（常）	A: 圧入ポンプ	a	高圧注水ポンプを用いた中心注水により原子炉を冷却する手順	中心の新しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順 S/A所達 <sup>※1</sup>
			燃料冷却ポンプ		燃料冷却ポンプの出力を低下させる手順	
			高圧注水ポンプ		高圧注水ポンプを用いた中心注水により原子炉を冷却する手順	
			燃料冷却ポンプ		燃料冷却ポンプの出力を低下させる手順	
			高圧注水ポンプ		高圧注水ポンプを用いた中心注水により原子炉を冷却する手順	
			燃料冷却ポンプ		燃料冷却ポンプの出力を低下させる手順	
	余熱除去ポンプ又は燃料冷却ポンプ	代管の中心注水（常）	A: 圧入ポンプ	a	高圧注水ポンプを用いた中心注水により原子炉を冷却する手順	中心の新しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順 S/A所達 <sup>※1</sup>
			燃料冷却ポンプ		燃料冷却ポンプの出力を低下させる手順	
			高圧注水ポンプ		高圧注水ポンプを用いた中心注水により原子炉を冷却する手順	
			燃料冷却ポンプ		燃料冷却ポンプの出力を低下させる手順	
			高圧注水ポンプ		高圧注水ポンプを用いた中心注水により原子炉を冷却する手順	
			燃料冷却ポンプ		燃料冷却ポンプの出力を低下させる手順	
余熱除去ポンプ又は燃料冷却ポンプ	代管の中心注水（常）	A: 圧入ポンプ	a	高圧注水ポンプを用いた中心注水により原子炉を冷却する手順	中心の新しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順 S/A所達 <sup>※1</sup>	
		燃料冷却ポンプ		燃料冷却ポンプの出力を低下させる手順		
		高圧注水ポンプ		高圧注水ポンプを用いた中心注水により原子炉を冷却する手順		
		燃料冷却ポンプ		燃料冷却ポンプの出力を低下させる手順		
		高圧注水ポンプ		高圧注水ポンプを用いた中心注水により原子炉を冷却する手順		
		燃料冷却ポンプ		燃料冷却ポンプの出力を低下させる手順		

※1：大飯発電所 重大事象等発生時に必要となる水の供給手順等にて整備する。  
 ※2：手順は「1.13 重大事象等の収束に必要となる水の供給手順等」にて整備する。  
 ※3：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。  
 ※4：可搬型代替注水ポンプを用いた中心注水による場合を除き水を注水する。  
 ※5：空冷式非常用発電設備の燃料供給に使用する。手順は「1.11 燃料の確保に関する手順等」にて整備する。  
 ※6：電源車（可搬型代替注水ポンプ用）の燃料供給に使用する。手順は「1.6 原子炉格納容器の冷却等のための手順等」にて整備する。  
 ※7：送水車の燃料供給に使用するの構成のものである。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。  
 ※8：プアードの発電機等により駆動する。  
 ※9：A、D格納容器内冷却ポンプで格納容器内冷却を行う。手順は「1.7 原子炉格納容器の温度制御を防止するための手順等」にて整備する。  
 ※10：重大事象等発生時に適用している設備の分類  
 a：当該表文に適合する重大事象等対処設備 b：当該表文に適合する重大事象等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事象等対処設備

女川原子力発電所2号炉

対応手段、対処設備、手順書一覧（3/9）

（発電用原子炉運転中のフロントライン系故障時）

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順書
フロントライン系故障	残留熱除去系（低圧注水モード）	低圧代替注水系を可搬型による発電用原子炉の冷却	大容量送水ポンプ（タイプ1）※1	非常時操作手順書（徴候ベース） 「水位確保」等 重大事象等対応要領書 「大容量送水ポンプ（タイプ1）による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」※1
			ホース・注水用ヘッダ・接続口 ※1	
			燃料冷却ポンプ 配管・弁 原子炉圧力容器 常設代替交流電源設備 ※2 可搬型代替交流電源設備 ※2 燃料供給設備 ※2	
フロントライン系故障	低圧代替注水系を可搬型による発電用原子炉の冷却	代管の中心注水（常）	高圧注水ポンプ（No.1）※1、※4 高圧注水ポンプ（No.2）※1、※4	非常時操作手順書（徴候ベース） 「水位確保」等 重大事象等対応要領書 「代管の中心注水」 自主的対策 自主的対策設備
			代管の中心注水（常）	
			代管の中心注水（常）	
フロントライン系故障	高圧注水ポンプ及び燃料冷却ポンプ	代管の中心注水（常）	高圧注水ポンプを用いた中心注水により原子炉を冷却する手順	非常時操作手順書（設備別） 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」 自主的対策 自主的対策設備
			高圧注水ポンプを用いた中心注水により原子炉を冷却する手順	
			高圧注水ポンプを用いた中心注水により原子炉を冷却する手順	

※1：手順は「1.13 重大事象等の収束に必要となる水の供給手順等」にて整備する。

※2：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。

※3：手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。

※4：「1.13 重大事象等の収束に必要となる水の供給手順等」【脚注】1) 項を満足するための代替送水車（推奨）

※5：残留熱除去系（低圧注水モード）は熱交換機能に限って使用する。熱交換器は管路としてのみ利用。

泊発電所3号炉

相違理由

対応手段、対処設備、手順書一覧（3/22）

（1次冷却材喪失事象が発生している場合のフロントライン系故障時）

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備分類	整備する手順等	手順書の分類
フロントライン系故障	余熱除去ポンプ又は燃料冷却ポンプ	代管の中心注水（常）	高圧注水ポンプ	a	発電用原子炉の故障を維持する手順書等	中心の新しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書
			燃料冷却ポンプ			
			高圧注水ポンプ			
			燃料冷却ポンプ			
			高圧注水ポンプ			
			燃料冷却ポンプ			
フロントライン系故障	余熱除去ポンプ又は燃料冷却ポンプ	代管の中心注水（常）	高圧注水ポンプ	a	発電用原子炉の故障を維持する手順書等	中心の新しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書
			燃料冷却ポンプ			
			高圧注水ポンプ			
			燃料冷却ポンプ			
			高圧注水ポンプ			
			燃料冷却ポンプ			
フロントライン系故障	余熱除去ポンプ又は燃料冷却ポンプ	代管の中心注水（常）	高圧注水ポンプ	a	発電用原子炉の故障を維持する手順書等	中心の新しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書
			燃料冷却ポンプ			
			高圧注水ポンプ			
			燃料冷却ポンプ			
			高圧注水ポンプ			
			燃料冷却ポンプ			

※1：手順は「1.13 重大事象等発生時に必要となる水の供給手順等」にて整備する。

※2：可搬型代替注水ポンプを用いた中心注水による場合を除き水を注水する。

※3：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。

※4：原水車の場合は、2次送水ポンプ又はろ過水ポンプから送水することにより行う。

※5：a、b、cは格納容器内冷却ポンプによる格納容器内自然対流による「1.7 原子炉格納容器の温度制御を防止するための手順等」にて整備する。

※6：重大事象等発生時に適用している設備の分類

※7：当該表文に適合する重大事象等対処設備 a：当該表文に適合する重大事象等対処設備 b：自主的対策として整備する重大事象等対処設備

【大飯】  
 記載方針の相違（女川審査実績の反映）  
 ・泊は管路及び給電に使用する設備を記載  
 ・泊は設計基準事故対処設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、第1.4.1表を再掲】

第1.4.1表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順  
 (運転中の1次冷却材喪失事故が発生している場合におけるフロントライン系機能喪失時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類	
1次冷却材喪失事故が発生している場合	心止水(⑤)	代	A. 充てんポンプ <sup>①</sup> 燃料取替用ウォータービット 高圧注入ポンプ はう酸タンク <sup>②</sup> 1次冷却水タンク <sup>③</sup> 1次冷却水タンク	充てんポンプを用いた代り心止水により原子炉を冷却する手順	心心の著しい損傷及び燃料容器破損を防止する運転手順書	
			心止水(⑤)	代	A. 燃料容器スプレイポンプ <sup>④</sup> (RHS-S-C/S連絡ライン使用) 冷却材補給用注水ポンプ 燃料取替用ウォータービット 燃料取替用注水タンク <sup>⑤</sup> タンクローリー <sup>⑥</sup> 電動式代替注水ポンプ <sup>⑦</sup> ディーゼル駆動式ポンプ No. 2 汲水タンク <sup>⑧</sup> 可搬式代替注水ポンプ <sup>⑨</sup> 可搬式代替注水ポンプ <sup>⑩</sup> 冷却材補給用注水ポンプ <sup>⑪</sup> 注水車 燃料取替用注水タンク <sup>⑫</sup> タンクローリー <sup>⑬</sup> 軽油ドラム缶 <sup>⑭</sup>	A. 燃料容器スプレイポンプを用いた代り心止水により原子炉を冷却する手順 心心の著しい損傷及び燃料容器破損を防止する運転手順書 S.A.手順書 <sup>⑮</sup> 心心の著しい損傷及び燃料容器破損を防止する運転手順書 心心の著しい損傷及び燃料容器破損を防止する運転手順書 可搬式代替注水ポンプを用いた代り心止水により原子炉を冷却する手順 心心の著しい損傷及び燃料容器破損を防止する運転手順書 高圧注入ポンプを用いた代り心止水により原子炉を冷却する手順 心心の著しい損傷及び燃料容器破損を防止する運転手順書 A. 燃料容器スプレイポンプを用いた代り心止水により原子炉を冷却する手順 心心の著しい損傷及び燃料容器破損を防止する運転手順書 高圧注入ポンプを用いた代り心止水により原子炉を冷却する手順 心心の著しい損傷及び燃料容器破損を防止する運転手順書
					心止水(⑤)	代
燃料容器再循環ポンプスターリング	代	燃料容器再循環ポンプスターリング	燃料容器再循環ポンプスターリング	燃料容器再循環ポンプスターリング	燃料容器再循環ポンプスターリング	

①：1次冷却材 重大事故等発生時に用いる原子炉冷却材の圧力バウンダリを越えるための設備に関する手順書。  
 ②：手順書「1.13 重大事故等の発生に必要な水の供給手順等」にて整備する。  
 ③：手順書「1.14 電炉の運転に関する手順等」にて整備する。  
 ④：可搬式代替注水ポンプにより心止水をする場合は給水を注入する。  
 ⑤：冷却材非常用発電機出力の燃料補給に使用する。手順書「1.14 電炉の運転に関する手順等」にて整備する。  
 ⑥：可搬式代替注水ポンプの燃料補給に使用する。手順書「1.6 原子炉冷却材の圧力バウンダリを越えるための手順等」にて整備する。  
 ⑦：注水車の燃料補給に使用する設備のものである。手順書「1.6 原子炉冷却材の圧力バウンダリを越えるための手順等」にて整備する。  
 ⑧：ディーゼル発電機により駆動する。  
 ⑨：A. 自動運転時の運転モードによる冷却材供給を行う。手順書「1.7 原子炉冷却材の供給に関する手順等」にて整備する。  
 ⑩：重大事故発生時において用いる設備の分類。  
 ⑪：当該表に適合する重大事故等対処設備。⑫：37条に適合する重大事故等対処設備。⑬：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

対応手段、対処設備、手順書一覧(4/22)

(1次冷却材喪失事故が発生している場合のフロントライン系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類	
1次冷却材喪失事故が発生している場合のフロントライン系故障時	心止水(⑤)	代	A. 充てんポンプ <sup>①</sup> 燃料取替用ウォータービット 高圧注入ポンプ はう酸タンク <sup>②</sup> 1次冷却水タンク <sup>③</sup> 1次冷却水タンク	充てんポンプを用いた代り心止水により原子炉を冷却する手順	心心の著しい損傷及び燃料容器破損を防止する運転手順書	
			心止水(⑤)	代	A. 燃料容器スプレイポンプ <sup>④</sup> (RHS-S-C/S連絡ライン使用) 冷却材補給用注水ポンプ 燃料取替用ウォータービット 燃料取替用注水タンク <sup>⑤</sup> タンクローリー <sup>⑥</sup> 電動式代替注水ポンプ <sup>⑦</sup> ディーゼル駆動式ポンプ No. 2 汲水タンク <sup>⑧</sup> 可搬式代替注水ポンプ <sup>⑨</sup> 可搬式代替注水ポンプ <sup>⑩</sup> 冷却材補給用注水ポンプ <sup>⑪</sup> 注水車 燃料取替用注水タンク <sup>⑫</sup> タンクローリー <sup>⑬</sup> 軽油ドラム缶 <sup>⑭</sup>	A. 燃料容器スプレイポンプを用いた代り心止水により原子炉を冷却する手順 心心の著しい損傷及び燃料容器破損を防止する運転手順書 S.A.手順書 <sup>⑮</sup> 心心の著しい損傷及び燃料容器破損を防止する運転手順書 心心の著しい損傷及び燃料容器破損を防止する運転手順書 可搬式代替注水ポンプを用いた代り心止水により原子炉を冷却する手順 心心の著しい損傷及び燃料容器破損を防止する運転手順書 高圧注入ポンプを用いた代り心止水により原子炉を冷却する手順 心心の著しい損傷及び燃料容器破損を防止する運転手順書 A. 燃料容器スプレイポンプを用いた代り心止水により原子炉を冷却する手順 心心の著しい損傷及び燃料容器破損を防止する運転手順書 高圧注入ポンプを用いた代り心止水により原子炉を冷却する手順 心心の著しい損傷及び燃料容器破損を防止する運転手順書
					心止水(⑤)	代
燃料容器再循環ポンプスターリング	代	燃料容器再循環ポンプスターリング	燃料容器再循環ポンプスターリング	燃料容器再循環ポンプスターリング	燃料容器再循環ポンプスターリング	

【大飯】  
 記載方針の相違  
 (女川審査実績の反映)  
 ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載  
 ・泊は設計基準事故対処設備による対応手段を整理

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉

第1.4.2表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備を整備する手順  
 (運転中の1次冷却材喪失事象が発生している場合におけるサポート系機能喪失時)(1/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類	
1次冷却材圧力喪失事象が発生している場合	全交流動力電源 <sup>※1</sup>	代替冷却水(①)	恒設代替圧注水ポンプ	a,b	恒設代替圧注水ポンプを用いた代替冷却水により原子炉冷却材を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			空冷式非常用発電機 <sup>※2</sup>	c		
			B方式ポンプ(自己冷却)	a,b		
			燃料冷却用海水ピット	a		
			復水ピット	a		
			燃料油貯蔵タンク <sup>※3</sup>	a,b		
			重油タンク <sup>※4</sup>	a,b		
			タンクローリー <sup>※5</sup>	a,b		
			A格納容器スプレイポンプ(自己冷却)	a		
			燃料冷却用海水ピット	a		
			ディーゼル消火ポンプ	a		
			No. 2復水タンク	a		
			可開式代替圧注水ポンプ <sup>※6</sup>	a		
電機系(可開式代替圧注水ポンプ用)	a					
放射線立式機構	a					
送水車	a					
燃料油貯蔵タンク <sup>※3</sup>	a					
重油タンク <sup>※4</sup>	a					
タンクローリー <sup>※5</sup>	a					
軽油ドラム <sup>※7</sup>	a					
代替再循環運転(②)	a,b					
高圧注入ポンプ(海水冷却)	a,b					
大容量ポンプ <sup>※8</sup>	a,b					
格納容器内循環ポンプ	a,b					
格納容器内循環サブスタクリン	a,b					
空冷式非常用発電機 <sup>※2</sup>	a,b					
燃料油貯蔵タンク <sup>※3</sup>	a,b					
重油タンク <sup>※4</sup>	a,b					
タンクローリー <sup>※5</sup>	a,b					

※1 「大飯発電所」運転基準等規程に定める原子炉冷却材圧力喪失のための活動に関する所置。  
 ※2 手順1「1.4 電機系」項に定める手順書にて整備する。  
 ※3 空冷式非常用発電機の燃料供給に使用する。手順1「1.4 電機系」項に定める手順書にて整備する。  
 ※4 可開式代替圧注水ポンプにより冷却材を供給する場合に使用される。  
 ※5 送水車(可開式代替圧注水ポンプ)の燃料供給に使用する。手順1「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。  
 ※6 送水車の燃料供給に使用するの取扱いである。手順1「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。  
 ※7 大容量ポンプの燃料供給に使用する。手順1「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。  
 ※8 手順1「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。  
 ※9 重大事故等対策において用いる設備の分類  
 a：当該条項に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

第1.4.2表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備を整備する手順  
 (運転中の1次冷却材喪失事象が発生している場合におけるサポート系機能喪失時)(2/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類
1次冷却材圧力喪失事象が発生している場合	原子炉補機冷却水系	代替冷却水	⑥全交流動力電源喪失時の対応手段のうち代替冷却水に用いる設備と同様		
			A余熱除去ポンプ(空温形冷水) <sup>※9</sup>	A余熱除去ポンプ(空温形冷水)を用いた代替冷却水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			電動消火ポンプ	消火ポンプを用いた代替冷却水により原子炉を冷却する手順	
			⑦全交流動力電源喪失時の対応手段のうち代替再循環運転に用いる設備と同様		
			A余熱除去ポンプ(空温形冷水) <sup>※9</sup>	A余熱除去ポンプ(空温形冷水)を用いた代替再循環運転により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			格納容器内循環サブスタクリン		

※9 A、B格納容器再循環ユニットで格納容器冷却を行う。手順1「1.7 原子炉格納容器の過熱を抑制するための手順等」にて整備する。  
 ※10 手順1「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。  
 ※11 重大事故等対策において用いる設備の分類  
 a：当該条項に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

女川原子力発電所2号炉

対応手段、対応設備、手順書一覧(4/9)  
 (発電用原子炉運転中のサポート系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書
サポート系故障	全交流動力電源	残留熱除去系(低圧注水モード)による復旧	原子炉補機代替冷却水系 ※3 常設代替交流電源設備 ※2	重大事故等対応設備 非常時操作手順書(濃縮ベース) 「水位確保」等
			残留熱除去系ポンプ サブレーションチェンバ 熱交換器 ※5 原子炉压力容器 原子炉補機冷却水系(原子炉補機冷却水系を含む) ※3 非常用取水設備 ※3	重大事故等対応設備 「設計基準事故規程」 非常時操作手順書(設備別) 「低圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」
	原子炉補機冷却水系	残留熱除去系(低圧注水モード)による復旧	原子炉補機冷却水系 ※3 常設代替交流電源設備 ※2	重大事故等対応設備 非常時操作手順書(濃縮ベース) 「水位確保」等 非常時操作手順書(設備別) 「低圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」
	低圧炉心スプレイ系ポンプ サブレーションチェンバ 熱交換器 ※5 原子炉压力容器 原子炉補機冷却水系(原子炉補機冷却水系を含む) ※3 非常用取水設備 ※3		原子炉補機冷却水系 ※3 常設代替交流電源設備 ※2	重大事故等対応設備 非常時操作手順書(濃縮ベース) 「水位確保」等 非常時操作手順書(設備別) 「低圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」

※1：手順1「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。  
 ※2：手順1「1.14 電機系」項に定める手順書にて整備する。  
 ※3：手順1「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。  
 ※4：「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【解説】1b)を満足するための代替取水(措置)  
 ※5：残留熱除去系(低圧注水モード)は熱交換機後に期待しておらず、熱交換機は流路としてのみ用いる。

泊発電所3号炉

対応手段、対応設備、手順書一覧(5/22)

(1次冷却材喪失事象が発生している場合のサポート系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類	
サポート系故障	全交流動力電源	代替冷却水(①)	代替再循環運転(②)による復旧	重大事故等対応設備 非常時操作手順書(濃縮ベース) 「水位確保」等	炉心の著しい損傷及び原子炉補機冷却系破損を防止する運転手順書	
			残留熱除去系(低圧注水モード)による復旧	残留熱除去系ポンプ サブレーションチェンバ 熱交換器 ※5 原子炉压力容器 原子炉補機冷却水系(原子炉補機冷却水系を含む) ※3 非常用取水設備 ※3	重大事故等対応設備 「設計基準事故規程」 非常時操作手順書(設備別) 「低圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」	
			原子炉補機冷却水系	原子炉補機冷却水系 ※3 常設代替交流電源設備 ※2	重大事故等対応設備 非常時操作手順書(濃縮ベース) 「水位確保」等 非常時操作手順書(設備別) 「低圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」	
	残留熱除去系(低圧注水モード)による復旧	残留熱除去系(低圧注水モード)による復旧	残留熱除去系ポンプ サブレーションチェンバ 熱交換器 ※5 原子炉压力容器 原子炉補機冷却水系(原子炉補機冷却水系を含む) ※3 非常用取水設備 ※3	重大事故等対応設備 「設計基準事故規程」 非常時操作手順書(設備別) 「低圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」		
	代替再循環運転(②)	代替再循環運転(②)による復旧	代替再循環運転(②)による復旧	重大事故等対応設備 非常時操作手順書(濃縮ベース) 「水位確保」等	炉心の著しい損傷及び原子炉補機冷却系破損を防止する運転手順書	
	代替再循環運転(②)	代替再循環運転(②)による復旧	代替再循環運転(②)による復旧	重大事故等対応設備 非常時操作手順書(濃縮ベース) 「水位確保」等	炉心の著しい損傷及び原子炉補機冷却系破損を防止する運転手順書	

※1：手順1「1.14 電機系」項に定める手順書にて整備する。  
 ※2：重大事故等対策において用いる設備の分類  
 a：当該条項に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

大飯3/4号炉との比較対象なし

【大飯】  
 設備の相違(相違理由⑥)

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、第1.4.2表(1/2)を再掲】

第1.4.2表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順  
 (運転中の1次冷却材喪失事故が発生している場合におけるサポート系機能喪失時) (1/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類	
1次冷却材喪失事故が発生している場合	全交流動力電源*	サポート系機能喪失時	加圧式代替圧注水ポンプ	加圧式代替圧注水ポンプを用いた、代物の心注水により原子炉を冷却する手順	a,b	
			空冷式非用電発電機*	重大事故等対応設備	加圧式代替圧注水ポンプを用いた、代物の心注水により原子炉を冷却する手順	c
			B高圧ポンプ(自己冷却)	対処設備	加圧式代替圧注水ポンプを用いた、代物の心注水により原子炉を冷却する手順	a,b
			燃料取り回しポンプ	対処設備	加圧式代替圧注水ポンプを用いた、代物の心注水により原子炉を冷却する手順	a
			復水ピット	対処設備	加圧式代替圧注水ポンプを用いた、代物の心注水により原子炉を冷却する手順	a,b
			燃料油貯蔵タンク*	対処設備	加圧式代替圧注水ポンプを用いた、代物の心注水により原子炉を冷却する手順	a,b
			重油タンク*	対処設備	加圧式代替圧注水ポンプを用いた、代物の心注水により原子炉を冷却する手順	a,b
			タンクローリー*	対処設備	加圧式代替圧注水ポンプを用いた、代物の心注水により原子炉を冷却する手順	a,b
			A格納容器スレイポンプ(自己冷却) (R1R2タービン駆動ファン使用)	多様性確保設備	A格納容器スレイポンプを用いた、代物の心注水により原子炉を冷却する手順	a,b
			燃料取り回しポンプ	多様性確保設備	加圧式代替圧注水ポンプを用いた、代物の心注水により原子炉を冷却する手順	a,b
			ディーゼル消火ポンプ No. 2取水タンク	多様性確保設備	ディーゼルポンプを用いた、代物の心注水により原子炉を冷却する手順	a,b
			可搬式代替圧注水ポンプ*	重大事故等対応設備	可搬式代替圧注水ポンプを用いた、代物の心注水により原子炉を冷却する手順	a
			電送車 (可搬式代替圧注水ポンプ用)	重大事故等対応設備	可搬式代替圧注水ポンプを用いた、代物の心注水により原子炉を冷却する手順	a
			送水車	重大事故等対応設備	可搬式代替圧注水ポンプを用いた、代物の心注水により原子炉を冷却する手順	a
			燃料油貯蔵タンク*	重大事故等対応設備	可搬式代替圧注水ポンプを用いた、代物の心注水により原子炉を冷却する手順	a
重油タンク*	重大事故等対応設備	可搬式代替圧注水ポンプを用いた、代物の心注水により原子炉を冷却する手順	a			
タンクローリー*	重大事故等対応設備	可搬式代替圧注水ポンプを用いた、代物の心注水により原子炉を冷却する手順	a			
軽油ドラム缶*	重大事故等対応設備	可搬式代替圧注水ポンプを用いた、代物の心注水により原子炉を冷却する手順	a			
B高圧注水ポンプ(海水冷却)	重大事故等対応設備	B高圧注水ポンプ(海水冷却)を用いた、代物の心注水により原子炉を冷却する手順	a,b			
大容量ポンプ*	重大事故等対応設備	B高圧注水ポンプ(海水冷却)を用いた、代物の心注水により原子炉を冷却する手順	a,b			
格納容器内循環ポンプ	重大事故等対応設備	B高圧注水ポンプ(海水冷却)を用いた、代物の心注水により原子炉を冷却する手順	a,b			
格納容器内循環ポンプスターリン	重大事故等対応設備	B高圧注水ポンプ(海水冷却)を用いた、代物の心注水により原子炉を冷却する手順	a,b			
空冷式非用電発電機*	重大事故等対応設備	B高圧注水ポンプ(海水冷却)を用いた、代物の心注水により原子炉を冷却する手順	a,b			
燃料油貯蔵タンク*	重大事故等対応設備	B高圧注水ポンプ(海水冷却)を用いた、代物の心注水により原子炉を冷却する手順	a,b			
重油タンク*	重大事故等対応設備	B高圧注水ポンプ(海水冷却)を用いた、代物の心注水により原子炉を冷却する手順	a,b			
タンクローリー*	重大事故等対応設備	B高圧注水ポンプ(海水冷却)を用いた、代物の心注水により原子炉を冷却する手順	a,b			

\*1：大飯発電所 重大事故等発生時に用いる原子炉施設が稼働のための活動に関する相違  
 \*2：手順書 1.14 電網の復旧に関する手順等にて整備する。  
 \*3：空冷式非用電発電機の燃料供給に関する手順は 1.14 電網の復旧に関する手順等にて整備する。  
 \*4：可搬式代替圧注水ポンプにより心注水する場合は海水を注水する。  
 \*5：電送車(可搬式代替圧注水ポンプ用)の燃料供給に使用する。手順は 1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等にて整備する。  
 \*6：送水車の燃料供給に使用する手順の1のみである。手順は 1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等にて整備する。  
 \*7：大容量ポンプ(燃料供給)に使用する。手順は 1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等にて整備する。  
 \*8：手順書 1.6 最終タービンポンプを駆動するための手順等にて整備する。  
 \*9：重大事故等発生時に用いる設備の名称  
 a：当該表に適合する重大事故等対応設備 b：27 条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

対応手段、対処設備、手順書一覧(6/22)  
 (1次冷却材喪失事故が発生している場合のサポート系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	整備する手順書	手順書の分類	
1次冷却材喪失事故が発生している場合	全交流動力電源*	サポート系機能喪失時	可搬式代替圧注水ポンプ	可搬式代替圧注水ポンプを用いた、代物の心注水により原子炉を冷却する手順	a,b	
			空冷式非用電発電機*	重大事故等対応設備	可搬式代替圧注水ポンプを用いた、代物の心注水により原子炉を冷却する手順	c
			B高圧ポンプ(自己冷却)	対処設備	可搬式代替圧注水ポンプを用いた、代物の心注水により原子炉を冷却する手順	a,b
			燃料取り回しポンプ	対処設備	可搬式代替圧注水ポンプを用いた、代物の心注水により原子炉を冷却する手順	a
			復水ピット	対処設備	可搬式代替圧注水ポンプを用いた、代物の心注水により原子炉を冷却する手順	a,b
			燃料油貯蔵タンク*	対処設備	可搬式代替圧注水ポンプを用いた、代物の心注水により原子炉を冷却する手順	a,b
			重油タンク*	対処設備	可搬式代替圧注水ポンプを用いた、代物の心注水により原子炉を冷却する手順	a,b
			タンクローリー*	対処設備	可搬式代替圧注水ポンプを用いた、代物の心注水により原子炉を冷却する手順	a,b
			A格納容器スレイポンプ(自己冷却) (R1R2タービン駆動ファン使用)	多様性確保設備	A格納容器スレイポンプを用いた、代物の心注水により原子炉を冷却する手順	a,b
			燃料取り回しポンプ	多様性確保設備	可搬式代替圧注水ポンプを用いた、代物の心注水により原子炉を冷却する手順	a,b
			ディーゼル消火ポンプ No. 2取水タンク	多様性確保設備	ディーゼルポンプを用いた、代物の心注水により原子炉を冷却する手順	a,b
			可搬式代替圧注水ポンプ*	重大事故等対応設備	可搬式代替圧注水ポンプを用いた、代物の心注水により原子炉を冷却する手順	a
			電送車 (可搬式代替圧注水ポンプ用)	重大事故等対応設備	可搬式代替圧注水ポンプを用いた、代物の心注水により原子炉を冷却する手順	a
			送水車	重大事故等対応設備	可搬式代替圧注水ポンプを用いた、代物の心注水により原子炉を冷却する手順	a
			燃料油貯蔵タンク*	重大事故等対応設備	可搬式代替圧注水ポンプを用いた、代物の心注水により原子炉を冷却する手順	a
重油タンク*	重大事故等対応設備	可搬式代替圧注水ポンプを用いた、代物の心注水により原子炉を冷却する手順	a			
タンクローリー*	重大事故等対応設備	可搬式代替圧注水ポンプを用いた、代物の心注水により原子炉を冷却する手順	a			
軽油ドラム缶*	重大事故等対応設備	可搬式代替圧注水ポンプを用いた、代物の心注水により原子炉を冷却する手順	a			
B高圧注水ポンプ(海水冷却)	重大事故等対応設備	B高圧注水ポンプ(海水冷却)を用いた、代物の心注水により原子炉を冷却する手順	a,b			
大容量ポンプ*	重大事故等対応設備	B高圧注水ポンプ(海水冷却)を用いた、代物の心注水により原子炉を冷却する手順	a,b			
格納容器内循環ポンプ	重大事故等対応設備	B高圧注水ポンプ(海水冷却)を用いた、代物の心注水により原子炉を冷却する手順	a,b			
格納容器内循環ポンプスターリン	重大事故等対応設備	B高圧注水ポンプ(海水冷却)を用いた、代物の心注水により原子炉を冷却する手順	a,b			
空冷式非用電発電機*	重大事故等対応設備	B高圧注水ポンプ(海水冷却)を用いた、代物の心注水により原子炉を冷却する手順	a,b			
燃料油貯蔵タンク*	重大事故等対応設備	B高圧注水ポンプ(海水冷却)を用いた、代物の心注水により原子炉を冷却する手順	a,b			
重油タンク*	重大事故等対応設備	B高圧注水ポンプ(海水冷却)を用いた、代物の心注水により原子炉を冷却する手順	a,b			
タンクローリー*	重大事故等対応設備	B高圧注水ポンプ(海水冷却)を用いた、代物の心注水により原子炉を冷却する手順	a,b			

\*1：可搬式代替圧注水ポンプにより心注水する場合は海水を注水する。  
 \*2：手順書 1.14 電網の復旧に関する手順等にて整備する。  
 \*3：送水車の燃料供給に使用する手順の1のみである。手順は 1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等にて整備する。  
 \*4：手順書 1.6 最終タービンポンプを駆動するための手順等にて整備する。  
 \*5：C、D一格納容器内循環ポンプによる格納容器内自然対流冷却は 1.7 原子炉格納容器の過圧監視を防止するための手順等にて整備する。  
 \*6：装置による大型空機への影響その他のプロセスによる影響がある場合に使用する。  
 \*7：重大事故等発生時に用いる設備の名称  
 a：当該表に適合する重大事故等対応設備 b：27 条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

【大飯】  
 記載方針の相違  
 (女川審査実績の反映)  
 ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載  
 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、第1.4.2表(1/2)を再掲】

第1.4.2表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順  
 (運転中の1次冷却材喪失事象が発生している場合におけるサポート系機能喪失時)(1/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	整備する手順書	手順書の分類	
1次冷却材喪失事象が発生している場合	全交直出力電源*	サポート系機能喪失時	加圧代替用圧注水ポンプ	加圧代替用圧注水ポンプを用いた代替心注水により原子炉を冷却する手順	加圧代替用圧注水ポンプを用いた代替心注水により原子炉を冷却する手順 運転手順書	
			空冷式非常用発電装置 <sup>※1</sup>	空冷式非常用発電装置 <sup>※1</sup>	空冷式非常用発電装置 <sup>※1</sup>	空冷式非常用発電装置 <sup>※1</sup>
			B充てんポンプ(自己冷却)	B充てんポンプ(自己冷却)	B充てんポンプ(自己冷却)を用いた代替心注水により原子炉を冷却する手順	B充てんポンプ(自己冷却)を用いた代替心注水により原子炉を冷却する手順 運転手順書
			燃料冷却用海水ピット	燃料冷却用海水ピット	燃料冷却用海水ピット	燃料冷却用海水ピット
			復水ピット	復水ピット	復水ピット	復水ピット
			燃料油貯蔵タンク <sup>※2</sup>	燃料油貯蔵タンク <sup>※2</sup>	燃料油貯蔵タンク <sup>※2</sup>	燃料油貯蔵タンク <sup>※2</sup>
			重油タンク <sup>※3</sup>	重油タンク <sup>※3</sup>	重油タンク <sup>※3</sup>	重油タンク <sup>※3</sup>
			タンクローリー <sup>※4</sup>	タンクローリー <sup>※4</sup>	タンクローリー <sup>※4</sup>	タンクローリー <sup>※4</sup>
			A格納容器スプレイポンプ(自己冷却) (R1R3ローピッド逆アフィン使用)	A格納容器スプレイポンプ(自己冷却)	A格納容器スプレイポンプを用いた代替心注水により原子炉を冷却する手順	A格納容器スプレイポンプを用いた代替心注水により原子炉を冷却する手順 運転手順書
			燃料冷却用海水ピット	燃料冷却用海水ピット	燃料冷却用海水ピット	燃料冷却用海水ピット
			ディーゼル消火ポンプ No. 2 海水タンク	ディーゼル消火ポンプ No. 2 海水タンク	ディーゼル消火ポンプを用いた代替心注水により原子炉を冷却する手順	ディーゼル消火ポンプを用いた代替心注水により原子炉を冷却する手順 運転手順書
			可搬式代替用圧注水ポンプ <sup>※5</sup>	可搬式代替用圧注水ポンプ(用)	可搬式代替用圧注水ポンプを用いた代替心注水により原子炉を冷却する手順	可搬式代替用圧注水ポンプを用いた代替心注水により原子炉を冷却する手順 運転手順書
			電気車 (可搬式代替用圧注水ポンプ用)	電気車 (可搬式代替用圧注水ポンプ用)	電気車 (可搬式代替用圧注水ポンプ用)	電気車 (可搬式代替用圧注水ポンプ用)
			脱注用送水車	脱注用送水車	脱注用送水車	脱注用送水車
			燃料油貯蔵タンク <sup>※2</sup>	燃料油貯蔵タンク <sup>※2</sup>	燃料油貯蔵タンク <sup>※2</sup>	燃料油貯蔵タンク <sup>※2</sup>
重油タンク <sup>※3</sup>	重油タンク <sup>※3</sup>	重油タンク <sup>※3</sup>	重油タンク <sup>※3</sup>			
タンクローリー <sup>※4</sup>	タンクローリー <sup>※4</sup>	タンクローリー <sup>※4</sup>	タンクローリー <sup>※4</sup>			
軽油ドラム缶 <sup>※6</sup>	軽油ドラム缶 <sup>※6</sup>	軽油ドラム缶 <sup>※6</sup>	軽油ドラム缶 <sup>※6</sup>			
B高圧注水ポンプ(海水冷却)	B高圧注水ポンプ(海水冷却)	B高圧注水ポンプ(海水冷却)を用いた代替心注水により原子炉を冷却する手順	B高圧注水ポンプ(海水冷却)を用いた代替心注水により原子炉を冷却する手順 運転手順書			
大容量ポンプ <sup>※7</sup>	大容量ポンプ <sup>※7</sup>	大容量ポンプ <sup>※7</sup>	大容量ポンプ <sup>※7</sup>			
格納容器内循環ポンプ	格納容器内循環ポンプ	格納容器内循環ポンプ	格納容器内循環ポンプ			
格納容器内循環ポンプスクリーン	格納容器内循環ポンプスクリーン	格納容器内循環ポンプスクリーン	格納容器内循環ポンプスクリーン			
空冷式非常用発電装置 <sup>※1</sup>	空冷式非常用発電装置 <sup>※1</sup>	空冷式非常用発電装置 <sup>※1</sup>	空冷式非常用発電装置 <sup>※1</sup>			
燃料油貯蔵タンク <sup>※2</sup>	燃料油貯蔵タンク <sup>※2</sup>	燃料油貯蔵タンク <sup>※2</sup>	燃料油貯蔵タンク <sup>※2</sup>			
重油タンク <sup>※3</sup>	重油タンク <sup>※3</sup>	重油タンク <sup>※3</sup>	重油タンク <sup>※3</sup>			
タンクローリー <sup>※4</sup>	タンクローリー <sup>※4</sup>	タンクローリー <sup>※4</sup>	タンクローリー <sup>※4</sup>			

※1：大阪発電所 重大事故等発生時に用いる原子炉施設が稼働のための活動に関する所通  
 ※2：手順書「1.14 電網の復旧に関する手順等」にて整備する。  
 ※3：空冷式非常用発電装置の燃料供給に関する手順書「1.14 電網の復旧に関する手順等」にて整備する。  
 ※4：可搬式代替用圧注水ポンプにより心注水する場合は海水を注水する。  
 ※5：電機車(可搬式代替用圧注水ポンプ用)の燃料供給に関する手順書「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。  
 ※6：海水の燃料油貯蔵タンクに格納する手順書「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。  
 ※7：大容量ポンプ(燃料供給)に関する手順書「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。  
 ※8：手順書「1.6 最終ヒートシンクへ熱を搬送するための手順等」にて整備する。  
 ※9：重大事故等対応において用いる設備の分類  
 a：当該表に適合する重大事故等対処設備 b：27条に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

対応手段、対処設備、手順書一覧(7/22)

(1次冷却材喪失事象が発生している場合のサポート系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	整備する手順書	手順書の分類	
サポート系機能喪失時	全交直出力電源*	サポート系機能喪失時	空冷式非常用発電装置 <sup>※1</sup>	空冷式非常用発電装置 <sup>※1</sup>	空冷式非常用発電装置 <sup>※1</sup>	
			原子炉格納容器冷却水設備	原子炉格納容器冷却水設備	原子炉格納容器冷却水設備	原子炉格納容器冷却水設備
			再生熱交換器	再生熱交換器	再生熱交換器	再生熱交換器
			非常用中心冷却設備(配管・弁)	非常用中心冷却設備(配管・弁)	非常用中心冷却設備(配管・弁)	非常用中心冷却設備(配管・弁)
			原子炉格納容器冷却設備(原子炉格納容器冷却設備)	原子炉格納容器冷却設備(原子炉格納容器冷却設備)	原子炉格納容器冷却設備(原子炉格納容器冷却設備)	原子炉格納容器冷却設備(原子炉格納容器冷却設備)
			1次冷却設備	1次冷却設備	1次冷却設備	1次冷却設備
			原子炉格納容器冷却設備	原子炉格納容器冷却設備	原子炉格納容器冷却設備	原子炉格納容器冷却設備
			常設代替用圧注水設備 <sup>※1</sup>	常設代替用圧注水設備 <sup>※1</sup>	常設代替用圧注水設備 <sup>※1</sup>	常設代替用圧注水設備 <sup>※1</sup>
			1次冷却設備	1次冷却設備	1次冷却設備	1次冷却設備
			1次冷却設備	1次冷却設備	1次冷却設備	1次冷却設備
			1次冷却設備	1次冷却設備	1次冷却設備	1次冷却設備
			1次冷却設備	1次冷却設備	1次冷却設備	1次冷却設備
			1次冷却設備	1次冷却設備	1次冷却設備	1次冷却設備
			1次冷却設備	1次冷却設備	1次冷却設備	1次冷却設備
			1次冷却設備	1次冷却設備	1次冷却設備	1次冷却設備

※1：手順書「1.14 電網の復旧に関する手順等」にて整備する。  
 ※2：手順書「1.5 最終ヒートシンクへ熱を搬送するための手順等」にて整備する。  
 ※3：c、d：格納容器内循環ポンプによる格納容器内自然対流時には「1.7 原子炉格納容器の過熱を低減するための手順等」にて整備する。  
 ※4：装置による大型貯留槽の搬送設備のトラブルによる影響がある場合に使用する。  
 ※5：重大事故等対応において用いる設備の分類  
 a：当該表に適合する重大事故等対処設備 b：27条に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

【大阪】  
 記載方針の相違  
 (女川審査実績の反映)  
 ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載  
 ・泊は設計基準事故対処設備による対応手段を整理



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1.4.3表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備を整備する手順 (溶融炉心が原子炉容器内に残存する場合)

Table with 5 columns: 分類, 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備, 対応手段, 対応設備, 整備する手順書, 手順書の分類. It details emergency procedures for various equipment failures like pumps and valves.

※1：「大阪発電所」重大事故等発生時に沿って原子炉施設の状態のための活動に関する手順  
※2：プーローラ発電機等により給電する  
※3：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。  
※4：可搬式代替給排水ポンプにより給水する場合に給水を注水する。  
※5：空冷式非常用発電機の燃料補給に使用する。手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。  
※6：電源車（可搬式代替給排水ポンプ用）の燃料補給に使用する。手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。  
※7：送水車（可搬式代替給排水ポンプ用）の燃料補給に使用する。手順は「1.6 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。  
※8：A、D格納容器内積集ユニットでの燃料貯留給電を行う。手順は「1.7 原子炉格納容器の過圧抑制を行うための手順等」にて整備する。  
※9：重大事故等発生時に沿って用いる設備の指  
a：当該表文に適合する重大事故等対応設備 b：97条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

対応手段、対処設備、手順書一覧 (5/9)

(溶融炉心が原子炉压力容器内に残存する場合)

Table with 4 columns: 分類, 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備, 対応手段, 対処設備, 手順書. It lists specific response actions for equipment failures like pumps and valves.

※1：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。  
※2：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。  
※3：手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。  
※4：「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【解釈】(b)項を満足するための代替淡水源（措置）  
※5：残留熱除去系（取注排水モード）は熱交換機能に期待しております。熱交換器は管路としてのみ用いる。

対応手段、対処設備、手順書一覧 (6/9)

(溶融炉心が原子炉压力容器内に残存する場合)

Table with 4 columns: 分類, 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備, 対応手段, 対処設備, 手順書. It lists specific response actions for equipment failures like pumps and valves.

※1：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。  
※2：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。  
※3：手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。  
※4：「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【解釈】(b)項を満足するための代替淡水源（措置）  
※5：残留熱除去系（取注排水モード）は熱交換機能に期待しております。熱交換器は管路としてのみ用いる。

溶融炉心が原子炉压力容器内に残存する場合

対応手段、対処設備、手順書一覧 (8/22)

(溶融炉心が原子炉容器内に残存する場合)

Table with 5 columns: 分類, 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備, 対応手段, 対処設備, 整備する手順書, 手順書の分類. It details emergency procedures for various equipment failures like pumps and valves.

※1：手順は「1.4 原子炉格納容器（注）内融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。  
※2：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。  
※3：可搬式代替給排水ポンプにより給水する場合に給水を注水する。  
※4：送水車の場合は、送水車積水タンク又は送水ポンプから給水することにより行う。  
※5：C、D格納容器内積集ユニットによる格納容器内自然対流冷却は「1.7 原子炉格納容器の過圧抑制を行うための手順等」にて整備する。  
※6：重大事故等発生時に沿って用いる設備の指  
a：当該表文に適合する重大事故等対応設備 b：97条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

【大阪】  
記載方針の相違  
（女川審査実績の反映）  
・泊は管路及び給電に使用する設備に記載  
・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1.4.4表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備を整備する手順  
 （運転中の1次冷却材喪失事象が発生していない場合）（1/2）

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	設備分類 <sup>a)</sup>	整備する手順書	手順の分類			
1次冷却材喪失事象が発生していない場合	余熱除去ポンプ 又は 余熱除去設備	運転中の1次冷却材喪失事象が発生していない場合	電動補助給水ポンプ <sup>a)</sup>	多様性 拡張設備	蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）の手順	故障及び設計基準事象に「対応する」運転手順書			
			タービン駆動補助給水ポンプ						
			戻水ヒート						
			蒸気発生器2次側						
			電動主給水ポンプ						
			脱気器タンク						
			蒸気発生器補助用脱気中圧ポンプ（電機） <sup>b)</sup>				蒸気発生器補助用脱気中圧ポンプによる炉心冷却（注水）の手順	故障及び設計基準事象に「対応する」運転手順書	
			戻水タンク						
			主蒸気過熱器				多様性 拡張設備	蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）の手順	故障及び設計基準事象に「対応する」運転手順書
			タービンバイパス						
蒸気発生器2次側及びタービンバイパス	多様性 拡張設備	ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側の「フリー」により炉心を冷却する手順	炉心の著しい過熱及び燃料棒破断を抑制する運転手順書						
ポンプ車 <sup>c)</sup>									
蒸気発生器2次側及びタービンバイパス	多様性 拡張設備	ポンプ車による蒸気発生器への注水の手順	炉心の著しい過熱及び燃料棒破断を抑制する運転手順書						
送水車									

※1：大阪発電所 重大事故等発生時に原子炉降圧の保全のための活動に関する所達  
 ※2：アーベール電機等により新設する。  
 ※3：手順は「1.2 原子炉の降圧圧力バウンダリ範囲時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。  
 ※4：手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を搬送するための手順等」にて整備する。  
 ※5：重大事故等対策に「1.4」で用いている設備の分類  
 a：当該事故に適合する重大事故等対処設備 b：37 条に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

対応手段、対処設備、手順書一覧（9/22）

（1次冷却材喪失事象が発生していない場合のフロントライン系故障時）

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	設備分類 <sup>a)</sup>	整備する手順書	手順書の分類			
フロントライン系故障時	余熱除去ポンプ 又は 余熱除去設備	運転中の1次冷却材喪失事象が発生していない場合	電動補助給水ポンプ タービン駆動補助給水ポンプ 補助給水ヒート（給水設備）配管・弁 蒸気発生器 2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁 2次冷却設備（主蒸気設備）配管・弁 非常用交流電源設備 <sup>#1</sup>	多様性 拡張設備	蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）の手順	故障及び設計基準事象に「対応する」運転手順書			
			蒸気発生器2次側						
			電動主給水ポンプ						
			タービン駆動補助給水ポンプ						
			戻水ヒート						
			蒸気発生器補助用脱気中圧ポンプ（電機） <sup>b)</sup>				蒸気発生器補助用脱気中圧ポンプによる炉心冷却（注水）の手順	故障及び設計基準事象に「対応する」運転手順書	
			戻水タンク						
			主蒸気過熱器				多様性 拡張設備	蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）の手順	故障及び設計基準事象に「対応する」運転手順書
			タービンバイパス						
			蒸気発生器2次側及びタービンバイパス				多様性 拡張設備	ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側の「フリー」により炉心を冷却する手順	炉心の著しい過熱及び燃料棒破断を抑制する運転手順書
ポンプ車 <sup>c)</sup>									
蒸気発生器2次側及びタービンバイパス	多様性 拡張設備	ポンプ車による蒸気発生器への注水の手順	炉心の著しい過熱及び燃料棒破断を抑制する運転手順書						
送水車									

※1：手順は「1.4 炉心の過熱に「対応する」手順等」にて整備する。  
 ※2：手順は「1.2 原子炉の降圧圧力バウンダリ範囲時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。  
 ※3：可搬型大型送水ポンプ車により戻水を蒸気発生器へ注水する。  
 ※4：戻水車への搬送は、2次冷却タンク又は戻水タンクから移送することにより行う。  
 ※5：重大事故等対策に「1.4」で用いている設備の分類  
 a：当該事故に適合する重大事故等対処設備 b：37 条に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

【大阪】  
 記載方針の相違  
 （女川審査実績の反映）  
 ・泊は管路及び給電に使用する設備に記載  
 ・泊は設計基準事故対処設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉				女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由																																																																																
<p style="text-align: center;"><b>【比較のため、第1.4.4表(1/2)を再掲】</b></p> <p style="text-align: center;">第1.4.4表 機件喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順 (運転中の1次冷却材喪失事故が発生していない場合)(1/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機件喪失を想定する設計基準事故対応設備</th> <th>対応手段</th> <th>対応設備</th> <th>整備する手順書</th> <th>手順書の分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">1次冷却材喪失事故が発生していない場合</td> <td rowspan="10">金熱除去ポンプ又は金熱冷却用機</td> <td rowspan="10">金熱除去ポンプの故障による1次冷却材喪失</td> <td>電動補助給水ポンプ<sup>a)</sup></td> <td rowspan="4">a) 蒸気発生器2次側による炉心の冷却(注水)の手順</td> <td rowspan="4">故障及び設計基準事故に対する運転手順書</td> </tr> <tr> <td>タービン駆動補助給水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>復水ピット</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">多様性取組設備</td> <td>電熱主給水ポンプ</td> <td rowspan="4">b) 蒸気発生器の全減による炉心の冷却(注水)の手順</td> <td rowspan="4">c) 蒸気発生器補給用圧力ポンプ(電熱)</td> <td rowspan="4">故障及び設計基準事故に対する運転手順書</td> </tr> <tr> <td>脱気器タンク</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器補給用復設中圧ポンプ(電熱)</td> </tr> <tr> <td>復水ピット</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">金熱除去ポンプ又は金熱冷却用機</td> <td rowspan="4">金熱除去ポンプの故障による炉心の冷却</td> <td>主蒸気送りがし弁</td> <td rowspan="2">a) 蒸気発生器2次側による炉心の冷却(蒸気放出)の手順</td> <td rowspan="2">故障及び設計基準事故に対する運転手順書</td> </tr> <tr> <td>タービンバイパス弁</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">多様性取組設備</td> <td>ポンプ室<sup>d)</sup></td> <td rowspan="2">e) ポンプ室を用いた蒸気発生器2次側(フュードアンドブリード)により原子炉を冷却する手順</td> <td rowspan="2">f) 炉心の著しい損傷及び炉心溶融破損を回避する運転手順書</td> </tr> <tr> <td>送水車</td> <td>g) 炉心の著しい損傷及び炉心溶融破損を回避する運転手順書</td> </tr> </tbody> </table>													分類	機件喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類	1次冷却材喪失事故が発生していない場合	金熱除去ポンプ又は金熱冷却用機	金熱除去ポンプの故障による1次冷却材喪失	電動補助給水ポンプ <sup>a)</sup>	a) 蒸気発生器2次側による炉心の冷却(注水)の手順	故障及び設計基準事故に対する運転手順書	タービン駆動補助給水ポンプ	復水ピット	蒸気発生器	多様性取組設備	電熱主給水ポンプ	b) 蒸気発生器の全減による炉心の冷却(注水)の手順	c) 蒸気発生器補給用圧力ポンプ(電熱)	故障及び設計基準事故に対する運転手順書	脱気器タンク	蒸気発生器補給用復設中圧ポンプ(電熱)	復水ピット	金熱除去ポンプ又は金熱冷却用機	金熱除去ポンプの故障による炉心の冷却	主蒸気送りがし弁	a) 蒸気発生器2次側による炉心の冷却(蒸気放出)の手順	故障及び設計基準事故に対する運転手順書	タービンバイパス弁	多様性取組設備	ポンプ室 <sup>d)</sup>	e) ポンプ室を用いた蒸気発生器2次側(フュードアンドブリード)により原子炉を冷却する手順	f) 炉心の著しい損傷及び炉心溶融破損を回避する運転手順書	送水車	g) 炉心の著しい損傷及び炉心溶融破損を回避する運転手順書	<p>対応手段、対処設備、手順書一覧 (10/22)</p> <p>(1次冷却材喪失事故が発生していない場合のフロントライン系故障時)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機件喪失を想定する設計基準事故対応設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>整備する手順書</th> <th>手順書の分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">フロントライン系故障時</td> <td rowspan="4">金熱除去ポンプ又は金熱冷却用機</td> <td rowspan="4">金熱除去ポンプの故障による炉心の冷却</td> <td>主蒸気送りがし弁 蒸気発生器 2次冷却設備(主蒸気設備) 配管・弁</td> <td rowspan="2">a) 金熱除去設備の異常時に対応する対応手順書</td> <td rowspan="2">故障及び設計基準事故に対する運転手順書</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器 2次冷却設備(主蒸気設備) 配管・弁</td> </tr> <tr> <td>タービンバイパス弁 蒸気発生器 2次冷却設備(主蒸気設備) 配管・弁 蒸気発生器 2次冷却設備(凝結給水設備) 配管・弁</td> <td rowspan="2">b) 金熱除去設備の異常時に対応する対応手順書</td> <td rowspan="2">故障及び設計基準事故に対する運転手順書</td> </tr> <tr> <td>可搬型大型送水ポンプ<sup>e)</sup> 2・3・4・5 可搬型ボースー格納口 ボースー格納口・回収車(送水車用) 蒸気発生器 2次冷却設備(凝結給水設備) 配管・弁 2次冷却設備(主蒸気設備) 配管・弁 非常用送水設備 蒸気発生器 2次冷却設備(凝結給水設備) 配管・弁 燃料補給設備<sup>f)</sup></td> <td rowspan="2">c) 金熱除去設備の異常時に対応する対応手順書</td> <td rowspan="2">故障及び設計基準事故に対する運転手順書</td> </tr> </tbody> </table>													分類	機件喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	整備する手順書	手順書の分類	フロントライン系故障時	金熱除去ポンプ又は金熱冷却用機	金熱除去ポンプの故障による炉心の冷却	主蒸気送りがし弁 蒸気発生器 2次冷却設備(主蒸気設備) 配管・弁	a) 金熱除去設備の異常時に対応する対応手順書	故障及び設計基準事故に対する運転手順書	蒸気発生器 2次冷却設備(主蒸気設備) 配管・弁	タービンバイパス弁 蒸気発生器 2次冷却設備(主蒸気設備) 配管・弁 蒸気発生器 2次冷却設備(凝結給水設備) 配管・弁	b) 金熱除去設備の異常時に対応する対応手順書	故障及び設計基準事故に対する運転手順書	可搬型大型送水ポンプ <sup>e)</sup> 2・3・4・5 可搬型ボースー格納口 ボースー格納口・回収車(送水車用) 蒸気発生器 2次冷却設備(凝結給水設備) 配管・弁 2次冷却設備(主蒸気設備) 配管・弁 非常用送水設備 蒸気発生器 2次冷却設備(凝結給水設備) 配管・弁 燃料補給設備 <sup>f)</sup>	c) 金熱除去設備の異常時に対応する対応手順書	故障及び設計基準事故に対する運転手順書	<p>【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・泊は管路及び給電に使用する設備を記載 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理</p>												
分類	機件喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類																																																																																							
1次冷却材喪失事故が発生していない場合	金熱除去ポンプ又は金熱冷却用機	金熱除去ポンプの故障による1次冷却材喪失	電動補助給水ポンプ <sup>a)</sup>	a) 蒸気発生器2次側による炉心の冷却(注水)の手順	故障及び設計基準事故に対する運転手順書																																																																																							
			タービン駆動補助給水ポンプ																																																																																									
			復水ピット																																																																																									
			蒸気発生器																																																																																									
			多様性取組設備	電熱主給水ポンプ	b) 蒸気発生器の全減による炉心の冷却(注水)の手順	c) 蒸気発生器補給用圧力ポンプ(電熱)	故障及び設計基準事故に対する運転手順書																																																																																					
				脱気器タンク																																																																																								
				蒸気発生器補給用復設中圧ポンプ(電熱)																																																																																								
				復水ピット																																																																																								
			金熱除去ポンプ又は金熱冷却用機	金熱除去ポンプの故障による炉心の冷却	主蒸気送りがし弁	a) 蒸気発生器2次側による炉心の冷却(蒸気放出)の手順	故障及び設計基準事故に対する運転手順書																																																																																					
					タービンバイパス弁																																																																																							
多様性取組設備	ポンプ室 <sup>d)</sup>	e) ポンプ室を用いた蒸気発生器2次側(フュードアンドブリード)により原子炉を冷却する手順			f) 炉心の著しい損傷及び炉心溶融破損を回避する運転手順書																																																																																							
	送水車					g) 炉心の著しい損傷及び炉心溶融破損を回避する運転手順書																																																																																						
分類	機件喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	整備する手順書	手順書の分類																																																																																							
フロントライン系故障時	金熱除去ポンプ又は金熱冷却用機	金熱除去ポンプの故障による炉心の冷却	主蒸気送りがし弁 蒸気発生器 2次冷却設備(主蒸気設備) 配管・弁	a) 金熱除去設備の異常時に対応する対応手順書	故障及び設計基準事故に対する運転手順書																																																																																							
			蒸気発生器 2次冷却設備(主蒸気設備) 配管・弁																																																																																									
			タービンバイパス弁 蒸気発生器 2次冷却設備(主蒸気設備) 配管・弁 蒸気発生器 2次冷却設備(凝結給水設備) 配管・弁	b) 金熱除去設備の異常時に対応する対応手順書	故障及び設計基準事故に対する運転手順書																																																																																							
			可搬型大型送水ポンプ <sup>e)</sup> 2・3・4・5 可搬型ボースー格納口 ボースー格納口・回収車(送水車用) 蒸気発生器 2次冷却設備(凝結給水設備) 配管・弁 2次冷却設備(主蒸気設備) 配管・弁 非常用送水設備 蒸気発生器 2次冷却設備(凝結給水設備) 配管・弁 燃料補給設備 <sup>f)</sup>			c) 金熱除去設備の異常時に対応する対応手順書	故障及び設計基準事故に対する運転手順書																																																																																					
<p>※1：「大阪発電所」重大事故発生時に打ける炉心保護の保全のための活動に関する手順                  ※2：「プアール」発電機等により駆動する。                  ※3：手順は「1.5 最終ヒートシンク」熱を輸送するための手順等)にて整備する。                  ※4：「1.5 最終ヒートシンク」熱を輸送するための手順等)にて整備する。                  ※5：重大事故発生時に打ける炉心保護の手順                  a)：当該条文に適合する重大事故等対応設備 b)：27条に適合する重大事故等対応設備 c)：自主的対策として整備する重大事故等対応設備                  d)：当該条文に適合する重大事故等対応設備 b)：27条に適合する重大事故等対応設備 c)：自主的対策として整備する重大事故等対応設備</p>																																																																																												

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉				女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由					
<p>第1.4.4表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順                      (運転中の1次冷却材喪失事象が発生していない場合) (2/2)</p>												<p>対応手段</p> <p>相違理由</p>					
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	設備分類	整備する手順書	手順書の分類	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	設備分類		整備する手順書	手順書の分類			
1次冷却材喪失事象が発生していない場合	全交流動力電機*	蒸気発生器2次側による炉内冷却(注水)	電動補助給水ポンプ	a	蒸気発生器2次側による炉内冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	a	電動補助給水ポンプ	電動補助給水ポンプ	電動補助給水ポンプ	電動補助給水ポンプ	電動補助給水ポンプ	電動補助給水ポンプ	電動補助給水ポンプ			
			タービン駆動補助給水ポンプ	a,b											電動補助給水ポンプ	a	
			復水ピット	a											電動補助給水ポンプ	a	
			蒸気発生器	a											電動補助給水ポンプ	a	
燃料貯蔵減タンク**	a	燃料貯蔵減タンク**	a	燃料貯蔵減タンク**	a	燃料貯蔵減タンク**	a	燃料貯蔵減タンク**	a	燃料貯蔵減タンク**	a	燃料貯蔵減タンク**	a	燃料貯蔵減タンク**	a		
蒸気発生器補助用仮設中圧ポンプ(電動)**	多様性 拡張設備	蒸気発生器補助用仮設中圧ポンプ(電動)**	a	蒸気発生器がしきり機能回復の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	a	蒸気発生器補助用仮設中圧ポンプ(電動)**	蒸気発生器補助用仮設中圧ポンプ(電動)**	蒸気発生器補助用仮設中圧ポンプ(電動)**	蒸気発生器補助用仮設中圧ポンプ(電動)**	蒸気発生器補助用仮設中圧ポンプ(電動)**	蒸気発生器補助用仮設中圧ポンプ(電動)**	蒸気発生器補助用仮設中圧ポンプ(電動)**	蒸気発生器補助用仮設中圧ポンプ(電動)**	蒸気発生器補助用仮設中圧ポンプ(電動)**	蒸気発生器補助用仮設中圧ポンプ(電動)**	
復水ピット	a,b	復水ピット	a,b	蒸気発生器がしきり機能回復の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	a,b	復水ピット	復水ピット	復水ピット	復水ピット	復水ピット	復水ピット	復水ピット	復水ピット	復水ピット	復水ピット	
蒸気発生器補助用仮設中圧ポンプ(電動)**	多様性 拡張設備	蒸気発生器補助用仮設中圧ポンプ(電動)**	a	蒸気発生器がしきり機能回復の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	a	蒸気発生器補助用仮設中圧ポンプ(電動)**	蒸気発生器補助用仮設中圧ポンプ(電動)**	蒸気発生器補助用仮設中圧ポンプ(電動)**	蒸気発生器補助用仮設中圧ポンプ(電動)**	蒸気発生器補助用仮設中圧ポンプ(電動)**	蒸気発生器補助用仮設中圧ポンプ(電動)**	蒸気発生器補助用仮設中圧ポンプ(電動)**	蒸気発生器補助用仮設中圧ポンプ(電動)**	蒸気発生器補助用仮設中圧ポンプ(電動)**	蒸気発生器補助用仮設中圧ポンプ(電動)**	
ポンプ群**	多様性 拡張設備	ポンプ群**	a	ポンプ群を用いた蒸気発生器2次側のクローズドシステムにより原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	a	ポンプ群**	ポンプ群**	ポンプ群**	ポンプ群**	ポンプ群**	ポンプ群**	ポンプ群**	ポンプ群**	ポンプ群**	ポンプ群**	ポンプ群**
送水車	a	送水車	a	送水車による蒸気発生器への注水の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	a	送水車	送水車	送水車	送水車	送水車	送水車	送水車	送水車	送水車	送水車	送水車

対応手段、対処設備、手順書一覧 (11/22)

(1次冷却材喪失事象が発生していない場合のサポート系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	設備分類	整備する手順書	手順書の分類
サポート系故障時	全交流動力電機	蒸気発生器2次側による炉内冷却(注水)	電動補助給水ポンプ	電動補助給水ポンプ	電動補助給水ポンプ	電動補助給水ポンプ
			タービン駆動補助給水ポンプ	タービン駆動補助給水ポンプ	タービン駆動補助給水ポンプ	タービン駆動補助給水ポンプ
			復水ピット	復水ピット	復水ピット	復水ピット
			蒸気発生器	蒸気発生器	蒸気発生器	蒸気発生器
			燃料貯蔵減タンク**	燃料貯蔵減タンク**	燃料貯蔵減タンク**	燃料貯蔵減タンク**
			蒸気発生器補助用仮設中圧ポンプ(電動)**	蒸気発生器補助用仮設中圧ポンプ(電動)**	蒸気発生器補助用仮設中圧ポンプ(電動)**	蒸気発生器補助用仮設中圧ポンプ(電動)**
			復水ピット	復水ピット	復水ピット	復水ピット
			蒸気発生器補助用仮設中圧ポンプ(電動)**	蒸気発生器補助用仮設中圧ポンプ(電動)**	蒸気発生器補助用仮設中圧ポンプ(電動)**	蒸気発生器補助用仮設中圧ポンプ(電動)**
			ポンプ群**	ポンプ群**	ポンプ群**	ポンプ群**
			送水車	送水車	送水車	送水車

【大阪】  
 記載方針の相違  
 (女川審査実績の反映)  
 ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載  
 ・泊は設計基準事故対処設備による対応手段を整理

\*1：(大阪発電所) 重大事故等発生時に伴う原子炉施設の状態のための活動に関する手順  
 \*2：手順は「1.14 電圧の確保に関する手順等」にて整備する。  
 \*3：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。  
 \*4：手順は「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを維持するための手順等」にて整備する。  
 \*5：手順は「1.3 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。  
 \*6：空弁式非常用発電装置の燃料補給に使用する。手順は「1.14 電圧の確保に関する手順等」にて整備する。  
 \*7：重大事故等発生時において用いる設備の分類  
 a：当該表に適合する重大事故等対処設備 b：37条に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

\*1：手順は「1.14 電圧の確保に関する手順等」にて整備する。  
 \*2：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。  
 \*3：可搬型大型送水ポンプ車により送水装置を運搬して供する。  
 \*4：取外機への接続は、送水装置タンク又は送水ポンプから移送することにより行う。  
 \*5：重大事故等発生時において用いる設備の分類  
 a：当該表に適合する重大事故等対処設備 b：37条に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由	
【比較のため、第1.4.4表(2/2)を再掲】							
第1.4.4表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順 (運転中の1次冷却材喪失事故が発生していない場合)(2/2)							
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	設備分類 <sup>a</sup>	整備する手順書	手順書の分類	
1次冷却材喪失事故が発生していない場合	全空送動力源 <sup>2)</sup>	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	電熱加熱給水ポンプ	a	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び燃料の露出を防止する運転手順書	
			空冷式非常用発電装置 <sup>3)</sup>				
			タービン駆動給水ポンプ				
			復水ピット				
			蒸気発生器				
			燃料貯蔵タンク <sup>4)</sup>				
			風機タンク <sup>5)</sup>				
			タンクローリー <sup>6)</sup>				
			蒸気発生器補給用促進中圧ポンプ(電動) <sup>7)</sup>				多様性対称設備
			復水ピット				
蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	蒸気発生器2次側による炉心冷却	主要気路がしきり(視察手動制御) <sup>8)</sup>	a,b	主要気路がしきり機組切替の手順	炉心の著しい損傷及び燃料の露出を防止する運転手順書		
蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)							
蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	蒸気発生器2次側による炉心冷却	ポンプ <sup>9)</sup>	多様性対称設備	ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフュードアンドブロードにより原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷を防止する運転手順書		
送水車		ポンプ車による蒸気発生器への注水の手順				S A所産 <sup>1)</sup>	

2) 1 大阪発電所 重大事故発生時に炉心冷却設備の保全のための活動に関する手順  
 2) 手順は「1.4 電源の確保に関する手順等」にて整備する。  
 3) 手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。  
 4) 手順は「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを補正するための手順等」にて整備する。  
 5) 手順は「1.3 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。  
 6) 空冷式非常用発電装置の燃料補給に使用する。手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。  
 7) 重大事故発生時に用いる設備の分類  
 8) 当該表文に適合する重大事故等対応設備 b:37 表に適合する重大事故等対応設備 c:自主的対策として整備する重大事故等対応設備

対応手段、対応設備、手順書一覧(12/22)  
 (1次冷却材喪失事故が発生していない場合のサポート系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	設備分類 <sup>a</sup>	整備する手順書	手順書の分類
1次冷却材喪失事故が発生していない場合	全空送動力源 <sup>2)</sup>	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	主要気路がしきり <sup>1)</sup> 蒸気発生器 2次冷却設備(主蒸気設備)配管・弁	a, b, c	主要気路がしきり機組切替の手順 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び燃料の露出を防止する運転手順書
			可動型空冷式発電装置 <sup>2)</sup> 可動型ボイラ・凝結機 ボイラ室・回収機(送水車室) 蒸気発生器 2次冷却設備(給水設備)配管 2次冷却設備(燃料給水設備)配管・弁 非常用取水設備 炉内非常用発電装置(送水車室) 燃料貯蔵設備 <sup>3)</sup>			
			電熱加熱給水ポンプ 燃料給水ピット 蒸気発生器 2次冷却設備(給水設備)配管 2次冷却設備(燃料給水設備)配管・弁 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順			

1) 手順は「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを補正するための手順等」にて整備する。  
 2) 手順は「1.3 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。  
 3) 可動型空冷式発電装置により炉心を蒸気発生器へ冷却する。  
 4) 蒸気発生器2次側のフュードアンドブロード時は、主蒸気コンデンサを使用する。  
 5) 蒸気発生器2次側による炉心冷却は、燃料貯蔵タンク(ボイラ室)より注水を行う。  
 6) 手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。  
 7) 重大事故発生時に用いる設備の分類  
 a:当該表文に適合する重大事故等対応設備 b:37表に適合する重大事故等対応設備 c:自主的対策として整備する重大事故等対応設備

【大阪】  
 記載方針の相違  
 (女川審査実績の反映)  
 ・泊は管路及び給電に使用する設備を記載  
 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1.4.5表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順  
 (運転停止中のフロントライン系機機喪失時) (1/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備分類 <sup>a)</sup>	整備する手順書	手順書の分類			
運転停止中の場合	余熱除去ポンプ 又は 余熱除去冷却器	冷却材注水	A、B充てんポンプ <sup>24)</sup>	a,b	充てんポンプを用いた 冷却材注水により原子炉 を冷却する手順	炉心の著しい損傷 及び格納容器破損 を防止する 運転手順書			
			高圧注入ポンプ <sup>25)</sup>						
			燃料取扱用ポンプ <sup>26)</sup>						
			代 替 心 注 水	復水ピット	a	用いた冷却材注水により 原子炉を冷却する手順	S/A所達 <sup>d)</sup>		
				高圧タンク	a,b	高圧タンクを用いた 冷却材注水により 原子炉を冷却する手順			
				ほう酸ポンプ <sup>27)</sup>	a	復水ピット出口配管 接続の手順			
				ほう酸タンク					
				1次系補給水ポンプ <sup>28)</sup>					
				1次系補給水タンク					
				燃料取扱用ポンプ (重力注水)		a		燃料取扱用ポンプ (重力注水)を用いた 代替冷却材注水により 原子炉を冷却する手順	
				A格納容器スプレイポンプ <sup>29)</sup>				A格納容器スプレイ ポンプを用いた 代替冷却材注水により 原子炉を冷却する手順	
				FRHR-S-CSS透過 ライン使用					
				仮設代替冷却材注水ポンプ (空冷式非常用発電機 <sup>30)</sup> )		a,b		仮設代替冷却材注水ポンプ を用いた代替冷却材注 水により原子炉を 冷却する手順	S/A所達 <sup>d)</sup>
				燃料取扱用ポンプ		a		復水ピット出口配管 接続の手順	
				復水ピット		a,b		空冷式非常用発電機 燃料供給の手順	
燃料貯蔵タンク <sup>31)</sup>	a	清化ポンプを用いた 代替冷却材注水により 原子炉を冷却する手順							
重油タンク <sup>32)</sup>									
タンクローリー <sup>33)</sup>									
電動機冷却ポンプ									
ダイヤルポンプ									
N <sub>2</sub> 2次系タンク									
可搬式代替冷却材注水ポンプ <sup>34)</sup>		a	可搬式代替冷却材注 水ポンプを用いた 代替冷却材注水により 原子炉を冷却する手順						
電機車 (可搬式代替冷却材注水ポンプ用)									
仮設冷却材水槽									
送水車									
燃料貯蔵タンク <sup>35)</sup>									
重油タンク <sup>36)</sup>									
タンクローリー <sup>37)</sup>	a	高圧注入ポンプ を用いた 再循環冷却により 原子炉を冷却する手順							
高圧注入ポンプ <sup>38)</sup>									
格納容器内循環タンク									
格納容器内循環タンクストリールン									
A格納容器スプレイポンプ <sup>39)</sup>		a,b	A格納容器スプレイ ポンプを用いた 代替再循環冷却により 原子炉を冷却する手順						
(FRHR) Cから透過 ライン使用									
格納容器内循環タンク									
格納容器内循環タンク	a,b	格納容器内循環タンク ストリールン							
格納容器内循環タンク									
格納容器内循環タンク									

注1 「大阪発電所」 重大事故等発生時に行われる原子炉施設の状態のための活動に関する所通。  
 注2 デイヤル冷却機により冷却する。  
 注3 注4 「1.4 電源の確保に関する手順等」にて整備する。  
 注4 空冷式非常用発電機が燃料供給に使用する。手順は「1.4 電源の確保に関する手順等」にて整備する。  
 注5 可搬式代替冷却材注水ポンプにより冷却材注水する場合は復水ピットを使用する。  
 注6 電機車(可搬式代替冷却材注水ポンプ用)の燃料供給に使用する。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。  
 注7 送水車の燃料供給に使用するの設備のみである。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。  
 注8 重大事故等対応について用いる設備の分類  
 a:当該英文に適合する重大事故等対応設備 b:当該文に適合する重大事故等対応設備 c:自主的対策として整備する重大事故等対応設備

対応手段、対処設備、手順書一覧 (13/22)

(発電用原子炉停止中のフロントライン系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備分類	整備する手順書	手順書の分類	
運転停止中の場合	余熱除去ポンプ 又は 余熱除去冷却器	冷却材注水	A、B充てんポンプ <sup>24)</sup>	a, b	充てんポンプを用いた 冷却材注水により原子炉 を冷却する手順	炉心の著しい損傷 及び格納容器破損 を防止する 運転手順書	
			高圧注入ポンプ <sup>25)</sup>				
			燃料取扱用ポンプ <sup>26)</sup>				
代 替 心 注 水	冷却材注水	復水ピット	a	S/A所達 <sup>d)</sup>			
		高圧タンク					
		ほう酸ポンプ <sup>27)</sup>					
		ほう酸タンク					
		1次系補給水ポンプ <sup>28)</sup>					
		1次系補給水タンク					
		燃料取扱用ポンプ (重力注水)			a	燃料取扱用ポンプ (重力注水)を用いた 代替冷却材注水により 原子炉を冷却する手順	
		A格納容器スプレイポンプ <sup>29)</sup>				A格納容器スプレイ ポンプを用いた 代替冷却材注水により 原子炉を冷却する手順	
		FRHR-S-CSS透過 ライン使用					
		仮設代替冷却材注水ポンプ (空冷式非常用発電機 <sup>30)</sup> )			a,b	仮設代替冷却材注水ポンプ を用いた代替冷却材注 水により原子炉を 冷却する手順	S/A所達 <sup>d)</sup>
		燃料取扱用ポンプ			a	復水ピット出口配管 接続の手順	
		復水ピット			a,b	空冷式非常用発電機 燃料供給の手順	
燃料貯蔵タンク <sup>31)</sup>	a	清化ポンプを用いた 代替冷却材注水により 原子炉を冷却する手順					
重油タンク <sup>32)</sup>							
タンクローリー <sup>33)</sup>							
電動機冷却ポンプ							
ダイヤルポンプ							
N <sub>2</sub> 2次系タンク							
可搬式代替冷却材注水ポンプ <sup>34)</sup>		a	可搬式代替冷却材注 水ポンプを用いた 代替冷却材注水により 原子炉を冷却する手順				
電機車 (可搬式代替冷却材注水ポンプ用)							
仮設冷却材水槽							
送水車							
燃料貯蔵タンク <sup>35)</sup>							
重油タンク <sup>36)</sup>							
タンクローリー <sup>37)</sup>	a	高圧注入ポンプ を用いた 再循環冷却により 原子炉を冷却する手順					
高圧注入ポンプ <sup>38)</sup>							
格納容器内循環タンク							
格納容器内循環タンクストリールン							
A格納容器スプレイポンプ <sup>39)</sup>		a,b	A格納容器スプレイ ポンプを用いた 代替再循環冷却により 原子炉を冷却する手順				
(FRHR) Cから透過 ライン使用							
格納容器内循環タンク							
格納容器内循環タンク	a,b	格納容器内循環タンク ストリールン					
格納容器内循環タンク							
格納容器内循環タンク							

注1 「1.4 手順は「1.4 電源の確保に関する手順等」にて整備する。  
 注2 重大事故等対応について用いる設備の分類  
 a:当該英文に適合する重大事故等対応設備 b:当該文に適合する重大事故等対応設備 c:自主的対策として整備する重大事故等対応設備

【大阪】  
 記載方針の相違  
 (女川審査実績の  
 反映)  
 ・泊は流路及び給  
 電に使用する設  
 備に記載  
 ・泊は設計基準事  
 故対処設備による  
 対応手段を整理

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、第1.4.5表（1/2）を再掲】

第1.4.5表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順（運転停止中のフロントライン系機能喪失時）（1/2）

Table with 6 columns: 分類, 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備, 対応手段, 対処設備, 整備する手順書, 手順書の分類. It details various equipment and procedures for functional loss during shutdown.

※1：「大飯発電所」重大事故等防止手続に記した原子炉施設の状態の維持のための活動に関する手順。
※2：「大飯発電所」緊急停止手続により整備する。
※3：手続「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
※4：空冷式炉外冷却装置の燃料供給に使用する。手続「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
※5：可変式代替冷却注水ポンプにより炉心注水する場合は逆水となる。
※6：電源系（可変式代替冷却注水ポンプ用）の燃料供給に使用する。手続「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。
※7：送水水の燃料供給に使用するの箇所のみのみである。手続「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。
※8：重大事故等対策として用いる設備の名称。
※9：当該表文に適合する重大事故等対処設備。
※10：当該表文に適合する重大事故等対処設備。
※11：自主的対策として整備する重大事故等対処設備。

対応手段、対処設備、手順書一覧（7/9）

（発電用原子炉停止中のフロントライン系故障時）

Table with 6 columns: 分類, 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備, 対応手段, 対処設備, 手順書, 手順書の分類. It provides a detailed overview of response measures for different equipment failures.

※1：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。
※2：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
※3：手順は「1.6 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。
※4：「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【解釈】1b）項を満足するための代替送水源（措置）
※5：残留熱除去系（低圧注水モード）は熱交換機に維持しておらず、熱交換機は流路としてのみ用いる。

対応手段、対処設備、手順書一覧（14/22）

（発電用原子炉停止中のフロントライン系故障時）

Table with 6 columns: 分類, 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備, 対応手段, 対処設備, 整備する手順書, 手順書の分類. It provides a detailed overview of response measures for different equipment failures in the third power reactor.

※1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
※2：可変式大型送水ポンプにより送水を送水ポンプ停止後の炉心注水とする。
※3：重大事故等対策において用いる設備の名称。
※4：当該表文に適合する重大事故等対処設備。
※5：自主的対策として整備する重大事故等対処設備。

【大飯】記載方針の相違（女川審査実績の反映）
・泊は流路及び給電に使用する設備を記載
・泊は設計基準事故対処設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

【比較のため、第1.4.5表 (1/2) を再掲】

第1.4.5表 機建優先を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順 (運転停止中のフロントライン系機建表A時) (1/2)

分類	機建優先を想定する設計基準事故対応設備	対応設備	整備する手順	手順の分類
運転停止中の報告	冷却材圧力バウンダリ低圧時	A, B 冷却ポンプ	冷却ポンプを停止し、冷却材圧力バウンダリを維持する	機建優先
		高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプを停止し、冷却材圧力バウンダリを維持する	機建優先
		燃料冷却器冷却ポンプ	燃料冷却器冷却ポンプを停止し、冷却材圧力バウンダリを維持する	機建優先
		凝縮器冷却ポンプ	凝縮器冷却ポンプを停止し、冷却材圧力バウンダリを維持する	機建優先
		凝縮器冷却ポンプ	凝縮器冷却ポンプを停止し、冷却材圧力バウンダリを維持する	機建優先
		凝縮器冷却ポンプ	凝縮器冷却ポンプを停止し、冷却材圧力バウンダリを維持する	機建優先
		凝縮器冷却ポンプ	凝縮器冷却ポンプを停止し、冷却材圧力バウンダリを維持する	機建優先
		凝縮器冷却ポンプ	凝縮器冷却ポンプを停止し、冷却材圧力バウンダリを維持する	機建優先
		凝縮器冷却ポンプ	凝縮器冷却ポンプを停止し、冷却材圧力バウンダリを維持する	機建優先
		凝縮器冷却ポンプ	凝縮器冷却ポンプを停止し、冷却材圧力バウンダリを維持する	機建優先

注1：「機建優先」は、機建優先を想定する設計基準事故対応設備の整備の優先順位を示す。注2：「機建優先」は、機建優先を想定する設計基準事故対応設備の整備の優先順位を示す。注3：「機建優先」は、機建優先を想定する設計基準事故対応設備の整備の優先順位を示す。注4：「機建優先」は、機建優先を想定する設計基準事故対応設備の整備の優先順位を示す。注5：「機建優先」は、機建優先を想定する設計基準事故対応設備の整備の優先順位を示す。注6：「機建優先」は、機建優先を想定する設計基準事故対応設備の整備の優先順位を示す。注7：「機建優先」は、機建優先を想定する設計基準事故対応設備の整備の優先順位を示す。注8：「機建優先」は、機建優先を想定する設計基準事故対応設備の整備の優先順位を示す。注9：「機建優先」は、機建優先を想定する設計基準事故対応設備の整備の優先順位を示す。注10：「機建優先」は、機建優先を想定する設計基準事故対応設備の整備の優先順位を示す。

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

対応手段、対処設備、手順書一覧 (15/22)

(発電用原子炉停止中のフロントライン系故障時)

分類	機建優先を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	整備する手順	手順書の分類
運転停止中の報告	冷却材圧力バウンダリ低圧時	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプを停止し、冷却材圧力バウンダリを維持する	機建優先
		燃料冷却器冷却ポンプ	燃料冷却器冷却ポンプ	燃料冷却器冷却ポンプを停止し、冷却材圧力バウンダリを維持する	機建優先
		凝縮器冷却ポンプ	凝縮器冷却ポンプ	凝縮器冷却ポンプを停止し、冷却材圧力バウンダリを維持する	機建優先
		凝縮器冷却ポンプ	凝縮器冷却ポンプ	凝縮器冷却ポンプを停止し、冷却材圧力バウンダリを維持する	機建優先
		凝縮器冷却ポンプ	凝縮器冷却ポンプ	凝縮器冷却ポンプを停止し、冷却材圧力バウンダリを維持する	機建優先
		凝縮器冷却ポンプ	凝縮器冷却ポンプ	凝縮器冷却ポンプを停止し、冷却材圧力バウンダリを維持する	機建優先
		凝縮器冷却ポンプ	凝縮器冷却ポンプ	凝縮器冷却ポンプを停止し、冷却材圧力バウンダリを維持する	機建優先
		凝縮器冷却ポンプ	凝縮器冷却ポンプ	凝縮器冷却ポンプを停止し、冷却材圧力バウンダリを維持する	機建優先
		凝縮器冷却ポンプ	凝縮器冷却ポンプ	凝縮器冷却ポンプを停止し、冷却材圧力バウンダリを維持する	機建優先
		凝縮器冷却ポンプ	凝縮器冷却ポンプ	凝縮器冷却ポンプを停止し、冷却材圧力バウンダリを維持する	機建優先

【大阪】  
記載方針の相違 (女川審査実績の反映)  
・泊は管路及び給電に使用する設備に記載  
・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

※1：「機建優先」は、機建優先を想定する設計基準事故対応設備の整備の優先順位を示す。注2：「機建優先」は、機建優先を想定する設計基準事故対応設備の整備の優先順位を示す。注3：「機建優先」は、機建優先を想定する設計基準事故対応設備の整備の優先順位を示す。注4：「機建優先」は、機建優先を想定する設計基準事故対応設備の整備の優先順位を示す。注5：「機建優先」は、機建優先を想定する設計基準事故対応設備の整備の優先順位を示す。注6：「機建優先」は、機建優先を想定する設計基準事故対応設備の整備の優先順位を示す。注7：「機建優先」は、機建優先を想定する設計基準事故対応設備の整備の優先順位を示す。注8：「機建優先」は、機建優先を想定する設計基準事故対応設備の整備の優先順位を示す。注9：「機建優先」は、機建優先を想定する設計基準事故対応設備の整備の優先順位を示す。注10：「機建優先」は、機建優先を想定する設計基準事故対応設備の整備の優先順位を示す。



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由						
【比較のため、第1.4.5表(2/2)を再掲】												
第1.4.5表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順 (運転停止中のフロントライン系機能喪失時) (2/2)												
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類							
運転停止中の場合	余熱除去ポンプ又は余熱除去装置	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	電動制御給水ポンプ <sup>a</sup>	a 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書							
			タービン駆動給水ポンプ									
			復水ビット									
			蒸気発生器									
			電動主給水ポンプ									
			脱気器タンク									
		炉心冷却(注水)	蒸気発生器補助用復元中圧ポンプ(電動) <sup>b</sup>	a 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	S/A所定 <sup>c</sup>					
			復水ビット									
			蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)		a 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順				蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	格納及び設計基準事故に対する運転手順書	S/A所定 <sup>c</sup>	
			主要気路が上昇									
			タービンバイパス弁									
			ポンプ車 <sup>d</sup>						蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順			
送水車												

※1：「大阪発電所」重大事故等発生時における原子炉施設の保全のための活動に関する所通。  
 ※2：ディーゼル発電機等により給電する。  
 ※3：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。  
 ※4：手順は「1.3 格納容器シロタンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。  
 ※5：重大事故等対策において用いる設備の分類  
 a：当該条文中に適合する重大事故等対処設備 b：別条に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

対応手段、対処設備、手順書一覧(16/22)  
 (発電用原子炉停止中のフロントライン系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	整備する手順書	手順書の分類		
運転停止中の場合	余熱除去ポンプ又は余熱除去装置	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	電動制御給水ポンプ <sup>a</sup> 可搬型コース 補助給水ビット 蒸気発生器 2次冷却設備(給水設備)配管 2次冷却設備(補助給水設備)配管・弁 非常用交流発電機設備 <sup>e</sup> 2 常設代替交流発電機設備 <sup>e</sup> 2	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	格納及び設計基準事故に対する運転手順書		
			可搬型大型送水ポンプ <sup>b</sup> 1+3 可搬型コース・脱気口 コース延長・回収車(送水車用) 蒸気発生器 2次冷却設備(給水設備)配管 2次冷却設備(補助給水設備)配管・弁 非常用交流発電機設備 <sup>e</sup> 2 燃料補給設備 <sup>e</sup> 2			蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	格納及び設計基準事故に対する運転手順書
			可搬型大型送水ポンプ <sup>b</sup> 1 可搬型コース・脱気口 コース延長・回収車(送水車用) 代替給水ビット 蒸気発生器 2次冷却設備(給水設備)配管 2次冷却設備(補助給水設備)配管・弁 非常用交流発電機設備 <sup>e</sup> 2 燃料補給設備 <sup>e</sup> 2			蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	格納及び設計基準事故に対する運転手順書
			可搬型大型送水ポンプ <sup>b</sup> 1 可搬型コース・脱気口 コース延長・回収車(送水車用) 2次冷却タンク <sup>4</sup> 蒸気発生器 2次冷却設備(給水設備)配管 2次冷却設備(補助給水設備)配管・弁 非常用交流発電機設備 <sup>e</sup> 2 燃料補給設備 <sup>e</sup> 2			蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	格納及び設計基準事故に対する運転手順書
			可搬型大型送水ポンプ <sup>b</sup> 1 可搬型コース・脱気口 コース延長・回収車(送水車用) 2次冷却タンク <sup>4</sup> 蒸気発生器 2次冷却設備(給水設備)配管 2次冷却設備(補助給水設備)配管・弁 非常用交流発電機設備 <sup>e</sup> 2 燃料補給設備 <sup>e</sup> 2			蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	格納及び設計基準事故に対する運転手順書
			可搬型大型送水ポンプ <sup>b</sup> 1 可搬型コース・脱気口 コース延長・回収車(送水車用) 2次冷却タンク <sup>4</sup> 蒸気発生器 2次冷却設備(給水設備)配管 2次冷却設備(補助給水設備)配管・弁 非常用交流発電機設備 <sup>e</sup> 2 燃料補給設備 <sup>e</sup> 2			蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	格納及び設計基準事故に対する運転手順書

※1：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。  
 ※2：手順は「1.3 格納容器シロタンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。  
 ※3：可搬型大型送水ポンプにより炉心を冷却する。  
 ※4：送水車への補給は、2次冷却タンク又は送水タンクから移送することにより行う。  
 ※5：重大事故等対策において用いる設備の分類  
 a：当該条文中に適合する重大事故等対処設備 b：別条に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

【大阪】  
 記載方針の相違  
 (女川審査実績の反映)  
 ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載  
 ・泊は設計基準事故対処設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由				
【比較のため、第1.4.5表(2/2)を再掲】										
第1.4.5表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順 (運転停止中のフロントライン系機能喪失時) (2/2)										
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	整備分類 <sup>a)</sup>	整備する手順書	手順書の分類				
運転停止中の場合	余熱除去ポンプ又は余熱除去冷却器	蒸気発生器と冷却材ポンプによる炉心冷却(注水)	電動冷却水ポンプ <sup>※1</sup>	重大事故等対処設備	蒸気発生器と冷却材ポンプによる炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書				
			タービン駆動冷却水ポンプ							
			復水ピペット							
			凝気ポンプ							
			電動注水ポンプ							
			凝気器タンク							
		蒸気発生器補助用復水中圧ポンプ(電動) <sup>※2</sup>	多様な拡張設備	蒸気発生器と冷却材ポンプによる炉心冷却(注水)の手順	蒸気発生器補助用復水中圧ポンプによる蒸気発生器への注水のための手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	S.A所定 <sup>c)</sup>			
		復水ピペット								
		蒸気発生器と冷却材ポンプによる炉心冷却(注水)						重大事故等対処設備	蒸気発生器と冷却材ポンプによる炉心冷却(注水)の手順	故障及び設計基準事故に処する運転手順書
		タービンバイパス								
マイクログラフターポンプ <sup>※3</sup>	多様な拡張設備	ポンプ車を用いた蒸気発生器と冷却材ポンプによる炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	S.A所定 <sup>c)</sup>						
送水車										
※1：大阪発電所 重大事故等発生時ににおける原子炉施設の保全のための活動に関する手順。										
※2：タービンと蒸気発生器により発電する。										
※3：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて記載する。										
※4：手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を搬送するための手順等」にて整備する。										
※5：重大事故等対策において用いている設備の分類										
a：当該表文に適合する重大事故等対処設備 b：詳条に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備										
対応手段、対処設備、手順書一覧 (17/22)										
(発電用原子炉停止中のフロントライン系故障時)										
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	整備分類 <sup>a)</sup>	整備する手順書	手順書の分類				
運転停止中の場合	余熱除去ポンプ又は余熱除去冷却器	主蒸気発生器による蒸気発生	タービンバイパス	重大事故等対処設備	蒸気発生器と冷却材ポンプによる炉心冷却(注水)の手順	故障及び設計基準事故に処する運転手順書				
			タービン駆動冷却水ポンプ							
			復水ピペット							
蒸気発生器と冷却材ポンプによる炉心冷却(注水)	重大事故等対処設備	蒸気発生器と冷却材ポンプによる炉心冷却(注水)の手順	故障及び設計基準事故に処する運転手順書							
タービンバイパス										
マイクログラフターポンプ <sup>※1</sup>	多様な拡張設備	ポンプ車を用いた蒸気発生器と冷却材ポンプによる炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	S.A所定 <sup>c)</sup>						
送水車										
※1：手順は「1.4 電源の確保に関する手順等」にて整備する。										
※2：手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を搬送するための手順等」にて整備する。										
※3：可搬型大型送水ポンプ車により熱水を蒸気発生器へ注水する。										
※4：蒸気発生器と冷却材ポンプの稼働は、主蒸気発生器と冷却材ポンプによる炉心冷却(注水)の手順にて記載する。										
※5：蒸気発生器へ熱水を注水する場合は蒸気発生器ブローダウンラインにより熱水を行う。										
※6：重大事故等対策において用いている設備の分類										
a：当該表文に適合する重大事故等対処設備 b：詳条に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備										

【大阪】  
 記載方針の相違  
 (女川審査実績の反映)  
 ・泊は管路及び給電に使用する設備を記載  
 ・泊は設計基準事故対処設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1.4.6表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順  
 (運転停止中のサポート系機能喪失時) (1/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順	手順書の分類
運転停止中の場合	全系統動力喪失時	代替冷却材注水(⑩)	燃料取扱用ホット(取付注水)	燃料取扱用ホット(取付注水)を用いた代替冷却材注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			蓄圧タンク	蓄圧タンクを用いた代替冷却材注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			高圧冷却材循環ポンプ	高圧冷却材循環ポンプを用いた代替冷却材注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			空冷式非常用発電機装置*	空冷式非常用発電機装置を用いた代替冷却材注水により原子炉を冷却する手順	S.A所達**
			燃料取扱用ホット	燃料取扱用ホットを用いた代替冷却材注水により原子炉を冷却する手順	S.A所達**
			復水ホット	復水ホットを用いた代替冷却材注水により原子炉を冷却する手順	S.A所達**
			燃料供給タンク*	燃料供給タンクを用いた代替冷却材注水により原子炉を冷却する手順	S.A所達**
			重油タンク*	重油タンクを用いた代替冷却材注水により原子炉を冷却する手順	S.A所達**
			タンクローリー*	タンクローリーを用いた代替冷却材注水により原子炉を冷却する手順	S.A所達**
			A格納容器スプレイポンプ(自己冷却)	A格納容器スプレイポンプ(自己冷却)を用いた代替冷却材注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			冷却水-C/S/S	冷却水-C/S/Sを用いた代替冷却材注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			燃料取扱用ホット	燃料取扱用ホットを用いた代替冷却材注水により原子炉を冷却する手順	S.A所達**
ディーゼル再水ポンプ	ディーゼル再水ポンプを用いた代替冷却材注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書			
N <sub>2</sub> 、2次水タンク	N <sub>2</sub> 、2次水タンクを用いた代替冷却材注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書			
可搬式冷却材注水ポンプ*	可搬式冷却材注水ポンプを用いた代替冷却材注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書			
送水車	送水車を用いた代替冷却材注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書			
燃料供給タンク*	燃料供給タンクを用いた代替冷却材注水により原子炉を冷却する手順	S.A所達**			
重油タンク*	重油タンクを用いた代替冷却材注水により原子炉を冷却する手順	S.A所達**			
タンクローリー*	タンクローリーを用いた代替冷却材注水により原子炉を冷却する手順	S.A所達**			
軽油ドラム缶*	軽油ドラム缶を用いた代替冷却材注水により原子炉を冷却する手順	S.A所達**			
B格納容器スプレイポンプ(臨水冷却)	B格納容器スプレイポンプ(臨水冷却)を用いた代替冷却材注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書			
大容積ポンプ*	大容積ポンプを用いた代替冷却材注水により原子炉を冷却する手順	S.A所達**			
格納容器再循環ポンプ	格納容器再循環ポンプを用いた代替冷却材注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書			
格納容器再循環ポンプスクリーン	格納容器再循環ポンプスクリーンを用いた代替冷却材注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書			
空冷式非常用発電機装置*	空冷式非常用発電機装置を用いた代替冷却材注水により原子炉を冷却する手順	S.A所達**			
燃料供給タンク*	燃料供給タンクを用いた代替冷却材注水により原子炉を冷却する手順	S.A所達**			
重油タンク*	重油タンクを用いた代替冷却材注水により原子炉を冷却する手順	S.A所達**			
タンクローリー*	タンクローリーを用いた代替冷却材注水により原子炉を冷却する手順	S.A所達**			

⑩：「大飯発電所」重大事故等発生時における原子炉冷却材注水のための装置に関する所定  
 \*：手順書「1.4」電源の確保に関する手順等」にて整備する。  
 \*\*：空冷式非常用発電機装置の燃料供給に使用する。手順書「1.4」電源の確保に関する手順等」にて整備する。  
 \*\*\*：可搬式冷却材注水ポンプにより注水する場合は格納容器注水とする。  
 \*\*\*\*：電源喪失時燃料取扱用ホット注水用の燃料供給に使用する。手順書「1.6」原子炉格納容器内の冷却材の注水に関する手順等」にて整備する。  
 \*\*\*\*\*：送水車の燃料供給に使用する。手順書「1.6」原子炉格納容器内の冷却材の注水に関する手順等」にて整備する。  
 \*\*\*\*\*：大容積ポンプの燃料供給に使用する。手順書「1.6」原子炉格納容器内の冷却材の注水に関する手順等」にて整備する。  
 \*\*\*\*\*：手順書「1.5」最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。  
 \*\*\*\*\*：重大事故等対策において用いている設備の分類  
 a：当該表文に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主対策として整備する重大事故等対応設備

対応手段、対応設備、手順書一覧(8/9)

(発電用原子炉停止中のフロントライン系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	手順書	
運転停止中の場合	全系統動力喪失時	代替冷却材注水(⑩)	残留熱除去系	代替冷却材注水ポンプ オペレーションチェンバ 残留熱除去系熱交換器 残留熱除去系 配管・弁・ストレーナ 原子炉圧力容器 原子炉補給冷却水系(原子炉補給冷却海水系を含む) ※3 非常用取水設備 ※3 原子炉補給冷却ホット水冷却器 ※3 非常用交流電源設備 ※2 代替冷却材注水ポンプ	非常時操作手順書(プラント停止中) 「残留熱除去機能喪失」等 非常時操作手順書(設備別) 「代替冷却材注水ポンプによる原子炉注水」
			ろ過水ポンプ	ろ過水ポンプ ろ過水タンク ろ過水系 配管・弁 補給水系 配管・弁 残留熱除去系 配管・弁 非常用交流電源設備 ※2 常設代替交流電源設備 ※2	非常時操作手順書(プラント停止中) 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」
			原子炉冷却材浄化系	原子炉冷却材浄化系ポンプ 原子炉圧力容器 原子炉再循環系 配管 原子炉冷却材浄化系 配管・弁 復水給水系 配管・弁・スパージェ 原子炉補給冷却水系(原子炉補給冷却海水系を含む) ※3 非常用取水設備 ※3 非常用交流電源設備 ※2 常設代替交流電源設備 ※2	非常時操作手順書(設備別) 「原子炉冷却材浄化系による原子炉注水」 非常時操作手順書(プラント停止中) 「残留熱除去機能喪失」 非常時操作手順書(設備別) 「原子炉冷却材浄化系による原子炉注水」

※1：手順書「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。  
 ※2：手順書「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。  
 ※3：手順書「1.6 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。  
 ※4：「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【解釈】1b)項を満足するための代替冷却水(措置)  
 ※5：残留熱除去系(低圧注水モード)は熱交換機に期待しておらず、熱交換器は管路としてのみ用いる。

対応手段、対応設備、手順書一覧(18/22)

(発電用原子炉停止中のサポート系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順	手順書の分類
運転停止中の場合	全系統動力喪失時	代替冷却材注水(⑩)	燃料取扱用ホット	燃料取扱用ホット(取付注水)を用いた代替冷却材注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			蓄圧タンク	蓄圧タンクを用いた代替冷却材注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			高圧冷却材循環ポンプ	高圧冷却材循環ポンプを用いた代替冷却材注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			空冷式非常用発電機装置*	空冷式非常用発電機装置を用いた代替冷却材注水により原子炉を冷却する手順	S.A所達**
			燃料取扱用ホット	燃料取扱用ホットを用いた代替冷却材注水により原子炉を冷却する手順	S.A所達**
			復水ホット	復水ホットを用いた代替冷却材注水により原子炉を冷却する手順	S.A所達**
			燃料供給タンク*	燃料供給タンクを用いた代替冷却材注水により原子炉を冷却する手順	S.A所達**
			重油タンク*	重油タンクを用いた代替冷却材注水により原子炉を冷却する手順	S.A所達**
			タンクローリー*	タンクローリーを用いた代替冷却材注水により原子炉を冷却する手順	S.A所達**
			A格納容器スプレイポンプ(自己冷却)	A格納容器スプレイポンプ(自己冷却)を用いた代替冷却材注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			冷却水-C/S/S	冷却水-C/S/Sを用いた代替冷却材注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			燃料取扱用ホット	燃料取扱用ホットを用いた代替冷却材注水により原子炉を冷却する手順	S.A所達**
ディーゼル再水ポンプ	ディーゼル再水ポンプを用いた代替冷却材注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書			
N <sub>2</sub> 、2次水タンク	N <sub>2</sub> 、2次水タンクを用いた代替冷却材注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書			
可搬式冷却材注水ポンプ*	可搬式冷却材注水ポンプを用いた代替冷却材注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書			
送水車	送水車を用いた代替冷却材注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書			
燃料供給タンク*	燃料供給タンクを用いた代替冷却材注水により原子炉を冷却する手順	S.A所達**			
重油タンク*	重油タンクを用いた代替冷却材注水により原子炉を冷却する手順	S.A所達**			
タンクローリー*	タンクローリーを用いた代替冷却材注水により原子炉を冷却する手順	S.A所達**			
軽油ドラム缶*	軽油ドラム缶を用いた代替冷却材注水により原子炉を冷却する手順	S.A所達**			
B格納容器スプレイポンプ(臨水冷却)	B格納容器スプレイポンプ(臨水冷却)を用いた代替冷却材注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書			
大容積ポンプ*	大容積ポンプを用いた代替冷却材注水により原子炉を冷却する手順	S.A所達**			
格納容器再循環ポンプ	格納容器再循環ポンプを用いた代替冷却材注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書			
格納容器再循環ポンプスクリーン	格納容器再循環ポンプスクリーンを用いた代替冷却材注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書			
空冷式非常用発電機装置*	空冷式非常用発電機装置を用いた代替冷却材注水により原子炉を冷却する手順	S.A所達**			
燃料供給タンク*	燃料供給タンクを用いた代替冷却材注水により原子炉を冷却する手順	S.A所達**			
重油タンク*	重油タンクを用いた代替冷却材注水により原子炉を冷却する手順	S.A所達**			
タンクローリー*	タンクローリーを用いた代替冷却材注水により原子炉を冷却する手順	S.A所達**			

※1：手順書「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。  
 ※2：重大事故等発生時において用いている重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主対策として整備する重大事故等対応設備  
 ※3：当該表文に適合する重大事故等対応設備

【大飯】  
 記載方針の相違  
 (女川審査実績の反映)  
 ・泊は管路及び給電に使用する設備に記載  
 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、第1.4.6表(1/2)を再掲】

第1.4.6表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順(運転停止中のサポート系機能喪失時)(1/2)

Table with columns: 分類, 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備, 対応手段, 対応設備, 整備する手順書, 手順書の分類. It lists various equipment like fuel pumps and tanks and their associated procedures and manuals.

対応手段、対処設備、手順書一覧(9/9) (発電用原子炉停止中のサポート系故障時)

Summary table for support system failure during reactor stop. Columns: 分類, 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備, 対応手段, 対処設備, 手順書. Lists items like emergency power and cooling systems.

- ※1: 手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。
※2: 手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
※3: 手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を搬送するための手順等」にて整備する。
※4: 「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【解釈】1b) 項を満足するための代替排水路(措置)
※5: 残留熱除去系(低圧注水モード)は熱交換機に期待しております。熱交換機は流路としてのみ用いる。

対応手段、対処設備、手順書一覧(19/22)

(発電用原子炉停止中のサポート系故障時)

Detailed comparison table between Osaka and Wakaichi plants. Columns: 分類, 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備, 対応手段, 対処設備, 整備する手順書, 手順書の分類. Includes detailed equipment lists and manual references.

【大阪】記載方針の相違(女川審査実績の反映)
・泊は流路及び給電に使用する設備を記載
・泊は設計基準事故対処設備による対応手段を整理

※1: 「大阪発電所」重大事故等発生時における原子炉冷却の確保のための流路に関する所定
※2: 手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
※3: 空冷式非常用発電機の燃料供給に使用する。手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
※4: 可搬式代替低圧注水ポンプにより低圧注水する場合に排水を注水する。
※5: 電機用可搬式代替低圧注水ポンプ用の燃料供給に使用する。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却材のための手順等」にて整備する。
※6: 注水用の燃料供給に使用する貯蔵用のものである。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却材のための手順等」にて整備する。
※7: 大容量ポンプの燃料供給に使用する。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却材のための手順等」にて整備する。
※8: 手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を搬送するための手順等」にて整備する。
※9: 重大事故等対策において用いる設備の分類
a: 当該表文に適合する重大事故等対処設備 b: 37 条に適合する重大事故等対処設備 c: 自主的対策として整備する重大事故等対処設備

※1: 可搬式大型送水ポンプ群による緊急送水(原子炉)による。
※2: 手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
※3: 37条本文への補足は、2 次系統水タンク又はろ過水タンクから搬送することにより行う。
※4: 手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を搬送するための手順等」にて整備する。
※5: c)、d)、e)は格納容器内での冷却材の確保に、f)は、原子炉格納容器内の過圧状態を防止するための手順等」にて整備する。
※6: 故意による大型航空機の墜落その他のウィロズミによる影響がある場合に使用する。
※7: 重大事故等対策において用いる設備の分類
a: 自主的対策として整備する重大事故等対処設備

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1.4.6表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順  
(運転停止中のサポート系機能喪失時) (2/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	設備分類*	整備する手順書	手順の分類			
運転停止中の場合	全交直電力電源*	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	電動補助給水ポンプ	重大事故等対処設備	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書			
			空冷式非常用発電機装置**						
			タービン駆動補助給水ポンプ						
			復水ポンプ						
			蒸気発生器						
			燃料供給機タンク**						
			重動タンク**						
			タンクローリー**						
			蒸気発生器補助用配管中圧ポンプ(電熱)**				多様性設備	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			復水ポンプ						
蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	重大事故等対処設備	主蒸気発生器(規程手動操作)**	多様性設備	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書				
ポンプ群**	ポンプ群を用いた蒸気発生器2次側からの冷却材の供給								
送水車	ポンプ群による蒸気発生器への注水の手順								
原子炉冷却材圧力系	⑥全交直電力電源喪失時の対応手段のうち代替炉心注水に関する設備と同様	A余熱除去ポンプ(空調用冷水)**	A余熱除去ポンプ(空調用冷水)**	多様性設備	A余熱除去ポンプ(空調用冷水)**を用いた代替炉心注水により炉心を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書			
							電動高圧ポンプ		
							⑥全交直電力電源喪失時の対応手段のうち代替再循環運転に関する設備と同様		
							A余熱除去ポンプ(空調用冷水)**	A余熱除去ポンプ(空調用冷水)**を用いた代替再循環運転により原子炉を冷却する手順	

\*1：大阪発電所 重大事故等発生時における原子炉冷却材の確保のための活動に関する手順  
\*2：手順は「1.4 電熱の確保に関する手順書」にて整備する。  
\*3：空冷式非常用発電機装置の燃料供給に使用する。手順は「1.4 電熱の確保に関する手順書」にて整備する。  
\*4：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。  
\*5：手順は「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。  
\*6：手順は「1.6 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順」にて整備する。  
\*7：重大事故等発生時において用いる設備の分類  
\*8：設備名に適合する重大事故等対処設備 \*9：BWR固有の設備や対応手段 \*10：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

対応手段、対処設備、手順書一覧 (20/22)

(発電用原子炉停止中のサポート系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	設備分類*	整備する手順書	手順の分類		
運転停止中の場合	全交直電力電源*	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	タービン駆動補助給水ポンプ 又は 電動補助給水ポンプ 燃料供給機タンク	重大事故等対処設備	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書		
			蒸気発生器					
			燃料供給機タンク**					
			重動タンク**					
			タンクローリー**					
			蒸気発生器補助用配管中圧ポンプ(電熱)**				多様性設備	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順
復水ポンプ	多様性設備	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順						
蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	重大事故等対処設備	主蒸気発生器(規程手動操作)**	多様性設備	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書			
ポンプ群**	ポンプ群を用いた蒸気発生器2次側からの冷却材の供給							
送水車	ポンプ群による蒸気発生器への注水の手順							
原子炉冷却材圧力系	⑥全交直電力電源喪失時の対応手段のうち代替炉心注水に関する設備と同様	A余熱除去ポンプ(空調用冷水)**	A余熱除去ポンプ(空調用冷水)**	多様性設備	A余熱除去ポンプ(空調用冷水)**を用いた代替炉心注水により炉心を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書		
							電動高圧ポンプ	
							⑥全交直電力電源喪失時の対応手段のうち代替再循環運転に関する設備と同様	
							A余熱除去ポンプ(空調用冷水)**	A余熱除去ポンプ(空調用冷水)**を用いた代替再循環運転により原子炉を冷却する手順

\*1：手順は「1.4 電熱の確保に関する手順書」にて整備する。  
\*2：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。  
\*3：可搬型大型送水ポンプ車により取水を蒸気発生器へ注水する。  
\*4：重大事故等発生時において用いる設備の分類  
\*5：可搬型大型送水ポンプ車 \*6：BWR固有の設備や対応手段 \*7：自主的対策として整備する重大事故等対処設備 \*8：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

【大阪】  
記載方針の相違  
(女川審査実績の反映)  
・泊は管路及び給電に使用する設備を記載  
・泊は設計基準事故対処設備による対応手段を整理

【大阪】  
設備の相違(相違理由⑥)

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、第1.4.6表(2/2)を再掲】

第1.4.6表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順  
 (運転停止中のサポート系機能喪失時) (2/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備分類 <sup>a)</sup>	整備する手順書	手順の分類			
運転停止中の場合	全交直動力電源 <sup>b)</sup>	蒸気発生機2次側による炉心冷却(注水)	電動補助給水ポンプ	重大事故等対応設備	蒸気発生機2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び燃料容器破損を防止する運転手順書			
			空冷式非常用発電機設置 <sup>c)</sup>						
			タービン非常用給水ポンプ						
			復水ピット						
			蒸気発生機						
			燃料補給タンク <sup>d)</sup>						
			復水タンク <sup>e)</sup>						
			タンクローリー <sup>f)</sup>						
			蒸気発生機補助冷却器(中圧ポンプ) (電熱)				多様設備	蒸気発生機2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び燃料容器破損を防止する運転手順書
			復水ピット				多様設備	蒸気発生機補助冷却器(中圧ポンプ)による蒸気発生機への注水のための手順	SA所達 <sup>g)</sup>
サポート系機能喪失時	蒸気発生機2次側による炉心冷却(注水)	主蒸気送がし弁(現場手動操作)	重大事故等対応設備	主蒸気送がし弁機能回復の手順	炉心の著しい損傷及び燃料容器破損を防止する運転手順書				
			多様設備	ポンプ車を用いた蒸気発生機2次側のフュードシフトにより炉心が冷却される手順	炉心の著しい損傷及び燃料容器破損を防止する運転手順書				
			送水車	ポンプ車による蒸気発生機への注水の手順	SA所達 <sup>g)</sup>				
原子炉補助冷却水系	④全交直動力電源喪失時の対応手段のうち代替炉心注水に用いる設備と同様	A余熱除去ポンプ(空調用冷水)	多様設備	A余熱除去ポンプ(空調用冷水)を用いた代替炉心が冷却される手順	炉心の著しい損傷及び燃料容器破損を防止する運転手順書				
			電熱式加熱ポンプ	電熱式加熱ポンプを用いた代替炉心が注水により炉心が冷却される手順					
			電熱式加熱ポンプ	電熱式加熱ポンプを用いた代替炉心が注水により炉心が冷却される手順					
代替炉心注水	④全交直動力電源喪失時の対応手段のうち代替炉心循環に用いる設備と同様	A余熱除去ポンプ(空調用冷水)	多様設備	A余熱除去ポンプ(空調用冷水)を用いた代替炉心が冷却される手順	炉心の著しい損傷及び燃料容器破損を防止する運転手順書				
			電熱式加熱ポンプ	電熱式加熱ポンプを用いた代替炉心が注水により炉心が冷却される手順					
			電熱式加熱ポンプ	電熱式加熱ポンプを用いた代替炉心が注水により炉心が冷却される手順					

a) 1: 大規模な修理、重大事故等発生時における炉心が冷却維持のための活動に用いる設備  
 2: 予備機  
 3: 1.14 電熱式加熱ポンプ(注)に用いる手順等  
 4: 空冷式非常用発電機設置の燃料補給に使用する。手順は「1.14 電熱式加熱ポンプ」にて整備する。  
 5: 手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。  
 6: 手順は「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。  
 7: 手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。  
 8: 重大事故発生時において用いる設備の分類  
 9: 当該表文に適合する重大事故等対応設備 b) 37条に適合する重大事故等対応設備 c) 自主的対策として整備する重大事故等対応設備

対応手段、対処設備、手順書一覧 (21/22)

(発電用原子炉停止中のサポート系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備分類 <sup>a)</sup>	整備する手順書	手順書の分類
運転停止中の場合	蒸気発生機2次側による炉心冷却(注水)	主蒸気送がし弁(現場手動操作)	可搬型大型送水ポンプ <sup>b)</sup> #1 可搬型カーゴ・回収機(送水車用) 2次蒸気タンク #2 ろ過水タンク #2 蒸気発生機 2次冷却設備(取水設備) 配管・弁 2次冷却設備(補助給水設備) 配管・弁 非常用送水設備 配管・弁 常設代替送水電源設備 #3 燃料補給設備 #3	泊3号炉 対処設備	運転停止設備の異常時における対応手順書	故障及び設計基準事故に該当する運転手順書
			主蒸気送がし弁 #4 蒸気発生機 2次冷却設備(主蒸気設備) 配管・弁	設計基準事故対応設備	運転停止設備の異常時における対応手順書	故障及び設計基準事故に該当する運転手順書
			可搬型大型送水ポンプ #5 #6 #7 #8 可搬型カーゴ・回収機(送水車用) 蒸気発生機 2次冷却設備(取水設備) 配管・弁 2次冷却設備(補助給水設備) 配管・弁 非常用送水設備 炉内非常用送水電源設備 #3 燃料補給設備 #3	泊3号炉 対処設備	運転停止設備の異常時における対応手順書	故障及び設計基準事故に該当する運転手順書

#1 手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。  
 #2 原案機への場合は、2次蒸気タンク又はろ過水タンクから移送することにより行う。  
 #3 手順は「1.14 電熱式加熱ポンプ」にて整備する。  
 #4 手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。  
 #5 手順は「1.2 蒸気発生機2次側のフュードシフトにより炉心が冷却されるための手順等」にて整備する。  
 #6 可搬型大型送水ポンプは、5年毎に蒸気発生機を修理・点検する。  
 #7 蒸気発生機2次側のフュードシフト時は、主蒸気送がし弁を使用する。  
 #8 蒸気発生機2次側を注水する場合は蒸気発生機ブローダウンラインにより排水を行う。  
 #9 重大事故発生時において用いる設備の分類  
 a) 当該表文に適合する重大事故等対応設備 b) 37条に適合する重大事故等対応設備 c) 自主的対策として整備する重大事故等対応設備

【大阪】  
 記載方針の相違  
 (女川審査実績の反映)  
 ・泊は管路及び給電に使用する設備を記載  
 ・泊は設計基準事故対処設備による対応手段を整理

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																										
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>		<p>対応手段、対処設備、手順書一覧（22/22）                      （発電用原子炉停止中のサポート系故障時）</p> <table border="1" data-bbox="1370 491 2011 1136"> <thead> <tr> <th>故障</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故等故障</th> <th>対応手段</th> <th>設備/設備名</th> <th>整備する手順書</th> <th>手順書の分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">北炭発電機 又は 原子炉補給冷却水設備</td> <td rowspan="2">北炭発電機 又は 原子炉補給冷却水設備</td> <td>非一貫式ポンプ 燃料油供給ポンプ 再生熱交換器 非冷却材冷却設備（配管・弁） 原子炉補給冷却設備（原子炉補給冷却水設備） 配管・弁 1次冷却設備 原子炉冷却 常設代替交流電源設備*1</td> <td>非一貫式ポンプ 燃料油供給ポンプ 再生熱交換器 非冷却材冷却設備（配管・弁） 原子炉補給冷却設備（原子炉補給冷却水設備） 配管・弁 1次冷却設備 原子炉冷却 常設代替交流電源設備*1</td> <td>非冷却材設備の異常時における対応手順書</td> <td>故障及び設計基準事故に対する運転手順書</td> </tr> <tr> <td>可搬型大型送水ポンプ*2 可搬型ボース・揚程口 ボース延長・回収車（送水車用） 原子炉補給冷却設備（原子炉補給冷却水設備） 配管・弁 非常用取水設備 常設代替交流電源設備*1 燃料補給設備*1 稼働機*4</td> <td>可搬型大型送水ポンプ*2 可搬型ボース・揚程口 ボース延長・回収車（送水車用） 原子炉補給冷却設備（原子炉補給冷却水設備） 配管・弁 非常用取水設備 常設代替交流電源設備*1 燃料補給設備*1 稼働機*4</td> <td>非冷却材設備の異常時における対応手順書</td> <td>故障及び設計基準事故に対する運転手順書</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">北炭発電機 又は 原子炉補給冷却水設備</td> <td rowspan="2">北炭発電機 又は 原子炉補給冷却水設備</td> <td>電動補給冷却ポンプ 補助冷却ポンプ 蒸気発生器 2次冷却設備（給水設備） 配管・弁 2次冷却設備（補助冷却設備） 配管・弁 常設代替交流電源設備*1 市内常設蓄電式直流電源設備*1</td> <td>電動補給冷却ポンプ 補助冷却ポンプ 蒸気発生器 2次冷却設備（給水設備） 配管・弁 2次冷却設備（補助冷却設備） 配管・弁 常設代替交流電源設備*1 市内常設蓄電式直流電源設備*1</td> <td>非冷却材設備の異常時における対応手順書</td> <td>故障及び設計基準事故に対する運転手順書</td> </tr> <tr> <td>電動補給冷却ポンプ 補助冷却ポンプ 蒸気発生器 2次冷却設備（給水設備） 配管・弁 2次冷却設備（補助冷却設備） 配管・弁 常設代替交流電源設備*1 市内常設蓄電式直流電源設備*1</td> <td>電動補給冷却ポンプ 補助冷却ポンプ 蒸気発生器 2次冷却設備（給水設備） 配管・弁 2次冷却設備（補助冷却設備） 配管・弁 常設代替交流電源設備*1 市内常設蓄電式直流電源設備*1</td> <td>非冷却材設備の異常時における対応手順書</td> <td>故障及び設計基準事故に対する運転手順書</td> </tr> </tbody> </table>	故障	機能喪失を想定する設計基準事故等故障	対応手段	設備/設備名	整備する手順書	手順書の分類	北炭発電機 又は 原子炉補給冷却水設備	北炭発電機 又は 原子炉補給冷却水設備	非一貫式ポンプ 燃料油供給ポンプ 再生熱交換器 非冷却材冷却設備（配管・弁） 原子炉補給冷却設備（原子炉補給冷却水設備） 配管・弁 1次冷却設備 原子炉冷却 常設代替交流電源設備*1	非一貫式ポンプ 燃料油供給ポンプ 再生熱交換器 非冷却材冷却設備（配管・弁） 原子炉補給冷却設備（原子炉補給冷却水設備） 配管・弁 1次冷却設備 原子炉冷却 常設代替交流電源設備*1	非冷却材設備の異常時における対応手順書	故障及び設計基準事故に対する運転手順書	可搬型大型送水ポンプ*2 可搬型ボース・揚程口 ボース延長・回収車（送水車用） 原子炉補給冷却設備（原子炉補給冷却水設備） 配管・弁 非常用取水設備 常設代替交流電源設備*1 燃料補給設備*1 稼働機*4	可搬型大型送水ポンプ*2 可搬型ボース・揚程口 ボース延長・回収車（送水車用） 原子炉補給冷却設備（原子炉補給冷却水設備） 配管・弁 非常用取水設備 常設代替交流電源設備*1 燃料補給設備*1 稼働機*4	非冷却材設備の異常時における対応手順書	故障及び設計基準事故に対する運転手順書	北炭発電機 又は 原子炉補給冷却水設備	北炭発電機 又は 原子炉補給冷却水設備	電動補給冷却ポンプ 補助冷却ポンプ 蒸気発生器 2次冷却設備（給水設備） 配管・弁 2次冷却設備（補助冷却設備） 配管・弁 常設代替交流電源設備*1 市内常設蓄電式直流電源設備*1	電動補給冷却ポンプ 補助冷却ポンプ 蒸気発生器 2次冷却設備（給水設備） 配管・弁 2次冷却設備（補助冷却設備） 配管・弁 常設代替交流電源設備*1 市内常設蓄電式直流電源設備*1	非冷却材設備の異常時における対応手順書	故障及び設計基準事故に対する運転手順書	電動補給冷却ポンプ 補助冷却ポンプ 蒸気発生器 2次冷却設備（給水設備） 配管・弁 2次冷却設備（補助冷却設備） 配管・弁 常設代替交流電源設備*1 市内常設蓄電式直流電源設備*1	電動補給冷却ポンプ 補助冷却ポンプ 蒸気発生器 2次冷却設備（給水設備） 配管・弁 2次冷却設備（補助冷却設備） 配管・弁 常設代替交流電源設備*1 市内常設蓄電式直流電源設備*1	非冷却材設備の異常時における対応手順書	故障及び設計基準事故に対する運転手順書	<p>【大飯】                      記載方針の相違                      （女川審査実績の反映）                      ・泊は、復旧の対応手段を整理している。</p>
		故障	機能喪失を想定する設計基準事故等故障	対応手段	設備/設備名	整備する手順書	手順書の分類																						
北炭発電機 又は 原子炉補給冷却水設備	北炭発電機 又は 原子炉補給冷却水設備	非一貫式ポンプ 燃料油供給ポンプ 再生熱交換器 非冷却材冷却設備（配管・弁） 原子炉補給冷却設備（原子炉補給冷却水設備） 配管・弁 1次冷却設備 原子炉冷却 常設代替交流電源設備*1	非一貫式ポンプ 燃料油供給ポンプ 再生熱交換器 非冷却材冷却設備（配管・弁） 原子炉補給冷却設備（原子炉補給冷却水設備） 配管・弁 1次冷却設備 原子炉冷却 常設代替交流電源設備*1	非冷却材設備の異常時における対応手順書	故障及び設計基準事故に対する運転手順書																								
		可搬型大型送水ポンプ*2 可搬型ボース・揚程口 ボース延長・回収車（送水車用） 原子炉補給冷却設備（原子炉補給冷却水設備） 配管・弁 非常用取水設備 常設代替交流電源設備*1 燃料補給設備*1 稼働機*4	可搬型大型送水ポンプ*2 可搬型ボース・揚程口 ボース延長・回収車（送水車用） 原子炉補給冷却設備（原子炉補給冷却水設備） 配管・弁 非常用取水設備 常設代替交流電源設備*1 燃料補給設備*1 稼働機*4	非冷却材設備の異常時における対応手順書	故障及び設計基準事故に対する運転手順書																								
北炭発電機 又は 原子炉補給冷却水設備	北炭発電機 又は 原子炉補給冷却水設備	電動補給冷却ポンプ 補助冷却ポンプ 蒸気発生器 2次冷却設備（給水設備） 配管・弁 2次冷却設備（補助冷却設備） 配管・弁 常設代替交流電源設備*1 市内常設蓄電式直流電源設備*1	電動補給冷却ポンプ 補助冷却ポンプ 蒸気発生器 2次冷却設備（給水設備） 配管・弁 2次冷却設備（補助冷却設備） 配管・弁 常設代替交流電源設備*1 市内常設蓄電式直流電源設備*1	非冷却材設備の異常時における対応手順書	故障及び設計基準事故に対する運転手順書																								
		電動補給冷却ポンプ 補助冷却ポンプ 蒸気発生器 2次冷却設備（給水設備） 配管・弁 2次冷却設備（補助冷却設備） 配管・弁 常設代替交流電源設備*1 市内常設蓄電式直流電源設備*1	電動補給冷却ポンプ 補助冷却ポンプ 蒸気発生器 2次冷却設備（給水設備） 配管・弁 2次冷却設備（補助冷却設備） 配管・弁 常設代替交流電源設備*1 市内常設蓄電式直流電源設備*1	非冷却材設備の異常時における対応手順書	故障及び設計基準事故に対する運転手順書																								
		<p>*1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。                      *2：手順は「1.5 最終ヒートシフトへ移行するための手順等」にて整備する。                      *3：C、D、E—核燃料貯蔵容器キャッチによる核燃料貯蔵容器内圧降下対応は「1.2 原子炉燃料貯蔵容器の過圧保護を円滑にするための手順等」にて整備する。                      *4：故意による大型航空機の衝突その他のフェールモードによる影響がある場合に使用する。                      *5：重大事故等対策において用いる設備の分類                      a：当該条文中に適合する重大事故等対応設備 b：当該条文中に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備</p>																											

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1.4.7表 重大事故等対処に係る監視計器

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

監視計器一覧（1/48）

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 a. 炉心注水			
(a) A、B充てんポンプによる炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計
		原子炉圧力容器内の注水量	・ 高压注入流量計 ・ 余熱除去流量計
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計 ・ ほう酸タンク水位計 ・ 1次系純水タンク水位計（CRT）
	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 原子炉水位計 ・ 加圧器水位計
		原子炉圧力容器内の注水量	・ 充てん流量計 ・ 出力領域中性子束計 ・ 中間領域中性子束計 ・ 中性子源領域中性子束計 ・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計 ・ ほう酸タンク水位計 ・ 1次系純水タンク水位計（CRT）
		水源の確保	原子炉格納容器内の水位
水源の確保			・ 復水ビット水位計 ・ ほう酸タンク水位計 ・ 1次系純水タンク水位計（CRT）

第1.4-2表 重大事故等対処に係る監視計器

監視計器一覧（1/20）

手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 低圧代替注水系 (a) 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による原子炉圧力容器への注水		
非常時操作手順書（慣例ベース） 「水位確保」等	判断基準	原子炉圧力容器内の水位 原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 広帯域） 原子炉水位（SA 燃料域）
非常時操作手順書（設備別） 「復水移送ポンプによる原子炉注水」		電源の確保 4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧
	水源の確保	復水貯蔵タンク水位
	操作	原子炉圧力容器内の水位 原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 広帯域） 原子炉水位（SA 燃料域）
		原子炉圧力容器内の圧力 原子炉圧力 原子炉圧力（SA） 残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量） （残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量） 補機監視機能 復水移送ポンプ出口圧力 水源の確保 復水貯蔵タンク水位

第1.4.2表 重大事故等対処に係る監視計器

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

監視計器一覧（1/61）

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 炉心注水			
(a) 充てんポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位
		原子炉格納容器内の注水量	・ 高压注入流量 ・ 低圧注入流量
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域） ・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 1次系純水タンク水位 ・ ほう酸タンク水位
	操作	補機監視機能	・ 高压注入ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流
		原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位
		原子炉格納容器への注水量	・ 充てん流量 ・ 格納容器再循環サンプ水位（広域） ・ 燃料取替用水ビット水位 ・ ほう酸タンク水位 ・ 1次系純水タンク水位
補機監視機能	・ 充てんライン圧力		



泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																	
<p>監視計器一覧（2/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(I) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・充てん水流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・原子炉水位計 ・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・A格納容器スプレイポンプ吐出圧力計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(I) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内への注水量	・充てん水流量計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の水位	・原子炉水位計 ・加圧器水位計	原子炉圧力容器内への注水量	・A余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計	補機監視機能	・A格納容器スプレイポンプ吐出圧力計	<p>監視計器一覧（2/20）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ（計器）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(I) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 低圧代替注水系（常設）（直流駆動低圧注水系ポンプ）による原子炉圧力容器への注水</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書（徴候ベース） 「水位確保」等</td> <td>判断基準</td> <td>原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 広帯域） 原子炉水位（SA 燃料域）</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書（設備別） 「直流駆動低圧注水系ポンプによる原子炉注水」</td> <td>操作</td> <td>電源の確保 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧 250V 直流主母線電圧 復水貯蔵タンク水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作</td> <td>原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 広帯域） 原子炉水位（SA 燃料域）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力（SA）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作</td> <td>原子炉圧力容器への注水量 直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作</td> <td>補機監視機能 直流駆動低圧注水系ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作</td> <td>水源の確保 復水貯蔵タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順			(I) フロントライン系故障時の対応手順			a. 低圧代替注水			b. 低圧代替注水系（常設）（直流駆動低圧注水系ポンプ）による原子炉圧力容器への注水			非常時操作手順書（徴候ベース） 「水位確保」等	判断基準	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 広帯域） 原子炉水位（SA 燃料域）	非常時操作手順書（設備別） 「直流駆動低圧注水系ポンプによる原子炉注水」	操作	電源の確保 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧 250V 直流主母線電圧 復水貯蔵タンク水位		操作	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 広帯域） 原子炉水位（SA 燃料域）		操作	原子炉圧力 原子炉圧力（SA）		操作	原子炉圧力容器への注水量 直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量		操作	補機監視機能 直流駆動低圧注水系ポンプ出口圧力		操作	水源の確保 復水貯蔵タンク水位	<p>監視計器一覧（2/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(I) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・充てん流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・充てんライン圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位 ・原子炉水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・B-格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(I) フロントライン系故障時の対応手順			b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度	原子炉圧力容器内の水位	・1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位	原子炉圧力容器への注水量	・充てん流量	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域）	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位	補機監視機能	・充てんライン圧力	操作	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位 ・原子炉水位	原子炉圧力容器への注水量	・B-格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域）	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																		
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																																																				
(I) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																																				
b. 代替炉心注水																																																																																																																				
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計																																																																																																																		
	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																																																		
	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																																																																		
	原子炉圧力容器内への注水量	・充てん水流量計																																																																																																																		
	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																																																																		
	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計																																																																																																																		
	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計																																																																																																																		
	原子炉圧力容器内の水位	・原子炉水位計 ・加圧器水位計																																																																																																																		
	原子炉圧力容器内への注水量	・A余熱除去流量計																																																																																																																		
	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																																																																		
水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計																																																																																																																			
補機監視機能	・A格納容器スプレイポンプ吐出圧力計																																																																																																																			
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）																																																																																																																		
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順																																																																																																																				
(I) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																				
a. 低圧代替注水																																																																																																																				
b. 低圧代替注水系（常設）（直流駆動低圧注水系ポンプ）による原子炉圧力容器への注水																																																																																																																				
非常時操作手順書（徴候ベース） 「水位確保」等	判断基準	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 広帯域） 原子炉水位（SA 燃料域）																																																																																																																		
非常時操作手順書（設備別） 「直流駆動低圧注水系ポンプによる原子炉注水」	操作	電源の確保 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧 250V 直流主母線電圧 復水貯蔵タンク水位																																																																																																																		
	操作	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 広帯域） 原子炉水位（SA 燃料域）																																																																																																																		
	操作	原子炉圧力 原子炉圧力（SA）																																																																																																																		
	操作	原子炉圧力容器への注水量 直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量																																																																																																																		
	操作	補機監視機能 直流駆動低圧注水系ポンプ出口圧力																																																																																																																		
	操作	水源の確保 復水貯蔵タンク水位																																																																																																																		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																		
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																																																																				
(I) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																				
b. 代替炉心注水																																																																																																																				
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度																																																																																																																		
	原子炉圧力容器内の水位	・1次冷却材圧力（広域）																																																																																																																		
	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位																																																																																																																		
	原子炉圧力容器への注水量	・充てん流量																																																																																																																		
	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																																																																		
	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位																																																																																																																		
	補機監視機能	・充てんライン圧力																																																																																																																		
	操作	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度																																																																																																																	
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）																																																																																																																	
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位 ・原子炉水位																																																																																																																	
原子炉圧力容器への注水量		・B-格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）																																																																																																																		
原子炉格納容器内の水位		・格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																																																																		
水源の確保		・燃料取替用水ビット水位																																																																																																																		

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																															
<p>監視計器一覧 (3/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計 ・ 出力領域中性子束計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">未臨界の維持又は監視</td> <td>・ 中間領域中性子束計</td> </tr> <tr> <td>・ 中性子源領域中性子束計</td> </tr> <tr> <td>・ 中間領域起動率計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 空冷式非常用発電装置 ・ 電力計、周波数計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉圧力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計	原子炉圧力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計 ・ 出力領域中性子束計	未臨界の維持又は監視	・ 中間領域中性子束計	・ 中性子源領域中性子束計	・ 中間領域起動率計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計	電源	・ 空冷式非常用発電装置 ・ 電力計、周波数計	<p>監視計器一覧 (3/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における炉心手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(c) 低圧代替注水系 (可機型) による原子炉圧力容器への注水</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (教範ベース)</td> <td>「水位確保」等</td> <td>原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ (タイプ1) による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」</td> <td>判断基準 電源の確保</td> <td>4-2C 母線電圧 4-2B 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>淡水貯水槽 (No.1) 淡水貯水槽 (No.2)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作</td> <td>原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>淡水貯水槽 (No.1) 淡水貯水槽 (No.2)</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における炉心手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			a. 低圧代替注水			(c) 低圧代替注水系 (可機型) による原子炉圧力容器への注水			非常時操作手順書 (教範ベース)	「水位確保」等	原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ (タイプ1) による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」	判断基準 電源の確保	4-2C 母線電圧 4-2B 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧		水源の確保	淡水貯水槽 (No.1) 淡水貯水槽 (No.2)		操作	原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)		原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)		原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量)		水源の確保	淡水貯水槽 (No.1) 淡水貯水槽 (No.2)	<p>監視計器一覧 (3/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">未臨界の維持又は監視</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 代替非常用発電機電圧、電力、周波数 ・ 6-A, B 母線電圧</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率	未臨界の維持又は監視					原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位	補機監視機能	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口圧力	電源	・ 代替非常用発電機電圧、電力、周波数 ・ 6-A, B 母線電圧	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																																
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																																																																		
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																																																		
b. 代替炉心注水																																																																																																																																		
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																																
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																																
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																																																																
	原子炉圧力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計																																																																																																																																
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																																																																																
	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計																																																																																																																																
	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																															
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																															
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計																																																																																																																															
		原子炉圧力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計 ・ 出力領域中性子束計																																																																																																																															
未臨界の維持又は監視		・ 中間領域中性子束計																																																																																																																																
		・ 中性子源領域中性子束計																																																																																																																																
		・ 中間領域起動率計																																																																																																																																
原子炉格納容器内の水位		・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																																																																																
水源の確保		・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計																																																																																																																																
電源		・ 空冷式非常用発電装置 ・ 電力計、周波数計																																																																																																																																
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																																
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における炉心手順																																																																																																																																		
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																																		
a. 低圧代替注水																																																																																																																																		
(c) 低圧代替注水系 (可機型) による原子炉圧力容器への注水																																																																																																																																		
非常時操作手順書 (教範ベース)	「水位確保」等	原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																																
重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ (タイプ1) による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」	判断基準 電源の確保	4-2C 母線電圧 4-2B 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																																																
	水源の確保	淡水貯水槽 (No.1) 淡水貯水槽 (No.2)																																																																																																																																
	操作	原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																																
	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)																																																																																																																																
	原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量)																																																																																																																																
	水源の確保	淡水貯水槽 (No.1) 淡水貯水槽 (No.2)																																																																																																																																
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																																
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																																																																																		
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																																		
b. 代替炉心注水																																																																																																																																		
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																																
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																																
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																																																																
	原子炉圧力容器への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)																																																																																																																																
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																																																
	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位																																																																																																																																
	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																															
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																															
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																																																																															
		原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率																																																																																																																															
未臨界の維持又は監視																																																																																																																																		
原子炉格納容器内の水位		・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																																																
水源の確保		・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位																																																																																																																																
補機監視機能		・ 代替格納容器スプレイポンプ出口圧力																																																																																																																																
電源		・ 代替非常用発電機電圧、電力、周波数 ・ 6-A, B 母線電圧																																																																																																																																

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																				
<p>監視計器一覧 (4/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(I) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内への注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">操作</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内への注水量</td> <td>・ AM用消火水積算流量計 ・ A余熱除去流量計 ・ 出力領域中性子束計 ・ 中間領域中性子束計 ・ 中性子源領域起動率計</td> </tr> <tr> <td>未臨界の維持又は監視</td> <td>・ 中間領域中性子束計 ・ 中性子源領域中性子束計 ・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(I) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉压力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	水源の確保	・ No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計	原子炉压力容器内への注水量	・ AM用消火水積算流量計 ・ A余熱除去流量計 ・ 出力領域中性子束計 ・ 中間領域中性子束計 ・ 中性子源領域起動率計	未臨界の維持又は監視	・ 中間領域中性子束計 ・ 中性子源領域中性子束計 ・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	水源の確保	・ No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)	<p>監視計器一覧 (4/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(I) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(d) 代替循環冷却系による原子炉压力容器への注水</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (微検ベース) 「水位確保」等</td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (設備別) 「代替循環冷却ポンプによる原子炉注水」</td> <td>判断基準</td> <td>4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>電源の確保</td> <td>原子炉補機冷却水系系統流量 (A系のみ) 残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量 (A系のみ)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>圧力抑制室水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作</td> <td>原子炉压力容器内の水位 原子炉压力容器内の圧力 原子炉压力容器への注水量 補機監視機能 水源の確保</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>代替循環冷却ポンプ出口流量 代替循環冷却ポンプ出口圧力 圧力抑制室水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順			(I) フロントライン系故障時の対応手順			a. 低圧代替注水			(d) 代替循環冷却系による原子炉压力容器への注水			非常時操作手順書 (微検ベース) 「水位確保」等	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	非常時操作手順書 (設備別) 「代替循環冷却ポンプによる原子炉注水」	判断基準	4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧		電源の確保	原子炉補機冷却水系系統流量 (A系のみ) 残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量 (A系のみ)		最終ヒートシンクの確保	圧力抑制室水位		水源の確保	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)		操作	原子炉压力容器内の水位 原子炉压力容器内の圧力 原子炉压力容器への注水量 補機監視機能 水源の確保			代替循環冷却ポンプ出口流量 代替循環冷却ポンプ出口圧力 圧力抑制室水位	<p>監視計器一覧 (4/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(I) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">操作</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内への注水量</td> <td>・ AM用消火水積算流量 ・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率</td> </tr> <tr> <td>未臨界の維持又は監視</td> <td>・ 中間領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ ろ過水タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(I) フロントライン系故障時の対応手順			b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉压力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	水源の確保	・ ろ過水タンク水位	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉水位	原子炉压力容器内への注水量	・ AM用消火水積算流量 ・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率	未臨界の維持又は監視	・ 中間領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	水源の確保	・ ろ過水タンク水位	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																					
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																																																							
(I) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																																							
b. 代替炉心注水																																																																																																																							
判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																					
	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																					
	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																																																					
	原子炉压力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計																																																																																																																					
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																																																																					
	水源の確保	・ No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)																																																																																																																					
	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																				
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																				
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計																																																																																																																				
		原子炉压力容器内への注水量	・ AM用消火水積算流量計 ・ A余熱除去流量計 ・ 出力領域中性子束計 ・ 中間領域中性子束計 ・ 中性子源領域起動率計																																																																																																																				
未臨界の維持又は監視		・ 中間領域中性子束計 ・ 中性子源領域中性子束計 ・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計																																																																																																																					
原子炉格納容器内の水位		・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																																																																					
水源の確保		・ No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)																																																																																																																					
手順書		重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																				
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順																																																																																																																							
(I) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																							
a. 低圧代替注水																																																																																																																							
(d) 代替循環冷却系による原子炉压力容器への注水																																																																																																																							
非常時操作手順書 (微検ベース) 「水位確保」等	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																					
非常時操作手順書 (設備別) 「代替循環冷却ポンプによる原子炉注水」	判断基準	4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																																					
	電源の確保	原子炉補機冷却水系系統流量 (A系のみ) 残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量 (A系のみ)																																																																																																																					
	最終ヒートシンクの確保	圧力抑制室水位																																																																																																																					
	水源の確保	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																					
	操作	原子炉压力容器内の水位 原子炉压力容器内の圧力 原子炉压力容器への注水量 補機監視機能 水源の確保																																																																																																																					
		代替循環冷却ポンプ出口流量 代替循環冷却ポンプ出口圧力 圧力抑制室水位																																																																																																																					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																					
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																																																																							
(I) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																							
b. 代替炉心注水																																																																																																																							
判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																					
	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																					
	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																																																					
	原子炉压力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																																																					
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																																					
	水源の確保	・ ろ過水タンク水位																																																																																																																					
	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																				
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																				
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉水位																																																																																																																				
		原子炉压力容器内への注水量	・ AM用消火水積算流量 ・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率																																																																																																																				
未臨界の維持又は監視		・ 中間領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率																																																																																																																					
原子炉格納容器内の水位		・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																																					
水源の確保		・ ろ過水タンク水位																																																																																																																					

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																															
<p>監視計器一覧（5/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(d) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">未臨界の維持又は監視</td> <td>出力領域中性子束計</td> <td>・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束計 ・ 中性子源領域中性子束計 ・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉圧力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	(d) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計	原子炉圧力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計	未臨界の維持又は監視	出力領域中性子束計	・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束計 ・ 中性子源領域中性子束計 ・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	<p>監視計器一覧（5/20）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ（計器）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">e. ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書（数統ベース） 「水位確保」等</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域）</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書（設備別） 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」</td> <td>4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>電源の確保</td> <td>ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の水位 原子炉圧力容器内の圧力 原子炉圧力容器への注水量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力（SA） 残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量） （残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補機監視機能</td> <td>ろ過水ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>ろ過水タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			a. 低圧代替注水			e. ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水			非常時操作手順書（数統ベース） 「水位確保」等	判断基準	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域）	非常時操作手順書（設備別） 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」	4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧		電源の確保	ろ過水タンク水位		水源の確保	ろ過水タンク水位		操作	原子炉圧力容器内の水位 原子炉圧力容器内の圧力 原子炉圧力容器への注水量		原子炉圧力 原子炉圧力（SA） 残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量） （残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量）		補機監視機能	ろ過水ポンプ出口圧力		水源の確保	ろ過水タンク水位	<p>監視計器一覧（5/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(d) 海水を用いた可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">未臨界の維持又は監視</td> <td>出力領域中性子束</td> <td>・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉格納容器内の注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	(d) 海水を用いた可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	未臨界の維持又は監視	出力領域中性子束	・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																																																		
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																																		
b. 代替炉心注水																																																																																																																		
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																																																
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																																																
	原子炉圧力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計																																																																																																																
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																																																																
(d) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																																																
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計																																																																																																																
	原子炉圧力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計																																																																																																																
	未臨界の維持又は監視	出力領域中性子束計	・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束計 ・ 中性子源領域中性子束計 ・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計																																																																																																															
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																																																															
		手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）																																																																																																														
		1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順																																																																																																																
	(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																	
	a. 低圧代替注水																																																																																																																	
e. ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水																																																																																																																		
非常時操作手順書（数統ベース） 「水位確保」等	判断基準	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域）																																																																																																																
非常時操作手順書（設備別） 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」		4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																																
	電源の確保	ろ過水タンク水位																																																																																																																
	水源の確保	ろ過水タンク水位																																																																																																																
	操作	原子炉圧力容器内の水位 原子炉圧力容器内の圧力 原子炉圧力容器への注水量																																																																																																																
		原子炉圧力 原子炉圧力（SA） 残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量） （残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量）																																																																																																																
	補機監視機能	ろ過水ポンプ出口圧力																																																																																																																
	水源の確保	ろ過水タンク水位																																																																																																																
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																																																																		
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																		
b. 代替炉心注水																																																																																																																		
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																																																																
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																																																
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																																																
	原子炉格納容器内の注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																																																
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																																																																
(d) 海水を用いた可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																																																																
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																																																
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																																																																
	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																																																
	未臨界の維持又は監視	出力領域中性子束	・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率																																																																																																															
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																																																															

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																												
<div data-bbox="203 448 613 496" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<p>監視計器一覧（6/61）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">    b. 代替心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">(e) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">未臨界の維持又は監視</td> <td></td> <td>・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> </tbody> </table> <p>監視計器一覧（7/61）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">    b. 代替心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">(f) 原水樽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">未臨界の維持又は監視</td> <td></td> <td>・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 2次系統水タンク水位 ・ ろ過水タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			b. 代替心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	(e) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	未臨界の維持又は監視		・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			b. 代替心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	(f) 原水樽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	未臨界の維持又は監視		・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	水源の確保	・ 2次系統水タンク水位 ・ ろ過水タンク水位	<p>【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</p> <p>【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																													
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順																																																																															
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																															
b. 代替心注水																																																																															
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																													
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																													
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																													
	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																													
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																													
(e) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																													
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																													
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																													
	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																													
	未臨界の維持又は監視		・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率																																																																												
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																												
		対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																											
		1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順																																																																													
	(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																														
	b. 代替心注水																																																																														
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																													
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																													
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																													
	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																													
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																													
(f) 原水樽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																													
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																													
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																													
	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																													
	未臨界の維持又は監視		・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率																																																																												
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																												
		水源の確保	・ 2次系統水タンク水位 ・ ろ過水タンク水位																																																																												

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																										
<p>監視計器一覧（6/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">c. 再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 高圧注入ポンプ吐出圧力計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			c. 再循環運転			(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉压力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	操作	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の水位	・ 原子炉水位計	原子炉压力容器内への注水量	・ 高圧注入流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ吐出圧力計		<p>監視計器一覧（8/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">c. 再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			c. 再循環運転			(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉压力容器への注水量	・ 低圧注入流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	操作	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	原子炉压力容器への注水量	・ 高圧注入流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ出口圧力	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																											
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																													
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																													
c. 再循環運転																																																																													
(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																										
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																										
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																										
		原子炉压力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																																										
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																										
	操作	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																										
		原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																										
		原子炉压力容器内の水位	・ 原子炉水位計																																																																										
		原子炉压力容器内への注水量	・ 高圧注入流量計																																																																										
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																										
補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ吐出圧力計																																																																												
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																											
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																													
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																													
c. 再循環運転																																																																													
(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度																																																																										
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																										
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																										
		原子炉压力容器への注水量	・ 低圧注入流量																																																																										
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																										
	操作	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流																																																																										
		原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度																																																																										
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																										
		原子炉压力容器への注水量	・ 高圧注入流量																																																																										
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																										
補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ出口圧力																																																																												

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																								
<p>監視計器一覧（7/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>補機監視機能</td> <td>・余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・A格納容器スプレイポンプ吐出圧力計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			d. 代替再循環運転			(a) A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉压力容器内の注水量	・余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）	操作	補機監視機能	・余熱除去ポンプ吐出圧力計	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	原子炉压力容器内の水位	・原子炉水位計	原子炉压力容器内の注水量	・A余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）	補機監視機能	・A格納容器スプレイポンプ吐出圧力計		<p>監視計器一覧（9/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>補機監視機能</td> <td>・高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位 ・原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・B-格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・B-格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			d. 代替再循環運転			(a) B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位	原子炉压力容器への注水量	・高圧注入流量	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域）	操作	補機監視機能	・高圧注入ポンプ出口圧力	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位 ・原子炉容器水位	原子炉压力容器への注水量	・B-格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	原子炉格納容器内の水位	・B-格納容器再循環サンプ水位（広域）	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																									
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																											
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																											
d. 代替再循環運転																																																																											
(a) A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計																																																																								
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																								
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																								
		原子炉压力容器内の注水量	・余熱除去流量計																																																																								
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																								
	操作	補機監視機能	・余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																								
		原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計																																																																								
		原子炉压力容器内の水位	・原子炉水位計																																																																								
		原子炉压力容器内の注水量	・A余熱除去流量計																																																																								
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																								
補機監視機能	・A格納容器スプレイポンプ吐出圧力計																																																																										
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																									
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																											
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																											
d. 代替再循環運転																																																																											
(a) B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度																																																																								
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）																																																																								
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位																																																																								
		原子炉压力容器への注水量	・高圧注入流量																																																																								
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																								
	操作	補機監視機能	・高圧注入ポンプ出口圧力																																																																								
		原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度																																																																								
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位 ・原子炉容器水位																																																																								
		原子炉压力容器への注水量	・B-格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）																																																																								
		原子炉格納容器内の水位	・B-格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																								

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																												
<p>監視計器一覧（8/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="100 475 347 542">対応手段</th> <th data-bbox="347 475 481 542">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="481 475 712 542">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="100 550 712 566">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="100 574 712 590">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="100 598 712 614">d. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td data-bbox="100 622 313 1125" rowspan="12">(b) 格納容器再循環サンプルスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順</td> <td data-bbox="313 622 481 694" rowspan="3">原子炉圧力容器内の温度</td> <td data-bbox="481 622 712 646">・1次冷却材高温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="481 646 712 670">・1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="481 670 712 694">・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="313 694 481 742">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td data-bbox="481 694 712 742">・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="313 742 481 790">原子炉圧力容器内の注水量</td> <td data-bbox="481 742 712 790">・高圧注入流量計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="313 790 481 837">原子炉格納容器内の注水量</td> <td data-bbox="481 790 712 837">・余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="313 837 481 885">原子炉格納容器内の注水量</td> <td data-bbox="481 837 712 885">・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="313 885 481 933">原子炉格納容器内の温度</td> <td data-bbox="481 885 712 933">・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="313 933 481 981">原子炉格納容器内の圧力</td> <td data-bbox="481 933 712 957">・格納容器圧力計（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="313 957 481 981">原子炉格納容器内の圧力</td> <td data-bbox="481 957 712 981">・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="313 981 481 1029">原子炉格納容器内の水位</td> <td data-bbox="481 981 712 1029">・格納容器再循環サンプル水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="313 1029 481 1077">原子炉格納容器内の水位</td> <td data-bbox="481 1029 712 1077">・原子炉格納容器水位計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="313 1077 481 1125">補機監視機能</td> <td data-bbox="481 1077 712 1101">・余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="313 1101 481 1125">補機監視機能</td> <td data-bbox="481 1101 712 1125">・格納容器スプレイポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="313 1125 481 1173">補機監視機能</td> <td data-bbox="481 1125 712 1173">・高圧注入ポンプ吐出圧力計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			d. 代替再循環運転			(b) 格納容器再循環サンプルスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域）	・1次冷却材低温側温度計（広域）	・炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の注水量	・高圧注入流量計	原子炉格納容器内の注水量	・余熱除去流量計	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域）	原子炉格納容器内の圧力	・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプル水位計（広域）	原子炉格納容器内の水位	・原子炉格納容器水位計	補機監視機能	・余熱除去ポンプ吐出圧力計	補機監視機能	・格納容器スプレイポンプ吐出圧力計	補機監視機能	・高圧注入ポンプ吐出圧力計		<p>監視計器一覧（10/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1391 491 1637 542">対応手段</th> <th data-bbox="1637 491 1771 542">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="1771 491 2002 542">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1391 550 2002 566">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1391 566 2002 582">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1391 582 2002 598">d. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1391 606 1626 1125" rowspan="12">(b) 格納容器再循環サンプルスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順</td> <td data-bbox="1626 606 1659 1125" rowspan="6">判断基準</td> <td data-bbox="1659 606 2002 630">原子炉圧力容器内の温度</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 630 2002 654">・1次冷却材温度（広域-高温側）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 654 2002 678">・1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 678 2002 702">・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 702 2002 726">原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 726 2002 750">・1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1626 750 1659 1125" rowspan="6">補機監視機能</td> <td data-bbox="1659 750 2002 774">原子炉圧力容器への注水量</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 774 2002 798">・高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 798 2002 821">・低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 821 2002 845">原子炉格納容器への注水量</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 845 2002 869">・格納容器スプレイ流量</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 869 2002 893">原子炉格納容器内の温度</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 893 2002 917">・格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 917 2002 941">原子炉格納容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 941 2002 965">・原子炉格納容器圧力</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 965 2002 989">・格納容器圧力（AM用）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 989 2002 1013">原子炉格納容器内の水位</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 1013 2002 1037">・格納容器再循環サンプル水位（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1626 1037 1659 1125" rowspan="6">操作</td> <td data-bbox="1659 1037 2002 1061">高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 1061 2002 1085">・高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 1085 2002 1109">・余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 1109 2002 1133">・余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 1133 2002 1157">原子炉圧力容器内の温度</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 1157 2002 1181">・1次冷却材温度（広域-高温側）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 1181 2002 1204">・1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 1204 2002 1228">・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 1228 2002 1252">原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 1252 2002 1276">・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 1276 2002 1300">原子炉格納容器内の水位</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 1300 2002 1324">・原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 1324 2002 1348">高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 1348 2002 1372">・高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 1372 2002 1396">原子炉圧力容器への注水量</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 1396 2002 1420">・光てら流量</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 1420 2002 1444">・低圧注入流量</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			d. 代替再循環運転			(b) 格納容器再循環サンプルスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側）	・1次冷却材温度（広域-低温側）	・炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）	補機監視機能	原子炉圧力容器への注水量	・高圧注入流量	・低圧注入流量	原子炉格納容器への注水量	・格納容器スプレイ流量	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力	・格納容器圧力（AM用）	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプル水位（広域）	操作	高圧注入ポンプ出口圧力	・高圧注入ポンプ出口圧力	・余熱除去ポンプ出口圧力	・余熱除去ポンプ電流	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側）	・1次冷却材温度（広域-低温側）	・炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・加圧器水位	原子炉格納容器内の水位	・原子炉容器水位	高圧注入流量	・高圧注入流量	原子炉圧力容器への注水量	・光てら流量	・低圧注入流量	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																													
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																															
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																															
d. 代替再循環運転																																																																																															
(b) 格納容器再循環サンプルスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域）																																																																																													
		・1次冷却材低温側温度計（広域）																																																																																													
		・炉心出口温度計																																																																																													
	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																													
	原子炉圧力容器内の注水量	・高圧注入流量計																																																																																													
	原子炉格納容器内の注水量	・余熱除去流量計																																																																																													
	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																																													
	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																													
	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域）																																																																																													
	原子炉格納容器内の圧力	・AM用格納容器圧力計																																																																																													
	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプル水位計（広域）																																																																																													
	原子炉格納容器内の水位	・原子炉格納容器水位計																																																																																													
補機監視機能	・余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																																														
補機監視機能	・格納容器スプレイポンプ吐出圧力計																																																																																														
補機監視機能	・高圧注入ポンプ吐出圧力計																																																																																														
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																													
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																																															
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																															
d. 代替再循環運転																																																																																															
(b) 格納容器再循環サンプルスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	判断基準	原子炉圧力容器内の温度																																																																																													
		・1次冷却材温度（広域-高温側）																																																																																													
		・1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																																													
		・炉心出口温度																																																																																													
		原子炉圧力容器内の圧力																																																																																													
		・1次冷却材圧力（広域）																																																																																													
	補機監視機能	原子炉圧力容器への注水量																																																																																													
		・高圧注入流量																																																																																													
		・低圧注入流量																																																																																													
		原子炉格納容器への注水量																																																																																													
		・格納容器スプレイ流量																																																																																													
		原子炉格納容器内の温度																																																																																													
・格納容器内温度																																																																																															
原子炉格納容器内の圧力																																																																																															
・原子炉格納容器圧力																																																																																															
・格納容器圧力（AM用）																																																																																															
原子炉格納容器内の水位																																																																																															
・格納容器再循環サンプル水位（広域）																																																																																															
操作	高圧注入ポンプ出口圧力																																																																																														
	・高圧注入ポンプ出口圧力																																																																																														
	・余熱除去ポンプ出口圧力																																																																																														
	・余熱除去ポンプ電流																																																																																														
	原子炉圧力容器内の温度																																																																																														
	・1次冷却材温度（広域-高温側）																																																																																														
・1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																																															
・炉心出口温度																																																																																															
原子炉圧力容器内の圧力																																																																																															
・加圧器水位																																																																																															
原子炉格納容器内の水位																																																																																															
・原子炉容器水位																																																																																															
高圧注入流量																																																																																															
・高圧注入流量																																																																																															
原子炉圧力容器への注水量																																																																																															
・光てら流量																																																																																															
・低圧注入流量																																																																																															



泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由	
監視計器一覧（9/48）				監視計器一覧（11/61）			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器		対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 d. 代替再循環運転				1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 d. 代替再循環運転			
(b) 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	操作	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	操作	原子炉格納容器への注水量	・格納容器スプレイ流量計	
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計 ・原子炉水位計		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度	
		原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計		原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用）	
		原子炉圧力容器内の注水量	・高圧注入流量計 ・余熱除去流量計		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域） ・格納容器水位	
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計		最終ヒートシンクの確保	・原子炉補機冷却水サージタンク圧力（AM用） ・C、D-格納容器再循環ユニット補機冷却水流量計 ・主蒸気ライン圧力 ・蒸気発生器水位（狭域） ・蒸気発生器補助給水流量計	
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計			水源の確保	・燃料取替用水ピット水位 ・1次系純水タンク水位 ・ほう酸タンク水位 ・体積制御タンク水位
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・原子炉格納容器水位計				・ほう酸タンク水位 ・1次系純水補給ライン流量積算制御 ・1次系純水補給ライン流量積算制御 ・ろ過水タンク水位
		最終ヒートシンクの確保	・A、D格納容器再循環ユニット冷却水流量計 ・AM用原子炉補機冷却水サージタンク圧力計 ・主蒸気圧力計 ・蒸気発生器水位計（狭域） ・蒸気発生器補助給水流量計				補機監視機能
			水源の確保		・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計（CRT） ・No. 3 淡水タンク水位計（CRT） ・No. 2 淡水タンク水位計（CRT） ・体積制御タンク水位計（CRT）		
					補機監視機能	・余熱除去ポンプ吐出圧力計	

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																									
<p>監視計器一覧（10/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(a) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td></td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(1)b.(b)と同様。</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による代替炉心注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・A余熱除去流量計 ・恒設代替低圧注水積算流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)b.「空調用冷水ポンプによるA余熱除去ポンプ代替補機冷却」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			a. 代替炉心注水			(a) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計	電源	・4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能		・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	操作	1.4.2.1(1)b.(b)と同様。	(b) A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉压力容器内の注水量	・A余熱除去流量計 ・恒設代替低圧注水積算流量計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）	補機監視機能	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計		・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)b.「空調用冷水ポンプによるA余熱除去ポンプ代替補機冷却」にて整備する。			<p>監視計器一覧（12/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位 ・補助給水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・泊幹線1L電圧、2L電圧 ・炭志幹線1L電圧、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機監視機能</td> <td></td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1)b.(b)「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			a. 代替炉心注水			(a) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域）	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位 ・補助給水ピット水位	電源	・泊幹線1L電圧、2L電圧 ・炭志幹線1L電圧、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧	補機監視機能		・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	操作	1.4.2.1(1)b.(b)「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		<p>【大飯】 設備の相違 (相違理由⑥)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																										
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																												
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																												
a. 代替炉心注水																																																																												
(a) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計																																																																									
		電源	・4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																									
	補機監視機能		・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																																									
		操作	1.4.2.1(1)b.(b)と同様。																																																																									
(b) A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計																																																																									
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																									
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																									
		原子炉压力容器内の注水量	・A余熱除去流量計 ・恒設代替低圧注水積算流量計																																																																									
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																									
	補機監視機能	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計																																																																									
			・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																																									
	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)b.「空調用冷水ポンプによるA余熱除去ポンプ代替補機冷却」にて整備する。																																																																										
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																									
	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																											
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																												
a. 代替炉心注水																																																																												
(a) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）																																																																									
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位																																																																									
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																									
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位 ・補助給水ピット水位																																																																									
		電源	・泊幹線1L電圧、2L電圧 ・炭志幹線1L電圧、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																									
	補機監視機能		・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）																																																																									
		操作	1.4.2.1(1)b.(b)「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																									
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">大飯3/4号炉との比較対象なし</div>																																																																										

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉			泊発電所3号炉			相違理由																
監視計器一覧（11/48）						監視計器一覧（13/61）																			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器				対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																	
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水						1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水																			
(c) B充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																	
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計					操作	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）															
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計							水源の確保	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位													
		原子炉圧力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計									電源	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量											
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）											補機監視機能	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）									
		水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計													補機冷却	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位							
		電源	・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計															補機冷却	電源	・ 後志幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 0-A、B、C1、C2、D母線電圧					
		補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）																	補機冷却	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却前水流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却前水流量（AM用）			
			・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																			補機冷却	補機冷却	・ B-充てんポンプ封水油冷却器冷却水流量計 ・ B-充てんポンプ電動機冷却水流量計	
		監視計器一覧（12/48）																							
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器				対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目																	監視計器	
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水						1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水																			
(c) B充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計			操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																	
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計					水源の確保	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）															
		原子炉圧力容器内の水位	・ 原子炉水位計 ・ 加圧器水位計							電源	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉水位													
		原子炉圧力容器内の注水量	・ 充てん水流量計									補機冷却	原子炉圧力容器への注水量	・ 充てん流量											
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・ 原子炉格納容器水位計											補機冷却	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）									
		水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計													補機冷却	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位							
		補機冷却	・ B充てんポンプ封水油冷却器冷却水流量計															補機冷却	補機冷却	・ B-充てんポンプ油冷却器及び封水冷却器補機冷却水流量					
			・ B充てんポンプ電動機冷却水流量計																	補機冷却	補機冷却	・ B-充てんポンプ電動機冷却水流量			

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉			泊発電所3号炉			相違理由			
監視計器一覧（13/48）						監視計器一覧（14/61）						
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器				対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器				
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水						1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水						
(d) A格納容器スプレイポンプ (自己冷却) (RHR S-CSS連絡ライン使用)による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度				
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計				原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）				
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計				原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位				
		原子炉圧力容器内の注水量	・充てん流量計				原子炉圧力容器への注水量	・充てん流量				
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環リンプ水位計（広域）				原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環リンプ水位（広域）				
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計				水源の確保	・燃料取替用水ピット水位				
		補機監視機能	・充てん水圧力計				電源	・泊幹線1L電圧、2L電圧				
		補機監視機能	電源	・4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計					・後志幹線1L電圧、2L電圧			
				・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）					・甲母線電圧、乙母線電圧			
		補機監視機能	電源	・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）				・6-A、B、C1、C2、D母線電圧				
監視計器一覧（14/48）						(c) B-格納容器スプレイポンプ (自己冷却) (RHR S-CSS連絡ライン使用)による原子炉容器への注水						
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器				対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器				
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水						1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水						
(d) A格納容器スプレイポンプ (自己冷却) (RHR S-CSS連絡ライン使用)による代替炉心注水	操作	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計			操作	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度				
		原子炉圧力容器内の水位	・原子炉水位計 ・加圧器水位計				原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）				
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計				原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位 ・原子炉容器水位				
		原子炉圧力容器内の注水量	・A余熱除去流量計				原子炉圧力容器への注水量	・B-格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（適用）				
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環リンプ水位計（広域）				原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環リンプ水位（広域）				
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計				水源の確保	・燃料取替用水ピット水位				
		補機冷却	補機冷却	・A格納容器スプレイポンプ電動機冷却水流量計				補機冷却	・原子炉補機冷却水供給母管流量（適用）			
				・A格納容器スプレイポンプ冷却水流量計					・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（適用）			

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																	
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;"><b>監視計器一覧(15/48)より抜粋して掲載</b></p> <p>監視計器一覧（15/48）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 60%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">(e) ディーゼル消火ポンプ又は電動消火ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ 水源の確保</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">電源</td> <td>・ No. 2淡水タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(d)と同等。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水			(e) ディーゼル消火ポンプ又は電動消火ポンプによる代替炉心注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）	・ 1次冷却材低温側温度計（広域）	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	・ A余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	・ 水源の確保	電源	・ No. 2淡水タンク水位計（CRT）	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	操作	1.4.2.1(d)と同等。			<p>監視計器一覧（15/61）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 60%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">(d) ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動機駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="4" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ B-格納容器スプレイ流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">電源</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ 水源の確保</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="vertical-align: top;">補機監視機能</td> <td>・ ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>・ 消幹線1L電圧、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 後志幹線1L電圧、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">操作</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1(1) b. (e) 「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水			(d) ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動機駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）	・ 1次冷却材温度（広域-低温側）	・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量	原子炉格納容器内の水位	・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	電源	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	・ 水源の確保	補機監視機能	・ ろ過水タンク水位	・ 消幹線1L電圧、2L電圧	・ 後志幹線1L電圧、2L電圧	・ 甲母線電圧、乙母線電圧	・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量	操作	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	1.4.2.1(1) b. (e) 「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																		
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水																																																																				
(e) ディーゼル消火ポンプ又は電動消火ポンプによる代替炉心注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）																																																																		
		・ 1次冷却材低温側温度計（広域）																																																																		
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計																																																																		
		・ 1次冷却材圧力計																																																																		
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																		
		・ A余熱除去流量計																																																																		
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																		
		・ 水源の確保																																																																		
	電源	・ No. 2淡水タンク水位計（CRT）																																																																		
		・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																		
補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）																																																																			
	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																																			
操作	1.4.2.1(d)と同等。																																																																			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																		
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水																																																																				
(d) ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動機駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度																																																																		
		・ 1次冷却材温度（広域-高温側）																																																																		
		・ 1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																		
		・ 炉心出口温度																																																																		
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																		
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																		
	原子炉圧力容器への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量																																																																		
	原子炉格納容器内の水位	・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）																																																																		
	電源	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																		
		・ 水源の確保																																																																		
補機監視機能	・ ろ過水タンク水位																																																																			
	・ 消幹線1L電圧、2L電圧																																																																			
	・ 後志幹線1L電圧、2L電圧																																																																			
	・ 甲母線電圧、乙母線電圧																																																																			
	・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																			
	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																			
操作	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）																																																																			
	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量																																																																			
	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）																																																																			
1.4.2.1(1) b. (e) 「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																				

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(15/48)より抜粋して掲載</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="6" style="width: 15%; vertical-align: top;">(D) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="3" style="width: 5%; text-align: center; vertical-align: middle;">判断基準</td> <td style="width: 20%;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">補機監視機能</td> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(d)と同様。</td> </tr> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	(D) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	補機監視機能	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	操作	1.4.2.1(d)と同様。			<p style="text-align: center;">監視計器一覧（16/61）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順                      (2) サポート系故障時の対応手順                      a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（適用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">補機監視機能</td> <td>電源</td> <td>・ 泊幹線1L電圧、2L電圧 ・ 後志幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（適用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量計（CRT）</td> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（適用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量計（CRT）</td> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（適用）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1) b. (d) 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">(f) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（適用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1) b. (e) 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水			(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（適用）	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	補機監視機能	電源	・ 泊幹線1L電圧、2L電圧 ・ 後志幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（適用）	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量計（CRT）	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（適用）	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量計（CRT）	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（適用）	操作	1.4.2.1(1) b. (d) 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		(f) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（適用）	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	操作	1.4.2.1(1) b. (e) 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		<p>【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</p>
(D) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																														
				原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																														
		原子炉圧力容器内の水位		・ 加圧器水位計																																																															
		補機監視機能	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計																																																															
			原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																															
	電源		・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																
操作	1.4.2.1(d)と同様。																																																																		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																	
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水																																																																			
(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																
		原子炉圧力容器への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（適用）																																																																
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																
	補機監視機能	電源	・ 泊幹線1L電圧、2L電圧 ・ 後志幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																
		補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（適用）																																																															
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量計（CRT）	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（適用）																																																															
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量計（CRT）	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（適用）																																																															
		操作	1.4.2.1(1) b. (d) 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																
(f) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																
		原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（適用）																																																																
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																
	操作	1.4.2.1(1) b. (e) 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																	

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																										
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<p>監視計器一覧 (17/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="vertical-align: top;">(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="6" style="text-align: center; vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（適用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(1) b. (f) 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			a. 代替炉心注水			(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側）	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（適用）	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	操作	1.4.2.1(1) b. (f) 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。	<p>【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																											
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順																													
(2) サポート系故障時の対応手順																													
a. 代替炉心注水																													
(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側）																										
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																										
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																										
		原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（適用）																										
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																										
		操作	1.4.2.1(1) b. (f) 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																										

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																		
<p>監視計器一覧（16/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 代替再循環運転 (a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="7">i. B高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td>補機冷却</td> <td>・ B高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B高圧注入ポンプ冷却水流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ B高圧注入流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ B高圧注入ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>大容量ポンプによる冷却水通水操作は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a. 「大容量ポンプによる補機冷却水（海水）通水」にて整備する。</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 代替再循環運転 (a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合			i. B高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	電源	・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機冷却	・ B高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B高圧注入ポンプ冷却水流量計	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の水位	・ 原子炉水位計	原子炉圧力容器内の注水量	・ B高圧注入流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	補機監視機能	・ B高圧注入ポンプ吐出圧力計	大容量ポンプによる冷却水通水操作は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a. 「大容量ポンプによる補機冷却水（海水）通水」にて整備する。				<p>監視計器一覧（18/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 b. 代替再循環運転 (a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">電源</td> <td></td> <td>・ 泊幹線1L電圧、2L電圧 ・ 後志幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ B-1A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機冷却</td> <td></td> <td>・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（AM用） ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ A-高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>可搬型大型送水ポンプ車による冷却水通水については、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a. 「可搬型大型送水ポンプ車によるA-高圧注入ポンプへの補機冷却水（海水）通水」の操作手順と同様である。</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 b. 代替再循環運転 (a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合			i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	電源		・ 泊幹線1L電圧、2L電圧 ・ 後志幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ B-1A、B、C1、C2、D母線電圧	補機冷却		・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（AM用） ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用）	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	補機監視機能	・ A-高圧注入ポンプ出口圧力	可搬型大型送水ポンプ車による冷却水通水については、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a. 「可搬型大型送水ポンプ車によるA-高圧注入ポンプへの補機冷却水（海水）通水」の操作手順と同様である。			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																			
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 代替再循環運転 (a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合																																																																					
i. B高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																		
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																		
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																		
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																			
	電源	・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																			
	補機冷却	・ B高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B高圧注入ポンプ冷却水流量計																																																																			
	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																		
原子炉圧力容器内の水位		・ 原子炉水位計																																																																			
原子炉圧力容器内の注水量		・ B高圧注入流量計																																																																			
原子炉格納容器内の水位		・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																			
補機監視機能		・ B高圧注入ポンプ吐出圧力計																																																																			
大容量ポンプによる冷却水通水操作は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a. 「大容量ポンプによる補機冷却水（海水）通水」にて整備する。																																																																					
対応手段		重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																		
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 b. 代替再循環運転 (a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合																																																																					
i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																		
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																		
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																		
	電源		・ 泊幹線1L電圧、2L電圧 ・ 後志幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ B-1A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																		
		補機冷却		・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（AM用） ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用）																																																																	
			操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																
		原子炉圧力容器内の水位		・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																	
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																			
	補機監視機能	・ A-高圧注入ポンプ出口圧力																																																																			
	可搬型大型送水ポンプ車による冷却水通水については、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a. 「可搬型大型送水ポンプ車によるA-高圧注入ポンプへの補機冷却水（海水）通水」の操作手順と同様である。																																																																				



泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由	
監視計器一覧（17/48）					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目				
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合					
(2) サポート系機能喪失時の手順等					
b. 代替再循環運転					
(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合					
i. A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・炉心出口温度計</li> </ul>	大飯3/4号炉との比較対象なし	【大飯】設備の相違（相違理由⑥）
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計		
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計		
	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）			
	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）			
		原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）			
	補機冷却	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A余熱除去ポンプ電動機冷却水流量計</li> <li>・A余熱除去ポンプ冷却水流量計</li> </ul>			
操作	空調用冷水系による冷却水通水操作は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)b. 「空調用冷水ポンプによるA余熱除去ポンプ代替補機冷却」にて整備する。				

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																								
<p>監視計器一覧（18/48）</p> <table border="1" data-bbox="100 454 712 1145"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">ii. B高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</td> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td></td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機冷却</td> <td></td> <td>・ B高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B高圧注入ポンプ冷却水流量計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(2)b.(a)i.と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			b. 代替再循環運転			(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合			ii. B高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	原子炉格納容器内への注水量	・ A余熱除去流量計	補機監視機能		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	補機冷却		・ B高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B高圧注入ポンプ冷却水流量計	操作	1.4.2.1(2)b.(a)i.と同様。			<p>監視計器一覧（19/61）</p> <table border="1" data-bbox="1384 491 2000 1161"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">i. 可能型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</td> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ 高圧注流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td></td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機冷却</td> <td></td> <td>・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（AM用） ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（AM用） ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(2)b.(a)i.、「可能型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			b. 代替再循環運転			(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合			i. 可能型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉格納容器内の水位	・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）	原子炉压力容器への注水量	・ 高圧注流量	補機監視機能		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用）	補機冷却		・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（AM用） ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（AM用） ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用）	操作	1.4.2.1(2)b.(a)i.、「可能型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																									
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合																																																																											
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																											
b. 代替再循環運転																																																																											
(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合																																																																											
ii. B高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																								
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																								
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																								
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																								
		原子炉格納容器内への注水量	・ A余熱除去流量計																																																																								
		補機監視機能		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																																							
			補機冷却		・ B高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B高圧注入ポンプ冷却水流量計																																																																						
		操作		1.4.2.1(2)b.(a)i.と同様。																																																																							
		対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																							
		1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順																																																																									
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																											
b. 代替再循環運転																																																																											
(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合																																																																											
i. 可能型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																								
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																								
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																								
		原子炉格納容器内の水位	・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																								
		原子炉压力容器への注水量	・ 高圧注流量																																																																								
		補機監視機能		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用）																																																																							
			補機冷却		・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（AM用） ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（AM用） ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用）																																																																						
		操作		1.4.2.1(2)b.(a)i.、「可能型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。																																																																							

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																							
<p>大阪発電所3/4号炉</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ（計器）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 復旧 (a) 残留熱除去系電源復旧後の原子炉压力容器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書（備後ベース） 「水位確保」等</td> <td rowspan="2">原子炉压力容器内の水位</td> <td>原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能 原子炉補機冷却水系統流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書（設備別） 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」</td> <td rowspan="2">電源の確保</td> <td>6-2C 母線電圧 6-2D 母線電圧 4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td>水源の確保 圧力抑制室水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">原子炉压力容器内の水位</td> <td>原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力 原子炉圧力（SA）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>残留熱除去系ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>水源の確保</td> <td>圧力抑制室水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 復旧 (a) 残留熱除去系電源復旧後の原子炉压力容器への注水			非常時操作手順書（備後ベース） 「水位確保」等	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域）	補機監視機能 原子炉補機冷却水系統流量	非常時操作手順書（設備別） 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」	電源の確保	6-2C 母線電圧 6-2D 母線電圧 4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧	水源の確保 圧力抑制室水位	補機監視機能	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域）	原子炉压力容器内の圧力 原子炉圧力（SA）	補機監視機能	原子炉压力容器への注水量	残留熱除去系ポンプ出口流量	補機監視機能	原子炉压力容器への注水量	残留熱除去系ポンプ出口圧力	補機監視機能	水源の確保	圧力抑制室水位	<p>泊発電所3号炉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">c. 原子炉格納容器隔離弁の閉止</td> <td rowspan="2">判断基準 電源</td> <td>・ 泊幹線 1L 電圧、2L 電圧 ・ 後志幹線 1L 電圧、2L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 6-A、B、C1、C2、D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>d. 復旧</td> <td>判断基準 操作</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(a) B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準 電源</td> <td>原子炉压力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力 ・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ 格納容器内循環ポンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保 ・ 燃料取替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">電源</td> <td>・ 泊幹線 1L 電圧、2L 電圧 ・ 後志幹線 1L 電圧、2L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水供給管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給管流量（AM 用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(2) a. (b) 「B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table> <p>—：操作に伴う監視計器がないため記載しない。</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順			c. 原子炉格納容器隔離弁の閉止	判断基準 電源	・ 泊幹線 1L 電圧、2L 電圧 ・ 後志幹線 1L 電圧、2L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧	・ 6-A、B、C1、C2、D 母線電圧	d. 復旧	判断基準 操作	—	(a) B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水	判断基準 電源	原子炉压力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力 ・ 1次冷却材圧力（広域）	補機監視機能	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ 格納容器内循環ポンプ水位（広域）	水源の確保 ・ 燃料取替用水ビット水位	補機監視機能	電源	・ 泊幹線 1L 電圧、2L 電圧 ・ 後志幹線 1L 電圧、2L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D 母線電圧	・ 原子炉補機冷却水供給管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給管流量（AM 用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用）	補機監視機能	操作	1.4.2.1(2) a. (b) 「B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。	<p>【大阪】 記載方針の相違 ・泊3号炉は、手順着手の判断基準の監視計器を整理している。</p> <p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映） ・泊は女川と同様に各手段の項目に「復旧」を設ける。</p>
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）																																																								
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 復旧 (a) 残留熱除去系電源復旧後の原子炉压力容器への注水																																																										
非常時操作手順書（備後ベース） 「水位確保」等	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域）																																																								
		補機監視機能 原子炉補機冷却水系統流量																																																								
非常時操作手順書（設備別） 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」	電源の確保	6-2C 母線電圧 6-2D 母線電圧 4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																								
		水源の確保 圧力抑制室水位																																																								
補機監視機能	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域）																																																								
		原子炉压力容器内の圧力 原子炉圧力（SA）																																																								
補機監視機能	原子炉压力容器への注水量	残留熱除去系ポンプ出口流量																																																								
補機監視機能	原子炉压力容器への注水量	残留熱除去系ポンプ出口圧力																																																								
補機監視機能	水源の確保	圧力抑制室水位																																																								
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																								
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順																																																										
c. 原子炉格納容器隔離弁の閉止	判断基準 電源	・ 泊幹線 1L 電圧、2L 電圧 ・ 後志幹線 1L 電圧、2L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧																																																								
		・ 6-A、B、C1、C2、D 母線電圧																																																								
d. 復旧	判断基準 操作	—																																																								
(a) B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水	判断基準 電源	原子炉压力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																								
		原子炉压力容器内の圧力 ・ 1次冷却材圧力（広域）																																																								
補機監視機能	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ 格納容器内循環ポンプ水位（広域）																																																								
		水源の確保 ・ 燃料取替用水ビット水位																																																								
補機監視機能	電源	・ 泊幹線 1L 電圧、2L 電圧 ・ 後志幹線 1L 電圧、2L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D 母線電圧																																																								
		・ 原子炉補機冷却水供給管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給管流量（AM 用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用）																																																								
補機監視機能	操作	1.4.2.1(2) a. (b) 「B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																								
<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ（計器）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 復旧 (b) 低圧炉心スプレイ系電源復旧後の原子炉压力容器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書（備後ベース） 「水位確保」等</td> <td rowspan="2">原子炉压力容器内の水位</td> <td>原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能 原子炉補機冷却水系統流量（A系のみ）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書（設備別） 「低圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」</td> <td rowspan="2">電源の確保</td> <td>6-2C 母線電圧 4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧</td> </tr> <tr> <td>水源の確保 圧力抑制室水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">原子炉压力容器内の水位</td> <td>原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力 原子炉圧力（SA）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>水源の確保</td> <td>圧力抑制室水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 復旧 (b) 低圧炉心スプレイ系電源復旧後の原子炉压力容器への注水			非常時操作手順書（備後ベース） 「水位確保」等	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域）	補機監視機能 原子炉補機冷却水系統流量（A系のみ）	非常時操作手順書（設備別） 「低圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」	電源の確保	6-2C 母線電圧 4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧	水源の確保 圧力抑制室水位	補機監視機能	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域）	原子炉压力容器内の圧力 原子炉圧力（SA）	補機監視機能	原子炉压力容器への注水量	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量	補機監視機能	原子炉压力容器への注水量	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力	補機監視機能	水源の確保	圧力抑制室水位	<p>泊発電所3号炉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 d. 復旧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(b) 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</td> <td rowspan="2">判断基準 電源</td> <td>原子炉压力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力 ・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機冷却</td> <td rowspan="2">原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ A-格納容器再循環ポンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ 泊幹線 1L 電圧、2L 電圧 ・ 後志幹線 1L 電圧、2L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機冷却</td> <td rowspan="2">原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ A-高圧注入ポンプ及び炉心冷却器補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ及び炉心冷却器補機冷却水流量（AM用） ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(2) b. (a) i. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 d. 復旧			(b) 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準 電源	原子炉压力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力 ・ 1次冷却材圧力（広域）	補機冷却	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ A-格納容器再循環ポンプ水位（広域）	・ 泊幹線 1L 電圧、2L 電圧 ・ 後志幹線 1L 電圧、2L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D 母線電圧	補機冷却	原子炉压力容器内の水位	・ A-高圧注入ポンプ及び炉心冷却器補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ及び炉心冷却器補機冷却水流量（AM用） ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用）	操作	1.4.2.1(2) b. (a) i. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。	<p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映） ・泊は女川と同様に各手段の項目に「復旧」を設ける。</p>									
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）																																																								
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 復旧 (b) 低圧炉心スプレイ系電源復旧後の原子炉压力容器への注水																																																										
非常時操作手順書（備後ベース） 「水位確保」等	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域）																																																								
		補機監視機能 原子炉補機冷却水系統流量（A系のみ）																																																								
非常時操作手順書（設備別） 「低圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」	電源の確保	6-2C 母線電圧 4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧																																																								
		水源の確保 圧力抑制室水位																																																								
補機監視機能	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域）																																																								
		原子炉压力容器内の圧力 原子炉圧力（SA）																																																								
補機監視機能	原子炉压力容器への注水量	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量																																																								
補機監視機能	原子炉压力容器への注水量	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力																																																								
補機監視機能	水源の確保	圧力抑制室水位																																																								
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																								
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 d. 復旧																																																										
(b) 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準 電源	原子炉压力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																								
		原子炉压力容器内の圧力 ・ 1次冷却材圧力（広域）																																																								
補機冷却	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ A-格納容器再循環ポンプ水位（広域）																																																								
		・ 泊幹線 1L 電圧、2L 電圧 ・ 後志幹線 1L 電圧、2L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D 母線電圧																																																								
補機冷却	原子炉压力容器内の水位	・ A-高圧注入ポンプ及び炉心冷却器補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ及び炉心冷却器補機冷却水流量（AM用） ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用）																																																								
		操作	1.4.2.1(2) b. (a) i. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。																																																							

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																				
<p>監視計器一覧（19/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器の温度</td> <td>・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度（SA）用）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水冷却器出口温度計（CRT）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水戻り母管温度計（CRT）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">操作</td> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・原子炉格納容器水位計</td> </tr> </tbody> </table> <p>格納容器スプレイ及び代替格納容器スプレイの手順は「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち1.8.2.1(D)a.「格納容器スプレイポンプによる格納容器スプレイ」及び1.8.2.1(D)b.「代替格納容器スプレイ」にて整備する。          格納容器内自然対流冷却の手順は、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2)a.「A、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。可搬型格納容器水素ガス濃度計により水素濃度を監視する手順は「1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」のうち、1.9.2.1(2)「水素濃度監視」にて整備する。</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			判断基準	原子炉圧力容器の温度	・炉心出口温度計	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	最終ヒートシンクの確保	・可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度（SA）用）		・原子炉補機冷却水冷却器出口温度計（CRT）		・原子炉補機冷却水戻り母管温度計（CRT）		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計		操作	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・原子炉格納容器水位計	<p>監視計器一覧（8/20）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ（計器）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順 a. 低圧代替注水 (a) 低圧代替注水系（差設）（復水移送ポンプ）による残存溶融炉心の冷却</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書（シビアアクシデント） 「注水ストラテジー」</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 広帯域） 原子炉水位（SA 燃料域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書（設備別） 「復水移送ポンプによる原子炉注水」</td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力（SA）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>ドライウエル圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>原子炉格納容器下部温度 ドライウエル温度 ・原子炉格納容器下部空層気温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水素濃度</td> <td>格納容器内空層気水素濃度 格納容器内水素濃度（D/W） 格納容器内水素濃度（S/C）</td> </tr> <tr> <td>電源の確保</td> <td>4-9C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">操作</td> <td>水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位 原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 広帯域） 原子炉水位（SA 燃料域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力（SA）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>残留熱除去系洗浄フィン流量 （残留熱除去系ヘッドスプレイルイン洗浄流量） （残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>復水移送ポンプ出口圧力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順 a. 低圧代替注水 (a) 低圧代替注水系（差設）（復水移送ポンプ）による残存溶融炉心の冷却			非常時操作手順書（シビアアクシデント） 「注水ストラテジー」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 広帯域） 原子炉水位（SA 燃料域）	非常時操作手順書（設備別） 「復水移送ポンプによる原子炉注水」	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力（SA）	原子炉格納容器内の圧力	ドライウエル圧力	判断基準	原子炉格納容器内の温度	原子炉格納容器下部温度 ドライウエル温度 ・原子炉格納容器下部空層気温度	原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内空層気水素濃度 格納容器内水素濃度（D/W） 格納容器内水素濃度（S/C）	電源の確保	4-9C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧	操作	水源の確保	復水貯蔵タンク水位 原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域）	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 広帯域） 原子炉水位（SA 燃料域）	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力（SA）	原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系洗浄フィン流量 （残留熱除去系ヘッドスプレイルイン洗浄流量） （残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量）	補機監視機能	復水移送ポンプ出口圧力		水源の確保	復水貯蔵タンク水位		<p>監視計器一覧（22/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順 a. 原子炉格納容器水素</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・C、D-原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水温度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B-原子炉補機冷却水戻り母管温度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用）</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">操作</td> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位（広域） ・格納容器水位</td> </tr> </tbody> </table> <p>(a) 格納容器スプレイ又は代替格納容器スプレイによる残存溶融炉心の冷却          手順内の格納容器スプレイ及び代替格納容器スプレイについては、「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち1.8.2.1(1)a.「原子炉格納容器下部への注水」の操作手順と同様である。格納容器内自然対流冷却については、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2)a.「C、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」の操作手順と同様である。また、可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットにより水素濃度を監視する手順は、「1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」のうち、1.9.2.1(2)a.「可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットによる原子炉格納容器内の水素濃度監視」にて整備する。</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順 a. 原子炉格納容器水素			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・炉心出口温度	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度	最終ヒートシンクの確保	・C、D-原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水温度		・B-原子炉補機冷却水戻り母管温度		・格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度		原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用）		操作	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用）	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域） ・格納容器水位	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																					
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																																							
判断基準	原子炉圧力容器の温度	・炉心出口温度計																																																																																																					
	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）																																																																																																					
	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																																					
	最終ヒートシンクの確保	・可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度（SA）用）																																																																																																					
		・原子炉補機冷却水冷却器出口温度計（CRT）																																																																																																					
		・原子炉補機冷却水戻り母管温度計（CRT）																																																																																																					
	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計																																																																																																					
	操作	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																																				
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計																																																																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																																				
原子炉格納容器内の水位		・格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・原子炉格納容器水位計																																																																																																					
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）																																																																																																					
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順 a. 低圧代替注水 (a) 低圧代替注水系（差設）（復水移送ポンプ）による残存溶融炉心の冷却																																																																																																							
非常時操作手順書（シビアアクシデント） 「注水ストラテジー」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 広帯域） 原子炉水位（SA 燃料域）																																																																																																					
非常時操作手順書（設備別） 「復水移送ポンプによる原子炉注水」	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力（SA）																																																																																																					
	原子炉格納容器内の圧力	ドライウエル圧力																																																																																																					
判断基準	原子炉格納容器内の温度	原子炉格納容器下部温度 ドライウエル温度 ・原子炉格納容器下部空層気温度																																																																																																					
	原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内空層気水素濃度 格納容器内水素濃度（D/W） 格納容器内水素濃度（S/C）																																																																																																					
	電源の確保	4-9C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																					
操作	水源の確保	復水貯蔵タンク水位 原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域）																																																																																																					
	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 広帯域） 原子炉水位（SA 燃料域）																																																																																																					
	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力（SA）																																																																																																					
	原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系洗浄フィン流量 （残留熱除去系ヘッドスプレイルイン洗浄流量） （残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量）																																																																																																					
補機監視機能	復水移送ポンプ出口圧力																																																																																																						
水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																																																																						
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																					
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順 a. 原子炉格納容器水素																																																																																																							
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・炉心出口温度																																																																																																					
	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）																																																																																																					
	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度																																																																																																					
	最終ヒートシンクの確保	・C、D-原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水温度																																																																																																					
		・B-原子炉補機冷却水戻り母管温度																																																																																																					
		・格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度																																																																																																					
	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用）																																																																																																					
	操作	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度																																																																																																				
		原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用）																																																																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）																																																																																																				
原子炉格納容器内の水位		・格納容器再循環サンプ水位（広域） ・格納容器水位																																																																																																					

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

監視計器一覧(20/48)より抜粋して掲載

監視計器一覧(20/48)

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合			
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			
a. 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)			
(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計(広域)
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材低温側温度計(広域)
	操作	原子炉圧力容器内の注水量	・炉心出口温度計
		補機監視機能	・1次冷却材圧力計
(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計(広域)
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材低温側温度計(広域)
		最終ヒートシンクの確保	・炉心出口温度計
		電源	・1次冷却材圧力計
	操作	水源地の確保	・蒸気発生器水位計(広域)
		補機監視機能	・蒸気発生器水位計(狭域)
		水源地の確保	・蒸気発生器補助給水流速計
		補機監視機能	・4-3(4)C1、C2、D1、D2母線電圧計
水源地の確保	・脱気器タンク水位計(CRT)	・復水ビット水位計	
補機監視機能	・余熱除去ポンプ吐出圧力計	・余熱除去ポンプ電流	

監視計器一覧(9/20)

手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ(計器)
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順		
(3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順		
a. 低圧代替注水		
(b) 代替循環冷却系による残存溶融炉心の冷却		
非常時操作手順書(シビアアクシデント) 「注水ストラテジー」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位(狭帯域) 原子炉水位(広帯域) 原子炉水位(燃料域) 原子炉水位(SA広帯域) 原子炉水位(SA燃料域)
非常時操作手順書(設備別) 「代替循環冷却ポンプによる原子炉注水」	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力(SA)
	原子炉格納容器内の圧力	ドライウェル圧力
	原子炉格納容器内の温度	原子炉格納容器下部温度 ドライウェル温度 ・原子炉格納容器下部雰囲気温度
	原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内雰囲気水素濃度 格納容器内水素濃度(D/W) 格納容器内水素濃度(S/C)
	電源の確保	4-2C母線電圧 125V直流主母線2A電圧 125V直流主母線2B電圧 125V直流主母線2A-1電圧 125V直流主母線2B-1電圧
	水源地の確保	圧力抑制室水位
	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位(狭帯域) 原子炉水位(広帯域) 原子炉水位(燃料域) 原子炉水位(SA広帯域) 原子炉水位(SA燃料域)
	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力(SA)
	原子炉圧力容器への注水量	代替循環冷却ポンプ出口流量
	補機監視機能	代替循環冷却ポンプ出口圧力
	水源地の確保	圧力抑制室水位

監視計器一覧(23/61)

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順			
(1) フロントライン系故障時の対応手順			
a. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却(注水)			
(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度(広域-高温側)
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材温度(広域-低温側)
	操作	水源地の確保	・炉心出口温度
		補機監視機能	・1次冷却材圧力(広域)
(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度(広域-高温側)
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材温度(広域-低温側)
		最終ヒートシンクの確保	・炉心出口温度
		電源	・1次冷却材圧力(広域)
	操作	水源地の確保	・蒸気発生器水位(広域)
		補機監視機能	・蒸気発生器水位(狭域)
		水源地の確保	・補助給水流速
		補機監視機能	・泊幹線1L電圧、2L電圧
水源地の確保	・脱気器タンク水位	・後志幹線1L電圧、2L電圧	
補機監視機能	・甲母線電圧、乙母線電圧	・6-C1、C2、D母線電圧	

一：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																									
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; color: blue;">監視計器一覧(20/48)より抜粋して掲載</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="width: 15%; text-align: center;">(c) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="4" style="width: 5%; text-align: center;">判断基準</td> <td style="width: 15%;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td style="width: 65%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位計（広域）</li> <li>・ 蒸気発生器主給水流量計（CRT）</li> <li>・ 蒸気発生器水張り流量計（CRT）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 復水ビット水位計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	(c) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul>	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力計</li> </ul>	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位計（広域）</li> <li>・ 蒸気発生器主給水流量計（CRT）</li> <li>・ 蒸気発生器水張り流量計（CRT）</li> </ul>	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 復水ビット水位計</li> </ul>			操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。	<p style="text-align: center;">監視計器一覧（10/20）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">手順書</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 60%;">監視パラメータ（計器）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順                      (3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順                      a. 低圧代替注水                      (c) 低圧代替注水系（可搬型）による残存溶融炉心の冷却</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書（シビアアクシデント） 「注水ストラテジ-4」</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 広帯域） 原子炉水位（SA 燃料域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ（タイプ1）による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」</td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力（SA）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>ドライウェル圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>原子炉格納容器下部温度 ドライウェル温度 ・ 原子炉格納容器下部空潤気湿度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水素濃度</td> <td>格納容器内空潤気水素濃度 格納容器内水素濃度（D/W） 格納容器内水素濃度（S/C）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>電源の確保</td> <td>4-2c 母線電圧 4-2d 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>淡水貯水槽（No.1） 淡水貯水槽（No.2）</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 燃料域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力（SA）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量） 残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>淡水貯水槽（No.1） 淡水貯水槽（No.2）</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順 a. 低圧代替注水 (c) 低圧代替注水系（可搬型）による残存溶融炉心の冷却			非常時操作手順書（シビアアクシデント） 「注水ストラテジ-4」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 広帯域） 原子炉水位（SA 燃料域）	重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ（タイプ1）による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力（SA）	原子炉格納容器内の圧力	ドライウェル圧力	判断基準	原子炉格納容器内の温度	原子炉格納容器下部温度 ドライウェル温度 ・ 原子炉格納容器下部空潤気湿度	原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内空潤気水素濃度 格納容器内水素濃度（D/W） 格納容器内水素濃度（S/C）	操作	電源の確保	4-2c 母線電圧 4-2d 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧	水源の確保	淡水貯水槽（No.1） 淡水貯水槽（No.2）	操作	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 燃料域）	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力（SA）	原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量） 残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量	水源の確保	淡水貯水槽（No.1） 淡水貯水槽（No.2）	<p style="text-align: center;">監視計器一覧（24/61）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">対応手段</th> <th style="width: 10%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 70%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順                      (1) フロントライン系故障時の対応手順                      a. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(c) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td>判断基準</td> <td>                     原子炉圧力容器内の温度                      ・ 1次冷却材温度（広域-高温側）                      ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）                      ・ 炉心出口温度                      原子炉圧力容器内の圧力                      ・ 1次冷却材圧力（広域）                      最終ヒートシンクの確保                      ・ 蒸気発生器水位（狭域）                      ・ 蒸気発生器水位（広域）                      ・ 主給水ライン流量                      ・ 蒸気発生器水張り流量                      水源の確保                      ・ 補助給水ビット水位                 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b. 「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(d) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td>判断基準</td> <td>                     原子炉圧力容器内の温度                      ・ 1次冷却材温度（広域-高温側）                      ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）                      最終ヒートシンクの確保                      ・ 蒸気発生器水位（狭域）                      ・ 蒸気発生器水位（広域）                      ・ 補助給水流量                 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) c. 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(e) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td>判断基準</td> <td>                     原子炉圧力容器内の温度                      ・ 1次冷却材温度（広域-高温側）                      ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）                      最終ヒートシンクの確保                      ・ 蒸気発生器水位（狭域）                      ・ 蒸気発生器水位（広域）                      ・ 補助給水流量                 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) d. 「代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(f) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td>判断基準</td> <td>                     原子炉圧力容器内の温度                      ・ 1次冷却材温度（広域-高温側）                      ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）                      最終ヒートシンクの確保                      ・ 蒸気発生器水位（狭域）                      ・ 蒸気発生器水位（広域）                      ・ 補助給水流量                 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）			(c) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 原子炉圧力容器内の圧力 ・ 1次冷却材圧力（広域） 最終ヒートシンクの確保 ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 主給水ライン流量 ・ 蒸気発生器水張り流量 水源の確保 ・ 補助給水ビット水位	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b. 「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	(d) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） 最終ヒートシンクの確保 ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) c. 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	(e) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） 最終ヒートシンクの確保 ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) d. 「代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	(f) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） 最終ヒートシンクの確保 ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p>
(c) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul>																																																																							
				原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力計</li> </ul>																																																																							
				最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位計（広域）</li> <li>・ 蒸気発生器主給水流量計（CRT）</li> <li>・ 蒸気発生器水張り流量計（CRT）</li> </ul>																																																																							
	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 復水ビット水位計</li> </ul>																																																																										
		操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																																									
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）																																																																										
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順 a. 低圧代替注水 (c) 低圧代替注水系（可搬型）による残存溶融炉心の冷却																																																																												
非常時操作手順書（シビアアクシデント） 「注水ストラテジ-4」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 広帯域） 原子炉水位（SA 燃料域）																																																																										
重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ（タイプ1）による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力（SA）																																																																										
	原子炉格納容器内の圧力	ドライウェル圧力																																																																										
判断基準	原子炉格納容器内の温度	原子炉格納容器下部温度 ドライウェル温度 ・ 原子炉格納容器下部空潤気湿度																																																																										
	原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内空潤気水素濃度 格納容器内水素濃度（D/W） 格納容器内水素濃度（S/C）																																																																										
操作	電源の確保	4-2c 母線電圧 4-2d 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																										
	水源の確保	淡水貯水槽（No.1） 淡水貯水槽（No.2）																																																																										
操作	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 燃料域）																																																																										
	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力（SA）																																																																										
	原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量） 残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量																																																																										
	水源の確保	淡水貯水槽（No.1） 淡水貯水槽（No.2）																																																																										
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																										
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）																																																																												
(c) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 原子炉圧力容器内の圧力 ・ 1次冷却材圧力（広域） 最終ヒートシンクの確保 ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 主給水ライン流量 ・ 蒸気発生器水張り流量 水源の確保 ・ 補助給水ビット水位																																																																										
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b. 「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																																										
(d) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） 最終ヒートシンクの確保 ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量																																																																										
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) c. 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																																										
(e) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） 最終ヒートシンクの確保 ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量																																																																										
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) d. 「代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																																										
(f) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） 最終ヒートシンクの確保 ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量																																																																										
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																																										

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉			泊発電所3号炉			相違理由			
監視計器一覧 (21/48)			監視計器一覧 (11/20)			監視計器一覧 (25/61)						
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器				
1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却 (蒸気放出)			1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順 a. 低圧代替注水 (4) ろ過水ポンプによる残存溶融炉心の冷却 非常時操作手順書 (シビアアクシデント) 「注水ストラテジ-4」 非常時操作手順書 (設備別) 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」			1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 b. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却 (蒸気放出)						
(a) 主蒸気逃がし弁による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力	原子炉圧力 (SA)			
		原子炉圧力容器内の圧力								原子炉圧力	原子炉圧力 (SA)	
		原子炉圧力容器内への注水量								原子炉圧力	原子炉圧力 (SA)	
		最終ヒートシンクの確保								原子炉格納容器内の温度	原子炉格納容器下部温度 ドライウェル温度 ・原子炉格納容器下部雰囲気温度	
		補機監視機能								原子炉格納容器内の圧力	ドライウェル圧力	
	操作	—	—	電源の確保	4-2C 母線電圧 4-2B 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧	水源の確保	ろ過水タンク水位	—	—			
	(b) タービンバイパス弁による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力	原子炉圧力 (SA)	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量)		
			原子炉圧力容器内の圧力								原子炉圧力	原子炉圧力 (SA)
			最終ヒートシンクの確保								原子炉圧力容器への注水量	ろ過水ポンプ出口圧力
			補機監視機能								ろ過水ポンプ出口圧力	—
電源			水源の確保								ろ過水タンク水位	—
操作		—	—	—	—	—	—	—	—			

一：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。

一：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																				
<p>監視計器一覧（22/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="100 576 347 651">対応手段</th> <th data-bbox="347 576 481 651">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="481 576 719 651">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="100 651 719 675">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="100 675 719 699">(I) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td data-bbox="100 699 313 1023" rowspan="6">c. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード</td> <td data-bbox="313 699 481 774" rowspan="3">判断基準 原子炉压力容器内の温度</td> <td data-bbox="481 699 719 722">・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="481 722 719 746">・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="481 746 719 770">・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="313 774 481 821">原子炉压力容器内の圧力</td> <td data-bbox="481 774 719 821">・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="313 821 481 869">原子炉压力容器内への注水量</td> <td data-bbox="481 821 719 869">・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="313 869 481 949" rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td data-bbox="481 869 719 893">・ 蒸気発生器水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="481 893 719 917">・ 蒸気発生器水位計（狭域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="313 949 481 1023">補機監視機能</td> <td data-bbox="481 949 719 1023">・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="313 1023 481 1023"></td> <td data-bbox="481 1023 719 1023">「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合			(I) フロントライン系機能喪失時の手順等			c. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準 原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）	・ 1次冷却材低温側温度計（広域）	・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計（広域）	・ 蒸気発生器水位計（狭域）	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計		「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。		<p>監視計器一覧（26/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1391 600 1637 651">対応手段</th> <th data-bbox="1637 600 1771 651">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="1771 600 2000 651">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1391 651 2000 675">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1391 675 2000 699">(I) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1391 699 1637 983" rowspan="10">e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却</td> <td data-bbox="1637 699 1771 746" rowspan="3">判断基準 原子炉压力容器内の温度</td> <td data-bbox="1771 699 2000 722">・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1771 722 2000 746">・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1771 746 2000 770">・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1637 746 1771 794">原子炉压力容器内の圧力</td> <td data-bbox="1771 746 2000 794">・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1637 794 1771 842">原子炉压力容器への注水量</td> <td data-bbox="1771 794 2000 842">・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1637 842 1771 890" rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td data-bbox="1771 842 2000 866">・ 蒸気発生器水位（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1771 866 2000 890">・ 蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1637 890 1771 938">補機監視機能</td> <td data-bbox="1771 890 2000 914">・ 補助給水量</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1637 938 1771 983">操作</td> <td data-bbox="1771 938 2000 983">・ 余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1637 983 1771 983"></td> <td data-bbox="1771 983 2000 983">「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順			(I) フロントライン系故障時の対応手順			e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	判断基準 原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）	・ 1次冷却材温度（広域-低温側）	・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器への注水量	・ 低圧注入流量	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域）	・ 蒸気発生器水位（狭域）	補機監視機能	・ 補助給水量	操作	・ 余熱除去ポンプ出口圧力		「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																					
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合																																																							
(I) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																							
c. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準 原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）																																																					
		・ 1次冷却材低温側温度計（広域）																																																					
		・ 炉心出口温度計																																																					
	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																					
	原子炉压力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																					
	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計（広域）																																																					
・ 蒸気発生器水位計（狭域）																																																							
補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																						
	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。																																																						
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																					
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順																																																							
(I) フロントライン系故障時の対応手順																																																							
e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	判断基準 原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）																																																					
		・ 1次冷却材温度（広域-低温側）																																																					
		・ 炉心出口温度																																																					
	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																					
	原子炉压力容器への注水量	・ 低圧注入流量																																																					
	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域）																																																					
		・ 蒸気発生器水位（狭域）																																																					
	補機監視機能	・ 補助給水量																																																					
	操作	・ 余熱除去ポンプ出口圧力																																																					
		「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。																																																					



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																	
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(23/48)より抜粋して掲載</p> <p>監視計器一覧(23/48)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 60%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle;">(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計(広域) ・ 1次冷却材低温側温度計(広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計(CRT) ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計(CRT) ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: middle;">操作</td> <td colspan="2">1.4.2.2(1)a.(a)と同様。</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			a. 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)			(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計(広域) ・ 1次冷却材低温側温度計(広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	水源の確保	・ 復水ビット水位計	電源	・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計(CRT) ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計(CRT) ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	操作	1.4.2.2(1)a.(a)と同様。			<p>監視計器一覧(27/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 60%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却(注水)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle;">(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度(広域-高温側) ・ 1次冷却材温度(広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 低圧注流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 補助給水ビット水位 ・ 沿幹線1L電圧、2L電圧 ・ 後志幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧 ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: middle;">操作</td> <td colspan="2">1.4.2.2(1) a. (a)「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table> <p>監視計器一覧(28/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 60%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却(注水)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle;">(b) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度(広域-高温側) ・ 1次冷却材温度(広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力(広域)</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位(広域) ・ 蒸気発生器水位(狭域) ・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 補助給水ビット水位 ・ 沿幹線1L電圧、2L電圧 ・ 後志幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: middle;">操作</td> <td colspan="2">「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b. 「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			a. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却(注水)			(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度(広域-高温側) ・ 1次冷却材温度(広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力(広域)	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注流量	水源の確保	・ 補助給水ビット水位 ・ 沿幹線1L電圧、2L電圧 ・ 後志幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧	電源	・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧 ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量(AM用)	操作	1.4.2.2(1) a. (a)「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。		対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			a. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却(注水)			(b) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度(広域-高温側) ・ 1次冷却材温度(広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力(広域)	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位(広域) ・ 蒸気発生器水位(狭域) ・ 補助給水流量	水源の確保	・ 補助給水ビット水位 ・ 沿幹線1L電圧、2L電圧 ・ 後志幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧	電源	・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量(AM用)	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b. 「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。		<p style="text-align: center; color: red;">【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																		
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合																																																																																				
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																																				
a. 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)																																																																																				
(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計(広域) ・ 1次冷却材低温側温度計(広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																	
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																	
	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																																																		
	水源の確保	・ 復水ビット水位計																																																																																		
	電源	・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計(CRT) ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計(CRT) ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																																		
操作	1.4.2.2(1)a.(a)と同様。																																																																																			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																		
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順																																																																																				
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																																				
a. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却(注水)																																																																																				
(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度(広域-高温側) ・ 1次冷却材温度(広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																	
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力(広域)																																																																																	
	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注流量																																																																																		
	水源の確保	・ 補助給水ビット水位 ・ 沿幹線1L電圧、2L電圧 ・ 後志幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧																																																																																		
	電源	・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧 ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量(AM用)																																																																																		
操作	1.4.2.2(1) a. (a)「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																		
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順																																																																																				
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																																				
a. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却(注水)																																																																																				
(b) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度(広域-高温側) ・ 1次冷却材温度(広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																	
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力(広域)																																																																																	
	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位(広域) ・ 蒸気発生器水位(狭域) ・ 補助給水流量																																																																																		
	水源の確保	・ 補助給水ビット水位 ・ 沿幹線1L電圧、2L電圧 ・ 後志幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧																																																																																		
	電源	・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量(AM用)																																																																																		
操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b. 「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																			

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																			
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(23/48)より抜粋して掲載</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="5" style="width: 15%; vertical-align: middle;">(b) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="5" style="width: 5%; text-align: center; vertical-align: middle;">判断基準</td> <td style="width: 15%;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位計（広域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位計（狭域）</li> <li>・ 蒸気発生器補助給水流量計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 復水ピット水位計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	(b) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul>	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力計</li> </ul>	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位計（広域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位計（狭域）</li> <li>・ 蒸気発生器補助給水流量計</li> </ul>	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 復水ピット水位計</li> </ul>	電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</li> </ul>		補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</li> </ul>		操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。		<p style="text-align: center;">監視計器一覧（29/61）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順                      (2) サポート系故障時の対応手順                      a. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td style="text-align: center;">判断基準</td> <td> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高範囲）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低範囲）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul> </td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(d) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td style="text-align: center;">判断基準</td> <td> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高範囲）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低範囲）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul> </td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td style="text-align: center;">判断基準</td> <td> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高範囲）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低範囲）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul> </td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; margin-top: 20px;">【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p> <p style="text-align: right; margin-top: 20px;">【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）			(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高範囲）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低範囲）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul> </td> </tr> </table>	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高範囲）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低範囲）</li> </ul>	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul>	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	(d) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高範囲）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低範囲）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul> </td> </tr> </table>	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高範囲）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低範囲）</li> </ul>	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul>	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高範囲）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低範囲）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul> </td> </tr> </table>	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高範囲）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低範囲）</li> </ul>	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul>	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	
(b) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul>																																																	
				原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力計</li> </ul>																																																	
				最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位計（広域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位計（狭域）</li> <li>・ 蒸気発生器補助給水流量計</li> </ul>																																																	
				水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 復水ピット水位計</li> </ul>																																																	
	電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</li> </ul>																																																				
	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</li> </ul>																																																				
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																				
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																				
1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）																																																						
(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高範囲）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低範囲）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul> </td> </tr> </table>	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高範囲）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低範囲）</li> </ul>	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul>																																																
	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高範囲）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低範囲）</li> </ul>																																																				
最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul>																																																					
操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																					
(d) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高範囲）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低範囲）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul> </td> </tr> </table>	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高範囲）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低範囲）</li> </ul>	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul>																																																
	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高範囲）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低範囲）</li> </ul>																																																				
最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul>																																																					
操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																					
(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高範囲）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低範囲）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul> </td> </tr> </table>	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高範囲）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低範囲）</li> </ul>	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul>																																																
	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高範囲）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低範囲）</li> </ul>																																																				
最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul>																																																					
操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																					

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																										
<p>監視計器一覧（24/48）</p> <table border="1" data-bbox="98 478 716 1125"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による蒸気放出</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>炉心出口温度計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>1次冷却材圧力計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>余熱除去流量計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>蒸気発生器水位計（広域）</li> <li>蒸気発生器水位計（狭域）</li> <li>蒸気発生器補助給水流量計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</li> <li>原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</li> <li>余熱除去ポンプ吐出圧力計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち1.3.2.2(2)a.「主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による主蒸気逃がし弁の機能回復」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）			(a) 主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>炉心出口温度計</li> </ul>	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>1次冷却材圧力計</li> </ul>	原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>余熱除去流量計</li> </ul>	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>蒸気発生器水位計（広域）</li> <li>蒸気発生器水位計（狭域）</li> <li>蒸気発生器補助給水流量計</li> </ul>	電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</li> </ul>	補機監視機能		<ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</li> <li>原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</li> <li>余熱除去ポンプ吐出圧力計</li> </ul>	操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち1.3.2.2(2)a.「主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による主蒸気逃がし弁の機能回復」にて整備する。		<p>監視計器一覧（30/61）</p> <table border="1" data-bbox="1384 510 1998 1109"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 主蒸気逃がし弁の現場手動操作による蒸気放出</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>1次冷却材温度（広域-低温側）</li> <li>炉心出口温度</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>1次冷却材圧力（広域）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>低圧注入流量</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>蒸気発生器水位（広域）</li> <li>蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>補助給水流量</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>泊幹線1L電圧、2L電圧</li> <li>後志幹線1L電圧、2L電圧</li> <li>甲母線電圧、乙母線電圧</li> <li>6-A、B、C1、C2、D母線電圧</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>余熱除去ポンプ出口圧力</li> <li>余熱除去ポンプ電流</li> <li>原子炉補機冷却水供給母管流量</li> <li>原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）</li> <li>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</li> <li>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(1)b.「現場手動操作による主蒸気逃がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			b. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）			(a) 主蒸気逃がし弁の現場手動操作による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>1次冷却材温度（広域-低温側）</li> <li>炉心出口温度</li> </ul>	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>1次冷却材圧力（広域）</li> </ul>	原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>低圧注入流量</li> </ul>	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>蒸気発生器水位（広域）</li> <li>蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>補助給水流量</li> </ul>	電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>泊幹線1L電圧、2L電圧</li> <li>後志幹線1L電圧、2L電圧</li> <li>甲母線電圧、乙母線電圧</li> <li>6-A、B、C1、C2、D母線電圧</li> </ul>	補機監視機能		<ul style="list-style-type: none"> <li>余熱除去ポンプ出口圧力</li> <li>余熱除去ポンプ電流</li> <li>原子炉補機冷却水供給母管流量</li> <li>原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）</li> <li>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</li> <li>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）</li> </ul>	操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(1)b.「現場手動操作による主蒸気逃がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																											
1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合																																																													
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																													
b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）																																																													
(a) 主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>炉心出口温度計</li> </ul>																																																										
		原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>1次冷却材圧力計</li> </ul>																																																										
		原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>余熱除去流量計</li> </ul>																																																										
		最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>蒸気発生器水位計（広域）</li> <li>蒸気発生器水位計（狭域）</li> <li>蒸気発生器補助給水流量計</li> </ul>																																																										
		電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</li> </ul>																																																										
	補機監視機能		<ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</li> <li>原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</li> <li>余熱除去ポンプ吐出圧力計</li> </ul>																																																										
		操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち1.3.2.2(2)a.「主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による主蒸気逃がし弁の機能回復」にて整備する。																																																										
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																										
	1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順																																																												
	(2) サポート系故障時の対応手順																																																												
b. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）																																																													
(a) 主蒸気逃がし弁の現場手動操作による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>1次冷却材温度（広域-低温側）</li> <li>炉心出口温度</li> </ul>																																																										
		原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>1次冷却材圧力（広域）</li> </ul>																																																										
		原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>低圧注入流量</li> </ul>																																																										
		最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>蒸気発生器水位（広域）</li> <li>蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>補助給水流量</li> </ul>																																																										
		電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>泊幹線1L電圧、2L電圧</li> <li>後志幹線1L電圧、2L電圧</li> <li>甲母線電圧、乙母線電圧</li> <li>6-A、B、C1、C2、D母線電圧</li> </ul>																																																										
	補機監視機能		<ul style="list-style-type: none"> <li>余熱除去ポンプ出口圧力</li> <li>余熱除去ポンプ電流</li> <li>原子炉補機冷却水供給母管流量</li> <li>原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）</li> <li>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</li> <li>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）</li> </ul>																																																										
		操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(1)b.「現場手動操作による主蒸気逃がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。																																																										

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																										
<p>監視計器一覧（25/48）</p> <table border="1" data-bbox="98 501 716 1098"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">c. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域）</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a、「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			c. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域）	電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	余熱除去ポンプ吐出圧力計	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a、「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。			<p>監視計器一覧（31/61）</p> <table border="1" data-bbox="1384 523 2002 1098"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">c. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td>電源</td> <td>・ 泊幹線1L電圧、2L電圧 ・ 後志幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ B-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a、「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			c. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量	電源	電源	・ 泊幹線1L電圧、2L電圧 ・ 後志幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ B-A、B、C1、C2、D母線電圧	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a、「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																											
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合																																																													
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																													
c. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																										
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																										
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																										
	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域）																																																											
	電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																											
	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）																																																										
		原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																										
		余熱除去ポンプ吐出圧力計	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																										
	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a、「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。																																																											
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																										
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順																																																													
(2) サポート系故障時の対応手順																																																													
c. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																										
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																										
		原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量																																																										
	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量																																																											
	電源	電源	・ 泊幹線1L電圧、2L電圧 ・ 後志幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ B-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																										
		補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）																																																										
	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a、「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。																																																											

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<p>監視計器一覧 (32/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 復旧</td> </tr> <tr> <td rowspan="15" style="vertical-align: top;">(a) 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力（広域）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低圧注入流量</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: middle;">電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消砕線 1 L 電圧、2 L 電圧</li> <li>・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧</li> <li>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</li> <li>・ 余熱除去ポンプ電流</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM 用）</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却前水流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却前水流量（AM 用）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 補助給水ピット水位</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.2(1) a. (a) 「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			d. 復旧			(a) 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul>	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力（広域）</li> </ul>	原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位</li> </ul>	原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低圧注入流量</li> </ul>	電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消砕線 1 L 電圧、2 L 電圧</li> <li>・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧</li> <li>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧</li> </ul>	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</li> <li>・ 余熱除去ポンプ電流</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM 用）</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却前水流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却前水流量（AM 用）</li> </ul>	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 補助給水ピット水位</li> </ul>	操作	1.4.2.2(1) a. (a) 「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」と同様である。		<p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>・泊は、女川と同様に各手段の項目に「復旧」を設ける。</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																		
1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順																																				
(2) サポート系故障時の対応手順																																				
d. 復旧																																				
(a) 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul>																																	
		原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力（広域）</li> </ul>																																	
		原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位</li> </ul>																																	
	原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低圧注入流量</li> </ul>																																		
	電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消砕線 1 L 電圧、2 L 電圧</li> <li>・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧</li> <li>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧</li> </ul>																																	
		補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</li> <li>・ 余熱除去ポンプ電流</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM 用）</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却前水流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却前水流量（AM 用）</li> </ul>																																
			水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 補助給水ピット水位</li> </ul>																																
			操作	1.4.2.2(1) a. (a) 「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」と同様である。																																

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉			泊発電所3号炉			相違理由		
監視計器一覧 (26/48)			監視計器一覧 (12/20)			監視計器一覧 (33/61)					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器			
1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 a. 炉心注水			1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 低圧代替注水 (a) 低圧代替注水系 (常設) (復水移送ポンプ) による原子炉圧力容器への注水			1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 炉心注水					
(a) A、B 赤てんポンプによる炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の水位	電源の確保	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の水位	補機監視機能	未臨界の維持又は監視		
		・1次冷却材高温側温度計 (広域)								・原子炉水位 (広帯域)	・1次冷却材温度 (広域-高温側)
		・1次冷却材低温側温度計 (広域)								・原子炉水位 (広帯域)	・1次冷却材温度 (広域-低温側)
		・炉心出口温度計								・原子炉水位 (燃料域)	・炉心出口温度
		原子炉圧力容器内の圧力								・1次冷却材圧力計	・加圧器水位
		原子炉圧力容器内の水位								・加圧器水位計	・1次冷却材温度 (広域-低温側)
	原子炉圧力容器内の注水量	・余熱除去流量計	・加圧器水位								
	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計	・低圧注入流量								
	・復水ビット水位計	・ほう酸タンク水位計	・燃料取替用水ビット水位								
	・ほう酸タンク水位計	・1次系統水タンク水位計 (CRT)	・ほう酸タンク水位								
	・1次系統水タンク水位計 (CRT)	補機監視機能	・1次冷却材温度 (広域-高温側)								
	補機監視機能	・余熱除去ポンプ吐出圧力計	・余熱除去ポンプ出口圧力								
原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計 (広域)	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度 (広域-高温側)								
原子炉圧力容器内の水位	・1次冷却材低温側温度計 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・1次冷却材温度 (広域-低温側)								
原子炉圧力容器内の注水量	・炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の注水量	・炉心出口温度								
操作	原子炉圧力容器内の圧力	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・加圧器水位							
	原子炉圧力容器内の注水量	・1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の注水量	・1次冷却材温度 (広域-低温側)							
	・充てん水流量計	・余熱除去ポンプ吐出圧力計	・充てん水流量計	・充てん水流量							
	・出力領域中性子束計	・燃料取替用水ビット水位計	・燃料取替用水ビット水位	・燃料取替用水ビット水位							
	・中間領域中性子束計	・復水ビット水位計	・ほう酸タンク水位	・ほう酸タンク水位							
	・中性子源領域中性子束計	・ほう酸タンク水位計	・1次系統水タンク水位	・1次系統水タンク水位							
・中間領域起動率計	・1次系統水タンク水位計 (CRT)	補機監視機能	・余熱除去ポンプ出口圧力								
・中性子源領域起動率計		水源の確保	復水貯蔵タンク水位								
・燃料取替用水ビット水位計		水源の確保	復水貯蔵タンク水位								
・復水ビット水位計											
・ほう酸タンク水位計											
・1次系統水タンク水位計 (CRT)											

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																					
<p>監視計器一覧（27/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) 高圧注入ポンプによる炉心注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 充てん流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 高圧注入流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(c) 蓄圧タンクによる炉心注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 蓄圧タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 蓄圧タンク水位計（CRT）</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			a. 炉心注水			(b) 高圧注入ポンプによる炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）	原子炉压力容器内の注水量	・ 充てん流量計	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）	原子炉压力容器内の注水量	・ 高圧注入流量計	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	(c) 蓄圧タンクによる炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）	原子炉压力容器内の注水量	・ 余熱除去流量計	水源の確保	・ 蓄圧タンク水位計（CRT）	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	操作	原子炉压力容器内の圧力	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）	水源の確保	・ 蓄圧タンク水位計（CRT）	<p>監視計器一覧（13/20）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ（計器）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉压力容器への注水</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書（プラント停止中） 「前線熱除去機能喪失」等</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域） 原子炉水位（停止域） 原子炉水位（定検時水取用）</td> </tr> <tr> <td>重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ（タイプ1）による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」</td> <td>電源の確保 4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>淡水貯水槽（No.1） 淡水貯水槽（No.2）</td> </tr> <tr> <td></td> <td rowspan="4">操作</td> <td>原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域） 原子炉水位（停止域） 原子炉水位（定検時水取用）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉压力容器内の圧力 原子炉圧力（SA）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉压力容器への注水量 （残留熱除去系洗浄ライン流量） （残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保 淡水貯水槽（No.1） 淡水貯水槽（No.2）</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）	1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			a. 低圧代替注水			b. 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉压力容器への注水			非常時操作手順書（プラント停止中） 「前線熱除去機能喪失」等	判断基準	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域） 原子炉水位（停止域） 原子炉水位（定検時水取用）	重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ（タイプ1）による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」	電源の確保 4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧		水源の確保	淡水貯水槽（No.1） 淡水貯水槽（No.2）		操作	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域） 原子炉水位（停止域） 原子炉水位（定検時水取用）		原子炉压力容器内の圧力 原子炉圧力（SA）		原子炉压力容器への注水量 （残留熱除去系洗浄ライン流量） （残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量）		水源の確保 淡水貯水槽（No.1） 淡水貯水槽（No.2）	<p>監視計器一覧（34/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) 高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ 充てん流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 充てんライン圧力</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			a. 炉心注水			(b) 高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉压力容器への注水量	・ 充てん流量	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 充てんライン圧力	補機監視機能	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉压力容器への注水量	・ 高圧注入流量	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 高圧注入ポンプ出口圧力	補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ出口圧力	<p>【大阪】 設備の相違 (相違理由⑦)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																						
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																																																																								
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																																								
a. 炉心注水																																																																																																																								
(b) 高圧注入ポンプによる炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																																																					
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																					
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																																																																																					
		原子炉压力容器内の注水量	・ 充てん流量計																																																																																																																					
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計																																																																																																																					
	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																																																					
		原子炉压力容器内の圧力	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																																																																																					
		原子炉压力容器内の注水量	・ 高圧注入流量計																																																																																																																					
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計																																																																																																																					
		原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																																																					
(c) 蓄圧タンクによる炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																					
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																																																																																					
		原子炉压力容器内の注水量	・ 余熱除去流量計																																																																																																																					
		水源の確保	・ 蓄圧タンク水位計（CRT）																																																																																																																					
		原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																																																					
	操作	原子炉压力容器内の圧力	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																																																																																					
		水源の確保	・ 蓄圧タンク水位計（CRT）																																																																																																																					
		手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）																																																																																																																				
		1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																																						
		(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																						
a. 低圧代替注水																																																																																																																								
b. 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉压力容器への注水																																																																																																																								
非常時操作手順書（プラント停止中） 「前線熱除去機能喪失」等	判断基準	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域） 原子炉水位（停止域） 原子炉水位（定検時水取用）																																																																																																																						
重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ（タイプ1）による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」		電源の確保 4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																																						
	水源の確保	淡水貯水槽（No.1） 淡水貯水槽（No.2）																																																																																																																						
	操作	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域） 原子炉水位（停止域） 原子炉水位（定検時水取用）																																																																																																																						
		原子炉压力容器内の圧力 原子炉圧力（SA）																																																																																																																						
		原子炉压力容器への注水量 （残留熱除去系洗浄ライン流量） （残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量）																																																																																																																						
		水源の確保 淡水貯水槽（No.1） 淡水貯水槽（No.2）																																																																																																																						
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																						
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																																								
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																								
a. 炉心注水																																																																																																																								
(b) 高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度																																																																																																																					
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																																					
		原子炉压力容器への注水量	・ 充てん流量																																																																																																																					
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 充てんライン圧力																																																																																																																					
		補機監視機能	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度																																																																																																																					
	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																																					
		原子炉压力容器への注水量	・ 高圧注入流量																																																																																																																					
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 高圧注入ポンプ出口圧力																																																																																																																					
		補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ出口圧力																																																																																																																					
		<p>大阪3/4号炉との比較対象なし</p>																																																																																																																						

泊発電所 3 号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																														
<p>監視計器一覧 (28 / 48)</p> <table border="1" data-bbox="100 343 716 422"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.4.2.3 運転停止中の場合</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>b. 代替炉心注水</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水</p> <table border="1" data-bbox="100 494 716 941"> <thead> <tr> <th rowspan="2">判断基準</th> <th colspan="2">原子炉压力容器内の温度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域）</td> <td>・1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・高圧注入流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・蓄圧タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・蓄圧タンク圧力計（CRT）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>1.4.2.1(1)b.(a)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉压力容器内の温度		・1次冷却材高温側温度計（広域）	・1次冷却材低温側温度計（広域）	操作	原子炉压力容器内の圧力	・炉心出口温度計	原子炉压力容器内の水位	・1次冷却材圧力計	判断基準	原子炉压力容器内の圧力	・加圧器水位計	原子炉压力容器内の注水量	・1次冷却系統水位計（CRT）	操作	原子炉压力容器内の注水量	・高圧注入流量計	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域）	原子炉压力容器内の注水量	・1次冷却材低温側温度計（広域）	操作	原子炉压力容器内の注水量	・炉心出口温度計	水源の確保	・加圧器水位計	判断基準	原子炉压力容器内の注水量	・1次冷却系統水位計（CRT）	水源の確保	・余熱除去流量計	操作	原子炉压力容器内の注水量	・燃料取替用水ピット水位計	水源の確保		判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域）	原子炉压力容器内の注水量	・1次冷却材低温側温度計（広域）	操作	原子炉压力容器内の注水量	・炉心出口温度計	水源の確保	・1次冷却材圧力計	判断基準	原子炉压力容器内の注水量	・加圧器水位計	水源の確保	・1次冷却系統水位計（CRT）	操作	原子炉压力容器内の注水量	・蓄圧タンク水位計（CRT）	水源の確保	・蓄圧タンク圧力計（CRT）	判断基準	原子炉压力容器内の注水量	・燃料取替用水ピット水位計	水源の確保		操作	原子炉压力容器内の注水量		水源の確保	1.4.2.1(1)b.(a)と同様。	<p>監視計器一覧 (14/20)</p> <table border="1" data-bbox="739 502 1355 534"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ（計器）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>a. 低圧代替注水</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(c) 代替循環冷却系による原子炉压力容器への注水</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書（プラント停止中） 「高熱除去機能喪失」等</td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 広帯域） 原子炉水位（SA 燃料域） 原子炉水位（停止域） 原子炉水位（定検時水重用）</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書（設備別） 「代替循環冷却ポンプによる原子炉注水」</td> <td>電源の確保</td> <td>4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>風熱ヒートシンクの確保</td> <td>原子炉補機冷却水系系統流量（A 系のみ） 残留熱除去系統交換器冷却水入口流量（A 系のみ）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>圧力抑制室水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 広帯域） 原子炉水位（SA 燃料域） 原子炉水位（停止域） 原子炉水位（定検時水重用）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力（SA）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>代替循環冷却ポンプ出口流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補機監視機能</td> <td>代替循環冷却ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>圧力抑制室水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）	1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			a. 低圧代替注水			(c) 代替循環冷却系による原子炉压力容器への注水			非常時操作手順書（プラント停止中） 「高熱除去機能喪失」等	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 広帯域） 原子炉水位（SA 燃料域） 原子炉水位（停止域） 原子炉水位（定検時水重用）	非常時操作手順書（設備別） 「代替循環冷却ポンプによる原子炉注水」	電源の確保	4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧		風熱ヒートシンクの確保	原子炉補機冷却水系系統流量（A 系のみ） 残留熱除去系統交換器冷却水入口流量（A 系のみ）		水源の確保	圧力抑制室水位		原子炉压力容器内の水位	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 広帯域） 原子炉水位（SA 燃料域） 原子炉水位（停止域） 原子炉水位（定検時水重用）		原子炉压力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力（SA）		原子炉压力容器への注水量	代替循環冷却ポンプ出口流量		補機監視機能	代替循環冷却ポンプ出口圧力		水源の確保	圧力抑制室水位	<p>監視計器一覧 (35/61)</p> <table border="1" data-bbox="1377 438 2004 486"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>b. 代替炉心注水</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水</p> <table border="1" data-bbox="1377 534 2004 917"> <thead> <tr> <th rowspan="2">判断基準</th> <th colspan="2">原子炉压力容器内の温度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・1次冷却材温度（広域-高温側）</td> <td>・1次冷却材温度（広域-低高温側）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>補機監視機能</td> <td>・燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度（広域-高温側）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・1次冷却材温度（広域-低高温側）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> </tbody> </table> <p>(b) B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水</p> <table border="1" data-bbox="1377 933 2004 1189"> <thead> <tr> <th rowspan="2">判断基準</th> <th colspan="2">原子炉压力容器内の温度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・1次冷却材温度（広域-高温側）</td> <td>・1次冷却材温度（広域-低高温側）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>1.4.2.1(1)b.(a)「B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉压力容器内の温度		・1次冷却材温度（広域-高温側）	・1次冷却材温度（広域-低高温側）	操作	原子炉压力容器内の注水量	・炉心出口温度	原子炉压力容器内の注水量	・1次冷却材圧力（広域）	判断基準	原子炉压力容器内の注水量	・1次冷却系統ループ水位	水源の確保	・高圧注入流量	操作	補機監視機能	・燃料取替用水ピット水位	原子炉压力容器内の注水量	・高圧注入ポンプ出口圧力	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側）	原子炉压力容器内の注水量	・1次冷却材温度（広域-低高温側）	操作	原子炉压力容器内の注水量	・炉心出口温度	水源の確保	・加圧器水位	判断基準	原子炉压力容器内の注水量	・1次冷却系統ループ水位	水源の確保	・低圧注入流量	操作	原子炉压力容器への注水量	・燃料取替用水ピット水位	補機監視機能	・高圧注入ポンプ出口圧力	判断基準	原子炉压力容器内の温度		・1次冷却材温度（広域-高温側）	・1次冷却材温度（広域-低高温側）	操作	原子炉压力容器内の注水量	・炉心出口温度	原子炉压力容器内の注水量	・1次冷却材圧力（広域）	判断基準	原子炉压力容器内の注水量	・加圧器水位	原子炉压力容器内の注水量	・1次冷却系統ループ水位	操作	原子炉压力容器への注水量	・高圧注入流量	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位	判断基準	原子炉压力容器への注水量	・高圧注入ポンプ出口圧力	補機監視機能		操作	1.4.2.1(1)b.(a)「B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。				
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																																																																																																															
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																																																																																																																																																																	
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																																																																																																																																	
b. 代替炉心注水																																																																																																																																																																																																																	
判断基準	原子炉压力容器内の温度																																																																																																																																																																																																																
	・1次冷却材高温側温度計（広域）	・1次冷却材低温側温度計（広域）																																																																																																																																																																																																															
操作	原子炉压力容器内の圧力	・炉心出口温度計																																																																																																																																																																																																															
	原子炉压力容器内の水位	・1次冷却材圧力計																																																																																																																																																																																																															
判断基準	原子炉压力容器内の圧力	・加圧器水位計																																																																																																																																																																																																															
	原子炉压力容器内の注水量	・1次冷却系統水位計（CRT）																																																																																																																																																																																																															
操作	原子炉压力容器内の注水量	・高圧注入流量計																																																																																																																																																																																																															
	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計																																																																																																																																																																																																															
判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域）																																																																																																																																																																																																															
	原子炉压力容器内の注水量	・1次冷却材低温側温度計（広域）																																																																																																																																																																																																															
操作	原子炉压力容器内の注水量	・炉心出口温度計																																																																																																																																																																																																															
	水源の確保	・加圧器水位計																																																																																																																																																																																																															
判断基準	原子炉压力容器内の注水量	・1次冷却系統水位計（CRT）																																																																																																																																																																																																															
	水源の確保	・余熱除去流量計																																																																																																																																																																																																															
操作	原子炉压力容器内の注水量	・燃料取替用水ピット水位計																																																																																																																																																																																																															
	水源の確保																																																																																																																																																																																																																
判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域）																																																																																																																																																																																																															
	原子炉压力容器内の注水量	・1次冷却材低温側温度計（広域）																																																																																																																																																																																																															
操作	原子炉压力容器内の注水量	・炉心出口温度計																																																																																																																																																																																																															
	水源の確保	・1次冷却材圧力計																																																																																																																																																																																																															
判断基準	原子炉压力容器内の注水量	・加圧器水位計																																																																																																																																																																																																															
	水源の確保	・1次冷却系統水位計（CRT）																																																																																																																																																																																																															
操作	原子炉压力容器内の注水量	・蓄圧タンク水位計（CRT）																																																																																																																																																																																																															
	水源の確保	・蓄圧タンク圧力計（CRT）																																																																																																																																																																																																															
判断基準	原子炉压力容器内の注水量	・燃料取替用水ピット水位計																																																																																																																																																																																																															
	水源の確保																																																																																																																																																																																																																
操作	原子炉压力容器内の注水量																																																																																																																																																																																																																
	水源の確保	1.4.2.1(1)b.(a)と同様。																																																																																																																																																																																																															
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）																																																																																																																																																																																																															
1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																																																																																																																																	
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																																																																																																																	
a. 低圧代替注水																																																																																																																																																																																																																	
(c) 代替循環冷却系による原子炉压力容器への注水																																																																																																																																																																																																																	
非常時操作手順書（プラント停止中） 「高熱除去機能喪失」等	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 広帯域） 原子炉水位（SA 燃料域） 原子炉水位（停止域） 原子炉水位（定検時水重用）																																																																																																																																																																																																															
非常時操作手順書（設備別） 「代替循環冷却ポンプによる原子炉注水」	電源の確保	4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																																																																																																																															
	風熱ヒートシンクの確保	原子炉補機冷却水系系統流量（A 系のみ） 残留熱除去系統交換器冷却水入口流量（A 系のみ）																																																																																																																																																																																																															
	水源の確保	圧力抑制室水位																																																																																																																																																																																																															
	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 広帯域） 原子炉水位（SA 燃料域） 原子炉水位（停止域） 原子炉水位（定検時水重用）																																																																																																																																																																																																															
	原子炉压力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力（SA）																																																																																																																																																																																																															
	原子炉压力容器への注水量	代替循環冷却ポンプ出口流量																																																																																																																																																																																																															
	補機監視機能	代替循環冷却ポンプ出口圧力																																																																																																																																																																																																															
	水源の確保	圧力抑制室水位																																																																																																																																																																																																															
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																																																																																																															
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																																																																																																																																	
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																																																																																																																	
b. 代替炉心注水																																																																																																																																																																																																																	
判断基準	原子炉压力容器内の温度																																																																																																																																																																																																																
	・1次冷却材温度（広域-高温側）	・1次冷却材温度（広域-低高温側）																																																																																																																																																																																																															
操作	原子炉压力容器内の注水量	・炉心出口温度																																																																																																																																																																																																															
	原子炉压力容器内の注水量	・1次冷却材圧力（広域）																																																																																																																																																																																																															
判断基準	原子炉压力容器内の注水量	・1次冷却系統ループ水位																																																																																																																																																																																																															
	水源の確保	・高圧注入流量																																																																																																																																																																																																															
操作	補機監視機能	・燃料取替用水ピット水位																																																																																																																																																																																																															
	原子炉压力容器内の注水量	・高圧注入ポンプ出口圧力																																																																																																																																																																																																															
判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側）																																																																																																																																																																																																															
	原子炉压力容器内の注水量	・1次冷却材温度（広域-低高温側）																																																																																																																																																																																																															
操作	原子炉压力容器内の注水量	・炉心出口温度																																																																																																																																																																																																															
	水源の確保	・加圧器水位																																																																																																																																																																																																															
判断基準	原子炉压力容器内の注水量	・1次冷却系統ループ水位																																																																																																																																																																																																															
	水源の確保	・低圧注入流量																																																																																																																																																																																																															
操作	原子炉压力容器への注水量	・燃料取替用水ピット水位																																																																																																																																																																																																															
	補機監視機能	・高圧注入ポンプ出口圧力																																																																																																																																																																																																															
判断基準	原子炉压力容器内の温度																																																																																																																																																																																																																
	・1次冷却材温度（広域-高温側）	・1次冷却材温度（広域-低高温側）																																																																																																																																																																																																															
操作	原子炉压力容器内の注水量	・炉心出口温度																																																																																																																																																																																																															
	原子炉压力容器内の注水量	・1次冷却材圧力（広域）																																																																																																																																																																																																															
判断基準	原子炉压力容器内の注水量	・加圧器水位																																																																																																																																																																																																															
	原子炉压力容器内の注水量	・1次冷却系統ループ水位																																																																																																																																																																																																															
操作	原子炉压力容器への注水量	・高圧注入流量																																																																																																																																																																																																															
	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位																																																																																																																																																																																																															
判断基準	原子炉压力容器への注水量	・高圧注入ポンプ出口圧力																																																																																																																																																																																																															
	補機監視機能																																																																																																																																																																																																																
操作	1.4.2.1(1)b.(a)「B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																																																																																																																																



泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																														
<p>監視計器一覧（29/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機軸喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">(c) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位計 ・ 復水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(D)b.(b)と同様。</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">(d) 電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ No. 2淡水タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(D)b.(c)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(1) フロントライン系機軸喪失時の手順等			b. 代替炉心注水			(c) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計 ・ 復水ピット水位計	操作	1.4.2.1(D)b.(b)と同様。		(d) 電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計	水源の確保	・ No. 2淡水タンク水位計（CRT）	操作	1.4.2.1(D)b.(c)と同様。		<p>監視計器一覧（15/20）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ（計器）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(d) ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書（プラント停止中） 「崩壊熱除去機軸喪失」等</td> <td>判断基準</td> <td>原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域） 原子炉水位（停止域） 原子炉水位（定検時水張用）</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書（設備別） 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」</td> <td>操作</td> <td>電源の確保 4-2C 母線電圧 4-2D 直流母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>水源の確保 ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域） 原子炉水位（停止域） 原子炉水位（定検時水張用）</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>原子炉圧力容器への注水量 （残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量） （残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量）</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>補機監視機能 ろ過水ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>水源の確保 ろ過水タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）	1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			a. 低圧代替注水			(d) ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水			非常時操作手順書（プラント停止中） 「崩壊熱除去機軸喪失」等	判断基準	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域） 原子炉水位（停止域） 原子炉水位（定検時水張用）	非常時操作手順書（設備別） 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」	操作	電源の確保 4-2C 母線電圧 4-2D 直流母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧			水源の確保 ろ過水タンク水位			原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域） 原子炉水位（停止域） 原子炉水位（定検時水張用）			原子炉圧力容器内の水位			原子炉圧力容器内の圧力			原子炉圧力容器への注水量 （残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量） （残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量）			補機監視機能 ろ過水ポンプ出口圧力			水源の確保 ろ過水タンク水位	<p>監視計器一覧（36/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">(c) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（A&amp;B）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 補助給水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1) b. (b) 「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">(d) 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 補助給水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1) b. (c) 「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			b. 代替炉心注水			(c) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉圧力容器への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（A&B）	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 補助給水ピット水位	操作	1.4.2.1(1) b. (b) 「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		(d) 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ ろ過水タンク水位	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 補助給水ピット水位	操作	1.4.2.1(1) b. (c) 「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																															
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																																																																																	
(1) フロントライン系機軸喪失時の手順等																																																																																																																																	
b. 代替炉心注水																																																																																																																																	
(c) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																																																														
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																														
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																																																																																															
	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計																																																																																																																															
	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計 ・ 復水ピット水位計																																																																																																																															
	操作	1.4.2.1(D)b.(b)と同様。																																																																																																																															
(d) 電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																																																														
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																														
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																																																																																															
	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計																																																																																																																															
	水源の確保	・ No. 2淡水タンク水位計（CRT）																																																																																																																															
	操作	1.4.2.1(D)b.(c)と同様。																																																																																																																															
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）																																																																																																																															
1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																																																	
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																																	
a. 低圧代替注水																																																																																																																																	
(d) ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水																																																																																																																																	
非常時操作手順書（プラント停止中） 「崩壊熱除去機軸喪失」等	判断基準	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域） 原子炉水位（停止域） 原子炉水位（定検時水張用）																																																																																																																															
非常時操作手順書（設備別） 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」	操作	電源の確保 4-2C 母線電圧 4-2D 直流母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																																															
		水源の確保 ろ過水タンク水位																																																																																																																															
		原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域） 原子炉水位（停止域） 原子炉水位（定検時水張用）																																																																																																																															
		原子炉圧力容器内の水位																																																																																																																															
		原子炉圧力容器内の圧力																																																																																																																															
		原子炉圧力容器への注水量 （残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量） （残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量）																																																																																																																															
		補機監視機能 ろ過水ポンプ出口圧力																																																																																																																															
		水源の確保 ろ過水タンク水位																																																																																																																															
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																															
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																																																	
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																																	
b. 代替炉心注水																																																																																																																																	
(c) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																																																																														
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																																																														
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																																															
	原子炉圧力容器への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（A&B）																																																																																																																															
	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 補助給水ピット水位																																																																																																																															
	操作	1.4.2.1(1) b. (b) 「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																																															
(d) 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																																																																														
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																																																														
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																																															
	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ ろ過水タンク水位																																																																																																																															
	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 補助給水ピット水位																																																																																																																															
	操作	1.4.2.1(1) b. (c) 「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																																															

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																			
<p>監視計器一覧（30/48）</p> <table border="1" data-bbox="100 367 716 446"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.4.2.3 運転停止中の場合 (I) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替炉心注水</td> <td>原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(e) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</td> <td>原子炉圧力容器内の圧力 ・ 1次冷却材圧力計</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位計</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の注水量 ・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作 1.4.2.1(I)b.(d)と同様。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合 (I) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替炉心注水	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計		(e) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	原子炉圧力容器内の圧力 ・ 1次冷却材圧力計			原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位計			原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）			原子炉圧力容器内の注水量 ・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計			操作 1.4.2.1(I)b.(d)と同様。		<p>監視計器一覧（16/20）</p> <table border="1" data-bbox="750 494 1355 574"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ（計器）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順 (I) フロントライン系故障時の対応手順 c. 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱 (a) 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書（プラント停止中） 「崩壊熱除去機能喪失」</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域） 原子炉水位（停止域） 原子炉水位（定検時水運用）</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書（設備別） 「原子炉冷却材浄化系による原子炉除熱」</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>原子炉圧力容器温度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>電源の確保</td> <td>4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流1母線 2A 電圧 125V 直流1母線 2B 電圧 125V 直流1母線 2A-1 電圧 125V 直流1母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水系統流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作</td> <td>原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域） 原子炉水位（停止域） 原子炉水位（定検時水運用）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補機監視機能</td> <td>原子炉圧力容器温度 原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器出口温度 原子炉冷却材浄化系入口流量 原子炉冷却材浄化系再生熱交換器入口温度</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）	1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順 (I) フロントライン系故障時の対応手順 c. 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱 (a) 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱			非常時操作手順書（プラント停止中） 「崩壊熱除去機能喪失」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域） 原子炉水位（停止域） 原子炉水位（定検時水運用）	非常時操作手順書（設備別） 「原子炉冷却材浄化系による原子炉除熱」	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度		電源の確保	4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流1母線 2A 電圧 125V 直流1母線 2B 電圧 125V 直流1母線 2A-1 電圧 125V 直流1母線 2B-1 電圧		補機監視機能	原子炉補機冷却水系統流量		操作	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域） 原子炉水位（停止域） 原子炉水位（定検時水運用）		補機監視機能	原子炉圧力容器温度 原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器出口温度 原子炉冷却材浄化系入口流量 原子炉冷却材浄化系再生熱交換器入口温度	<p>監視計器一覧（37/61）</p> <table border="1" data-bbox="1388 454 1993 534"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (I) フロントライン系故障時の対応手順 b. 代替炉心注水</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td>原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の圧力 ・ 1次冷却材圧力（広域）</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器への注水量 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(I)b.(d)「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td>(f) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td>原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器への注水量 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器への注水量 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(I)b.(e)「代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td>(g) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td>原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器への注水量 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器への注水量 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(I)b.(f)「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; color: red;">【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</p> <p style="text-align: right; color: red;">【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (I) フロントライン系故障時の対応手順 b. 代替炉心注水			(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度			原子炉圧力容器内の圧力 ・ 1次冷却材圧力（広域）			原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位			原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却系統ループ水位			原子炉圧力容器への注水量 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量			操作	1.4.2.1(I)b.(d)「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。	(f) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度			原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位			原子炉圧力容器への注水量 ・ 1次冷却系統ループ水位			原子炉圧力容器への注水量 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量			操作	1.4.2.1(I)b.(e)「代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。	(g) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度			原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位			原子炉圧力容器への注水量 ・ 1次冷却系統ループ水位			原子炉圧力容器への注水量 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量			操作	1.4.2.1(I)b.(f)「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																				
1.4.2.3 運転停止中の場合 (I) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替炉心注水	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																																					
(e) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	原子炉圧力容器内の圧力 ・ 1次冷却材圧力計																																																																																																					
	原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位計																																																																																																					
	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																																																																					
	原子炉圧力容器内の注水量 ・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計																																																																																																					
	操作 1.4.2.1(I)b.(d)と同様。																																																																																																					
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）																																																																																																				
1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順 (I) フロントライン系故障時の対応手順 c. 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱 (a) 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱																																																																																																						
非常時操作手順書（プラント停止中） 「崩壊熱除去機能喪失」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域） 原子炉水位（停止域） 原子炉水位（定検時水運用）																																																																																																				
非常時操作手順書（設備別） 「原子炉冷却材浄化系による原子炉除熱」	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度																																																																																																				
	電源の確保	4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流1母線 2A 電圧 125V 直流1母線 2B 電圧 125V 直流1母線 2A-1 電圧 125V 直流1母線 2B-1 電圧																																																																																																				
	補機監視機能	原子炉補機冷却水系統流量																																																																																																				
	操作	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域） 原子炉水位（停止域） 原子炉水位（定検時水運用）																																																																																																				
	補機監視機能	原子炉圧力容器温度 原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器出口温度 原子炉冷却材浄化系入口流量 原子炉冷却材浄化系再生熱交換器入口温度																																																																																																				
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																				
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (I) フロントライン系故障時の対応手順 b. 代替炉心注水																																																																																																						
(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																																																					
	原子炉圧力容器内の圧力 ・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																																					
	原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位																																																																																																					
	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																					
	原子炉圧力容器への注水量 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																																					
	操作	1.4.2.1(I)b.(d)「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																				
(f) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																																																					
	原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位																																																																																																					
	原子炉圧力容器への注水量 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																					
	原子炉圧力容器への注水量 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																																					
	操作	1.4.2.1(I)b.(e)「代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																				
(g) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																																																					
	原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位																																																																																																					
	原子炉圧力容器への注水量 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																					
	原子炉圧力容器への注水量 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																																					
	操作	1.4.2.1(I)b.(f)「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																				

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉			泊発電所3号炉			相違理由	
監視計器一覧 (31/48)						監視計器一覧 (38/61)				
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器				対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器		
1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 e. 再循環運転						1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 e. 再循環運転				
(a) 高压注入ポンプによる高压再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計			(a) 高压注入ポンプによる高压再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度	
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計					原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）	
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT）					原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位 ・1次冷却系統ループ水位	
		原子炉圧力容器内の注水量	・余熱除去流量計					原子炉圧力容器への注水量	・低圧注入流量	
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）					原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域）	
	操作	補機監視機能	・余熱除去ポンプ吐出圧力計				補機監視機能	・燃料取排水ビット水位 ・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ電流		
		原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計				操作	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度	
		原子炉圧力容器内の水位	・原子炉水位計					原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位 ・原子炉容器水位	
		原子炉圧力容器内の注水量	・高压注入流量計					原子炉圧力容器への注水量	・高压注入流量	
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）					原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域）	
補機監視機能	・高压注入ポンプ吐出圧力計			補機監視機能	・高压注入ポンプ出口圧力					
監視計器一覧 (32/48)						d. 代替再循環運転				
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器				対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器		
1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 d. 代替再循環運転						1.4.2.1(1) d. (a) 「B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転」による代替再循環運転				
(a) A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度		
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計				原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）		
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT）				原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位 ・1次冷却系統ループ水位		
		原子炉圧力容器内の注水量	・余熱除去流量計				原子炉圧力容器への注水量	・高压注入流量		
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）				原子炉格納容器内の水位	・B-格納容器再循環サンプ水位（広域）		
		補機監視機能	・余熱除去ポンプ吐出圧力計				補機監視機能	・高压注入ポンプ出口圧力		
	操作	1.4.2.1(1)d.(a)と同様。			操作	1.4.2.1(1) d. (a) 「B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転」の操作手順と同様である。				

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由
監視計器一覧（33/48）						
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器				
1.4.2.3 運転停止中の場合						
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等						
e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）						
(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）
		原子炉圧力容器内への注水量	・余熱除去流量計		原子炉圧力容器への注水量	・低圧注入流量
		水源の確保	・復水ビット水位計		水源の確保	・補助給水ビット水位
		補機監視機能	・余熱除去ポンプ吐出圧力計		補機監視機能	・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ電流
操作	—	—	—	操作	—	—
(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）
		最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位計（広域） ・蒸気発生器水位計（狭域） ・蒸気発生器補助給水流量計		最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量
		電源	・4-3（4）C1、C2、D1、D2母線電圧計		電源	・泊幹線1L電圧、2L電圧 ・後志幹線1L電圧、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧
		水源の確保	・脱気器タンク水位計（CRT）		水源の確保	・6-C1、C2、D母線電圧 ・脱気器タンク水位
操作	—	—	—	操作	—	—
—：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。						
監視計器一覧（39/61）						
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器				
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順						
(1) フロントライン系故障時の対応手順						
e. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）						
(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）
		原子炉圧力容器への注水量	・低圧注入流量		原子炉圧力容器への注水量	・低圧注入流量
		水源の確保	・補助給水ビット水位		水源の確保	・補助給水ビット水位
		補機監視機能	・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ電流		補機監視機能	・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ電流
操作	—	—	—	操作	—	—
(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）
		最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量		最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量
		電源	・泊幹線1L電圧、2L電圧 ・後志幹線1L電圧、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧		電源	・泊幹線1L電圧、2L電圧 ・後志幹線1L電圧、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧
		水源の確保	・6-C1、C2、D母線電圧 ・脱気器タンク水位		水源の確保	・6-C1、C2、D母線電圧 ・脱気器タンク水位
操作	—	—	—	操作	—	—
—：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。						

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

泊3号炉との比較対象なし

監視計器一覧(34/48)より抜粋して掲載

監視計器一覧(34/48)

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器
1.4.2.3 運転停止中の場合		
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等		
e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)		
c) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ(電動)による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度
		原子炉圧力容器内の圧力
	操作	最終ヒートシンクの確保
		水源の確保
		「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ(電動)による蒸気発生器への注水」にて整備する。
		・1次冷却材高温側温度計(広域) ・1次冷却材低温側温度計(広域) ・炉心出口温度計 ・1次冷却材圧力計 ・主蒸気圧力計 ・蒸気発生器水位計(広域) ・蒸気発生器水位計(狭域) ・蒸気発生器主給水流量計(CRT) ・蒸気発生器水張り流量計(CRT) ・復水ビット水位計

泊3号炉との比較対象なし

泊3号炉との比較対象なし

監視計器一覧(40/61)

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順		
(1) フロントライン系故障時の対応手順		
e. 蒸気発生器2次側からの給熱による発電用原子炉の冷却(注水)		
c) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・1次冷却材温度(広域-高温側) ・1次冷却材温度(広域-低温側) ・炉心出口温度 原子炉圧力容器内の圧力 ・1次冷却材圧力(広域) 最終ヒートシンクの確保 ・主蒸気ライン圧力 ・蒸気発生器水位(広域) ・蒸気発生器水位(狭域) ・主給水ライン流量 ・蒸気発生器水張り流量 水源の確保 ・補助給水ビット水位
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。
d) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・1次冷却材温度(広域-高温側) ・1次冷却材温度(広域-低温側) 最終ヒートシンクの確保 ・蒸気発生器水位(広域) ・蒸気発生器水位(狭域) ・補助給水流量
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。
e) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・1次冷却材温度(広域-高温側) ・1次冷却材温度(広域-低温側) 最終ヒートシンクの確保 ・蒸気発生器水位(広域) ・蒸気発生器水位(狭域) ・補助給水流量
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。
f) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・1次冷却材温度(広域-高温側) ・1次冷却材温度(広域-低温側) 最終ヒートシンクの確保 ・蒸気発生器水位(広域) ・蒸気発生器水位(狭域) ・補助給水流量
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。

【大飯】  
 設備の相違  
 (相違理由④)

【大飯】  
 設備の相違  
 (相違理由④)

【大飯】  
 設備の相違  
 (相違理由④)

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																														
<p><b>監視計器一覧(34/48)より抜粋して掲載</b></p> <p>1.4.2.3 運転停止中の場合                      (1) フロントライン系機能喪失時の手順等                      f. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="6">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水位計（狭域）</td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器主給水流量計（CRT） ・ 蒸気発生器水張り流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>—：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。</p>	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計（広域）	・ 蒸気発生器水位計（狭域）	・ 蒸気発生器補助給水流量計	・ 蒸気発生器主給水流量計（CRT） ・ 蒸気発生器水張り流量計（CRT）	水源の確保	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	操作	—	—		<p><b>監視計器一覧（41/61）</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 f. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td>・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>・ 主給水ライン流量</td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水張り流量</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 主蒸気ライン圧力</td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td>・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>・ 主給水ライン流量</td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水張り流量</td> </tr> <tr> <td>・ 復水器真空（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">電源</td> <td>・ 泊幹線1L電圧、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 機志幹線1L電圧、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 6-C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>—：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 f. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域）	・ 蒸気発生器水位（狭域）	・ 補助給水流量	・ 主給水ライン流量	・ 蒸気発生器水張り流量	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流	操作	—	—	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	最終ヒートシンクの確保	・ 主蒸気ライン圧力	・ 蒸気発生器水位（広域）	・ 蒸気発生器水位（狭域）	・ 補助給水流量	・ 主給水ライン流量	・ 蒸気発生器水張り流量	・ 復水器真空（広域）	電源	・ 泊幹線1L電圧、2L電圧	・ 機志幹線1L電圧、2L電圧	・ 甲母線電圧、乙母線電圧	・ 6-C1、C2、D母線電圧	操作	—	—	
判断基準		原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																														
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																														
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																														
		最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計（広域）																																																														
			・ 蒸気発生器水位計（狭域）																																																														
	・ 蒸気発生器補助給水流量計																																																																
・ 蒸気発生器主給水流量計（CRT） ・ 蒸気発生器水張り流量計（CRT）																																																																	
水源の確保	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																
操作	—	—																																																															
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																															
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 f. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）																																																																	
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																															
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																															
	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量																																																															
	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域）																																																															
		・ 蒸気発生器水位（狭域）																																																															
		・ 補助給水流量																																																															
・ 主給水ライン流量																																																																	
・ 蒸気発生器水張り流量																																																																	
補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流																																																																
操作	—	—																																																															
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																															
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																															
	最終ヒートシンクの確保	・ 主蒸気ライン圧力																																																															
		・ 蒸気発生器水位（広域）																																																															
		・ 蒸気発生器水位（狭域）																																																															
		・ 補助給水流量																																																															
		・ 主給水ライン流量																																																															
		・ 蒸気発生器水張り流量																																																															
	・ 復水器真空（広域）																																																																
	電源	・ 泊幹線1L電圧、2L電圧																																																															
・ 機志幹線1L電圧、2L電圧																																																																	
・ 甲母線電圧、乙母線電圧																																																																	
・ 6-C1、C2、D母線電圧																																																																	
操作	—	—																																																															
<p><b>監視計器一覧(35/48)より抜粋して掲載</b></p> <p>監視計器一覧（35/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 f. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 主蒸気圧力計</td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水位計（狭域）</td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器主給水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水張り流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>・ 復水器真空度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3（4）C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>—：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 f. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	最終ヒートシンクの確保	・ 主蒸気圧力計	・ 蒸気発生器水位計（広域）	・ 蒸気発生器水位計（狭域）	・ 蒸気発生器補助給水流量計	・ 蒸気発生器主給水流量計（CRT）	・ 蒸気発生器水張り流量計（CRT）	・ 復水器真空度計（広域）	電源	・ 4-3（4）C1、C2、D1、D2母線電圧計	操作	—	—																																									
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																															
1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 f. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）																																																																	
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																															
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																															
	最終ヒートシンクの確保	・ 主蒸気圧力計																																																															
		・ 蒸気発生器水位計（広域）																																																															
		・ 蒸気発生器水位計（狭域）																																																															
		・ 蒸気発生器補助給水流量計																																																															
・ 蒸気発生器主給水流量計（CRT）																																																																	
・ 蒸気発生器水張り流量計（CRT）																																																																	
・ 復水器真空度計（広域）																																																																	
電源	・ 4-3（4）C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																
操作	—	—																																																															

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																							
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(35/48)より抜粋して掲載</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="6" style="width: 15%; text-align: center; vertical-align: middle;">g. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード</td> <td rowspan="3" style="width: 5%; text-align: center; vertical-align: middle;">判断基準</td> <td style="width: 15%;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td style="width: 70%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余熱除去流量計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">操作</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位計（広域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位計（狭域）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td colspan="2">「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。</td> </tr> </table>	g. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul>	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力計</li> </ul>	原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余熱除去流量計</li> </ul>	操作	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位計（広域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位計（狭域）</li> </ul>	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</li> </ul>	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。			<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧（42/61）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手順</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系統降時の対応手順</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="width: 30%; vertical-align: middle;">g. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却</td> <td rowspan="5" style="width: 20%; text-align: center; vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力（広域）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低圧注入流量</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</li> <li>・ 余熱除去ポンプ電流</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">操作</td> <td colspan="2">「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手順	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(1) フロントライン系統降時の対応手順			g. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul>	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力（広域）</li> </ul>	原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低圧注入流量</li> </ul>	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul>	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</li> <li>・ 余熱除去ポンプ電流</li> </ul>	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。		
g. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul>																																					
				原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力計</li> </ul>																																					
		原子炉圧力容器内への注水量		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余熱除去流量計</li> </ul>																																						
		操作	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位計（広域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位計（狭域）</li> </ul>																																						
			補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</li> </ul>																																						
	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。																																									
対応手順	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																								
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																										
(1) フロントライン系統降時の対応手順																																										
g. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul>																																							
		原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力（広域）</li> </ul>																																							
		原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低圧注入流量</li> </ul>																																							
		最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul>																																							
		補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</li> <li>・ 余熱除去ポンプ電流</li> </ul>																																							
	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。																																								

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由	
監視計器一覧（36/48）			監視計器一覧（43/61）		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目		対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	
1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水			1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水		
(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	
		原子炉压力容器内の圧力	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	
		原子炉压力容器内の水位	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT）	
		原子炉压力容器内の注水量	原子炉压力容器内の注水量	・余熱除去流量計	
		水源の確保	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計	
		電源	電源	・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	
	操作	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）
			原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）
			余熱除去ポンプ吐出圧力計	余熱除去ポンプ吐出圧力計	・余熱除去ポンプ吐出圧力計
		原子炉压力容器内の温度	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	
		原子炉压力容器内の水位	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT）	
		原子炉压力容器内の注水量	原子炉压力容器内の注水量	・余熱除去流量計	
水源の確保	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計			
			(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水		
			判断基準	原子炉压力容器内の温度 ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度	
			操作	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）
				原子炉压力容器内の水位	・1次冷却系統ループ水位
				原子炉压力容器への注水量	・代替格納容器スプレィポンプ出口積算流量
				水源の確保	・燃料取替用水ピット水位
				原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度
				原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位 ・1次冷却系統ループ水位
			原子炉压力容器への注水量	・低圧注入流量	
			水源の確保	・燃料取替用水ピット水位	



泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																	
<p>監視計器一覧（37/48）</p> <table border="1" data-bbox="100 494 716 1101"> <thead> <tr> <th data-bbox="100 494 347 566">対応手段</th> <th data-bbox="347 494 481 566">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="481 494 716 566">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="100 566 716 598">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="100 598 716 622">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="100 622 716 646">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td data-bbox="100 646 313 1101" rowspan="7">(b) 蓄圧タンクによる代替炉心注水</td> <td data-bbox="313 646 481 710" rowspan="3">原子炉圧力容器内の温度</td> <td data-bbox="481 646 716 670">・1次冷却材高温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="481 670 716 694">・1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="481 694 716 718">・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="313 718 481 758">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td data-bbox="481 718 716 758">・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="313 758 481 805">原子炉圧力容器内の水位</td> <td data-bbox="481 758 716 805">・1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="313 805 481 837">水源の確保</td> <td data-bbox="481 805 716 837">・蓄圧タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="313 837 481 885">原子炉圧力容器内への注水量</td> <td data-bbox="481 837 716 885">・余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="313 885 481 933">電源</td> <td data-bbox="481 885 716 933">・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="313 933 481 1037" rowspan="2">補機監視機能</td> <td data-bbox="481 933 716 981">原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="481 981 716 1037">原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="313 1037 481 1101">操作</td> <td colspan="2" data-bbox="481 1037 716 1101">1.4.2.3(1)a.(c)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			a. 代替炉心注水			(b) 蓄圧タンクによる代替炉心注水	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域）	・1次冷却材低温側温度計（広域）	・炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・1次冷却系統水位計（CRT）	水源の確保	・蓄圧タンク水位計（CRT）	原子炉圧力容器内への注水量	・余熱除去流量計	電源	・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	操作	1.4.2.3(1)a.(c)と同様。			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">大飯3/4号炉との比較対象なし</div>	<p>【大飯】 設備の相違（相違理由⑦）</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																		
1.4.2.3 運転停止中の場合																																				
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																				
a. 代替炉心注水																																				
(b) 蓄圧タンクによる代替炉心注水	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域）																																		
		・1次冷却材低温側温度計（広域）																																		
		・炉心出口温度計																																		
	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																		
	原子炉圧力容器内の水位	・1次冷却系統水位計（CRT）																																		
	水源の確保	・蓄圧タンク水位計（CRT）																																		
	原子炉圧力容器内への注水量	・余熱除去流量計																																		
電源	・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																			
補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）																																			
	原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																			
操作	1.4.2.3(1)a.(c)と同様。																																			

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																					
<p>監視計器一覧（38/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(c) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</td> <td>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</td> <td>・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1)b.(b)と同様。</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(d) A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による代替炉心注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位計</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(2)a.(b)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水			(c) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の注水量	・ 余熱除去流量計	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）	・ 1次冷却材低温側温度計（広域）	・ 1次冷却材低温側温度計（広域）	・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）		電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計		補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）		・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）		操作	1.4.2.1(1)b.(b)と同様。		(d) A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）		原子炉压力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計		水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計		補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）		・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）		操作	1.4.2.1(2)a.(b)と同様。			<p>監視計器一覧（44/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">電源</td> <td>・ 泊幹線1L電圧、2L電圧</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 後志幹線1L電圧、2L電圧</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 補助給水ビット水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1)b.(b)「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">大飯3/4号炉との比較対象なし</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水			(b) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位		原子炉压力容器への注水量	・ 低圧注入流量		電源	・ 泊幹線1L電圧、2L電圧		・ 後志幹線1L電圧、2L電圧		・ 甲母線電圧、乙母線電圧		・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧		補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）		・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量		・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）		水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位		・ 補助給水ビット水位		操作	1.4.2.1(1)b.(b)「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		<p>【大飯】 設備の相違（相違理由⑥）</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																						
1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水																																																																																																								
(c) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の注水量	・ 余熱除去流量計																																																																																																					
		水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計																																																																																																					
	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）	・ 1次冷却材低温側温度計（広域）																																																																																																					
		・ 1次冷却材低温側温度計（広域）	・ 炉心出口温度計																																																																																																					
	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																						
	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																																																																						
	電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																																																						
	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）																																																																																																						
		・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																																																																						
	操作	1.4.2.1(1)b.(b)と同様。																																																																																																						
(d) A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																																					
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																					
	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																																																																						
	原子炉压力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計																																																																																																						
	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計																																																																																																						
	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）																																																																																																						
		・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																																																																						
	操作	1.4.2.1(2)a.(b)と同様。																																																																																																						
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																					
	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水																																																																																																							
(b) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																																																					
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																																					
	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																						
	原子炉压力容器への注水量	・ 低圧注入流量																																																																																																						
	電源	・ 泊幹線1L電圧、2L電圧																																																																																																						
		・ 後志幹線1L電圧、2L電圧																																																																																																						
		・ 甲母線電圧、乙母線電圧																																																																																																						
		・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																																																						
	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																																																						
		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）																																																																																																						
・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量																																																																																																								
・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）																																																																																																								
水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位																																																																																																							
	・ 補助給水ビット水位																																																																																																							
操作	1.4.2.1(1)b.(b)「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																							

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉			泊発電所3号炉			相違理由		
監視計器一覧（39/48）											
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器									
1.4.2.3 運転停止中の場合											
(2) サポート系機能喪失時の手順等											
a. 代替炉心注水											
(e) B充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計								
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計								
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT）								
		原子炉圧力容器内への注水量	・A余熱除去流量計 ・恒設代替低圧注水積算流量計								
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計								
		電源	・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計								
		補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）								
		操作	1.4.2.1(2)a.(c)と同様。								
		監視計器一覧（40/48）									
		対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器							
1.4.2.3 運転停止中の場合											
(2) サポート系機能喪失時の手順等											
a. 代替炉心注水											
(f) A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHR S-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計								
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計								
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT）								
		原子炉圧力容器内への注水量	・充てん水流量計								
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計								
		電源	・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計								
		補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）								
		操作	1.4.2.1(2)a.(d)と同様。								
		監視計器一覧（45/61）									
		対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器							
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順											
(2) サポート系故障時の対応手順											
a. 代替炉心注水											
(e) B充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度								
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）								
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位 ・1次冷却系統ループ水位								
		原子炉圧力容器への注水量	・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量								
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位								
		操作	1.4.2.1(2)a.、(b)「B充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。								
		(f) B格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHR S-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度						
				原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）						
				原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位 ・1次冷却系統ループ水位						
				原子炉圧力容器への注水量	・充てん流量						
電源	・泊幹線1L電圧、2L電圧 ・後志幹線1L電圧、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧										
補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量（A用） ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（B用） ・充てんライン圧力										
水源の確保	・燃料取替用水ピット水位										
操作	1.4.2.1(2)a.、(c)「B格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHR S-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。										

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

監視計器一覧(41/48)より抜粋して掲載

監視計器一覧（41/48）

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	
1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水			
(g) ディーゼル消火ポンプ又は電動消火ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）
	補機監視機能	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計
		水源の確保	・ No. 2淡水タンク水位計（CRT）
	電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	
	操作	1.4.2.1(1)b.(e)と同様。	

監視計器一覧（46/61）

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水			
(e) ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動機駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位
	補機監視機能	原子炉圧力容器への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（適用）
		電源	・ 泊幹線1L電圧、2L電圧 ・ 後志幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧
	操作	水源の確保	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（適用） ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（適用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却前水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却後水流量（適用）
		ろ過水タンク水位	・ ろ過水タンク水位
	1.4.2.1(1)b.(e)「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																	
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(41/48)より抜粋して掲載</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="5" style="width: 15%; text-align: center;">(h) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="5" style="width: 5%; text-align: center;">判断基準</td> <td style="width: 15%;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位計</li> <li>・ 1次冷却系統水位計（CRT）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ A余熱除去流量計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(i)b.(d)と同様。</td> </tr> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	(h) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul>	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力計</li> </ul>	原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位計</li> <li>・ 1次冷却系統水位計（CRT）</li> </ul>	原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ A余熱除去流量計</li> </ul>	電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</li> </ul>			補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</li> </ul>			操作	1.4.2.1(i)b.(d)と同様。		<p style="text-align: center;">監視計器一覧（47/61）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順                      (i) サポート系故障時の対応手順                      a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(f) 海水を用いた可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力（広域）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位</li> <li>・ 1次冷却系統ループ水位</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ B-格納容器スプレイ流量</li> <li>・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消幹線1L電圧、2L電圧</li> <li>・ 機志幹線1L電圧、2L電圧</li> <li>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</li> <li>・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td rowspan="5">補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(i)b.(d)「海水を用いた可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>判断基準</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td rowspan="5">(g) 代替給水ビットを水源とした可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位</li> <li>・ 1次冷却系統ループ水位</li> <li>・ B-格納容器スプレイ流量</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）</li> <li>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(i)b.(e)「代替給水ビットを水源とした可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (i) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水			(f) 海水を用いた可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul>	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力（広域）</li> </ul>	原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位</li> <li>・ 1次冷却系統ループ水位</li> </ul>	原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ B-格納容器スプレイ流量</li> <li>・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）</li> </ul>	電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消幹線1L電圧、2L電圧</li> <li>・ 機志幹線1L電圧、2L電圧</li> <li>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</li> <li>・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</li> </ul>	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）</li> </ul>	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）</li> </ul>	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）</li> </ul>			操作	1.4.2.1(i)b.(d)「海水を用いた可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。			判断基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul>	(g) 代替給水ビットを水源とした可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul>	原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位</li> <li>・ 1次冷却系統ループ水位</li> <li>・ B-格納容器スプレイ流量</li> </ul>	原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）</li> <li>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</li> </ul>			操作	1.4.2.1(i)b.(e)「代替給水ビットを水源とした可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。	<p style="text-align: center; color: red;">【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</p>
(h) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul>																																																															
				原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力計</li> </ul>																																																															
				原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位計</li> <li>・ 1次冷却系統水位計（CRT）</li> </ul>																																																															
				原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ A余熱除去流量計</li> </ul>																																																															
	電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</li> </ul>																																																																		
		補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</li> </ul>																																																																	
		操作	1.4.2.1(i)b.(d)と同様。																																																																	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																		
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (i) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水																																																																				
(f) 海水を用いた可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul>																																																																	
		原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力（広域）</li> </ul>																																																																	
		原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位</li> <li>・ 1次冷却系統ループ水位</li> </ul>																																																																	
		原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ B-格納容器スプレイ流量</li> <li>・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）</li> </ul>																																																																	
		電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消幹線1L電圧、2L電圧</li> <li>・ 機志幹線1L電圧、2L電圧</li> <li>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</li> <li>・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</li> </ul>																																																																	
	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）</li> </ul>																																																																	
		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）</li> </ul>																																																																	
		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）</li> </ul>																																																																	
				操作	1.4.2.1(i)b.(d)「海水を用いた可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																															
				判断基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul>																																																															
(g) 代替給水ビットを水源とした可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul>																																																																	
		原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位</li> <li>・ 1次冷却系統ループ水位</li> <li>・ B-格納容器スプレイ流量</li> </ul>																																																																	
		原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）</li> <li>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</li> </ul>																																																																	
			操作	1.4.2.1(i)b.(e)「代替給水ビットを水源とした可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																			
<div data-bbox="203 767 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     泊3号炉との比較対象なし                 </div>		<p>監視計器一覧（48/61）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系統故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: middle;">(h) 原本槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">操作</td> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(2) サポート系統故障時の対応手順			a. 代替炉心注水			(h) 原本槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の水位	操作	原子炉圧力容器への注水量	原子炉圧力容器への注水量	<p>【大飯】                      設備の相違                      (相違理由③)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																				
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																						
(2) サポート系統故障時の対応手順																						
a. 代替炉心注水																						
(h) 原本槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度																				
		原子炉圧力容器内の水位																				
	操作	原子炉圧力容器への注水量																				
		原子炉圧力容器への注水量																				

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																
<p>監視計器一覧（42/48）</p> <table border="1" data-bbox="100 510 716 1085"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(a) 運転停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">i. B 高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 ・ B高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B高圧注入ポンプ冷却水流量計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(2)b.(a)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			b. 代替再循環運転			(a) 運転停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合			i. B 高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）	電源	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 ・ B高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B高圧注入ポンプ冷却水流量計	操作	1.4.2.1(2)b.(a)と同様。			<p>監視計器一覧（49/61）</p> <table border="1" data-bbox="1377 510 2004 1133"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(a) 発電用原子炉停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 消特線1L電圧、2L電圧 ・ 後志特線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">補機冷却</td> <td>補機冷却</td> <td>・ A-高圧注入ポンプ及び前冷却器補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ及び前冷却器補機冷却水流量（AV用） ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AV用）</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(2)b.(a) i. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			b. 代替再循環運転			(a) 発電用原子炉停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合			i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉格納容器内の水位	・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）	電源	・ 消特線1L電圧、2L電圧 ・ 後志特線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧	補機冷却	補機冷却	・ A-高圧注入ポンプ及び前冷却器補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ及び前冷却器補機冷却水流量（AV用） ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AV用）	操作	1.4.2.1(2)b.(a) i. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																	
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																			
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																			
b. 代替再循環運転																																																																			
(a) 運転停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合																																																																			
i. B 高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																																
	電源	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																
		電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 ・ B高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B高圧注入ポンプ冷却水流量計																																																																
	操作	1.4.2.1(2)b.(a)と同様。																																																																	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																	
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																			
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																			
b. 代替再循環運転																																																																			
(a) 発電用原子炉停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合																																																																			
i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																
		原子炉格納容器内の水位	・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																
		電源	・ 消特線1L電圧、2L電圧 ・ 後志特線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																
	補機冷却	補機冷却	・ A-高圧注入ポンプ及び前冷却器補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ及び前冷却器補機冷却水流量（AV用） ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AV用）																																																																
		操作	1.4.2.1(2)b.(a) i. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。																																																																

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
監視計器一覧（43/48）				
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目			
1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 代替再循環運転 (b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合				
i. A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT）	
	補機監視機能	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）	
		補機冷却	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・A余熱除去ポンプ電動機冷却水流量計 ・A余熱除去ポンプ冷却水流量計	
	操作	1.4.2.1(2)b.(b)と同様。		
	大飯3/4号炉との比較対象なし			



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																														
<p>監視計器一覧（44/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">ii. B 高压注入ポンプ（海水冷却）による高压代替再循環運転</td> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位計</li> <li>・ 1次冷却系統水位計（CRT）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ A 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機冷却</td> <td>・ B 高压注入ポンプ電動機冷却水流量計</td> <td>・ B 高压注入ポンプ電動機冷却水流量計</td> </tr> <tr> <td>・ B 高压注入ポンプ冷却水流量計</td> <td>・ B 高压注入ポンプ冷却水流量計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(2)b.(a)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			b. 代替再循環運転			(b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合			ii. B 高压注入ポンプ（海水冷却）による高压代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul>	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位計</li> <li>・ 1次冷却系統水位計（CRT）</li> </ul>	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	原子炉压力容器内の注水量	・ A 余熱除去流量計	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	補機冷却	・ B 高压注入ポンプ電動機冷却水流量計	・ B 高压注入ポンプ電動機冷却水流量計	・ B 高压注入ポンプ冷却水流量計	・ B 高压注入ポンプ冷却水流量計	操作	1.4.2.1(2)b.(a)と同様。			<p>監視計器一覧（50/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(b) 発電用原子炉停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">i. 可搬型大型送水ポンプを用いた A- 高压注入ポンプ（海水冷却）による高压代替再循環運転</td> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位</li> <li>・ 1次冷却系統ループ水位</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（適用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量</td> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（適用）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機冷却</td> <td>・ A- 高压注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量</td> <td>・ A- 高压注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（適用）</td> </tr> <tr> <td>・ A- 高压注入ポンプ電動機補機冷却水流量</td> <td>・ A- 高压注入ポンプ電動機補機冷却水流量（適用）</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(2)b.(a) i. 「可搬型大型送水ポンプを用いた A- 高压注入ポンプ（海水冷却）による高压代替再循環運転」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			b. 代替再循環運転			(b) 発電用原子炉停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合			i. 可搬型大型送水ポンプを用いた A- 高压注入ポンプ（海水冷却）による高压代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul>	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位</li> <li>・ 1次冷却系統ループ水位</li> </ul>	原子炉格納容器内の水位	・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（適用）	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（適用）	補機冷却	・ A- 高压注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量	・ A- 高压注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（適用）	・ A- 高压注入ポンプ電動機補機冷却水流量	・ A- 高压注入ポンプ電動機補機冷却水流量（適用）	操作	1.4.2.1(2)b.(a) i. 「可搬型大型送水ポンプを用いた A- 高压注入ポンプ（海水冷却）による高压代替再循環運転」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																															
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																																	
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																																	
b. 代替再循環運転																																																																																	
(b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合																																																																																	
ii. B 高压注入ポンプ（海水冷却）による高压代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul>																																																																														
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																														
		原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位計</li> <li>・ 1次冷却系統水位計（CRT）</li> </ul>																																																																														
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																														
		原子炉压力容器内の注水量	・ A 余熱除去流量計																																																																														
		補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）																																																																													
			原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																																													
		補機冷却	・ B 高压注入ポンプ電動機冷却水流量計	・ B 高压注入ポンプ電動機冷却水流量計																																																																													
			・ B 高压注入ポンプ冷却水流量計	・ B 高压注入ポンプ冷却水流量計																																																																													
		操作	1.4.2.1(2)b.(a)と同様。																																																																														
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																															
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																	
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																																	
b. 代替再循環運転																																																																																	
(b) 発電用原子炉停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合																																																																																	
i. 可搬型大型送水ポンプを用いた A- 高压注入ポンプ（海水冷却）による高压代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul>																																																																														
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																														
		原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位</li> <li>・ 1次冷却系統ループ水位</li> </ul>																																																																														
		原子炉格納容器内の水位	・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																														
		補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（適用）																																																																													
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（適用）																																																																													
		補機冷却	・ A- 高压注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量	・ A- 高压注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（適用）																																																																													
			・ A- 高压注入ポンプ電動機補機冷却水流量	・ A- 高压注入ポンプ電動機補機冷却水流量（適用）																																																																													
		操作	1.4.2.1(2)b.(a) i. 「可搬型大型送水ポンプを用いた A- 高压注入ポンプ（海水冷却）による高压代替再循環運転」の操作手順と同様である。																																																																														

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																														
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(45/48)より抜粋して掲載</p> <p>監視計器一覧 (45 / 48)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle; text-align: center;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余熱除去流量計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 復水ピット水位計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</li> <li>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>操作</td> <td>1.4.2.2(1)a.(a)と同様。</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）			(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul>	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力計</li> </ul>	原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余熱除去流量計</li> </ul>	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 復水ピット水位計</li> </ul>	電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</li> </ul>			補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</li> <li>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</li> </ul>			操作	1.4.2.2(1)a.(a)と同様。		<p>監視計器一覧 (51/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 e. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="10" style="vertical-align: middle; text-align: center;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力（広域）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低圧注入流量</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 補助給水ピット水位</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 泊幹線1L電圧、2L電圧</li> <li>・ 後志幹線1L電圧、2L電圧</li> <li>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</li> <li>・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）</li> <li>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</li> <li>・ 余熱除去ポンプ電流</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>操作</td> <td>1.4.2.2(1)a. (a)「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td colspan="3">監視計器一覧 (52/61)</td> </tr> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 e. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">(b) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="10" style="vertical-align: middle; text-align: center;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力（広域）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位（広域）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 補助給水流量</li> <li>・ 補助給水ピット水位</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 泊幹線1L電圧、2L電圧</li> <li>・ 後志幹線1L電圧、2L電圧</li> <li>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</li> <li>・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>操作</td> <td>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 e. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）			(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul>	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力（広域）</li> </ul>	原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低圧注入流量</li> </ul>	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 補助給水ピット水位</li> </ul>	電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 泊幹線1L電圧、2L電圧</li> <li>・ 後志幹線1L電圧、2L電圧</li> <li>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</li> <li>・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</li> </ul>			補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）</li> <li>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</li> <li>・ 余熱除去ポンプ電流</li> </ul>			操作	1.4.2.2(1)a. (a)「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	監視計器一覧 (52/61)			1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 e. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）			(b) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul>	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力（広域）</li> </ul>	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位（広域）</li> </ul>	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 補助給水流量</li> <li>・ 補助給水ピット水位</li> </ul>	電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 泊幹線1L電圧、2L電圧</li> <li>・ 後志幹線1L電圧、2L電圧</li> <li>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</li> <li>・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</li> </ul>			補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）</li> </ul>			操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	<p style="color: red; text-align: center;">【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																															
1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）																																																																																	
(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul>																																																																														
		原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力計</li> </ul>																																																																														
		原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余熱除去流量計</li> </ul>																																																																														
		水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 復水ピット水位計</li> </ul>																																																																														
		電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</li> </ul>																																																																														
		補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</li> <li>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</li> </ul>																																																																														
		操作	1.4.2.2(1)a.(a)と同様。																																																																														
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																															
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 e. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）																																																																																	
(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul>																																																																														
		原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力（広域）</li> </ul>																																																																														
		原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低圧注入流量</li> </ul>																																																																														
		水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 補助給水ピット水位</li> </ul>																																																																														
		電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 泊幹線1L電圧、2L電圧</li> <li>・ 後志幹線1L電圧、2L電圧</li> <li>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</li> <li>・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</li> </ul>																																																																														
				補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）</li> <li>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</li> <li>・ 余熱除去ポンプ電流</li> </ul>																																																																												
				操作	1.4.2.2(1)a. (a)「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																																												
		監視計器一覧 (52/61)																																																																															
		1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 e. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）																																																																															
		(b) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul>																																																																												
原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力（広域）</li> </ul>																																																																																
最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位（広域）</li> </ul>																																																																																
水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 補助給水流量</li> <li>・ 補助給水ピット水位</li> </ul>																																																																																
電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 泊幹線1L電圧、2L電圧</li> <li>・ 後志幹線1L電圧、2L電圧</li> <li>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</li> <li>・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</li> </ul>																																																																																
				補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）</li> </ul>																																																																												
				操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																																												

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																							
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(45/48)より抜粋して掲載</p> <table border="1" data-bbox="100 351 716 821"> <tr> <td rowspan="6" style="vertical-align: top;">(b) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・炉心出口温度計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材圧力計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位計（狭域）</li> <li>・蒸気発生器水位計（広域）</li> <li>・蒸気発生器補助給水流量計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">操作</td> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・復水ビット水位計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</li> <li>・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	(b) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・炉心出口温度計</li> </ul>	原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材圧力計</li> </ul>	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位計（狭域）</li> <li>・蒸気発生器水位計（広域）</li> <li>・蒸気発生器補助給水流量計</li> </ul>	操作	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・復水ビット水位計</li> </ul>	電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</li> </ul>	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</li> <li>・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</li> </ul>	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。					<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧（53/61）</p> <table border="1" data-bbox="1377 502 2004 1141"> <thead> <tr> <th>対応手順</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順                      (2) サポート系故障時の対応手順                      e. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td>判断基準</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・1次冷却材温度（広域-低温側）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・補助給水流量</li> </ul> </td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) c. 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(d) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td>判断基準</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・1次冷却材温度（広域-低温側）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・補助給水流量</li> </ul> </td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) d. 「代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td>判断基準</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・1次冷却材温度（広域-低温側）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・補助給水流量</li> </ul> </td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手順	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 e. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）			(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	<table border="1"> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・1次冷却材温度（広域-低温側）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・補助給水流量</li> </ul> </td> </tr> </table>	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・1次冷却材温度（広域-低温側）</li> </ul>	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・補助給水流量</li> </ul>	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) c. 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。		(d) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	<table border="1"> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・1次冷却材温度（広域-低温側）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・補助給水流量</li> </ul> </td> </tr> </table>	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・1次冷却材温度（広域-低温側）</li> </ul>	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・補助給水流量</li> </ul>	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) d. 「代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。		(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	<table border="1"> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・1次冷却材温度（広域-低温側）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・補助給水流量</li> </ul> </td> </tr> </table>	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・1次冷却材温度（広域-低温側）</li> </ul>	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・補助給水流量</li> </ul>	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。		<p style="color: red;">【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p> <p style="color: red;">【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p>
(b) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水			判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・炉心出口温度計</li> </ul>																																																					
				原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材圧力計</li> </ul>																																																					
		最終ヒートシンクの確保		<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位計（狭域）</li> <li>・蒸気発生器水位計（広域）</li> <li>・蒸気発生器補助給水流量計</li> </ul>																																																						
		操作	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・復水ビット水位計</li> </ul>																																																						
			電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</li> </ul>																																																						
	補機監視機能		<ul style="list-style-type: none"> <li>・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</li> <li>・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</li> </ul>																																																							
「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																										
対応手順	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																								
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 e. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）																																																										
(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	<table border="1"> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・1次冷却材温度（広域-低温側）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・補助給水流量</li> </ul> </td> </tr> </table>	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・1次冷却材温度（広域-低温側）</li> </ul>	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・補助給水流量</li> </ul>																																																				
	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・1次冷却材温度（広域-低温側）</li> </ul>																																																								
最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・補助給水流量</li> </ul>																																																									
操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) c. 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																									
(d) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	<table border="1"> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・1次冷却材温度（広域-低温側）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・補助給水流量</li> </ul> </td> </tr> </table>	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・1次冷却材温度（広域-低温側）</li> </ul>	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・補助給水流量</li> </ul>																																																				
	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・1次冷却材温度（広域-低温側）</li> </ul>																																																								
最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・補助給水流量</li> </ul>																																																									
操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) d. 「代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																									
(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	<table border="1"> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・1次冷却材温度（広域-低温側）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・補助給水流量</li> </ul> </td> </tr> </table>	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・1次冷却材温度（広域-低温側）</li> </ul>	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・補助給水流量</li> </ul>																																																				
	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・1次冷却材温度（広域-低温側）</li> </ul>																																																								
最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・補助給水流量</li> </ul>																																																									
操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																									

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																												
<p>監視計器一覧（46/48）</p> <table border="1" data-bbox="96 475 716 1121"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による蒸気放出</td> <td rowspan="2">原子炉压力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉压力容器内の炉心出口温度計</td> <td>・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・蒸気発生器水位計（狭域）</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機監視機能</td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>・余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち1.3.2.2(2)a.「主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による主蒸気逃がし弁の機能回復」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			d. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）			(a) 主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による蒸気放出	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域）	・1次冷却材低温側温度計（広域）	原子炉压力容器内の炉心出口温度計	・炉心出口温度計	・1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の注水量	・余熱除去流量計	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位計（狭域）	・蒸気発生器水位計（広域）	・蒸気発生器補助給水流量計	電源	・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	・余熱除去ポンプ吐出圧力計	操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち1.3.2.2(2)a.「主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による主蒸気逃がし弁の機能回復」にて整備する。			<p>監視計器一覧（54/61）</p> <table border="1" data-bbox="1382 523 2000 1121"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 主蒸気逃がし弁の現場手動操作による蒸気放出</td> <td rowspan="3">原子炉压力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度（広域-高温側）</td> </tr> <tr> <td>・1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td>・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水位（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">電源</td> <td>・補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>・消静脈1L電圧、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・後志幹線1L電圧、2L電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">補機監視機能</td> <td>・甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>・余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>・余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(1)b.「現場手動操作による主蒸気逃がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			d. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）			(a) 主蒸気逃がし弁の現場手動操作による蒸気放出	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側）	・1次冷却材温度（広域-低温側）	・炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器への注水量	・低圧注入流量	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位（狭域）	・蒸気発生器水位（広域）	電源	・補助給水流量	・消静脈1L電圧、2L電圧	・後志幹線1L電圧、2L電圧	補機監視機能	・甲母線電圧、乙母線電圧	・6-A、B、C1、C2、D母線電圧	・原子炉補機冷却水供給母管流量	・原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量（AM用）	操作	・余熱除去ポンプ出口圧力	・余熱除去ポンプ電流	操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(1)b.「現場手動操作による主蒸気逃がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																													
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																															
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																															
d. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）																																																																															
(a) 主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による蒸気放出	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域）																																																																													
		・1次冷却材低温側温度計（広域）																																																																													
	原子炉压力容器内の炉心出口温度計	・炉心出口温度計																																																																													
		・1次冷却材圧力計																																																																													
	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																													
	原子炉压力容器内の注水量	・余熱除去流量計																																																																													
	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位計（狭域）																																																																													
		・蒸気発生器水位計（広域）																																																																													
		・蒸気発生器補助給水流量計																																																																													
	電源	・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																													
補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）																																																																														
	・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																																														
	・余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																														
操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち1.3.2.2(2)a.「主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による主蒸気逃がし弁の機能回復」にて整備する。																																																																														
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																													
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																															
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																															
d. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）																																																																															
(a) 主蒸気逃がし弁の現場手動操作による蒸気放出	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側）																																																																													
		・1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																													
		・炉心出口温度																																																																													
	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）																																																																													
	原子炉压力容器への注水量	・低圧注入流量																																																																													
	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位（狭域）																																																																													
		・蒸気発生器水位（広域）																																																																													
	電源	・補助給水流量																																																																													
		・消静脈1L電圧、2L電圧																																																																													
		・後志幹線1L電圧、2L電圧																																																																													
補機監視機能	・甲母線電圧、乙母線電圧																																																																														
	・6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																														
	・原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																														
	・原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）																																																																														
	・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量（AM用）																																																																														
操作	・余熱除去ポンプ出口圧力																																																																														
	・余熱除去ポンプ電流																																																																														
操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(1)b.「現場手動操作による主蒸気逃がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。																																																																														

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																										
<p>監視計器一覧（47/48）</p> <table border="1" data-bbox="96 502 716 1098"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・蒸気発生器水位計（広域） ・蒸気発生器水位計（狭域）</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2"></td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td></td> <td>「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の注水量	・余熱除去流量計	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位計（広域） ・蒸気発生器水位計（狭域）	電源	・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能		・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・余熱除去ポンプ吐出圧力計	操作		「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。		<p>監視計器一覧（55/61）</p> <table border="1" data-bbox="1382 534 2000 1120"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・蒸気発生器水位（狭域） ・蒸気発生器水位（広域） ・補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・炉幹線1L電圧、2L電圧 ・後志幹線1L電圧、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">補機監視機能</td> <td rowspan="4"></td> <td>・6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用） ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用） ・余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td></td> <td>「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型海水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器への注水量	・低圧注入流量	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位（狭域） ・蒸気発生器水位（広域） ・補助給水流量	電源	・炉幹線1L電圧、2L電圧 ・後志幹線1L電圧、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧	補機監視機能		・6-A、B、C1、C2、D母線電圧	・原子炉補機冷却水供給母管流量	・原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用） ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用） ・余熱除去ポンプ出口圧力	操作		「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型海水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																											
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																													
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																													
e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計																																																										
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																										
		原子炉圧力容器内の注水量	・余熱除去流量計																																																										
		最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位計（広域） ・蒸気発生器水位計（狭域）																																																										
		電源	・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																										
	補機監視機能		・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）																																																										
			・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																										
	操作		「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。																																																										
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																										
	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																												
(2) サポート系故障時の対応手順																																																													
e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度																																																										
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）																																																										
		原子炉圧力容器への注水量	・低圧注入流量																																																										
		最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位（狭域） ・蒸気発生器水位（広域） ・補助給水流量																																																										
		電源	・炉幹線1L電圧、2L電圧 ・後志幹線1L電圧、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧																																																										
	補機監視機能		・6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																										
			・原子炉補機冷却水供給母管流量																																																										
			・原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）																																																										
			・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用） ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用） ・余熱除去ポンプ出口圧力																																																										
	操作		「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型海水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。																																																										

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																					
<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>監視計器一覧 (17/20)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 復旧</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(a) 残留熱除去系電源復旧後の発電用原子炉からの除熱</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (プラント停止中) 「崩壊熱除去機能喪失」等</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA 広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (停止域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源の確保</td> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉水位 (定時時水取用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器温度</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>残留熱除去系ポンプ出口圧力 (A, B 系のみ)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>残留熱除去系熱交換器入口温度</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>残留熱除去系熱交換器冷却水出口温度</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>残留熱除去系熱交換器入口温度</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>残留熱除去系熱交換器出口温度</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量 (A, B 系のみ)</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			a. 復旧			(a) 残留熱除去系電源復旧後の発電用原子炉からの除熱			非常時操作手順書 (プラント停止中) 「崩壊熱除去機能喪失」等	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)	原子炉水位 (広帯域)	非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉水位 (燃料域)	原子炉水位 (SA 広帯域)	補機監視機能	原子炉圧力容器内の温度	原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉水位 (停止域)	電源の確保	補機監視機能	原子炉水位 (定時時水取用)	原子炉圧力	最終ヒートシンクの確保	補機監視機能	原子炉圧力 (SA)	原子炉圧力容器温度			残留熱除去系ポンプ出口圧力 (A, B 系のみ)			残留熱除去系熱交換器入口温度			残留熱除去系熱交換器冷却水出口温度			残留熱除去系熱交換器入口温度			残留熱除去系熱交換器出口温度			残留熱除去系ポンプ出口流量 (A, B 系のみ)	<p>監視計器一覧 (56/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">1. 復旧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(a) B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>水源の確保</td> </tr> <tr> <td>電源</td> </tr> <tr> <td colspan="3">監視計器一覧 (57/61)</td> </tr> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">1. 復旧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(b) 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプ (海水冷却) による高圧代替再循環運転</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機冷却</td> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>電源</td> </tr> <tr> <td>補機冷却</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			1. 復旧			(a) B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の圧力	電源	補機監視機能	原子炉圧力容器内の水位	原子炉格納容器内の水位	操作	補機監視機能	水源の確保	電源	監視計器一覧 (57/61)			1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			1. 復旧			(b) 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプ (海水冷却) による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の圧力	補機冷却	補機監視機能	原子炉圧力容器内の水位	原子炉格納容器内の水位	操作	補機監視機能	電源	補機冷却	<p>【大飯】記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊は女川と同様に各手段の項目に「復旧」を設ける。</li> </ul>
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																						
1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																								
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																																																								
a. 復旧																																																																																																								
(a) 残留熱除去系電源復旧後の発電用原子炉からの除熱																																																																																																								
非常時操作手順書 (プラント停止中) 「崩壊熱除去機能喪失」等	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)																																																																																																						
		原子炉水位 (広帯域)																																																																																																						
非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉水位 (燃料域)																																																																																																						
		原子炉水位 (SA 広帯域)																																																																																																						
補機監視機能	原子炉圧力容器内の温度	原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																						
		原子炉水位 (停止域)																																																																																																						
電源の確保	補機監視機能	原子炉水位 (定時時水取用)																																																																																																						
		原子炉圧力																																																																																																						
最終ヒートシンクの確保	補機監視機能	原子炉圧力 (SA)																																																																																																						
		原子炉圧力容器温度																																																																																																						
		残留熱除去系ポンプ出口圧力 (A, B 系のみ)																																																																																																						
		残留熱除去系熱交換器入口温度																																																																																																						
		残留熱除去系熱交換器冷却水出口温度																																																																																																						
		残留熱除去系熱交換器入口温度																																																																																																						
		残留熱除去系熱交換器出口温度																																																																																																						
		残留熱除去系ポンプ出口流量 (A, B 系のみ)																																																																																																						
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																						
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																								
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																																																								
1. 復旧																																																																																																								
(a) B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度																																																																																																						
		原子炉圧力容器内の圧力																																																																																																						
電源	補機監視機能	原子炉圧力容器内の水位																																																																																																						
		原子炉格納容器内の水位																																																																																																						
操作	補機監視機能	水源の確保																																																																																																						
		電源																																																																																																						
監視計器一覧 (57/61)																																																																																																								
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																								
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																																																								
1. 復旧																																																																																																								
(b) 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプ (海水冷却) による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度																																																																																																						
		原子炉圧力容器内の圧力																																																																																																						
補機冷却	補機監視機能	原子炉圧力容器内の水位																																																																																																						
		原子炉格納容器内の水位																																																																																																						
操作	補機監視機能	電源																																																																																																						
		補機冷却																																																																																																						

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																								
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<p>監視計器一覧（58/61）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">①. 復旧</td> </tr> <tr> <td rowspan="14" style="vertical-align: middle;">(e) 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域一高温側）</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度（広域一低高温側）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: middle;">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: middle;">原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: middle;">電源</td> <td>・ 泊幹線1L電圧, 2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 後志幹線1L電圧, 2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 甲母線電圧, 乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 6-A, B, C1, C2, D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: middle;">補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">水源の確保</td> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>・ 補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: middle;">操作</td> <td colspan="2">1.4.2.2(1) a. (a) 「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			①. 復旧			(e) 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域一高温側）	・ 1次冷却材温度（広域一低高温側）	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量	電源	・ 泊幹線1L電圧, 2L電圧	・ 後志幹線1L電圧, 2L電圧	・ 甲母線電圧, 乙母線電圧	・ 6-A, B, C1, C2, D母線電圧	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力	・ 余熱除去ポンプ電流	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	水源の確保	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	・ 補助給水ビット水位	操作	1.4.2.2(1) a. (a) 「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」と同様である。		<p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 泊は女川と同様に各手段の項目に「復旧」を設ける。</li> </ul>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																									
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																											
(2) サポート系故障時の対応手順																																											
①. 復旧																																											
(e) 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域一高温側）																																									
		・ 1次冷却材温度（広域一低高温側）																																									
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度																																									
		・ 1次冷却材圧力（広域）																																									
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																									
	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量																																									
	電源	・ 泊幹線1L電圧, 2L電圧																																									
		・ 後志幹線1L電圧, 2L電圧																																									
		・ 甲母線電圧, 乙母線電圧																																									
		・ 6-A, B, C1, C2, D母線電圧																																									
	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力																																									
		・ 余熱除去ポンプ電流																																									
		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量																																									
		・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）																																									
水源の確保	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量																																										
	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）																																										
	・ 補助給水ビット水位																																										
操作	1.4.2.2(1) a. (a) 「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」と同様である。																																										

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉			泊発電所3号炉			相違理由		
監視計器一覧（48/48）						監視計器一覧（59/61）					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器				対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器			
1.4.2.3 運転停止中の場合 (3) 原子炉格納容器内の作業員を退避させる手順等						1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順					
—	判断基準	未臨界の維持又は監視	・中性子源領域中性子束計 ・中性子源領域起動率計 ・原子炉補給水補給流量積算制御器積算カウンタ				判断基準	未臨界の維持又は監視	・中性子源領域中性子束 ・中性子源領域起動率 ・1次系統水補給ライン流量制御 ・1次系統水補給ライン流量積算制御		
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次系冷却材圧力計					原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）		
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT）					原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位 ・1次冷却系統ループ水位		
		原子炉圧力容器内への注水量	・余熱除去流量計					原子炉圧力容器への注水量	・低圧注入流量		
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計					原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度		
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計					原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用）		
		原子炉格納容器内の放射線量率	—	・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）				原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）		
				・格納容器ガスモニタ					・格納容器ガスモニタ		
				・格納容器じんあいモニタ					・格納容器じんあいモニタ		
		信号	—	・格納容器エアロック区域エリアモニタ				信号	・エアロックエリアモニタ		
				・炉内計装区域エリアモニタ					・炉内計装区域エリアモニタ		
		補機監視機能	—	・停止時SR中性子束高退避警報作動警報				補機監視機能	・SR停止時中性子束高（N31）警報		
				・余熱除去ポンプ吐出圧力計					・SR停止時中性子束高（N32）警報		
				・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）					・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ電流		
		電源	—	・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）				電源	・原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）		
・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）				・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）							
LOCAの監視	—	・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計				LOCAの監視	・冷却線1L電圧、2L電圧				
		・格納容器サンプ水位計					・後志幹線1L電圧、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧				
操作	—	・格納容器サンプ水位増加率計				操作	—	—			

—：操作に伴う監視計器がないため記載しない。

—：操作に伴う監視計器がないため記載しない。



泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																									
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<p>監視計器一覧 (18/20)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順 (1) 残留熱除去系 (低圧注水モード) による原子炉圧力容器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (微減ペース) 「水位確保」等</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」</td> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA 広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">電源の確保</td> <td rowspan="4">原子炉補機冷却水系系統流量</td> <td>6-2C 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>6-2D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>4-2C 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>4-2D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">水源の確保</td> <td rowspan="4">圧力抑制室水位</td> <td>125V 直流主母線 2A 電圧</td> </tr> <tr> <td>125V 直流主母線 2B 電圧</td> </tr> <tr> <td>125V 直流主母線 2A-1 電圧</td> </tr> <tr> <td>125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td rowspan="2">原子炉水位 (狭帯域)</td> <td>原子炉水位 (広帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td rowspan="2">原子炉圧力</td> <td>原子炉水位 (SA 広帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量</td> <td>原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>残留熱除去系ポンプ出口圧力</td> <td>原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>圧力抑制室水位</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>監視計器一覧 (19/20)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順 (2) 低圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (微減ペース) 「水位確保」等</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (設備別) 「低圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」</td> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA 広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">電源の確保</td> <td rowspan="4">原子炉補機冷却水系系統流量 (A系のみ)</td> <td>原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>6-2C 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>4-2C 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>125V 直流主母線 2A 電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td rowspan="2">圧力抑制室水位</td> <td>125V 直流主母線 2A-1 電圧</td> </tr> <tr> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td rowspan="2">原子炉水位 (狭帯域)</td> <td>原子炉水位 (広帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td rowspan="2">原子炉圧力</td> <td>原子炉水位 (SA 広帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量</td> <td>原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>圧力抑制室水位</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.3 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順 (1) 残留熱除去系 (低圧注水モード) による原子炉圧力容器への注水			非常時操作手順書 (微減ペース) 「水位確保」等	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)	原子炉水位 (広帯域)	非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」	補機監視機能	原子炉水位 (燃料域)	原子炉水位 (SA 広帯域)	電源の確保	原子炉補機冷却水系系統流量	6-2C 母線電圧	6-2D 母線電圧	4-2C 母線電圧	4-2D 母線電圧	水源の確保	圧力抑制室水位	125V 直流主母線 2A 電圧	125V 直流主母線 2B 電圧	125V 直流主母線 2A-1 電圧	125V 直流主母線 2B-1 電圧	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)	原子炉水位 (広帯域)	原子炉水位 (燃料域)	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力	原子炉水位 (SA 広帯域)	原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系ポンプ出口流量	原子炉圧力 (SA)	補機監視機能	残留熱除去系ポンプ出口圧力	原子炉圧力 (SA)	水源の確保	圧力抑制室水位		手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.3 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順 (2) 低圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水			非常時操作手順書 (微減ペース) 「水位確保」等	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)	原子炉水位 (広帯域)	非常時操作手順書 (設備別) 「低圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」	補機監視機能	原子炉水位 (燃料域)	原子炉水位 (SA 広帯域)	電源の確保	原子炉補機冷却水系系統流量 (A系のみ)	原子炉水位 (SA 燃料域)	6-2C 母線電圧	4-2C 母線電圧	125V 直流主母線 2A 電圧	水源の確保	圧力抑制室水位	125V 直流主母線 2A-1 電圧		原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)	原子炉水位 (広帯域)	原子炉水位 (燃料域)	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力	原子炉水位 (SA 広帯域)	原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉圧力容器への注水量	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量	原子炉圧力 (SA)	補機監視機能	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力		水源の確保	圧力抑制室水位		<p>監視計器一覧 (60/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.4 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(1) 高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>信号</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> </tr> <tr> <td>圧力抑制室水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(2) 余熱除去ポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>信号</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> </tr> <tr> <td>圧力抑制室水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(3) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転</td> <td>判断基準</td> <td>信号</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.4 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順			(1) 高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	信号	原子炉圧力容器内の水位	操作	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉格納容器内の圧力	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の水位	原子炉圧力容器への注水量	水源の確保	補機監視機能	圧力抑制室水位	(2) 余熱除去ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	信号	原子炉圧力容器内の水位	操作	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉格納容器内の圧力	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の水位	原子炉圧力容器への注水量	水源の確保	補機監視機能	圧力抑制室水位	(3) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	信号	操作	原子炉圧力容器内の水位	<p>【大飯】      記載方針の相違 (女川審査実績の反映)      ・泊は、重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順を整理している。</p>
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																										
1.4.2.3 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順 (1) 残留熱除去系 (低圧注水モード) による原子炉圧力容器への注水																																																																																																																												
非常時操作手順書 (微減ペース) 「水位確保」等	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)																																																																																																																										
		原子炉水位 (広帯域)																																																																																																																										
非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」	補機監視機能	原子炉水位 (燃料域)																																																																																																																										
		原子炉水位 (SA 広帯域)																																																																																																																										
電源の確保	原子炉補機冷却水系系統流量	6-2C 母線電圧																																																																																																																										
		6-2D 母線電圧																																																																																																																										
		4-2C 母線電圧																																																																																																																										
		4-2D 母線電圧																																																																																																																										
水源の確保	圧力抑制室水位	125V 直流主母線 2A 電圧																																																																																																																										
		125V 直流主母線 2B 電圧																																																																																																																										
		125V 直流主母線 2A-1 電圧																																																																																																																										
		125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																																										
原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)	原子炉水位 (広帯域)																																																																																																																										
		原子炉水位 (燃料域)																																																																																																																										
原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力	原子炉水位 (SA 広帯域)																																																																																																																										
		原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																										
原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系ポンプ出口流量	原子炉圧力 (SA)																																																																																																																										
補機監視機能	残留熱除去系ポンプ出口圧力	原子炉圧力 (SA)																																																																																																																										
水源の確保	圧力抑制室水位																																																																																																																											
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																										
1.4.2.3 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順 (2) 低圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水																																																																																																																												
非常時操作手順書 (微減ペース) 「水位確保」等	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)																																																																																																																										
		原子炉水位 (広帯域)																																																																																																																										
非常時操作手順書 (設備別) 「低圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」	補機監視機能	原子炉水位 (燃料域)																																																																																																																										
		原子炉水位 (SA 広帯域)																																																																																																																										
電源の確保	原子炉補機冷却水系系統流量 (A系のみ)	原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																										
		6-2C 母線電圧																																																																																																																										
		4-2C 母線電圧																																																																																																																										
		125V 直流主母線 2A 電圧																																																																																																																										
水源の確保	圧力抑制室水位	125V 直流主母線 2A-1 電圧																																																																																																																										
原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)	原子炉水位 (広帯域)																																																																																																																										
		原子炉水位 (燃料域)																																																																																																																										
原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力	原子炉水位 (SA 広帯域)																																																																																																																										
		原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																										
原子炉圧力容器への注水量	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量	原子炉圧力 (SA)																																																																																																																										
補機監視機能	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力																																																																																																																											
水源の確保	圧力抑制室水位																																																																																																																											
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																										
1.4.2.4 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順																																																																																																																												
(1) 高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	信号																																																																																																																										
		原子炉圧力容器内の水位																																																																																																																										
	操作	原子炉圧力容器内の圧力																																																																																																																										
		原子炉格納容器内の圧力																																																																																																																										
		原子炉圧力容器内の温度																																																																																																																										
		原子炉圧力容器内の水位																																																																																																																										
		原子炉圧力容器への注水量																																																																																																																										
		水源の確保																																																																																																																										
		補機監視機能																																																																																																																										
		圧力抑制室水位																																																																																																																										
(2) 余熱除去ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	信号																																																																																																																										
		原子炉圧力容器内の水位																																																																																																																										
	操作	原子炉圧力容器内の圧力																																																																																																																										
		原子炉格納容器内の圧力																																																																																																																										
		原子炉圧力容器内の温度																																																																																																																										
		原子炉圧力容器内の水位																																																																																																																										
		原子炉圧力容器への注水量																																																																																																																										
		水源の確保																																																																																																																										
		補機監視機能																																																																																																																										
		圧力抑制室水位																																																																																																																										
(3) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	信号																																																																																																																										
	操作	原子炉圧力容器内の水位																																																																																																																										

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																							
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<p>監視計器一覧 (20/20)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">手順書</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順 (3) 残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード) による発電用原子炉からの除熱</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (微統ベーク) 「減圧冷却」等  非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td rowspan="2">原子炉圧力</td> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA 広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td rowspan="2">原子炉圧力 (SA)</td> <td>原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (停止域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">原子炉圧力 (定検時水張用)</td> <td>原子炉圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源の確保</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器温度</td> <td>残留熱除去系熱交換器入口温度</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>6-2C 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>6-2D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>4-2C 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>4-2D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>125V 直流主母線 2A 電圧</td> </tr> <tr> <td>125V 直流主母線 2B 電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>125V 直流主母線 2A-1 電圧</td> </tr> <tr> <td>125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉水位 (狭帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">原子炉圧力</td> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA 広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">原子炉圧力 (SA)</td> <td>原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (停止域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">原子炉圧力 (定検時水張用)</td> <td>原子炉水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器温度</td> <td>残留熱除去系ポンプ出口圧力 (A, B 系のみ)</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器冷却水出口温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td>残留熱除去系熱交換器入口温度</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器出口温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量 (A, B 系のみ)</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量 (A, B 系のみ)</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.3 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順 (3) 残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード) による発電用原子炉からの除熱			非常時操作手順書 (微統ベーク) 「減圧冷却」等  非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)	原子炉水位 (広帯域)	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力	原子炉水位 (燃料域)	原子炉水位 (SA 広帯域)	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力 (SA)	原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉水位 (停止域)	補機監視機能	原子炉圧力 (定検時水張用)	原子炉圧力	原子炉圧力 (SA)	電源の確保	原子炉圧力容器温度	残留熱除去系熱交換器入口温度	残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量	最終ヒートシンクの確保	補機監視機能	6-2C 母線電圧	6-2D 母線電圧	補機監視機能	原子炉圧力容器内の水位	4-2C 母線電圧	4-2D 母線電圧	補機監視機能	原子炉圧力容器内の圧力	125V 直流主母線 2A 電圧	125V 直流主母線 2B 電圧	補機監視機能	原子炉圧力容器内の温度	125V 直流主母線 2A-1 電圧	125V 直流主母線 2B-1 電圧	補機監視機能	補機監視機能	原子炉水位 (狭帯域)	原子炉水位 (広帯域)	補機監視機能	原子炉圧力	原子炉水位 (燃料域)	原子炉水位 (SA 広帯域)	補機監視機能	原子炉圧力 (SA)	原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉水位 (停止域)	補機監視機能	原子炉圧力 (定検時水張用)	原子炉水位	原子炉圧力	補機監視機能	原子炉圧力容器温度	残留熱除去系ポンプ出口圧力 (A, B 系のみ)	残留熱除去系熱交換器冷却水出口温度	補機監視機能	最終ヒートシンクの確保	残留熱除去系熱交換器入口温度	残留熱除去系熱交換器出口温度	補機監視機能	最終ヒートシンクの確保	残留熱除去系ポンプ出口流量 (A, B 系のみ)	残留熱除去系ポンプ出口流量 (A, B 系のみ)	<p>監視計器一覧 (61/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.4 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(4) 余熱除去ポンプによる低圧再循環運転</td> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>燃料取替用ホピット水位</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>1次冷却材温度 (広域-高温側)</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器への注水量</td> <td>低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>1次冷却材温度 (広域-高温側)</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>1次冷却材系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材温度 (広域-高温側)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td>低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>1次冷却材系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>余熱除去ポンプ電流</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.4 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順			(4) 余熱除去ポンプによる低圧再循環運転	水源の確保	燃料取替用ホピット水位	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	補機監視機能	原子炉圧力容器内の温度	1次冷却材温度 (広域-高温側)	1次冷却材温度 (広域-低温側)	補機監視機能	原子炉圧力容器への注水量	低圧注入流量	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	補機監視機能	水源の確保	余熱除去ポンプ出口圧力	余熱除去ポンプ電流	補機監視機能	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)	補機監視機能	原子炉圧力容器内の水位	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)	1次冷却材圧力 (広域)	補機監視機能	原子炉圧力容器内の温度	1次冷却材温度 (広域-高温側)	1次冷却材温度 (広域-低温側)	補機監視機能	原子炉圧力容器内の圧力	1次冷却材系統ループ水位	1次冷却材温度 (広域-高温側)	補機監視機能	原子炉圧力容器内の温度	1次冷却材温度 (広域-低温側)	低圧注入流量	補機監視機能	水源の確保	1次冷却材系統ループ水位	余熱除去ポンプ出口圧力	補機監視機能	補機監視機能	余熱除去ポンプ電流	<p>【大飯】          記載方針の相違 (女川審査実績の反映)          ・泊は、重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順を整理している。</p>
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																								
1.4.2.3 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順 (3) 残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード) による発電用原子炉からの除熱																																																																																																																										
非常時操作手順書 (微統ベーク) 「減圧冷却」等  非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)																																																																																																																								
		原子炉水位 (広帯域)																																																																																																																								
原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力	原子炉水位 (燃料域)																																																																																																																								
		原子炉水位 (SA 広帯域)																																																																																																																								
原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力 (SA)	原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																								
		原子炉水位 (停止域)																																																																																																																								
補機監視機能	原子炉圧力 (定検時水張用)	原子炉圧力																																																																																																																								
		原子炉圧力 (SA)																																																																																																																								
電源の確保	原子炉圧力容器温度	残留熱除去系熱交換器入口温度																																																																																																																								
		残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量																																																																																																																								
最終ヒートシンクの確保	補機監視機能	6-2C 母線電圧																																																																																																																								
		6-2D 母線電圧																																																																																																																								
補機監視機能	原子炉圧力容器内の水位	4-2C 母線電圧																																																																																																																								
		4-2D 母線電圧																																																																																																																								
補機監視機能	原子炉圧力容器内の圧力	125V 直流主母線 2A 電圧																																																																																																																								
		125V 直流主母線 2B 電圧																																																																																																																								
補機監視機能	原子炉圧力容器内の温度	125V 直流主母線 2A-1 電圧																																																																																																																								
		125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																																								
補機監視機能	補機監視機能	原子炉水位 (狭帯域)																																																																																																																								
		原子炉水位 (広帯域)																																																																																																																								
補機監視機能	原子炉圧力	原子炉水位 (燃料域)																																																																																																																								
		原子炉水位 (SA 広帯域)																																																																																																																								
補機監視機能	原子炉圧力 (SA)	原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																								
		原子炉水位 (停止域)																																																																																																																								
補機監視機能	原子炉圧力 (定検時水張用)	原子炉水位																																																																																																																								
		原子炉圧力																																																																																																																								
補機監視機能	原子炉圧力容器温度	残留熱除去系ポンプ出口圧力 (A, B 系のみ)																																																																																																																								
		残留熱除去系熱交換器冷却水出口温度																																																																																																																								
補機監視機能	最終ヒートシンクの確保	残留熱除去系熱交換器入口温度																																																																																																																								
		残留熱除去系熱交換器出口温度																																																																																																																								
補機監視機能	最終ヒートシンクの確保	残留熱除去系ポンプ出口流量 (A, B 系のみ)																																																																																																																								
		残留熱除去系ポンプ出口流量 (A, B 系のみ)																																																																																																																								
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																								
1.4.2.4 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順																																																																																																																										
(4) 余熱除去ポンプによる低圧再循環運転	水源の確保	燃料取替用ホピット水位																																																																																																																								
		格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																																								
補機監視機能	原子炉圧力容器内の温度	1次冷却材温度 (広域-高温側)																																																																																																																								
		1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																																																																																								
補機監視機能	原子炉圧力容器への注水量	低圧注入流量																																																																																																																								
		格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																																								
補機監視機能	水源の確保	余熱除去ポンプ出口圧力																																																																																																																								
		余熱除去ポンプ電流																																																																																																																								
補機監視機能	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)																																																																																																																								
		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)																																																																																																																								
補機監視機能	原子炉圧力容器内の水位	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)																																																																																																																								
		1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																								
補機監視機能	原子炉圧力容器内の温度	1次冷却材温度 (広域-高温側)																																																																																																																								
		1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																																																																																								
補機監視機能	原子炉圧力容器内の圧力	1次冷却材系統ループ水位																																																																																																																								
		1次冷却材温度 (広域-高温側)																																																																																																																								
補機監視機能	原子炉圧力容器内の温度	1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																																																																																								
		低圧注入流量																																																																																																																								
補機監視機能	水源の確保	1次冷却材系統ループ水位																																																																																																																								
		余熱除去ポンプ出口圧力																																																																																																																								
補機監視機能	補機監視機能	余熱除去ポンプ電流																																																																																																																								

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1.4.8表 審査基準における要求事項ごとの給電対象設備

対象条文	供給対象設備	給電元
【1.4】 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	A格納容器スプレイポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線
	B格納容器スプレイポンプ	4-3(4)B 非常用高圧母線
	恒設代替低圧注水ポンプ	空冷式非常用発電装置
	A格納容器スプレイポンプ再循環サンパ側入口格納容器隔離弁	A1原子炉コントロールセンター
	A充てんポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線
	B充てんポンプ	4-3(4)B 非常用高圧母線
	A高圧注入ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線
	B高圧注入ポンプ	4-3(4)B 非常用高圧母線
	A電動補助給水ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線
	B電動補助給水ポンプ	4-3(4)B 非常用高圧母線
	A主蒸気逃がし弁	A1ソレノイド分電盤
	B主蒸気逃がし弁	A1ソレノイド分電盤
	C主蒸気逃がし弁	B1ソレノイド分電盤
	D主蒸気逃がし弁	B1ソレノイド分電盤

第1.4-3表 「審査基準」における要求事項ごとの給電対象設備

対象条文	供給対象設備	供給元	
		設備	母線
【1.4】 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	復水移送ポンプ補給水系 弁	常設代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C系 非常用低圧母線 MCC 2D系
		可搬型代替交流電源設備	緊急用低圧母線 MCC 2C系 非常用低圧母線 MCC 2G系 非常用低圧母線 MCC 2E系
	燃料プール補給水系 弁	常設代替交流電源設備	125V 直流主母線 2B-1
		可搬型代替交流電源設備	125V 直流主母線 2B-1
		所内常設蓄電式直流電源設備	125V 直流主母線 2B-1
	直流駆動低圧注水系ポンプ	常設代替交流電源設備	250V 直流主母線
		可搬型代替交流電源設備	250V 直流主母線
		常設代替直流電源設備	250V 直流主母線
	直流駆動低圧注水系 弁	常設代替交流電源設備	125V 直流主母線 2A-1
		可搬型代替交流電源設備	125V 直流主母線 2A-1
		所内常設蓄電式直流電源設備	125V 直流主母線 2A-1
	残留熱除去系ポンプ	常設代替交流電源設備	非常用高圧母線 2C系 非常用高圧母線 2D系
		常設代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C系 非常用低圧母線 MCC 2D系 緊急用低圧母線 MCC 2G系
	残留熱除去系 弁	常設代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C系 非常用低圧母線 MCC 2D系
		可搬型代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C系 非常用低圧母線 MCC 2D系 緊急用低圧母線 MCC 2C系
	代替循環冷却ポンプ	常設代替交流電源設備	非常用高圧母線 2C系
	低圧炉心スプレイ系ポンプ	常設代替交流電源設備	非常用高圧母線 2C系
	低圧炉心スプレイ系 弁	常設代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C系 非常用低圧母線 MCC 2D系
	原子炉再循環系 弁	常設代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C系 非常用低圧母線 MCC 2D系
		可搬型代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C系 非常用低圧母線 MCC 2D系
計測用電源*	常設代替交流電源設備	125V 直流主母線 2A	
	所内常設蓄電式直流電源設備	125V 直流主母線 2B	

※：供給負荷は監視計器

第1.4.3表 「審査基準」における要求事項ごとの給電対象設備 (1/2)

対象条文	供給対象設備	給電元	
		設備	母線
【1.4】 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	非常用交流電源設備	化学体積制御設備ポンプ・サ	6-A非常用高圧母線
			6-B非常用高圧母線
			A1-原子炉コントロールセンター
			A2-原子炉コントロールセンター
			B1-原子炉コントロールセンター
			B2-原子炉コントロールセンター
	常設代替交流電源設備	化学体積制御設備ポンプ・サ	6-A非常用高圧母線
			6-B非常用高圧母線
			A1-原子炉コントロールセンター
			A2-原子炉コントロールセンター
			B1-原子炉コントロールセンター
			B2-原子炉コントロールセンター
	非常用交流電源設備	原子炉格納容器スプレイ設備ポンプ・サ	6-A非常用高圧母線
			6-B非常用高圧母線
A2-原子炉コントロールセンター			
B2-原子炉コントロールセンター			
常設代替交流電源設備	原子炉格納容器スプレイ設備ポンプ・サ	6-A非常用高圧母線	
		6-B非常用高圧母線	
		A2-原子炉コントロールセンター	
		B2-原子炉コントロールセンター	
非常用交流電源設備	全熱除去設備ポンプ・サ	4-A1非常用高圧母線	
		4-B1非常用高圧母線	
		A1-原子炉コントロールセンター	
		B1-原子炉コントロールセンター	
非常用交流電源設備	全熱除去設備ポンプ・サ	4-A2非常用高圧母線	
		4-B2非常用高圧母線	
		A1-原子炉コントロールセンター	
		B1-原子炉コントロールセンター	
非常用交流電源設備	非常用中心冷却設備（低圧注入系）ポンプ・サ	4-A1非常用高圧母線	
		4-B1非常用高圧母線	
		A1-原子炉コントロールセンター	
		B1-原子炉コントロールセンター	
非常用交流電源設備	非常用中心冷却設備（低圧注入系）ポンプ・サ	6-A非常用高圧母線	
		6-B非常用高圧母線	
		A1-原子炉コントロールセンター	
		B1-原子炉コントロールセンター	
常設代替交流電源設備	非常用中心冷却設備（高圧注入系）ポンプ・サ	6-A非常用高圧母線	
		6-B非常用高圧母線	
		A1-原子炉コントロールセンター	
		B1-原子炉コントロールセンター	
非常用交流電源設備	非常用中心冷却設備（高圧注入系）ポンプ・サ	A-直流母線	
		B-直流母線	

【大飯】  
記載方針の相違  
（女川審査実績の反映）

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

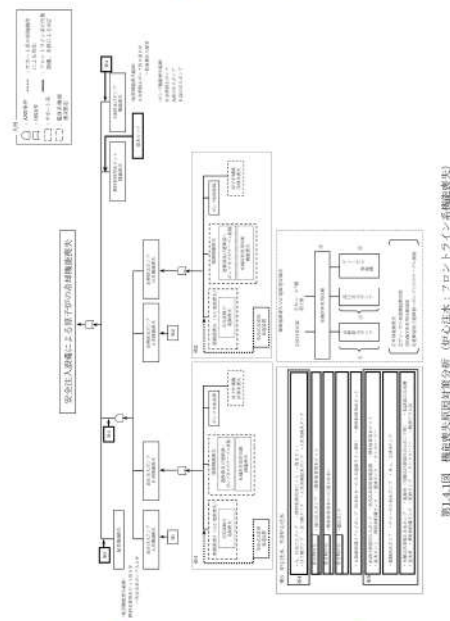
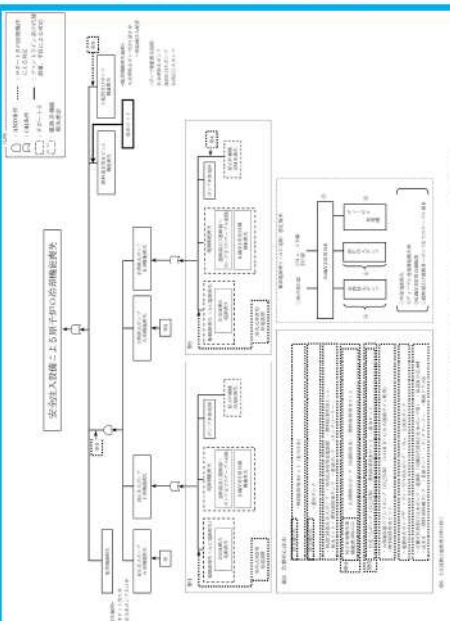
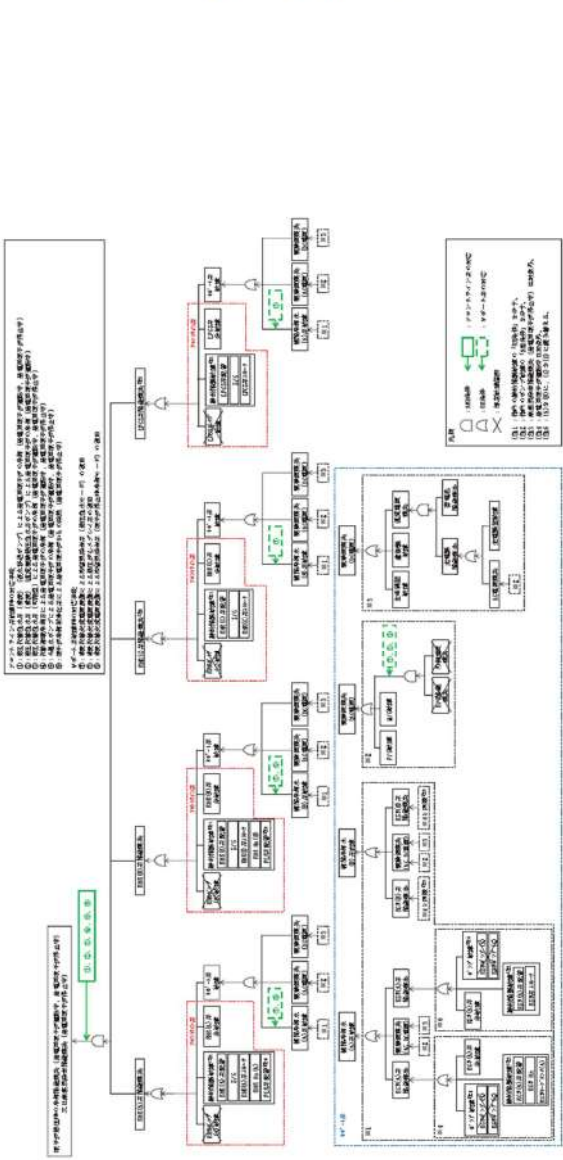
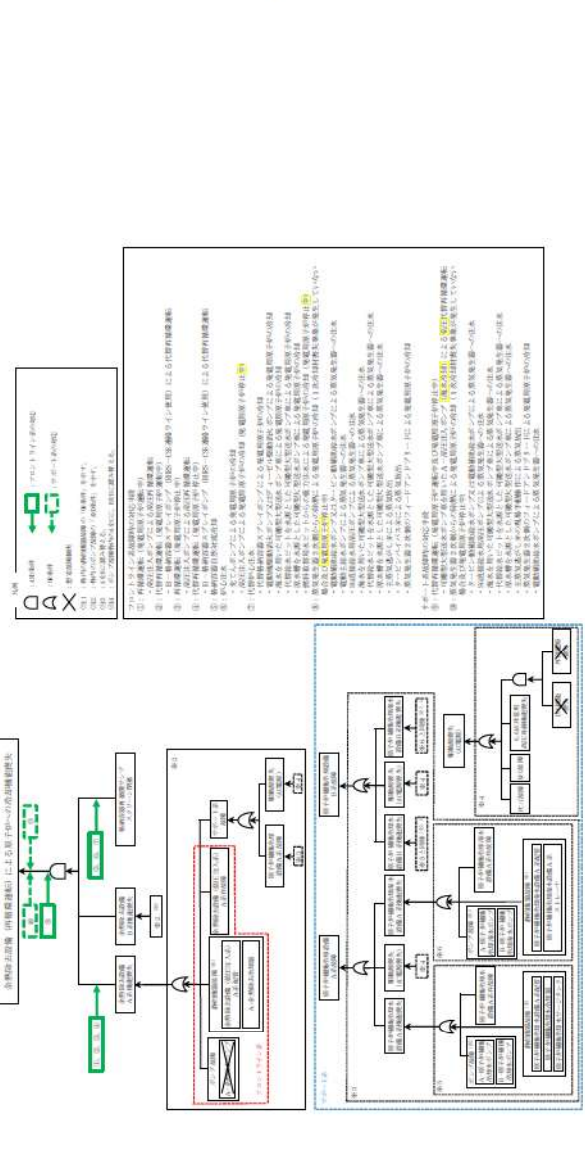

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																							
		<p>第1.4.3表 「審査基準」における要求事項ごとの給電対象設備（2/2）</p> <table border="1" data-bbox="1370 199 2004 726"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象条文</th> <th rowspan="2">供給対象設備</th> <th colspan="2">給電元</th> </tr> <tr> <th>設備</th> <th>母線</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">1.1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等</td> <td rowspan="6">2次冷却設備（補助給水設備）ポンプ・管</td> <td>非常用交流電源設備</td> <td>母-A非常用高圧母線 母-B非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td>置設代替交流電源設備</td> <td>母-A非常用高圧母線 母-B非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">炉内管設置電式直流電源設備</td> <td>A-直流母線</td> </tr> <tr> <td>B-直流母線</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2次冷却設備（主蒸気設備）サ</td> <td>炉内管設置電式直流電源設備</td> <td>A-直流母線 B-直流母線</td> </tr> <tr> <td>非常用交流電源設備</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ変圧器</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">代替格納容器スプレイポンプ</td> <td>置設代替交流電源設備</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ変圧器</td> </tr> <tr> <td>可搬型代替交流電源設備</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ変圧器</td> </tr> <tr> <td>代替炉内電気設備</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ変圧器</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">非装用電源*</td> <td rowspan="8">非常用交流電源設備 炉内管設置電式直流電源設備 置設代替交流電源設備</td> <td>A1-1計装用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>A2-1計装用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>B1-1計装用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>B2-1計装用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>C1-1計装用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>C2-1計装用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>D1-1計装用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>D2-1計装用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>A-8B設備直流電源分電盤</td> </tr> <tr> <td>B-8B設備直流電源分電盤</td> </tr> </tbody> </table> <p>※：供給母線は監視母線</p>	対象条文	供給対象設備	給電元		設備	母線	1.1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	2次冷却設備（補助給水設備）ポンプ・管	非常用交流電源設備	母-A非常用高圧母線 母-B非常用高圧母線	置設代替交流電源設備	母-A非常用高圧母線 母-B非常用高圧母線	炉内管設置電式直流電源設備	A-直流母線	B-直流母線	2次冷却設備（主蒸気設備）サ	炉内管設置電式直流電源設備	A-直流母線 B-直流母線	非常用交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ変圧器	代替格納容器スプレイポンプ	置設代替交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ変圧器	可搬型代替交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ変圧器	代替炉内電気設備	代替格納容器スプレイポンプ変圧器	非装用電源*	非常用交流電源設備 炉内管設置電式直流電源設備 置設代替交流電源設備	A1-1計装用交流分電盤	A2-1計装用交流分電盤	B1-1計装用交流分電盤	B2-1計装用交流分電盤	C1-1計装用交流分電盤	C2-1計装用交流分電盤	D1-1計装用交流分電盤	D2-1計装用交流分電盤	A-8B設備直流電源分電盤	B-8B設備直流電源分電盤	
対象条文	供給対象設備	給電元																																								
		設備	母線																																							
1.1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	2次冷却設備（補助給水設備）ポンプ・管	非常用交流電源設備	母-A非常用高圧母線 母-B非常用高圧母線																																							
		置設代替交流電源設備	母-A非常用高圧母線 母-B非常用高圧母線																																							
		炉内管設置電式直流電源設備	A-直流母線																																							
			B-直流母線																																							
		2次冷却設備（主蒸気設備）サ	炉内管設置電式直流電源設備	A-直流母線 B-直流母線																																						
			非常用交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ変圧器																																						
	代替格納容器スプレイポンプ	置設代替交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ変圧器																																							
		可搬型代替交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ変圧器																																							
		代替炉内電気設備	代替格納容器スプレイポンプ変圧器																																							
	非装用電源*	非常用交流電源設備 炉内管設置電式直流電源設備 置設代替交流電源設備	A1-1計装用交流分電盤																																							
			A2-1計装用交流分電盤																																							
			B1-1計装用交流分電盤																																							
			B2-1計装用交流分電盤																																							
			C1-1計装用交流分電盤																																							
C2-1計装用交流分電盤																																										
D1-1計装用交流分電盤																																										
D2-1計装用交流分電盤																																										
A-8B設備直流電源分電盤																																										
B-8B設備直流電源分電盤																																										

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第1.4.1回 機能喪失原因対策分析 (※心注本：フロントライン系機能喪失)</p>  <p>【比較のため、順序入れ替え】</p>  <p>第1.4.3回 機能喪失原因対策分析 (※心注本：サポート系機能喪失)</p>	<p>第1.4-1回 機能喪失原因対策分析</p> 	<p>第1.4-1回 機能喪失原因対策分析</p>  <p>第1.4-1回 機能喪失原因対策分析 (1/2)</p> 	<p>【大飯】              記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フロントライン系の故障等を赤字点線、サポート系の故障等を青点線で枠囲い。</li> <li>・対応手段を緑枠（実線、点線）とした。</li> <li>・故障想定箇所を×印で記載。</li> <li>・フロントライン系の故障、サポート系の故障を1つの図に記載している。</li> </ul>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉 【比較のため、順序入れ替え】 第1.4.4図 機能喪失原因対策分析（余熱除去運転：フロンtrightライン寄機能喪失） 第1.4.4図 機能喪失原因対策分析（余熱除去運転：サポート系機能喪失）	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉 第1.4.1図 機能喪失原因対策分析（2/2）	相違理由
			<p>【大阪】                      記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フロントライン系の故障等を赤点線、サポート系の故障等を青点線で枠囲い。</li> <li>・対応手段を緑枠（実線、点線）とした。</li> <li>・故障想定箇所を×印で記載。</li> <li>・フロントライン系の故障、サポート系の故障を1つの図に記載している。</li> </ul>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="745 316 1357 943" style="border: 1px solid black; height: 393px; width: 273px; margin: 0 auto;"></div> <p data-bbox="757 970 1341 991">第1.4-2図 非常時操作手順書（徴候ベース）「水位確保」における対応フロー</p> <div data-bbox="943 1241 1357 1265" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p> </div>	<div data-bbox="1473 743 1912 783" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>女川2号炉との比較対象なし</p> </div>	<p data-bbox="2024 667 2085 687">【女川】</p> <p data-bbox="2024 699 2145 719">記載方針の相違</p> <ul data-bbox="2024 724 2168 890" style="list-style-type: none"> <li>・ 泊の対応手順フローは重大事故等時の対応手段選択フローチャートにて示す。（大飯と同様）</li> </ul>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="745 316 1359 925" style="border: 1px solid black; height: 382px; width: 274px; margin: 0 auto;"></div> <p data-bbox="763 954 1344 973">第1.4-3図 非常時操作手順書（徴候ベース）「減圧冷却」における対応フロー</p> <div data-bbox="945 1241 1359 1268" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 10px auto; width: 185px;"> <p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p> </div>	<div data-bbox="1473 742 1915 785" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 197px; margin: 0 auto;"> <p>女川2号炉との比較対象なし</p> </div>	<p data-bbox="2027 667 2087 686">【女川】</p> <p data-bbox="2027 699 2145 718">記載方針の相違</p> <ul data-bbox="2027 726 2168 890" style="list-style-type: none"> <li>・泊の対応手順フローは重大事故等時の対応手段選択フローチャートにて示す。（大飯と同様）</li> </ul>



泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="741 320 1350 1062" style="border: 1px solid black; height: 465px; width: 272px; margin: 0 auto;"></div> <p data-bbox="757 1091 1335 1112">第1.4-4図 非常時操作手順書（微候ベース）「水位回復」における対応フロー</p> <div data-bbox="938 1235 1350 1262" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 10px auto; width: 184px;"> <p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p> </div>	<div data-bbox="1469 740 1912 783" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 198px; margin: 0 auto;"> <p>女川2号炉との比較対象なし</p> </div>	<p data-bbox="2018 663 2085 684">【女川】</p> <p data-bbox="2018 694 2145 715">記載方針の相違</p> <ul data-bbox="2018 721 2168 887" style="list-style-type: none"> <li>・泊の対応手順フローは重大事故等時の対応手段選択フローチャートにて示す。（大飯と同様）</li> </ul>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="743 320 1357 1118" style="border: 1px solid black; height: 500px; margin-bottom: 10px;"></div> <div data-bbox="779 1145 1321 1189" style="text-align: center;">                     第1.4-5図 非常時操作手順書（プラント停止中）「崩壊熱除去機能喪失」における対応フロー                 </div> <div data-bbox="943 1241 1357 1270" style="border: 1px solid black; text-align: center; margin-top: 10px;">                     枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。                 </div>	<div data-bbox="1473 743 1917 786" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                         女川2号炉との比較対象なし                     </div>	<p>【女川】                      記載方針の相違                      ・泊の対応手順フローは重大事故等時の対応手段選択フローチャートにて示す。（大飯と同様）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="748 376 1357 1139" style="border: 1px solid black; height: 478px; width: 272px; margin: 0 auto;"></div> <div data-bbox="792 1171 1308 1214" style="text-align: center; margin-top: 10px;">                     第1.4-6図 非常時操作手順書（プラント停止中）「原子炉冷却材喪失」における対応フロー                 </div>	<div data-bbox="1473 743 1912 786" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                         女川2号炉との比較対象なし                     </div>	<p>【女川】                      記載方針の相違                      ・泊の対応手順フローは重大事故等時の対応手段選択フローチャートにて示す。（大飯と同様）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

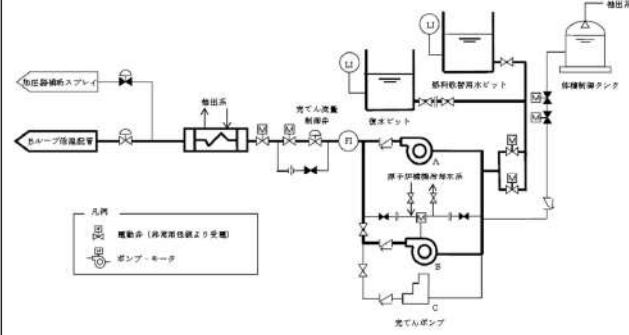
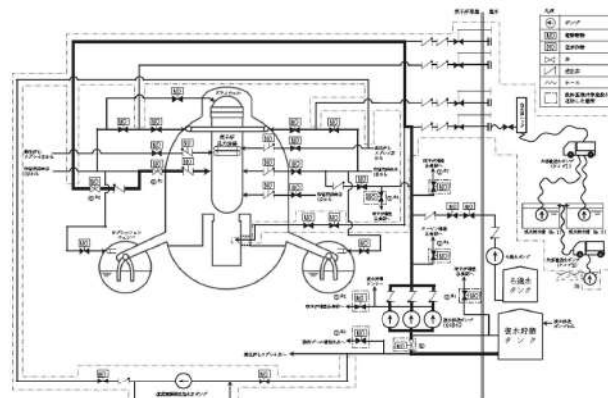
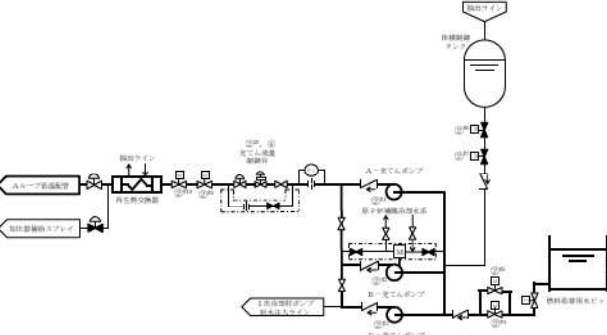
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="757 325 1361 868" style="border: 1px solid black; height: 340px; margin-bottom: 10px;"></div> <div data-bbox="779 896 1332 944" style="text-align: center;">                     第1.4-7図 非常時操作手順書（シビアアクシデント）「注水ストラテジ-4」における対応フロー                 </div> <div data-bbox="954 1238 1361 1264" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 20px; text-align: center;">                     枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。                 </div>	<div data-bbox="1473 743 1912 785" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                         女川2号炉との比較対象なし                     </div>	<p>【女川】                      記載方針の相違                      ・泊の対応手順フローは重大事故等時の対応手段選択フローチャートにて示す。（大飯と同様）</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																								
 <p>第1.4.5図 充てんポンプによる炉心注水 概略系統</p>	 <p>第1.4-8図 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による原子炉圧力容器への注水 概要図（1/2）</p> <table border="1" data-bbox="851 909 1254 1117"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①#1</td> <td>CRD 復水入口弁</td> </tr> <tr> <td>①#2</td> <td>SRWC サンプルリング取出止め弁</td> </tr> <tr> <td>①#3</td> <td>FR/W ポンプ吸込弁</td> </tr> <tr> <td>①#4</td> <td>T/B 緊急閉鎖弁</td> </tr> <tr> <td>①#5</td> <td>R/B B1F 緊急閉鎖弁</td> </tr> <tr> <td>①#6</td> <td>R/B B2F 緊急閉鎖弁</td> </tr> <tr> <td>①</td> <td>復水貯蔵タンク常用、非常用給水管連絡ライン止め弁</td> </tr> <tr> <td>①#1</td> <td>B/B A系 LPCI 注入閉鎖弁</td> </tr> <tr> <td>①#2</td> <td>B/B ヘッドスプレイトライン洗浄流量調整弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p>第1.4-8図 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による原子炉圧力容器への注水 概要図（2/2）</p>	操作手順	弁番号	①#1	CRD 復水入口弁	①#2	SRWC サンプルリング取出止め弁	①#3	FR/W ポンプ吸込弁	①#4	T/B 緊急閉鎖弁	①#5	R/B B1F 緊急閉鎖弁	①#6	R/B B2F 緊急閉鎖弁	①	復水貯蔵タンク常用、非常用給水管連絡ライン止め弁	①#1	B/B A系 LPCI 注入閉鎖弁	①#2	B/B ヘッドスプレイトライン洗浄流量調整弁	 <p>第1.4.2図 充てんポンプによる原子炉容器への注水 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1433 957 1948 1165"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①#1</td> <td>A-充てんポンプ</td> <td>起動確認</td> </tr> <tr> <td>①#2</td> <td>H-充てんポンプ</td> <td>起動確認</td> </tr> <tr> <td>①#3</td> <td>C-充てんポンプ</td> <td>起動確認</td> </tr> <tr> <td>①#4</td> <td>充てんポンプ入口燃料取替用水ベジット側入口弁A</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>①#5</td> <td>充てんポンプ入口燃料取替用水ベジット側入口弁B</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>①#6</td> <td>体積制御タンク出口第1止め弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>①#7</td> <td>体積制御タンク出口第2止め弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>①#8</td> <td>充てん流量制御弁</td> <td>調整開→全開</td> </tr> <tr> <td>①#9</td> <td>充てんラインC/A外部止め弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>①#10</td> <td>充てんラインC/A外部閉鎖弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>①</td> <td>充てん流量制御弁</td> <td>全開→調整開</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①#1	A-充てんポンプ	起動確認	①#2	H-充てんポンプ	起動確認	①#3	C-充てんポンプ	起動確認	①#4	充てんポンプ入口燃料取替用水ベジット側入口弁A	全開→全開	①#5	充てんポンプ入口燃料取替用水ベジット側入口弁B	全開→全開	①#6	体積制御タンク出口第1止め弁	全開→全開	①#7	体積制御タンク出口第2止め弁	全開→全開	①#8	充てん流量制御弁	調整開→全開	①#9	充てんラインC/A外部止め弁	全開→全開	①#10	充てんラインC/A外部閉鎖弁	全開→全開	①	充てん流量制御弁	全開→調整開	<p>【大飯】                  記載方針の相違（女川審査実績の反映）                  ・凡例の記載内容充実                  ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】                  設備の相違（BWR固有の対応手段）</p>
操作手順	弁番号																																																										
①#1	CRD 復水入口弁																																																										
①#2	SRWC サンプルリング取出止め弁																																																										
①#3	FR/W ポンプ吸込弁																																																										
①#4	T/B 緊急閉鎖弁																																																										
①#5	R/B B1F 緊急閉鎖弁																																																										
①#6	R/B B2F 緊急閉鎖弁																																																										
①	復水貯蔵タンク常用、非常用給水管連絡ライン止め弁																																																										
①#1	B/B A系 LPCI 注入閉鎖弁																																																										
①#2	B/B ヘッドスプレイトライン洗浄流量調整弁																																																										
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																									
①#1	A-充てんポンプ	起動確認																																																									
①#2	H-充てんポンプ	起動確認																																																									
①#3	C-充てんポンプ	起動確認																																																									
①#4	充てんポンプ入口燃料取替用水ベジット側入口弁A	全開→全開																																																									
①#5	充てんポンプ入口燃料取替用水ベジット側入口弁B	全開→全開																																																									
①#6	体積制御タンク出口第1止め弁	全開→全開																																																									
①#7	体積制御タンク出口第2止め弁	全開→全開																																																									
①#8	充てん流量制御弁	調整開→全開																																																									
①#9	充てんラインC/A外部止め弁	全開→全開																																																									
①#10	充てんラインC/A外部閉鎖弁	全開→全開																																																									
①	充てん流量制御弁	全開→調整開																																																									

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

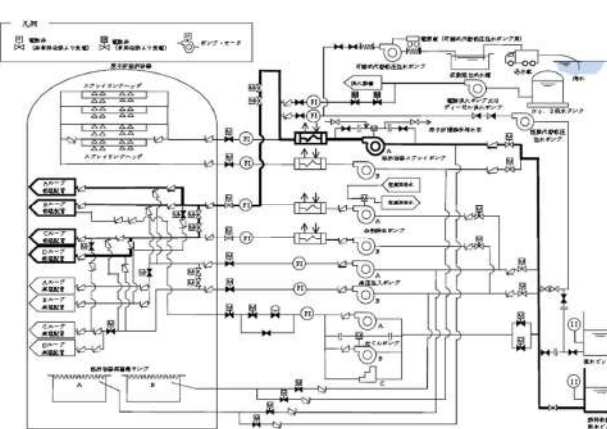
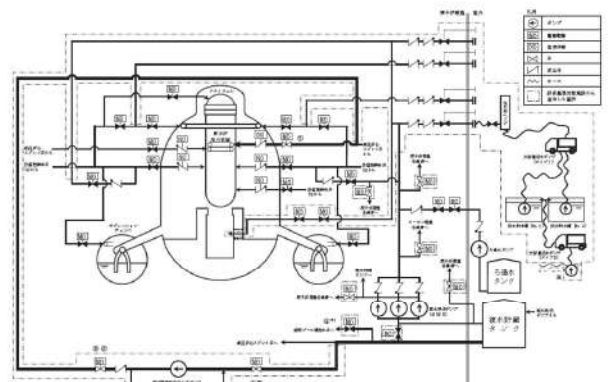
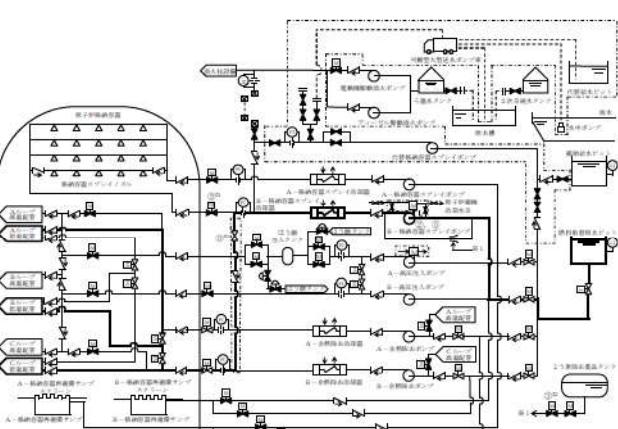
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<div style="text-align: center;"> <p>※1：中央制御室での状態確認に必要な滞在時間                  ※2：機器の操作時間及び動作時間に見込んだ時間</p> </div> <p style="text-align: center;">第 1.4-9 図 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p>	<div style="text-align: center;"> <p>※1：機器の操作時間及び動作時間に見込んだ時間</p> </div> <p style="text-align: center;">第 1.4.3 図 充てんポンプによる原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p>	<p>【女川】                  設備の相違(BWR固有の対応手段)</p> <p>【大飯】                  記載方針の相違(女川審査表続の反映)                  ・泊は中央制御室のみで操作する手順においてもタイムチャートを添付している。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																												
 <p>第1.4.6図 A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水 概略系統</p>	 <p>第1.4-10図 低圧代替注水系（常設）（直流駆動低圧注水系ポンプ）による原子炉圧力容器への注水 概要図 (1/2)</p> <table border="1" data-bbox="862 949 1243 1053"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>申名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>RPIS注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>②*</td> <td>PRRISポンプ吸込弁</td> </tr> <tr> <td>③*</td> <td>DCLIポンプ吸込弁</td> </tr> <tr> <td>④⑤</td> <td>DCLI注入流量調整弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を要する旨があることを示す。</p> <p>第1.4-10図 低圧代替注水系（常設）（直流駆動低圧注水系ポンプ）による原子炉圧力容器への注水 概要図 (2/2)</p>	操作手順	申名称	①	RPIS注入隔離弁	②*	PRRISポンプ吸込弁	③*	DCLIポンプ吸込弁	④⑤	DCLI注入流量調整弁	 <p>第1.4.4図 B格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1444 1021 1948 1125"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>②</td> <td>B格納容器スプレイポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> <tr> <td>③*</td> <td>B格納容器スプレイポンプ冷却器出口CV外側隔離弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④*</td> <td>上ろ差除去薬品タンク注入ライン止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑤*</td> <td>B格納容器冷却器出口熱交換器スプレイ水注入ライン止め弁（SA弁）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>B格納容器スプレイポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を要する旨があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	②	B格納容器スプレイポンプ	起動→停止	③*	B格納容器スプレイポンプ冷却器出口CV外側隔離弁	全閉→全開	④*	上ろ差除去薬品タンク注入ライン止め弁	全開→全閉	⑤*	B格納容器冷却器出口熱交換器スプレイ水注入ライン止め弁（SA弁）	全開→全閉	⑥	B格納容器スプレイポンプ	停止→起動	<p>【大飯】              記載方針の相違（女川審査実績の反映）              ・凡例の記載内容充実              ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】              設備の相違（BWR固有の対応手段）</p>
操作手順	申名称																														
①	RPIS注入隔離弁																														
②*	PRRISポンプ吸込弁																														
③*	DCLIポンプ吸込弁																														
④⑤	DCLI注入流量調整弁																														
操作手順	操作対象機器	状態の変化																													
②	B格納容器スプレイポンプ	起動→停止																													
③*	B格納容器スプレイポンプ冷却器出口CV外側隔離弁	全閉→全開																													
④*	上ろ差除去薬品タンク注入ライン止め弁	全開→全閉																													
⑤*	B格納容器冷却器出口熱交換器スプレイ水注入ライン止め弁（SA弁）	全開→全閉																													
⑥	B格納容器スプレイポンプ	停止→起動																													

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

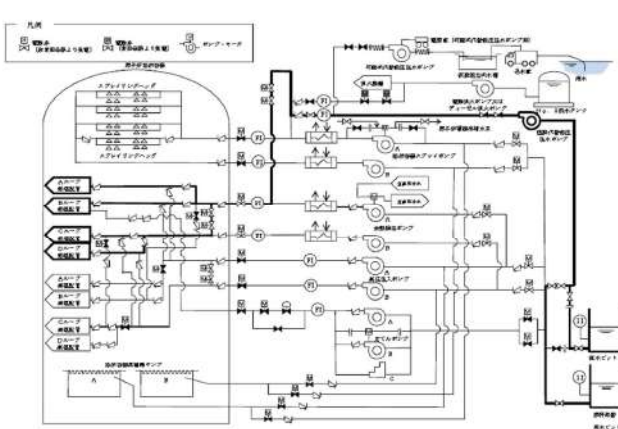
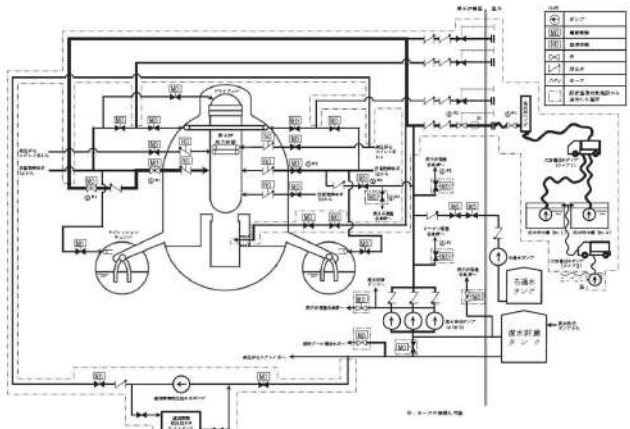
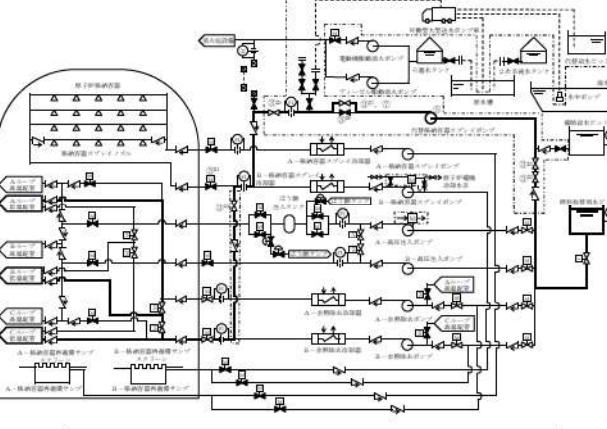
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第1.4.7図 A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水 タイムチャート</p> <p>※ 現番移動時間には貯降装置蓄留時間を含む。</p>	<p>第1.4-11図 低圧代替注水系（常設）（直流動動低圧注水系ポンプ）による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p> <p>※1：中央制御室での状況確認に必要な確認時間          ※2：機器の操作時間及び動作時間に見込んだ時間          ※3：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間に見込んだ時間</p>	<p>第1.4.5図 B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p> <p>※1：機器の操作時間及び動作時間に見込んだ時間          ※2：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間に見込んだ時間          ※3：機器の操作時間に見込んだ時間</p>	<p>【大飯】              記載方針の相違（女川審査実績の反映）              ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ              ・補足の充実              ・備考欄の追加</p> <p>【女川】              設備の相違（BWR固有の対応手段）</p>



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
 <p>第1.4.8図 駆動代替格納器注水ポンプによる代替炉心注水 概略図</p>	 <p>第1.4-12図 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉压力容器への注水 概要図（1/2）</p> <table border="1" data-bbox="806 877 1299 1133"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>④<sup>#1</sup></td> <td>T/B 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>④<sup>#2</sup></td> <td>R/B BIF 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>④<sup>#3</sup></td> <td>R/B 1F 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤<sup>#1</sup></td> <td>R/R A系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤<sup>#2</sup></td> <td>R/R B系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑥<sup>#1</sup></td> <td>原子炉・格納容器下部注水弁</td> </tr> <tr> <td>⑥<sup>#2</sup></td> <td>緊急時原子炉東側外部注水入口弁</td> </tr> <tr> <td>⑩<sup>#1</sup></td> <td>R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁</td> </tr> <tr> <td>⑩<sup>#2</sup></td> <td>R/R B系格納容器冷却ライン洗浄流量調整弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p>第1.4-12図 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉压力容器への注水 概要図（2/2）</p>	操作手順	弁名称	④ <sup>#1</sup>	T/B 緊急時隔離弁	④ <sup>#2</sup>	R/B BIF 緊急時隔離弁	④ <sup>#3</sup>	R/B 1F 緊急時隔離弁	⑤ <sup>#1</sup>	R/R A系 LPCI 注入隔離弁	⑤ <sup>#2</sup>	R/R B系 LPCI 注入隔離弁	⑥ <sup>#1</sup>	原子炉・格納容器下部注水弁	⑥ <sup>#2</sup>	緊急時原子炉東側外部注水入口弁	⑩ <sup>#1</sup>	R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁	⑩ <sup>#2</sup>	R/R B系格納容器冷却ライン洗浄流量調整弁	 <p>第1.4.6図 代替格納器スプレイポンプによる原子炉容器への注水 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1433 989 1948 1133"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>②<sup>#1</sup></td> <td>B系格納器スプレイポンプ出口（B系格納器）</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#2</sup></td> <td>A系格納器スプレイポンプ入口（第1止め弁）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#3</sup></td> <td>A系格納器スプレイポンプ入口（第2止め弁）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#4</sup></td> <td>B系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#5</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#6</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#7</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#8</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#9</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#10</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#11</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#12</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#13</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#14</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#15</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#16</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#17</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#18</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#19</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#20</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#21</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#22</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#23</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#24</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#25</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#26</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#27</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#28</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#29</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#30</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#31</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#32</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#33</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#34</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#35</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#36</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#37</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#38</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#39</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#40</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#41</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#42</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#43</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#44</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#45</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#46</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#47</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#48</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#49</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#50</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#51</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#52</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#53</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#54</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#55</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#56</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#57</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#58</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#59</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#60</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#61</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#62</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#63</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#64</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#65</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#66</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#67</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#68</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#69</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#70</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#71</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#72</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#73</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#74</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#75</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#76</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#77</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#78</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#79</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#80</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#81</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#82</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#83</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#84</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#85</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#86</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#87</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#88</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#89</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#90</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#91</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#92</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#93</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#94</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#95</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#96</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#97</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#98</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#99</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#100</sup></td> <td>A系格納器（注水開始時）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	② <sup>#1</sup>	B系格納器スプレイポンプ出口（B系格納器）	全閉確認	② <sup>#2</sup>	A系格納器スプレイポンプ入口（第1止め弁）	全開→全閉	② <sup>#3</sup>	A系格納器スプレイポンプ入口（第2止め弁）	全開→全閉	② <sup>#4</sup>	B系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#5</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#6</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#7</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#8</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#9</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#10</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#11</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#12</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#13</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#14</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#15</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#16</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#17</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#18</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#19</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#20</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#21</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#22</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#23</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#24</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#25</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#26</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#27</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#28</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#29</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#30</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#31</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#32</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#33</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#34</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#35</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#36</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#37</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#38</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#39</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#40</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#41</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#42</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#43</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#44</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#45</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#46</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#47</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#48</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#49</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#50</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#51</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#52</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#53</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#54</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#55</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#56</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#57</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#58</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#59</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#60</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#61</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#62</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#63</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#64</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#65</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#66</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#67</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#68</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#69</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#70</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#71</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#72</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#73</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#74</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#75</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#76</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#77</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#78</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#79</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#80</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#81</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#82</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#83</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#84</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#85</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#86</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#87</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#88</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#89</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#90</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#91</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#92</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#93</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#94</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#95</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#96</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#97</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#98</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#99</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	② <sup>#100</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉	<p>【大飯】                  記載方針の相違（女川審査実績の反映）                  ・凡例の記載内容充実                  ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】                  設備の相違（BWR固有の対応手段）</p>
操作手順	弁名称																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
④ <sup>#1</sup>	T/B 緊急時隔離弁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
④ <sup>#2</sup>	R/B BIF 緊急時隔離弁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
④ <sup>#3</sup>	R/B 1F 緊急時隔離弁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
⑤ <sup>#1</sup>	R/R A系 LPCI 注入隔離弁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
⑤ <sup>#2</sup>	R/R B系 LPCI 注入隔離弁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
⑥ <sup>#1</sup>	原子炉・格納容器下部注水弁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
⑥ <sup>#2</sup>	緊急時原子炉東側外部注水入口弁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
⑩ <sup>#1</sup>	R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
⑩ <sup>#2</sup>	R/R B系格納容器冷却ライン洗浄流量調整弁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#1</sup>	B系格納器スプレイポンプ出口（B系格納器）	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#2</sup>	A系格納器スプレイポンプ入口（第1止め弁）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#3</sup>	A系格納器スプレイポンプ入口（第2止め弁）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#4</sup>	B系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#5</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#6</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#7</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#8</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#9</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#10</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#11</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#12</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#13</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#14</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#15</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#16</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#17</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#18</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#19</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#20</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#21</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#22</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#23</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#24</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#25</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#26</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#27</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#28</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#29</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#30</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#31</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#32</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#33</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#34</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#35</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#36</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#37</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#38</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#39</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#40</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#41</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#42</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#43</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#44</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#45</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#46</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#47</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#48</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#49</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#50</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#51</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#52</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#53</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#54</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#55</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#56</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#57</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#58</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#59</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#60</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#61</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#62</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#63</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#64</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#65</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#66</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#67</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#68</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#69</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#70</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#71</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#72</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#73</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#74</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#75</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#76</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#77</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#78</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#79</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#80</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#81</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#82</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#83</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#84</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#85</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#86</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#87</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#88</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#89</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#90</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#91</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#92</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#93</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#94</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#95</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#96</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#97</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#98</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#99</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
② <sup>#100</sup>	A系格納器（注水開始時）	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第1.4-13図 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p>	<p>第1.4-13図 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p>	<p>フロントライン系故障時</p>	<p>【大飯】                  設備の相違                  （相違理由②）</p>
<p>第1.4-14図 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p>	<p>第1.4-14図 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p>	<p>サポート系故障時</p>	<p>【大飯】                  設備の相違                  （相違理由②）</p>
<p>第1.4-15図 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p>	<p>第1.4-15図 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p>	<p>第1.4.7図 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水 タイムチャート</p>	<p>【大飯】                  設備の相違                  （相違理由②）</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

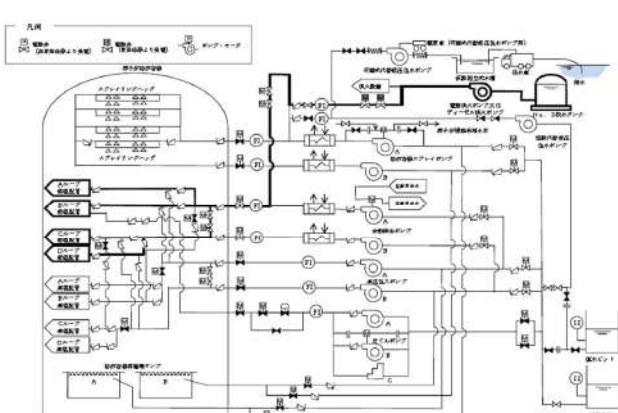
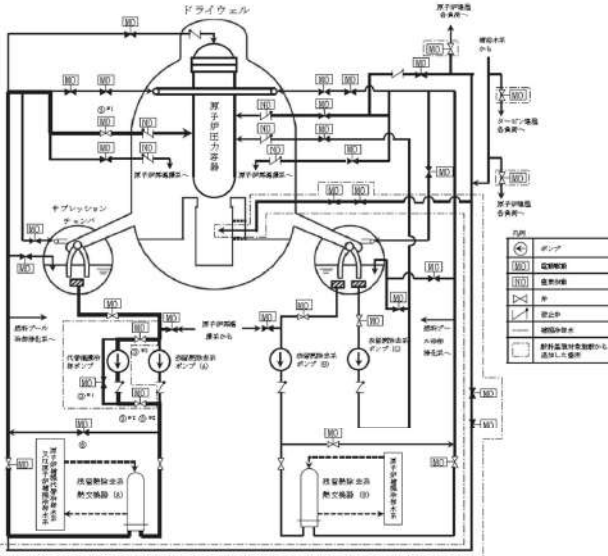
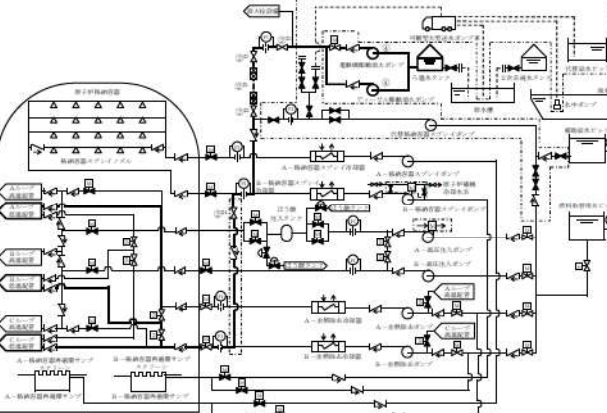
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<div style="text-align: center;"> <p>経過時間(分)</p> <p>第1.4.8図 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水              (原子炉格納容器注水から原子炉容器への注水切替え)              タイムチャート</p> </div>	<p>【大飯】              設備の相違              (相違理由①)</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																					
 <p>凡例</p> <p>① 電動消防ポンプ ② ディーゼル消防ポンプ ③ 消防用水ポンプ</p> <p>図 1.4.10 図 電動消防ポンプ又はディーゼル消防ポンプによる代替炉心注水 概略図</p>	 <p>第 1.4-16 図 代替循環冷却系による原子炉圧力容器への注水 概要図 (1/2)</p> <table border="1" data-bbox="772 981 1332 1157"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>③ #1</td> <td>代替循環冷却ポンプバイパス弁</td> </tr> <tr> <td>③ #2 ⑤ #2</td> <td>代替循環冷却ポンプ流量調整弁</td> </tr> <tr> <td>③ #3</td> <td>代替循環冷却ポンプ吸込弁</td> </tr> <tr> <td>⑤ #1</td> <td>RHR A系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>RHR 熱交換器 (A) バイパス弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p>第 1.4-16 図 代替循環冷却系による原子炉圧力容器への注水 概要図 (2/2)</p>	操作手順	弁名称	③ #1	代替循環冷却ポンプバイパス弁	③ #2 ⑤ #2	代替循環冷却ポンプ流量調整弁	③ #3	代替循環冷却ポンプ吸込弁	⑤ #1	RHR A系 LPCI 注入隔離弁	⑥	RHR 熱交換器 (A) バイパス弁	 <p>凡例</p> <p>① 電動消防ポンプ ② ディーゼル消防ポンプ ③ 消防用水ポンプ</p> <p>図 1.4.9 図 電動機駆動消防ポンプ又はディーゼル駆動消防ポンプによる原子炉容器への注水 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1444 997 1937 1125"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の要求</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>電動消防ポンプ</td> <td>停止</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>ディーゼル消防ポンプ</td> <td>停止</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>消防用水ポンプ</td> <td>停止</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>代替循環冷却ポンプ</td> <td>停止</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>代替循環冷却ポンプ</td> <td>停止</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>代替循環冷却ポンプ</td> <td>停止</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>代替循環冷却ポンプ</td> <td>停止</td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td>代替循環冷却ポンプ</td> <td>停止</td> </tr> <tr> <td>⑨</td> <td>代替循環冷却ポンプ</td> <td>停止</td> </tr> <tr> <td>⑩</td> <td>代替循環冷却ポンプ</td> <td>停止</td> </tr> <tr> <td>⑪</td> <td>代替循環冷却ポンプ</td> <td>停止</td> </tr> <tr> <td>⑫</td> <td>代替循環冷却ポンプ</td> <td>停止</td> </tr> <tr> <td>⑬</td> <td>代替循環冷却ポンプ</td> <td>停止</td> </tr> <tr> <td>⑭</td> <td>代替循環冷却ポンプ</td> <td>停止</td> </tr> <tr> <td>⑮</td> <td>代替循環冷却ポンプ</td> <td>停止</td> </tr> <tr> <td>⑯</td> <td>代替循環冷却ポンプ</td> <td>停止</td> </tr> <tr> <td>⑰</td> <td>代替循環冷却ポンプ</td> <td>停止</td> </tr> <tr> <td>⑱</td> <td>代替循環冷却ポンプ</td> <td>停止</td> </tr> <tr> <td>⑲</td> <td>代替循環冷却ポンプ</td> <td>停止</td> </tr> <tr> <td>⑳</td> <td>代替循環冷却ポンプ</td> <td>停止</td> </tr> <tr> <td>㉑</td> <td>代替循環冷却ポンプ</td> <td>停止</td> </tr> <tr> <td>㉒</td> <td>代替循環冷却ポンプ</td> <td>停止</td> </tr> <tr> <td>㉓</td> <td>代替循環冷却ポンプ</td> <td>停止</td> </tr> <tr> <td>㉔</td> <td>代替循環冷却ポンプ</td> <td>停止</td> </tr> <tr> <td>㉕</td> <td>代替循環冷却ポンプ</td> <td>停止</td> </tr> <tr> <td>㉖</td> <td>代替循環冷却ポンプ</td> <td>停止</td> </tr> <tr> <td>㉗</td> <td>代替循環冷却ポンプ</td> <td>停止</td> </tr> <tr> <td>㉘</td> <td>代替循環冷却ポンプ</td> <td>停止</td> </tr> <tr> <td>㉙</td> <td>代替循環冷却ポンプ</td> <td>停止</td> </tr> <tr> <td>㉚</td> <td>代替循環冷却ポンプ</td> <td>停止</td> </tr> <tr> <td>㉛</td> <td>代替循環冷却ポンプ</td> <td>停止</td> </tr> <tr> <td>㉜</td> <td>代替循環冷却ポンプ</td> <td>停止</td> </tr> <tr> <td>㉝</td> <td>代替循環冷却ポンプ</td> <td>停止</td> </tr> <tr> <td>㉞</td> <td>代替循環冷却ポンプ</td> <td>停止</td> </tr> <tr> <td>㉟</td> <td>代替循環冷却ポンプ</td> <td>停止</td> </tr> <tr> <td>㊱</td> <td>代替循環冷却ポンプ</td> <td>停止</td> </tr> <tr> <td>㊲</td> <td>代替循環冷却ポンプ</td> <td>停止</td> </tr> <tr> <td>㊳</td> <td>代替循環冷却ポンプ</td> <td>停止</td> </tr> <tr> <td>㊴</td> <td>代替循環冷却ポンプ</td> <td>停止</td> </tr> <tr> <td>㊵</td> <td>代替循環冷却ポンプ</td> <td>停止</td> </tr> <tr> <td>㊶</td> <td>代替循環冷却ポンプ</td> <td>停止</td> </tr> <tr> <td>㊷</td> <td>代替循環冷却ポンプ</td> <td>停止</td> </tr> <tr> <td>㊸</td> <td>代替循環冷却ポンプ</td> <td>停止</td> </tr> <tr> <td>㊹</td> <td>代替循環冷却ポンプ</td> <td>停止</td> </tr> <tr> <td>㊺</td> <td>代替循環冷却ポンプ</td> <td>停止</td> </tr> <tr> <td>㊻</td> <td>代替循環冷却ポンプ</td> <td>停止</td> </tr> <tr> <td>㊼</td> <td>代替循環冷却ポンプ</td> <td>停止</td> </tr> <tr> <td>㊽</td> <td>代替循環冷却ポンプ</td> <td>停止</td> </tr> <tr> <td>㊾</td> <td>代替循環冷却ポンプ</td> <td>停止</td> </tr> <tr> <td>㊿</td> <td>代替循環冷却ポンプ</td> <td>停止</td> </tr> </tbody> </table> <p>㉑～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。          ※：どちらか1台を起動する。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の要求	①	電動消防ポンプ	停止	②	ディーゼル消防ポンプ	停止	③	消防用水ポンプ	停止	④	代替循環冷却ポンプ	停止	⑤	代替循環冷却ポンプ	停止	⑥	代替循環冷却ポンプ	停止	⑦	代替循環冷却ポンプ	停止	⑧	代替循環冷却ポンプ	停止	⑨	代替循環冷却ポンプ	停止	⑩	代替循環冷却ポンプ	停止	⑪	代替循環冷却ポンプ	停止	⑫	代替循環冷却ポンプ	停止	⑬	代替循環冷却ポンプ	停止	⑭	代替循環冷却ポンプ	停止	⑮	代替循環冷却ポンプ	停止	⑯	代替循環冷却ポンプ	停止	⑰	代替循環冷却ポンプ	停止	⑱	代替循環冷却ポンプ	停止	⑲	代替循環冷却ポンプ	停止	⑳	代替循環冷却ポンプ	停止	㉑	代替循環冷却ポンプ	停止	㉒	代替循環冷却ポンプ	停止	㉓	代替循環冷却ポンプ	停止	㉔	代替循環冷却ポンプ	停止	㉕	代替循環冷却ポンプ	停止	㉖	代替循環冷却ポンプ	停止	㉗	代替循環冷却ポンプ	停止	㉘	代替循環冷却ポンプ	停止	㉙	代替循環冷却ポンプ	停止	㉚	代替循環冷却ポンプ	停止	㉛	代替循環冷却ポンプ	停止	㉜	代替循環冷却ポンプ	停止	㉝	代替循環冷却ポンプ	停止	㉞	代替循環冷却ポンプ	停止	㉟	代替循環冷却ポンプ	停止	㊱	代替循環冷却ポンプ	停止	㊲	代替循環冷却ポンプ	停止	㊳	代替循環冷却ポンプ	停止	㊴	代替循環冷却ポンプ	停止	㊵	代替循環冷却ポンプ	停止	㊶	代替循環冷却ポンプ	停止	㊷	代替循環冷却ポンプ	停止	㊸	代替循環冷却ポンプ	停止	㊹	代替循環冷却ポンプ	停止	㊺	代替循環冷却ポンプ	停止	㊻	代替循環冷却ポンプ	停止	㊼	代替循環冷却ポンプ	停止	㊽	代替循環冷却ポンプ	停止	㊾	代替循環冷却ポンプ	停止	㊿	代替循環冷却ポンプ	停止	<p>【大飯】              記載方針の相違              (女川審査実績の反映)              ・凡例の記載内容充実              ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】              設備の相違(BWR固有の対応手段)</p>
操作手順	弁名称																																																																																																																																																																							
③ #1	代替循環冷却ポンプバイパス弁																																																																																																																																																																							
③ #2 ⑤ #2	代替循環冷却ポンプ流量調整弁																																																																																																																																																																							
③ #3	代替循環冷却ポンプ吸込弁																																																																																																																																																																							
⑤ #1	RHR A系 LPCI 注入隔離弁																																																																																																																																																																							
⑥	RHR 熱交換器 (A) バイパス弁																																																																																																																																																																							
操作手順	操作対象機器	状態の要求																																																																																																																																																																						
①	電動消防ポンプ	停止																																																																																																																																																																						
②	ディーゼル消防ポンプ	停止																																																																																																																																																																						
③	消防用水ポンプ	停止																																																																																																																																																																						
④	代替循環冷却ポンプ	停止																																																																																																																																																																						
⑤	代替循環冷却ポンプ	停止																																																																																																																																																																						
⑥	代替循環冷却ポンプ	停止																																																																																																																																																																						
⑦	代替循環冷却ポンプ	停止																																																																																																																																																																						
⑧	代替循環冷却ポンプ	停止																																																																																																																																																																						
⑨	代替循環冷却ポンプ	停止																																																																																																																																																																						
⑩	代替循環冷却ポンプ	停止																																																																																																																																																																						
⑪	代替循環冷却ポンプ	停止																																																																																																																																																																						
⑫	代替循環冷却ポンプ	停止																																																																																																																																																																						
⑬	代替循環冷却ポンプ	停止																																																																																																																																																																						
⑭	代替循環冷却ポンプ	停止																																																																																																																																																																						
⑮	代替循環冷却ポンプ	停止																																																																																																																																																																						
⑯	代替循環冷却ポンプ	停止																																																																																																																																																																						
⑰	代替循環冷却ポンプ	停止																																																																																																																																																																						
⑱	代替循環冷却ポンプ	停止																																																																																																																																																																						
⑲	代替循環冷却ポンプ	停止																																																																																																																																																																						
⑳	代替循環冷却ポンプ	停止																																																																																																																																																																						
㉑	代替循環冷却ポンプ	停止																																																																																																																																																																						
㉒	代替循環冷却ポンプ	停止																																																																																																																																																																						
㉓	代替循環冷却ポンプ	停止																																																																																																																																																																						
㉔	代替循環冷却ポンプ	停止																																																																																																																																																																						
㉕	代替循環冷却ポンプ	停止																																																																																																																																																																						
㉖	代替循環冷却ポンプ	停止																																																																																																																																																																						
㉗	代替循環冷却ポンプ	停止																																																																																																																																																																						
㉘	代替循環冷却ポンプ	停止																																																																																																																																																																						
㉙	代替循環冷却ポンプ	停止																																																																																																																																																																						
㉚	代替循環冷却ポンプ	停止																																																																																																																																																																						
㉛	代替循環冷却ポンプ	停止																																																																																																																																																																						
㉜	代替循環冷却ポンプ	停止																																																																																																																																																																						
㉝	代替循環冷却ポンプ	停止																																																																																																																																																																						
㉞	代替循環冷却ポンプ	停止																																																																																																																																																																						
㉟	代替循環冷却ポンプ	停止																																																																																																																																																																						
㊱	代替循環冷却ポンプ	停止																																																																																																																																																																						
㊲	代替循環冷却ポンプ	停止																																																																																																																																																																						
㊳	代替循環冷却ポンプ	停止																																																																																																																																																																						
㊴	代替循環冷却ポンプ	停止																																																																																																																																																																						
㊵	代替循環冷却ポンプ	停止																																																																																																																																																																						
㊶	代替循環冷却ポンプ	停止																																																																																																																																																																						
㊷	代替循環冷却ポンプ	停止																																																																																																																																																																						
㊸	代替循環冷却ポンプ	停止																																																																																																																																																																						
㊹	代替循環冷却ポンプ	停止																																																																																																																																																																						
㊺	代替循環冷却ポンプ	停止																																																																																																																																																																						
㊻	代替循環冷却ポンプ	停止																																																																																																																																																																						
㊼	代替循環冷却ポンプ	停止																																																																																																																																																																						
㊽	代替循環冷却ポンプ	停止																																																																																																																																																																						
㊾	代替循環冷却ポンプ	停止																																																																																																																																																																						
㊿	代替循環冷却ポンプ	停止																																																																																																																																																																						

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉		経過時間(分)	備考
手順の項目	要員(数)	10 15 20 25 30 35 40 45 50	
電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水	運転員等(中央制御室)	1	電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水開始
	運転員等(現場)	1	系統確認 系統構成 ポンプ起動 注水操作
	運転員等(現場)	1	移動 系統構成
	運転員等(現場)	1	移動 RHRSS-CSSS連絡ライン弁及び消火水ライン弁電源入

※：表裏逆動時間には防護員着脱時間を含む。  
 第1.4.11図 電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水 タイムチャート

女川原子力発電所2号炉		経過時間(分)	備考
手順の項目	要員(数)	10 15 20 25 30 35 40 45 50 55 60 65 70	
電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉圧力容器への注水	運転員(中央制御室) A	1	15分 原子炉圧力容器への注水 電源確認※1 系統構成、ポンプ起動※2

※1：中央制御室での状況確認に必要な確認時間  
 ※2：機器の操作時間及び動作時間に余裕を見込んだ時間

第 1.4-17 図 代替循環冷却系による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート

泊発電所3号炉		経過時間(分)	備考
手順の項目	要員(数)	10 20 30 40 50	
電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉圧力容器への注水	運転員(中央制御室) A	1	電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉圧力容器への注水開始
	運転員(現場) B	1	系統構成※1 移動、系統構成※2
	運転員(現場) C	1	移動、系統構成※2
	運転員(現場) C	1	移動、系統構成※2

※1：機器の操作時間及び動作時間に余裕を見込んだ時間  
 ※2：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間に見込んだ時間  
 ※3：機器の操作時間に見込んだ時間

第 1.4.10 図 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉圧力容器への注水 タイムチャート

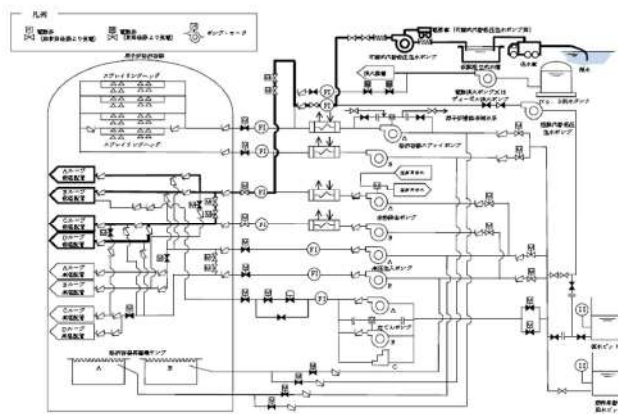
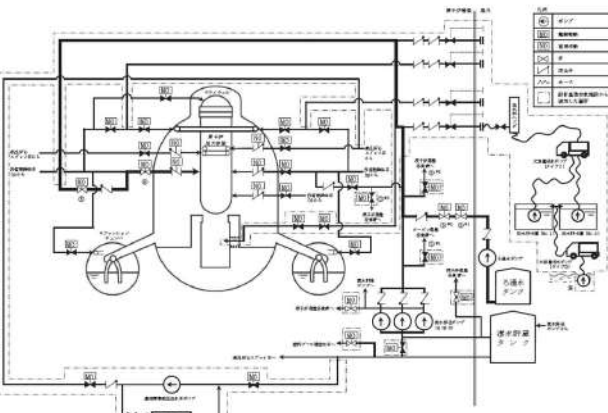
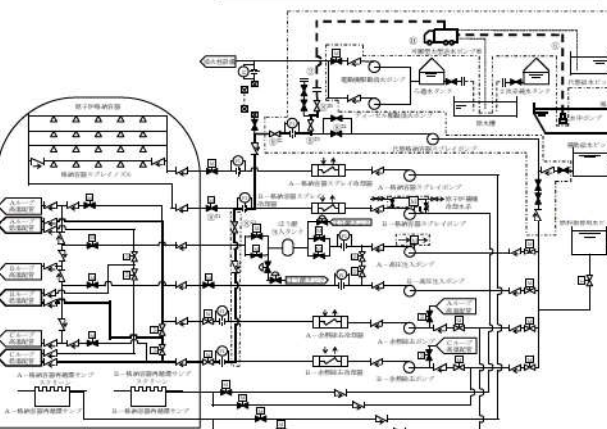
相違理由

【大飯】  
 記載方針の相違（女川審査実績の反映）  
 ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ  
 ・補足の充実  
 ・備考欄の追加

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																							
 <p>図 1.4.12 図 可搬式代替圧力ポンプによる代替押し込み 概略系統</p>	 <p>第 1.4-18 図 ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水 概要図 (1/2)</p> <table border="1" data-bbox="772 877 1344 1117"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>③ #1</td> <td>T/B 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>③ #2</td> <td>R/B B1F 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>③ #3</td> <td>R/B 1F 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤ #1</td> <td>FW 系連絡第一弁</td> </tr> <tr> <td>⑤ #2</td> <td>FW 系連絡第二弁</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>R/R A系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td>R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p>第 1.4-18 図 ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水 概要図 (2/2)</p>	操作手順	弁名称	③ #1	T/B 緊急時隔離弁	③ #2	R/B B1F 緊急時隔離弁	③ #3	R/B 1F 緊急時隔離弁	⑤ #1	FW 系連絡第一弁	⑤ #2	FW 系連絡第二弁	⑥	R/R A系 LPCI 注入隔離弁	⑧	R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁	 <p>第 1.4.11 図 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1411 989 1971 1133"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>設備の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>可搬型コース</td> <td>コース接続</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>可搬型コース</td> <td>コース接続</td> </tr> <tr> <td>③ #1</td> <td>圧力調整弁スプレッドポジション調整</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>③ #2</td> <td>圧力調整弁スプレッドポジション調整</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>③ #3</td> <td>圧力調整弁スプレッドポジション調整</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>圧力調整弁スプレッドポジション調整</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤ #1</td> <td>圧力調整弁スプレッドポジション調整</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤ #2</td> <td>圧力調整弁スプレッドポジション調整</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤ #3</td> <td>圧力調整弁スプレッドポジション調整</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>圧力調整弁スプレッドポジション調整</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>圧力調整弁スプレッドポジション調整</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td>圧力調整弁スプレッドポジション調整</td> <td>全閉→全開</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	設備の変化	①	可搬型コース	コース接続	②	可搬型コース	コース接続	③ #1	圧力調整弁スプレッドポジション調整	全閉→全開	③ #2	圧力調整弁スプレッドポジション調整	全閉→全開	③ #3	圧力調整弁スプレッドポジション調整	全閉→全開	④	圧力調整弁スプレッドポジション調整	全閉→全開	⑤ #1	圧力調整弁スプレッドポジション調整	全閉→全開	⑤ #2	圧力調整弁スプレッドポジション調整	全閉→全開	⑤ #3	圧力調整弁スプレッドポジション調整	全閉→全開	⑥	圧力調整弁スプレッドポジション調整	全閉→全開	⑦	圧力調整弁スプレッドポジション調整	全閉→全開	⑧	圧力調整弁スプレッドポジション調整	全閉→全開	<p>【大飯】                  記載方針の相違（女川審査実績の反映）                  ・凡例の記載内容充実                  ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
操作手順	弁名称																																																									
③ #1	T/B 緊急時隔離弁																																																									
③ #2	R/B B1F 緊急時隔離弁																																																									
③ #3	R/B 1F 緊急時隔離弁																																																									
⑤ #1	FW 系連絡第一弁																																																									
⑤ #2	FW 系連絡第二弁																																																									
⑥	R/R A系 LPCI 注入隔離弁																																																									
⑧	R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁																																																									
操作手順	操作対象機器	設備の変化																																																								
①	可搬型コース	コース接続																																																								
②	可搬型コース	コース接続																																																								
③ #1	圧力調整弁スプレッドポジション調整	全閉→全開																																																								
③ #2	圧力調整弁スプレッドポジション調整	全閉→全開																																																								
③ #3	圧力調整弁スプレッドポジション調整	全閉→全開																																																								
④	圧力調整弁スプレッドポジション調整	全閉→全開																																																								
⑤ #1	圧力調整弁スプレッドポジション調整	全閉→全開																																																								
⑤ #2	圧力調整弁スプレッドポジション調整	全閉→全開																																																								
⑤ #3	圧力調整弁スプレッドポジション調整	全閉→全開																																																								
⑥	圧力調整弁スプレッドポジション調整	全閉→全開																																																								
⑦	圧力調整弁スプレッドポジション調整	全閉→全開																																																								
⑧	圧力調整弁スプレッドポジション調整	全閉→全開																																																								

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

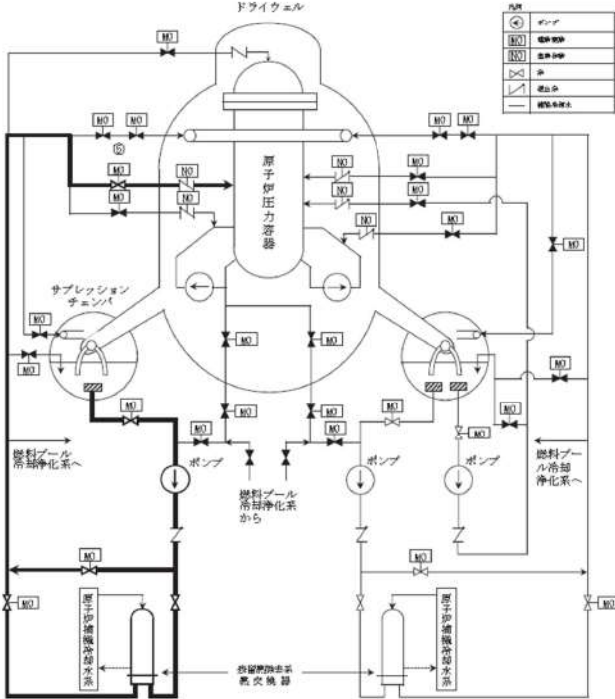
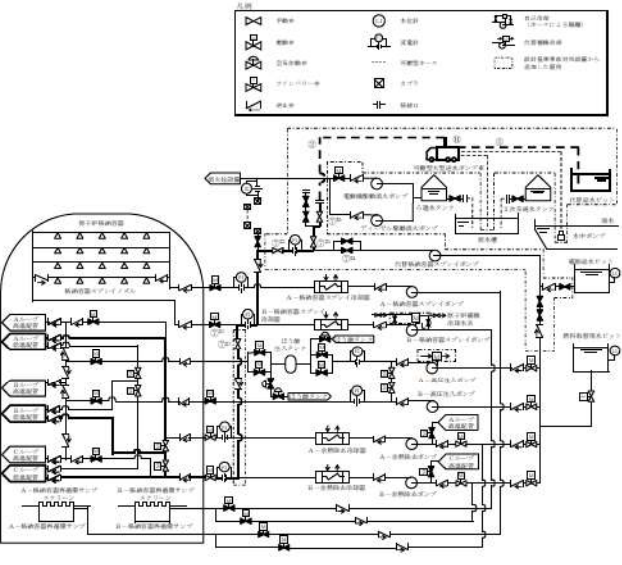
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>図 1.4.18 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水 タイムチャート</p> <p>※ 運転等手順書には図表等に基づき運用手順を記す。</p>	<p>図 1.4-19 図 ち過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p> <p>※1：中央制御室での異常検出に必要な検出時間          ※2：機器の動作時間及び動作時間に必要な見込み時間</p>	<p>図 1.4.12 図 海水を用いた可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水 タイムチャート</p>	<p>【大阪】          記載方針の相違          （女川審査実績の反映）          ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ          ・補足の充実          ・備考欄の追加</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																					
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	 <table border="1" data-bbox="840 1093 1265 1149"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>赤名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>⑤</td> <td>RHR A系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">第 1.4-20 図 残留熱除去系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水 概要図</p>	操作手順	赤名称	⑤	RHR A系 LPCI 注入隔離弁	 <table border="1" data-bbox="1422 986 1915 1133"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>機印寄集機器</th> <th>設備の名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>可搬型ポンプ</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>可搬型ポンプ</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>可搬型ポンプ</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>可搬型ポンプ</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>可搬型ポンプ</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>可搬型ポンプ</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>可搬型ポンプ</td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>可搬型ポンプ</td> </tr> <tr> <td>⑨</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>可搬型ポンプ</td> </tr> <tr> <td>⑩</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>可搬型ポンプ</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">第 1.4.13 図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水 概要図</p>	操作手順	機印寄集機器	設備の名称	①	可搬型ポンプ	可搬型ポンプ	②	可搬型ポンプ	可搬型ポンプ	③	可搬型ポンプ	可搬型ポンプ	④	可搬型ポンプ	可搬型ポンプ	⑤	可搬型ポンプ	可搬型ポンプ	⑥	可搬型ポンプ	可搬型ポンプ	⑦	可搬型ポンプ	可搬型ポンプ	⑧	可搬型ポンプ	可搬型ポンプ	⑨	可搬型ポンプ	可搬型ポンプ	⑩	可搬型ポンプ	可搬型ポンプ	<p style="color: red;">【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</p>
操作手順	赤名称																																							
⑤	RHR A系 LPCI 注入隔離弁																																							
操作手順	機印寄集機器	設備の名称																																						
①	可搬型ポンプ	可搬型ポンプ																																						
②	可搬型ポンプ	可搬型ポンプ																																						
③	可搬型ポンプ	可搬型ポンプ																																						
④	可搬型ポンプ	可搬型ポンプ																																						
⑤	可搬型ポンプ	可搬型ポンプ																																						
⑥	可搬型ポンプ	可搬型ポンプ																																						
⑦	可搬型ポンプ	可搬型ポンプ																																						
⑧	可搬型ポンプ	可搬型ポンプ																																						
⑨	可搬型ポンプ	可搬型ポンプ																																						
⑩	可搬型ポンプ	可搬型ポンプ																																						



1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

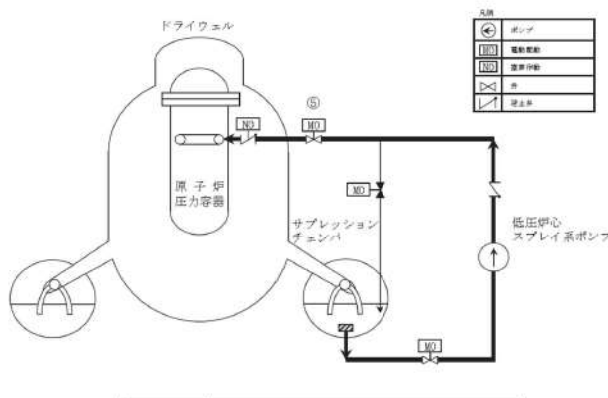
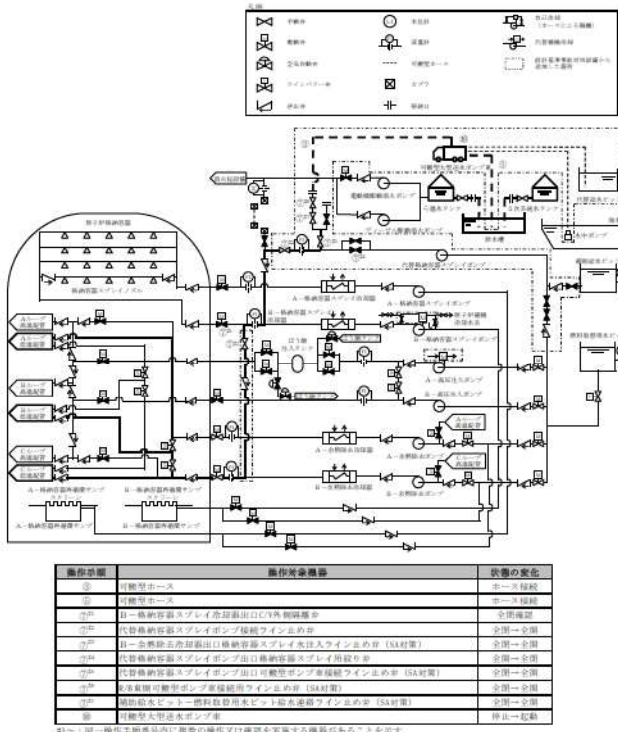
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p style="text-align: center;">第 1.4-21 図 残留熱除去系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p> <p>※1：単体運転までの仕立運転に必要な準備時間          ※2：機器の操作時間及び動作時間は余裕を見込んだ時間</p>	<p>※1：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※2：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※3：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※4：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※5：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※6：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※7：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※8：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※9：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※10：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※11：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※12：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※13：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※14：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※15：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※16：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※17：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※18：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※19：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※20：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※21：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※22：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※23：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※24：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※25：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※26：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※27：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※28：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※29：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※30：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※31：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※32：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※33：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※34：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※35：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※36：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※37：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※38：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※39：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※40：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※41：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※42：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※43：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※44：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※45：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※46：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※47：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※48：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※49：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※50：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※51：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※52：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※53：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※54：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※55：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※56：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※57：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※58：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※59：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※60：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※61：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※62：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※63：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※64：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※65：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※66：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※67：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※68：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※69：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※70：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※71：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※72：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※73：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※74：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※75：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※76：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※77：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※78：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※79：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※80：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※81：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※82：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※83：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※84：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※85：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※86：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※87：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※88：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※89：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※90：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※91：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※92：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※93：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※94：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※95：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※96：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※97：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※98：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※99：可搬型大型送水ポンプ車による注水          ※100：可搬型大型送水ポンプ車による注水</p>	<p>第 1.4.14 図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p> <p style="text-align: right;">【大飯】              設備の相違              (相違理由③)</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																													
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	 <p style="text-align: center;">第 1.4-22 図 低圧炉心スプレイ系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水 概要図</p> <table border="1" data-bbox="851 925 1254 973"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>赤名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>⑤</td> <td>LPCS 注入隔離弁</td> </tr> </tbody> </table>	操作手順	赤名称	⑤	LPCS 注入隔離弁	 <table border="1" data-bbox="1411 957 1926 1117"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>設備の変更</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>⑨</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>⑩</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>⑪</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>⑫</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>⑬</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>⑭</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>⑮</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>⑯</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>⑰</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>⑱</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>⑲</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>⑳</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㉑</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㉒</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㉓</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㉔</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㉕</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㉖</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㉗</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㉘</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㉙</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㉚</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㉛</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㉜</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㉝</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㉞</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㉟</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㊱</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㊲</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㊳</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㊴</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㊵</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㊶</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㊷</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㊸</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㊹</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㊺</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㊻</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㊼</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㊽</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㊾</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>㊿</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">第 1.4.15 図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉圧力容器への注水 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	設備の変更	①	可搬型ボース	ボース接続	②	可搬型ボース	ボース接続	③	可搬型ボース	ボース接続	④	可搬型ボース	ボース接続	⑤	可搬型ボース	ボース接続	⑥	可搬型ボース	ボース接続	⑦	可搬型ボース	ボース接続	⑧	可搬型ボース	ボース接続	⑨	可搬型ボース	ボース接続	⑩	可搬型ボース	ボース接続	⑪	可搬型ボース	ボース接続	⑫	可搬型ボース	ボース接続	⑬	可搬型ボース	ボース接続	⑭	可搬型ボース	ボース接続	⑮	可搬型ボース	ボース接続	⑯	可搬型ボース	ボース接続	⑰	可搬型ボース	ボース接続	⑱	可搬型ボース	ボース接続	⑲	可搬型ボース	ボース接続	⑳	可搬型ボース	ボース接続	㉑	可搬型ボース	ボース接続	㉒	可搬型ボース	ボース接続	㉓	可搬型ボース	ボース接続	㉔	可搬型ボース	ボース接続	㉕	可搬型ボース	ボース接続	㉖	可搬型ボース	ボース接続	㉗	可搬型ボース	ボース接続	㉘	可搬型ボース	ボース接続	㉙	可搬型ボース	ボース接続	㉚	可搬型ボース	ボース接続	㉛	可搬型ボース	ボース接続	㉜	可搬型ボース	ボース接続	㉝	可搬型ボース	ボース接続	㉞	可搬型ボース	ボース接続	㉟	可搬型ボース	ボース接続	㊱	可搬型ボース	ボース接続	㊲	可搬型ボース	ボース接続	㊳	可搬型ボース	ボース接続	㊴	可搬型ボース	ボース接続	㊵	可搬型ボース	ボース接続	㊶	可搬型ボース	ボース接続	㊷	可搬型ボース	ボース接続	㊸	可搬型ボース	ボース接続	㊹	可搬型ボース	ボース接続	㊺	可搬型ボース	ボース接続	㊻	可搬型ボース	ボース接続	㊼	可搬型ボース	ボース接続	㊽	可搬型ボース	ボース接続	㊾	可搬型ボース	ボース接続	㊿	可搬型ボース	ボース接続	<p>【大飯】                  設備の相違                  (相違理由③)</p>
操作手順	赤名称																																																																																																																																																															
⑤	LPCS 注入隔離弁																																																																																																																																																															
操作手順	操作対象機器	設備の変更																																																																																																																																																														
①	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
②	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
③	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
④	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
⑤	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
⑥	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
⑦	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
⑧	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
⑨	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
⑩	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
⑪	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
⑫	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
⑬	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
⑭	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
⑮	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
⑯	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
⑰	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
⑱	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
⑲	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
⑳	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㉑	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㉒	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㉓	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㉔	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㉕	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㉖	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㉗	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㉘	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㉙	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㉚	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㉛	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㉜	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㉝	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㉞	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㉟	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㊱	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㊲	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㊳	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㊴	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㊵	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㊶	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㊷	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㊸	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㊹	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㊺	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㊻	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㊼	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㊽	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㊾	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														
㊿	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																														

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

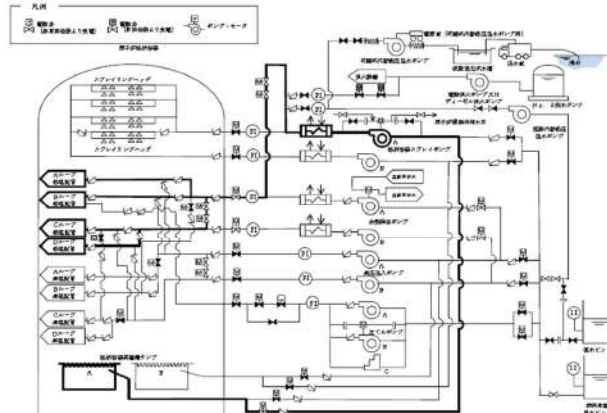
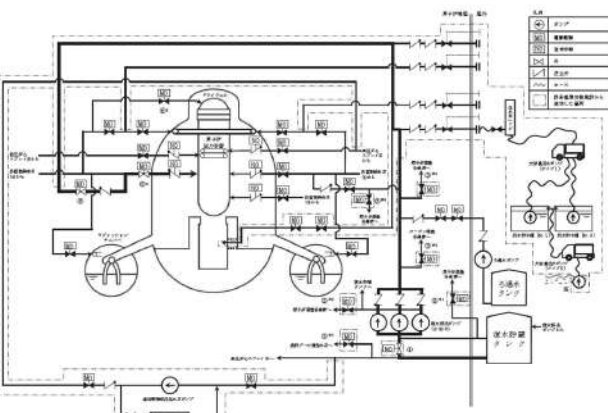
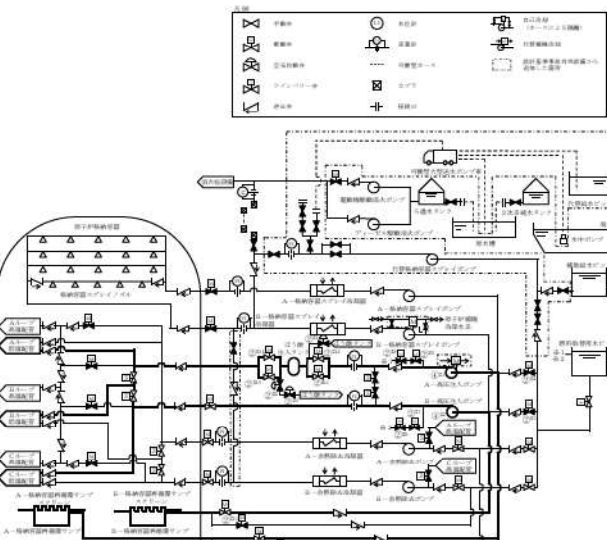
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div style="text-align: center;"> <p>第1.4-23 図 低圧炉心スプレイ系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p> </div> <p>※1：原子炉停止直後の炉心スプレイ系電源復旧後の注水          ※2：機器の稼働時間及び動作中に余裕を足した時間</p>	<div style="text-align: center;"> <p>第1.4.16 図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p> </div>	<p>【大飯】              設備の相違              (相違理由③)</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

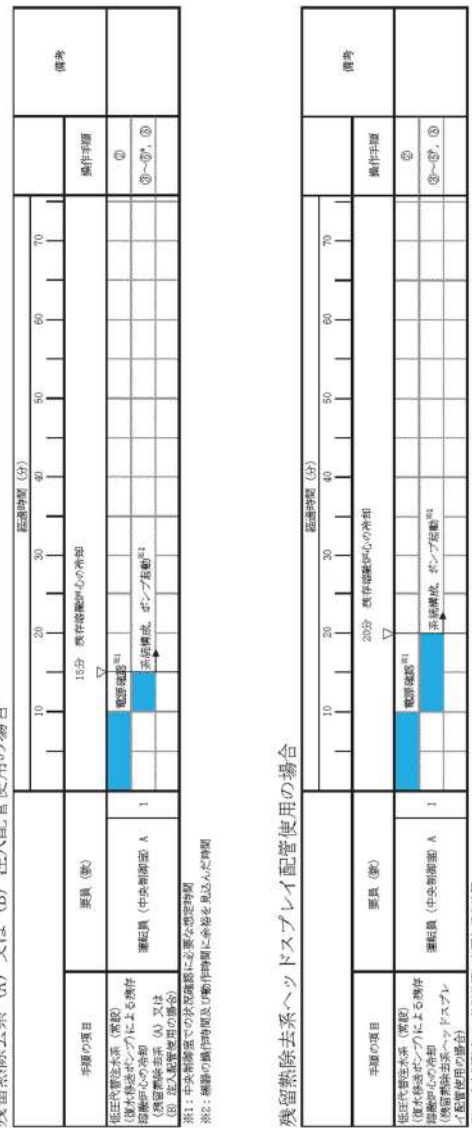
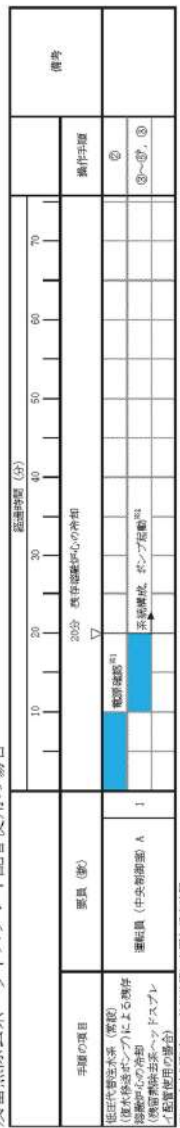
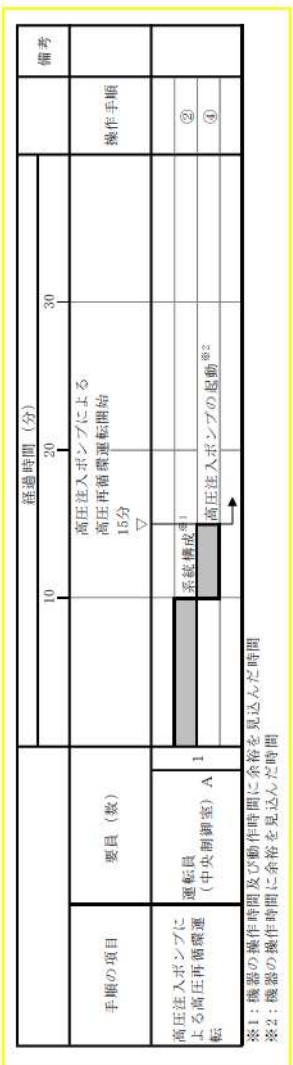
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																									
 <p>凡例              ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p> <p>第1.4.15図 A種納容器スプレイポンプ（R/R 3-C-5.3連絡ライン使用）による代替再循環運転 概略系統</p>	 <p>第1.4-24図 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による残存溶融炉心の冷却 概要図（1/2）</p> <table border="1" data-bbox="840 869 1265 1117"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①<sup>1)</sup></td> <td>CRD 復水入口弁</td> </tr> <tr> <td>②<sup>2)</sup></td> <td>WRPC サンプリング取出し止め弁</td> </tr> <tr> <td>③<sup>3)</sup></td> <td>FFTRR ポンプ吸込弁</td> </tr> <tr> <td>④<sup>4)</sup></td> <td>T/B 緊急停断弁</td> </tr> <tr> <td>⑤<sup>5)</sup></td> <td>R/B BIF 緊急時閉鎖弁</td> </tr> <tr> <td>⑥<sup>6)</sup></td> <td>R/B 1F 緊急時閉鎖弁</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>復水貯蔵タンク常用、非常用給水電送路ライン止め弁</td> </tr> <tr> <td>⑧*</td> <td>R/R A系 LPCI 注入閉鎖弁</td> </tr> <tr> <td>⑨*</td> <td>R/R ヘッドスプレイトイン吸伸筒吸伸調整弁</td> </tr> <tr> <td>⑩</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を要する弁があることを示す。</p> <p>第1.4-24図 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による残存溶融炉心の冷却 概要図（2/2）</p>	操作手順	弁名称	① <sup>1)</sup>	CRD 復水入口弁	② <sup>2)</sup>	WRPC サンプリング取出し止め弁	③ <sup>3)</sup>	FFTRR ポンプ吸込弁	④ <sup>4)</sup>	T/B 緊急停断弁	⑤ <sup>5)</sup>	R/B BIF 緊急時閉鎖弁	⑥ <sup>6)</sup>	R/B 1F 緊急時閉鎖弁	⑦	復水貯蔵タンク常用、非常用給水電送路ライン止め弁	⑧*	R/R A系 LPCI 注入閉鎖弁	⑨*	R/R ヘッドスプレイトイン吸伸筒吸伸調整弁	⑩		 <p>凡例              ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p> <p>第1.4.17図 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1456 901 1926 1197"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①<sup>1)</sup></td> <td>は5種注入タンク 換流フィン入口止め弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>②<sup>2)</sup></td> <td>は5種注入タンク 換流フィン出口第1止め弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>③<sup>3)</sup></td> <td>は5種注入タンク 換流フィン出口第2止め弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>④<sup>4)</sup></td> <td>A-高圧注入ポンプ 燃料取扱用冷却水ビッド投入口弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤<sup>5)</sup></td> <td>A-高圧注入ポンプ 第1ミニフロー弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>⑥<sup>6)</sup></td> <td>B-高圧注入ポンプ 第1ミニフロー弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>⑦<sup>7)</sup></td> <td>A-高圧注入ポンプ 第2ミニフロー弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>⑧<sup>8)</sup></td> <td>B-高圧注入ポンプ 第2ミニフロー弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>⑨<sup>9)</sup></td> <td>A-安全注入ポンプ 再循環サブ投入口C/C外側閉鎖弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>⑩<sup>10)</sup></td> <td>B-安全注入ポンプ 再循環サブ投入口C/C外側閉鎖弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>⑪<sup>11)</sup></td> <td>は5種注入タンク入口弁 A</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>⑫<sup>12)</sup></td> <td>は5種注入タンク入口弁 B</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>⑬<sup>13)</sup></td> <td>は5種注入タンク 出口C/C外側閉鎖弁 A</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>⑭<sup>14)</sup></td> <td>は5種注入タンク 出口C/C外側閉鎖弁 B</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>⑮<sup>15)</sup></td> <td>A-高圧注入ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>⑯<sup>16)</sup></td> <td>B-高圧注入ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を要する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	① <sup>1)</sup>	は5種注入タンク 換流フィン入口止め弁	全開→全開	② <sup>2)</sup>	は5種注入タンク 換流フィン出口第1止め弁	全開→全開	③ <sup>3)</sup>	は5種注入タンク 換流フィン出口第2止め弁	全開→全開	④ <sup>4)</sup>	A-高圧注入ポンプ 燃料取扱用冷却水ビッド投入口弁	全開→全開	⑤ <sup>5)</sup>	A-高圧注入ポンプ 第1ミニフロー弁	全開→全開	⑥ <sup>6)</sup>	B-高圧注入ポンプ 第1ミニフロー弁	全開→全開	⑦ <sup>7)</sup>	A-高圧注入ポンプ 第2ミニフロー弁	全開→全開	⑧ <sup>8)</sup>	B-高圧注入ポンプ 第2ミニフロー弁	全開→全開	⑨ <sup>9)</sup>	A-安全注入ポンプ 再循環サブ投入口C/C外側閉鎖弁	全開→全開	⑩ <sup>10)</sup>	B-安全注入ポンプ 再循環サブ投入口C/C外側閉鎖弁	全開→全開	⑪ <sup>11)</sup>	は5種注入タンク入口弁 A	全開→全開	⑫ <sup>12)</sup>	は5種注入タンク入口弁 B	全開→全開	⑬ <sup>13)</sup>	は5種注入タンク 出口C/C外側閉鎖弁 A	全開→全開	⑭ <sup>14)</sup>	は5種注入タンク 出口C/C外側閉鎖弁 B	全開→全開	⑮ <sup>15)</sup>	A-高圧注入ポンプ	停止→起動	⑯ <sup>16)</sup>	B-高圧注入ポンプ	停止→起動	<p>【大飯】              記載方針の相違（女川審査実績の反映）              ・凡例の記載内容充実              ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
操作手順	弁名称																																																																											
① <sup>1)</sup>	CRD 復水入口弁																																																																											
② <sup>2)</sup>	WRPC サンプリング取出し止め弁																																																																											
③ <sup>3)</sup>	FFTRR ポンプ吸込弁																																																																											
④ <sup>4)</sup>	T/B 緊急停断弁																																																																											
⑤ <sup>5)</sup>	R/B BIF 緊急時閉鎖弁																																																																											
⑥ <sup>6)</sup>	R/B 1F 緊急時閉鎖弁																																																																											
⑦	復水貯蔵タンク常用、非常用給水電送路ライン止め弁																																																																											
⑧*	R/R A系 LPCI 注入閉鎖弁																																																																											
⑨*	R/R ヘッドスプレイトイン吸伸筒吸伸調整弁																																																																											
⑩																																																																												
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																																										
① <sup>1)</sup>	は5種注入タンク 換流フィン入口止め弁	全開→全開																																																																										
② <sup>2)</sup>	は5種注入タンク 換流フィン出口第1止め弁	全開→全開																																																																										
③ <sup>3)</sup>	は5種注入タンク 換流フィン出口第2止め弁	全開→全開																																																																										
④ <sup>4)</sup>	A-高圧注入ポンプ 燃料取扱用冷却水ビッド投入口弁	全開→全開																																																																										
⑤ <sup>5)</sup>	A-高圧注入ポンプ 第1ミニフロー弁	全開→全開																																																																										
⑥ <sup>6)</sup>	B-高圧注入ポンプ 第1ミニフロー弁	全開→全開																																																																										
⑦ <sup>7)</sup>	A-高圧注入ポンプ 第2ミニフロー弁	全開→全開																																																																										
⑧ <sup>8)</sup>	B-高圧注入ポンプ 第2ミニフロー弁	全開→全開																																																																										
⑨ <sup>9)</sup>	A-安全注入ポンプ 再循環サブ投入口C/C外側閉鎖弁	全開→全開																																																																										
⑩ <sup>10)</sup>	B-安全注入ポンプ 再循環サブ投入口C/C外側閉鎖弁	全開→全開																																																																										
⑪ <sup>11)</sup>	は5種注入タンク入口弁 A	全開→全開																																																																										
⑫ <sup>12)</sup>	は5種注入タンク入口弁 B	全開→全開																																																																										
⑬ <sup>13)</sup>	は5種注入タンク 出口C/C外側閉鎖弁 A	全開→全開																																																																										
⑭ <sup>14)</sup>	は5種注入タンク 出口C/C外側閉鎖弁 B	全開→全開																																																																										
⑮ <sup>15)</sup>	A-高圧注入ポンプ	停止→起動																																																																										
⑯ <sup>16)</sup>	B-高圧注入ポンプ	停止→起動																																																																										

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

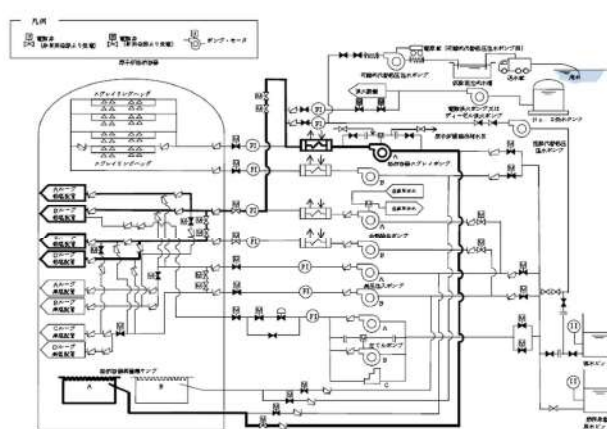
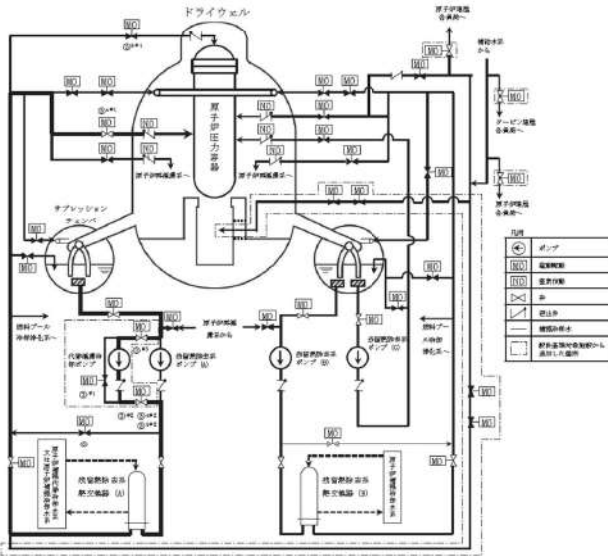
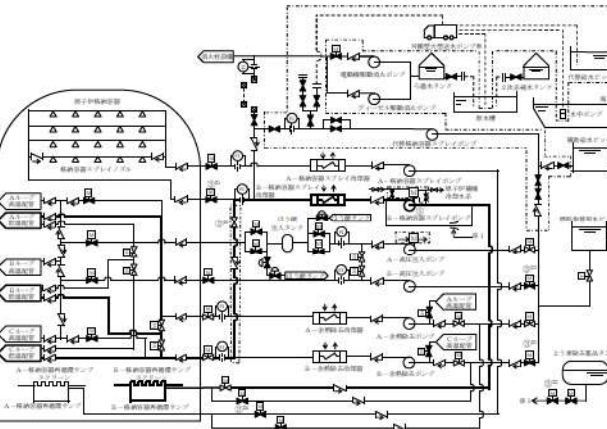
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p style="text-align: center;">残留熱除去系(A)又は(B)注入配管使用の場合</p>  <p style="text-align: center;">残留熱除去系へヘッドスプレイ配管使用の場合</p>  <p style="text-align: center;">第 1.4-25 図 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による残存溶融炉心の冷却 タイムチャート</p>	 <p style="text-align: center;">第 1.4.18 図 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転 タイムチャート</p>	<p>【大飯】              記載方針の相違              （女川審査表紙の反映）              ・泊は中央制御室のみで操作する手順においてもタイムチャートを整備している。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																						
 <p>凡例              ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p> <p>第14.15図 A格納容器スプレイポンプ（RHR3-CSS連絡ライン使用）による代替循環運転 概略系統</p>	 <p>第1.4-26図 代替循環冷却系による残存溶融炉心の冷却 概要図（1/2）</p> <table border="1" data-bbox="761 957 1344 1181"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>③ F1</td> <td>代替循環冷却ポンプバイパス弁</td> </tr> <tr> <td>③ F2 ⑤ R2 ⑤ R2</td> <td>代替循環冷却ポンプ流量調整弁</td> </tr> <tr> <td>③ F2</td> <td>代替循環冷却ポンプ吸込弁</td> </tr> <tr> <td>⑤ R1</td> <td>RHR A系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤ R1</td> <td>RHR ヘッドスプレイ注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>RHR 熱交換器 (A) バイパス弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>※L：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p>第1.4-26図 代替循環冷却系による残存溶融炉心の冷却 概要図（2/2）</p>	操作手順	弁名称	③ F1	代替循環冷却ポンプバイパス弁	③ F2 ⑤ R2 ⑤ R2	代替循環冷却ポンプ流量調整弁	③ F2	代替循環冷却ポンプ吸込弁	⑤ R1	RHR A系 LPCI 注入隔離弁	⑤ R1	RHR ヘッドスプレイ注入隔離弁	⑥	RHR 熱交換器 (A) バイパス弁	 <p>凡例              ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p> <table border="1" data-bbox="1433 989 1948 1133"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>③</td> <td>第一格納容器スプレイ冷却器出口の内外循環弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>圧力調整タンク注入ライン止め弁後弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>第一全熱除去ポンプRHR吸入口弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>第一全熱除去ポンプ西側塞栓弁吸入口弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>第一高圧注入ポンプ燃料取替用水ビッド吸入口弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td>第一全熱除去冷却器出口格納容器スプレイ冷却器ライン止め弁（圧調整）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑨</td> <td>第一格納容器スプレイポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>※L：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p> <p>第1.4.19図 B-格納容器スプレイポンプ（RHR3-CSS連絡ライン使用）による代替循環運転 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	③	第一格納容器スプレイ冷却器出口の内外循環弁	全開→全閉	④	圧力調整タンク注入ライン止め弁後弁	全開→全閉	⑤	第一全熱除去ポンプRHR吸入口弁	全閉確認	⑥	第一全熱除去ポンプ西側塞栓弁吸入口弁	全閉確認	⑦	第一高圧注入ポンプ燃料取替用水ビッド吸入口弁	全閉確認	⑧	第一全熱除去冷却器出口格納容器スプレイ冷却器ライン止め弁（圧調整）	全開→全閉	⑨	第一格納容器スプレイポンプ	停止→起動	<p>【大飯】              記載方針の相違（女川審査実績の反映）              ・凡例の記載内容充実              ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
操作手順	弁名称																																								
③ F1	代替循環冷却ポンプバイパス弁																																								
③ F2 ⑤ R2 ⑤ R2	代替循環冷却ポンプ流量調整弁																																								
③ F2	代替循環冷却ポンプ吸込弁																																								
⑤ R1	RHR A系 LPCI 注入隔離弁																																								
⑤ R1	RHR ヘッドスプレイ注入隔離弁																																								
⑥	RHR 熱交換器 (A) バイパス弁																																								
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																							
③	第一格納容器スプレイ冷却器出口の内外循環弁	全開→全閉																																							
④	圧力調整タンク注入ライン止め弁後弁	全開→全閉																																							
⑤	第一全熱除去ポンプRHR吸入口弁	全閉確認																																							
⑥	第一全熱除去ポンプ西側塞栓弁吸入口弁	全閉確認																																							
⑦	第一高圧注入ポンプ燃料取替用水ビッド吸入口弁	全閉確認																																							
⑧	第一全熱除去冷却器出口格納容器スプレイ冷却器ライン止め弁（圧調整）	全開→全閉																																							
⑨	第一格納容器スプレイポンプ	停止→起動																																							

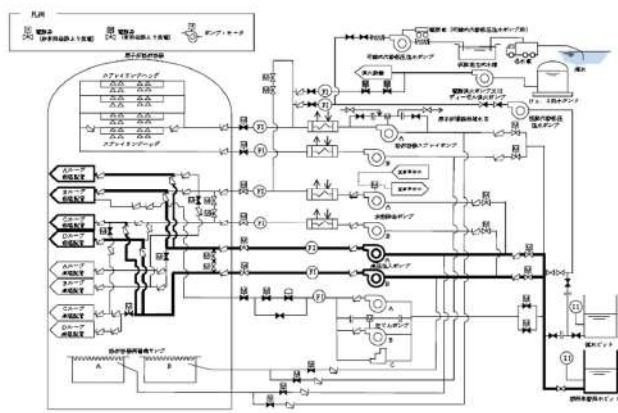
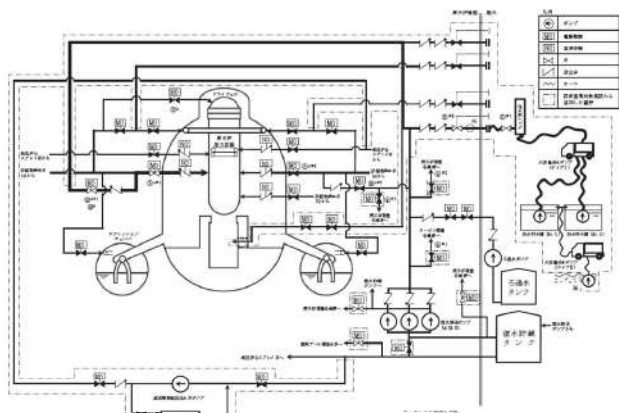
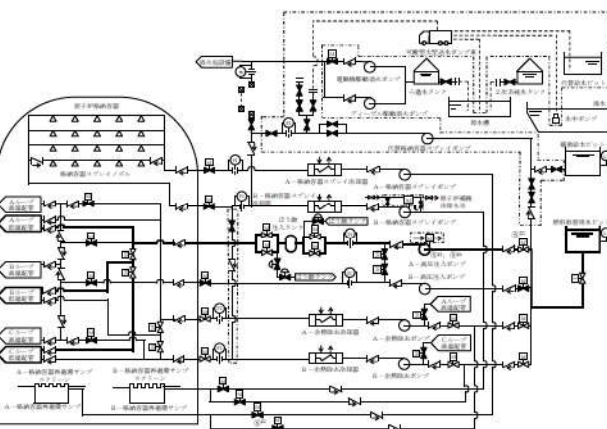


1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																					
 <p>図 1.4-17 高圧注入ポンプによる炉心注水 概略系統</p>	 <p>第 1.4-28 図 低圧代替注水系（可搬型）による残存溶融炉心の冷却 概要図（1/2）</p> <table border="1" data-bbox="795 853 1310 1157"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>④ #1</td> <td>T/B 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>④ #2</td> <td>R/B B1F 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>④ #3</td> <td>R/B 1F 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤ #1</td> <td>R/R A 系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤ #2</td> <td>R/R B 系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤ #3</td> <td>隔離ヘッドスプレー注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑥ #1</td> <td>原子炉・格納容器下向き注水井</td> </tr> <tr> <td>⑥ #2</td> <td>緊急時原子炉東側外部注水井</td> </tr> <tr> <td>⑩ #1, ⑩ #2, ⑩ #3</td> <td>R/R 系ヘッドスプレーライン洗浄流量調整弁</td> </tr> <tr> <td>⑩ #4, ⑩ #5</td> <td>R/R B 系格納容器冷却ライン洗浄流量調整弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p>第 1.4-28 図 低圧代替注水系（可搬型）による残存溶融炉心の冷却 概要図（2/2）</p>	操作手順	弁名称	④ #1	T/B 緊急時隔離弁	④ #2	R/B B1F 緊急時隔離弁	④ #3	R/B 1F 緊急時隔離弁	⑤ #1	R/R A 系 LPCI 注入隔離弁	⑤ #2	R/R B 系 LPCI 注入隔離弁	⑤ #3	隔離ヘッドスプレー注入隔離弁	⑥ #1	原子炉・格納容器下向き注水井	⑥ #2	緊急時原子炉東側外部注水井	⑩ #1, ⑩ #2, ⑩ #3	R/R 系ヘッドスプレーライン洗浄流量調整弁	⑩ #4, ⑩ #5	R/R B 系格納容器冷却ライン洗浄流量調整弁	 <p>第 1.4.21 図 格納容器再循環サンプルスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順（高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水） 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1444 1005 1948 1101"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>装置の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① #1</td> <td>A-高圧注入ポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> <tr> <td>② #1</td> <td>A-安全注入ポンプ背圧調整弁個人入口側隔離弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>③ #1</td> <td>A-高圧注入ポンプ燃料取替用水ピット側入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>④ #1</td> <td>A-高圧注入ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	装置の変化	① #1	A-高圧注入ポンプ	起動→停止	② #1	A-安全注入ポンプ背圧調整弁個人入口側隔離弁	全開→全閉	③ #1	A-高圧注入ポンプ燃料取替用水ピット側入口弁	全開→全閉	④ #1	A-高圧注入ポンプ	停止→起動	<p>【大飯】              記載方針の相違（女川審査実績の反映）              ・凡例の記載内容充実              ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
操作手順	弁名称																																							
④ #1	T/B 緊急時隔離弁																																							
④ #2	R/B B1F 緊急時隔離弁																																							
④ #3	R/B 1F 緊急時隔離弁																																							
⑤ #1	R/R A 系 LPCI 注入隔離弁																																							
⑤ #2	R/R B 系 LPCI 注入隔離弁																																							
⑤ #3	隔離ヘッドスプレー注入隔離弁																																							
⑥ #1	原子炉・格納容器下向き注水井																																							
⑥ #2	緊急時原子炉東側外部注水井																																							
⑩ #1, ⑩ #2, ⑩ #3	R/R 系ヘッドスプレーライン洗浄流量調整弁																																							
⑩ #4, ⑩ #5	R/R B 系格納容器冷却ライン洗浄流量調整弁																																							
操作手順	操作対象機器	装置の変化																																						
① #1	A-高圧注入ポンプ	起動→停止																																						
② #1	A-安全注入ポンプ背圧調整弁個人入口側隔離弁	全開→全閉																																						
③ #1	A-高圧注入ポンプ燃料取替用水ピット側入口弁	全開→全閉																																						
④ #1	A-高圧注入ポンプ	停止→起動																																						



泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

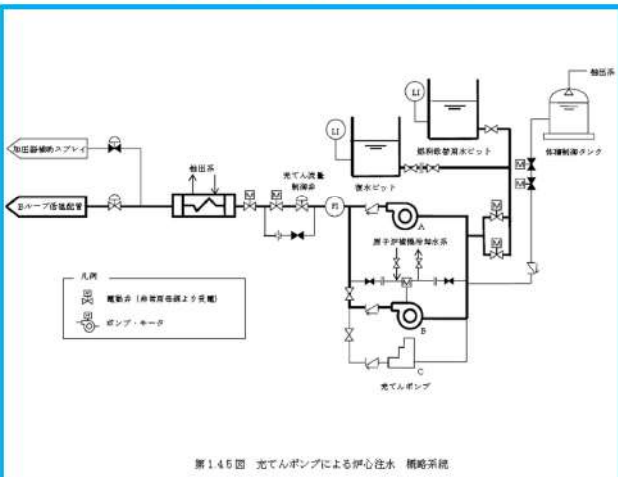
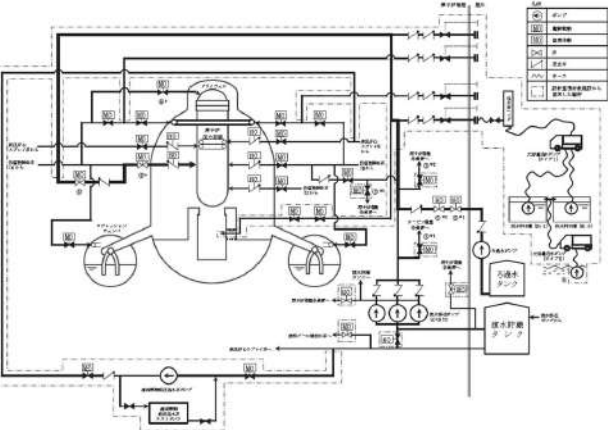
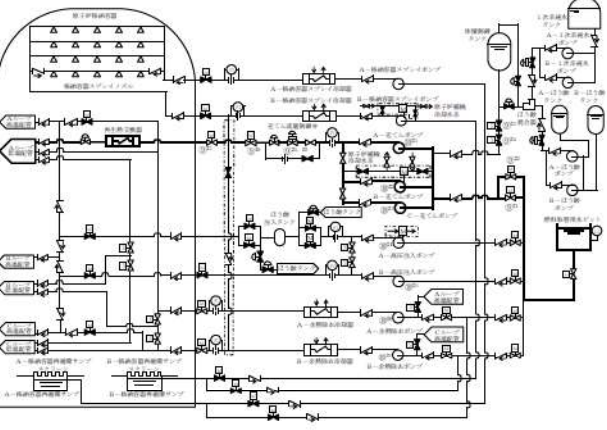
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>第1.4-29図 低圧代替注水系（可搬型）による残存溶融炉心の冷却 タイムチャート</p>		
	<p>第1.4-30図 低圧代替注水系（可搬型）による残存溶融炉心の冷却 タイムチャート</p>		

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																		
<p>【比較のため、第1.4.5図を再掲】</p>  <p>第1.4.5図 充電ポンプによる炉心注水 概略系図</p>	 <p>第1.4-31図 ろ過水ポンプによる残存溶融炉心の冷却 概要図 (1/2)</p> <table border="1" data-bbox="750 869 1355 1157"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>③#1</td> <td>T/B 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>③#2</td> <td>R/B B1F 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>③#3</td> <td>R/B 1F 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤#1</td> <td>FW 系連絡第一弁</td> </tr> <tr> <td>⑤#2</td> <td>FW 系連絡第二弁</td> </tr> <tr> <td>⑥#</td> <td>RHR A系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑥#</td> <td>RHR ヘッドスプレイ注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td>RHR ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p>第1.4-31図 ろ過水ポンプによる残存溶融炉心の冷却 概要図 (2/2)</p>	操作手順	弁名称	③#1	T/B 緊急時隔離弁	③#2	R/B B1F 緊急時隔離弁	③#3	R/B 1F 緊急時隔離弁	⑤#1	FW 系連絡第一弁	⑤#2	FW 系連絡第二弁	⑥#	RHR A系 LPCI 注入隔離弁	⑥#	RHR ヘッドスプレイ注入隔離弁	⑧	RHR ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁	 <p>第1.4.22図 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順          (燃料取替用水ビットを水源とした充電ポンプによる原子炉容器への注水) 概要図 (1/2)</p> <table border="1" data-bbox="1422 973 1937 1252"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①#</td> <td>充電ポンプ入口燃料取替用水ビット出入口弁A</td> <td>全閉→確認</td> </tr> <tr> <td>②#</td> <td>充電ポンプ入口燃料取替用水ビット出入口弁B</td> <td>全閉→確認</td> </tr> <tr> <td>③#</td> <td>体積調整タンク出口第1止め弁</td> <td>全閉→確認</td> </tr> <tr> <td>④#</td> <td>体積調整タンク出口第2止め弁</td> <td>全閉→確認</td> </tr> <tr> <td>⑤#</td> <td>充電流量制御弁</td> <td>調整部→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑥#</td> <td>充電ラインCV外側隔離弁</td> <td>全閉→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑦#</td> <td>充電ラインCV内側隔離弁</td> <td>全閉→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑧#</td> <td>充電流量制御弁</td> <td>全閉→調整部</td> </tr> <tr> <td>⑨#</td> <td>A-充電ポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> <tr> <td>⑩#</td> <td>B-充電ポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> <tr> <td>⑪#</td> <td>C-充電ポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> <tr> <td>⑫#</td> <td>A-高圧注入ポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> <tr> <td>⑬#</td> <td>B-高圧注入ポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> <tr> <td>⑭#</td> <td>A-余熱除去ポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> <tr> <td>⑮#</td> <td>B-余熱除去ポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p> <p>第1.4.22図 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順          (燃料取替用水ビットを水源とした充電ポンプによる原子炉容器への注水) 概要図 (2/2)</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①#	充電ポンプ入口燃料取替用水ビット出入口弁A	全閉→確認	②#	充電ポンプ入口燃料取替用水ビット出入口弁B	全閉→確認	③#	体積調整タンク出口第1止め弁	全閉→確認	④#	体積調整タンク出口第2止め弁	全閉→確認	⑤#	充電流量制御弁	調整部→全閉	⑥#	充電ラインCV外側隔離弁	全閉→全閉	⑦#	充電ラインCV内側隔離弁	全閉→全閉	⑧#	充電流量制御弁	全閉→調整部	⑨#	A-充電ポンプ	起動→停止	⑩#	B-充電ポンプ	起動→停止	⑪#	C-充電ポンプ	起動→停止	⑫#	A-高圧注入ポンプ	起動→停止	⑬#	B-高圧注入ポンプ	起動→停止	⑭#	A-余熱除去ポンプ	起動→停止	⑮#	B-余熱除去ポンプ	起動→停止	<p>【大飯】          記載方針の相違          (女川審査実績の反映)          ・凡例の記載内容充実          ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
操作手順	弁名称																																																																				
③#1	T/B 緊急時隔離弁																																																																				
③#2	R/B B1F 緊急時隔離弁																																																																				
③#3	R/B 1F 緊急時隔離弁																																																																				
⑤#1	FW 系連絡第一弁																																																																				
⑤#2	FW 系連絡第二弁																																																																				
⑥#	RHR A系 LPCI 注入隔離弁																																																																				
⑥#	RHR ヘッドスプレイ注入隔離弁																																																																				
⑧	RHR ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁																																																																				
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																																			
①#	充電ポンプ入口燃料取替用水ビット出入口弁A	全閉→確認																																																																			
②#	充電ポンプ入口燃料取替用水ビット出入口弁B	全閉→確認																																																																			
③#	体積調整タンク出口第1止め弁	全閉→確認																																																																			
④#	体積調整タンク出口第2止め弁	全閉→確認																																																																			
⑤#	充電流量制御弁	調整部→全閉																																																																			
⑥#	充電ラインCV外側隔離弁	全閉→全閉																																																																			
⑦#	充電ラインCV内側隔離弁	全閉→全閉																																																																			
⑧#	充電流量制御弁	全閉→調整部																																																																			
⑨#	A-充電ポンプ	起動→停止																																																																			
⑩#	B-充電ポンプ	起動→停止																																																																			
⑪#	C-充電ポンプ	起動→停止																																																																			
⑫#	A-高圧注入ポンプ	起動→停止																																																																			
⑬#	B-高圧注入ポンプ	起動→停止																																																																			
⑭#	A-余熱除去ポンプ	起動→停止																																																																			
⑮#	B-余熱除去ポンプ	起動→停止																																																																			

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由				
	<div style="text-align: center;"> <p>20分 残存溶融炉心の冷却</p> <p>電源喪失</p> <p>系統構成、ポンプ起動</p> <p>経過時間(分)</p> <p>70 60 50 40 30 20 10</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <table border="1" style="border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>手順の項目</th> <th>要員(名)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ろ過水ポンプによる残存溶融炉心の冷却</td> <td>運転員(中央制御室) A 1</td> </tr> </tbody> </table> <div style="font-size: small;"> <p>※1：中央制御室での状況確認に必要な想定時間</p> <p>※2：機器の操作時間及び動作時間(余裕を見込んだ時間)</p> </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">第1.4-32 図 ろ過水ポンプによる残存溶融炉心の冷却 タイムチャート</p>	手順の項目	要員(名)	ろ過水ポンプによる残存溶融炉心の冷却	運転員(中央制御室) A 1		
手順の項目	要員(名)						
ろ過水ポンプによる残存溶融炉心の冷却	運転員(中央制御室) A 1						